THE TAIWAN JIHO

臺湾時報

八月號

内容目録記済

EAST ASIATIC INVESTIGATI...
登録濟
SEP 6 1928
SOUTH MANCHURIA RAILWAY Ltd.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　河原田稼吉

評議員　（以下イロハ順）

石黒英彦　石坂荘作　生駒高常　伊藤兼吉　池田季苗　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　豐田勝藏　富田松彦　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧

太田吾一　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大越大藏　小野時雄　簡朗山　片山三郎　醫學博士 楊吉臣　高木友枝　高橋親吉　田村武七　田村藤四郎　田丸直之　高山仰　武田英一　鼓包美　津田毅一

要木栗造　永山止米郎　永田儀三郎　中村秀太郎　中田秀造　宇野庄吉　草鹿砥祐吉　醫學博士 倉岡彦助　松岡富雄　牧山清砂　松本晃吉　増永吉次郎　藤野幹　小松吉久　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　後藤和佐二　枝德二　遠藤所六　鄭神寶　後宮信太郎　近江時五郎　猪股松之助　岩滿重　一戶二郎

編纂委員

赤司初太郎　赤石定藏　坂本素魯哉　佐々木紀綱　齋藤玄壽郎　柵瀨軍之佐　皿谷廣次　蔡蓮舫　齋藤透　佐藤得太郎　木村久太郎　木村泰治　許延光　三好德三郎　水越幸一　三好一八　三澤糾　白勢黎吉　島田茂　徐杰夫　平山寅次郎　久宗董　鈴木重臣　色部米作　服部武彦　原口竹次郎

本間善庫　本田忠男　大澤清高　大竹勇　渡邊廣　和田一次　和田博　鎌田正威　川村直岡　横光吉規　竹屋春光　角田廣次　中瀬拙夫　中田榮次郎

常務員

編輯係　土井卓三　鈴木重男

内田隆　能澤外茂吉　野口敏治　深川繁治　小林光政　淺野安吉　赤堀鐵吉　坂口主税　酒井雪介　木原圓次　白井泉藏　樋口要司　須田一二三　伊藤憐之助

昭和三年八月十三日印刷（每月一回十五日發行）
昭和三年八月十五日發行

（定價一部郵税共金三十五錢）
（廣告料　一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府内　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺北二〇七〇番
電話總督府内第八九番

編輯兼發行人　臺北市東門町一五八番地　伊藤憐之助

印刷者　臺北市榮町二丁目十二番地　加藤豐吉

印刷所　臺北市京町一丁目四十三番地　小塚本店印刷工場

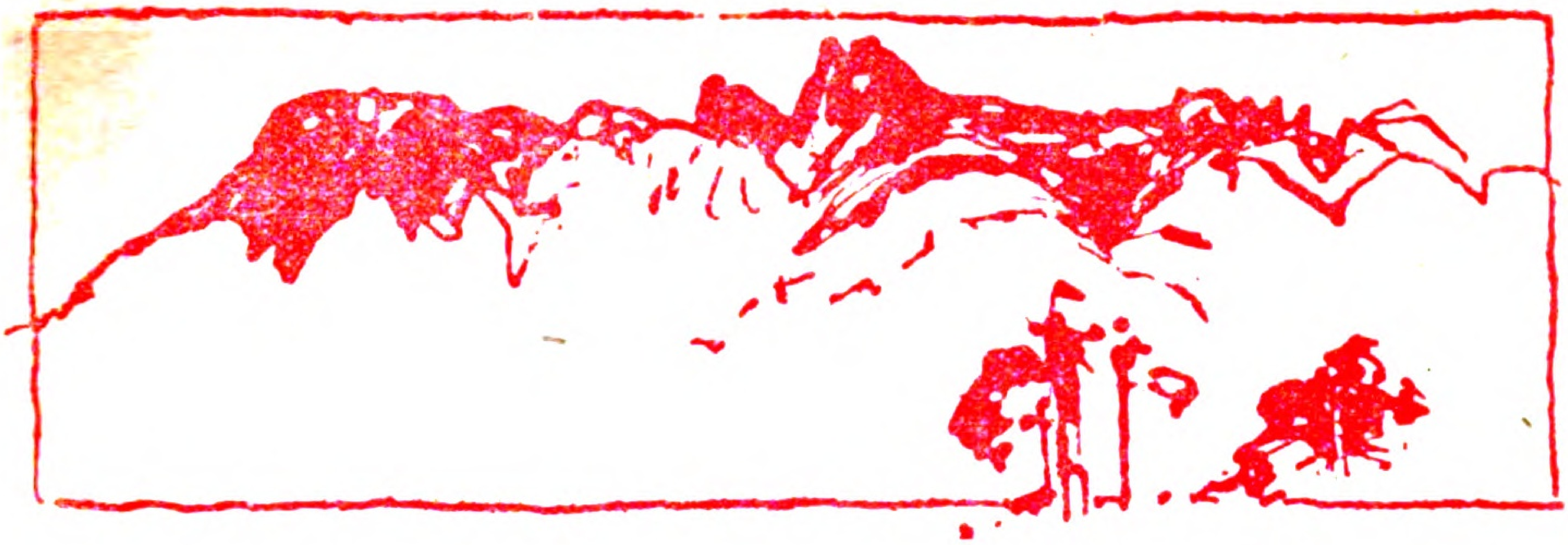
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三井物産株式會社

臺北
臺南
支店

出張所、出張員

厦門　福州
基隆　高雄
臺中



報　昭和三年六月號　目次

口繪　建功神社　河原田新總務長官

時言

川村臺灣總督訓示……一

歡迎の辭……高木友枝……四

歡迎の辭……ベートン……五

本島炭業の發達……高橋春吉……六

特報

建功神社鎮座祭……一〇

時報

臺中不敬事件判決、川村新總督著任、總務長官更迭、上半期本島貿易、上半期全國貿易額、州廳別人口調、一期米豫想、島内工場酒精生産高、臺南勸業協會組織、米穀檢査事務打合會、一期標準米、臺南州下米種改良事業、經濟的な新蔗作法、前年の農産高、烏龍茶市況變調、合同荷役問題打切……一三―一五

寄書

護謨市價暴落と將來の南洋栽培企業……増淵佐平……一六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講演

化學戰 …… 岸本少將 …… 二三

印度の自然と人生 …… 森下薫 …… 三六

説苑

米國に於ける繁榮の精神的基礎 …… 原口竹次郎 …… 四四

臺俗百話 蓬萊物語(六) …… 西岡塘翠 …… 五六

サラワク旅行見聞記 …… 前川昇 …… 六四

調査研究

バガスパルプ工業の將來 …… 土井季太郎 …… 六九

最近に於ける支那實業の發展 …… 小林一馬譯 …… 七九

臺灣蔬菜園藝講話(六) …… 片澤立 …… 八六

島情

臺灣貿易統計 …… 總督府稅關 …… 九三

臺灣金融統計 …… 財務局金融課 …… 九九

文苑

漢詩 俳句 …… 一〇四

臺灣日誌 人事消息 任命 …… 一〇六

支那及南洋情報 …… 總督官房調査課 …… 一一五

支那及南洋時論文記事索引 …… 總督官房調査課 …… 一一七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

建功神社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

河原田新總務長官

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八月號

川村新總督訓示

本島改隷以來茲に三十有餘年聖澤遐邇に覃敷し謳歌道に載てり恭しく惟ふに　今上陛下東宮に在しゝ時本島に行啓あらせられ深く意を文化の發達と民生の安定とに致し給ひ賜ふに令旨を以てせらる御践祚以來特に本島の統治に軫念し給ふ聖恩の洪大無邊なる孰か感泣せざらん

予今回大命を拜して任に斯の地に蒞むに當り轉た職責の重大なるを感す抑も本島は帝國領土の一部にして列強の所謂植民地と同視すべからざることは夙に歴代總督の宣明せる所にして本島に於ける文化竝に産業の發達と島民福祉の增進とは帝國國運の興隆と相伴ふべく最密接の干繫を有すること復た贅するを須たず由來本島統治の根本精神は始政以來炳乎として日星の如く一視同仁の聖旨を奉體して德化を宣布し闔島四百萬の衆庶をして忠良なる臣民たるの實を擧げしめ以て各其の堵に安ぜしむるに在り而して之を實現するの方途たる一にして足らずと雖事の輕重緩急を察し時勢の進運に順應し最も本島の實情に適切ならむことを要す顧みて宇內の狀勢を察するに歐洲大戰の經驗は一面各國民の覺醒を促し大に國家的觀念を旺盛ならしめ擧國復興の經綸に努力し向上の機運見るべきもの尠からずと雖他の一面に於ては思想動搖の傾向を呈し動もすれば輙ち國利民福と相容れざるが如き行動に出むとする者あるは寔に遺憾に勝へざる所なり故に文教を振作して健全なる國民精神の培養と醇良質實なる氣風の作興に力むると共に常に人心の機微を精察して嚴

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に戒愼を加へ苟も統治の根本方針と相背反するが如き事象あるに於ては毫も假借する所なく直に適切なる處置に出むとす

顧ふに本島は天惠甚だ豊にして最も資源に富めり而も歴任總督は大に力を產業の振興に效したる結果其の進歩は頗る顯著なるものあり然れども開發せられざる富源尚多く事業の方法等の改善の餘地を存するもの亦鮮からず更に本島の帝國內に於ける經濟的使命に鑑みれば海外特に南支竝南洋に對する地理的關係は運施經營を待つもの頗る多し宜しく從來の研究と經驗とに徵し日新の學理技術を應用して各種產業の振興を計り併て商業の隆昌を策し斯界に一新生面を開拓するの覺悟なかるべからず

諸君は直接行政の任に膺り其の責任重且大なり宜しく躬ら忠誠恪勤の範を垂れ德操を尙ひ官規を嚴にして其の習氣を正しくし服務處事は一に公明親切を旨とし苟も其の威信を失墜するが如きことあるべからず是れ予の諸君に期待する所なり予は諸君の誠實と努力とに信賴し以て斯の重責を全うせんことを期す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歡迎の辭

高木友枝

川村總督閣下此度大命を拜せられ、昨日を以て本島に莅任せられ本日玆に全島官民相集りて歡迎會を催すに當り閣下の賁臨を辱ふし親しく淸光を拜するは吾人の最も光榮とする所なり。

閣下は曩に明治四十二年十月より翌四十三年九月迄制度改正直後の初代内務局長として本島統治の樞機に參畫せられ多大の功績を貽されたり。其の諸施設は歲と倶に益々光彩を發揮し欣然として閣下今日の榮位を迎ふるに似たり。顧れば本島改隷既に三十三年聖明上に在り、歷代總督の統治亦其宜しきを得て庶政日に就り教化僻陬に洽く文物燦然として其の光を放てり。此の時に方り更に新に精緻なる經綸の大策を施さるゝは眞に快心の至りと察せらるゝなり。臺灣を去られし閣下は或は和歌山、香川、青森各縣知事に或は警保局長に、拓殖局長官に或は貴族院議員に或は内務次官に或は南滿洲鐵道株式會社長として多年國家の爲めに貢獻せられたる所極めて大なるは既に周知の事實なり。今や昭和の新政を迎へ榮へある御大典の歲に方り、日進日新の聖旨を奉體し以て本島文化の向上產業の振興、民心の融和、思想の變遷に對する方策に就ては時代の推移に伴ひ積極的に新なる施設を要するもの亦極めて多々あり。是等は擧て總督閣下の明識と同情とに訴へて其の解決を見さるべからず。此際特に明敏達識なる總督閣下を迎へたるは大に時と所とを得たるものと謂ふべく、吾人の欣幸何物か之に如ん。節之より酷熱に向はんとす、冀くは自重自愛親しく全島を巡察せられ具さに統治の現勢を見島民の聲にも聽きて徐

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

々に百年の大計を樹てられんことを切望の至に堪へず。玆に本島在住民を代表して蕪辭を述べ謹んで歡迎の意を表す。（官民合同歡迎會席上）

歡迎の辭

ベートン

此度閣下を本島に迎へ今日此處に閣下の歡迎會を開き充分なる敬意を表する次第である。此際に當り私は臺灣に於ける外國領事團並に居留外國人を代表して衷心閣下を歡迎する光榮を有す。私は閣下の新任について一同の歡喜の情を述べやう。臺灣總督の重要且名譽ある地位は日本帝國の內治に深く感化を及すのみならず又外國に對しても重要さを持つてゐるのである。總督が居留外國人に對して示される友情は非常に外國と日本帝國との貿易上、社交上の關係を密接ならしむるに役立つものであつて今まで充分に實現され吾々は感謝してゐる次第である。川村總督の著任に依つて更に一層此友情を濃厚ならしむるものと信じてゐる。又吾々とても此の友情の强調を固く誓ふものであると同時に吾々領事團は各々政府を代表して總督府に充分なる誠意を披瀝して喜んで微力をつくしたく思つてゐる。（官民合同歡迎會席上）

本島炭業の發達

殖產局技師　高橋春吉

明治三十年に於て僅々一萬九千餘噸であつた產炭は、昭和二年に於て百八十餘萬噸の產炭を示し、產業に運輸交通に其の原動力となり、以て本島各般の進步を促進せしめたり。今三十三回の始政記念日を迎ふるに當り本島炭業の發達に就き敍述するも徒爾ならざるべし。

一、領臺前の炭業

本島石炭に關する舊記は今より二百五年前即ち康熙五十六年發刊の諸羅縣志の內にありて、當時既に多少の採掘行はれた事は確かなる事實で、即ち和蘭人の基隆、淡水方面占據の頃採掘に着手したものと認めらる。

後清國の領となるや、一般に龍脈說（石炭層は龍神の脈にして之を採掘する者は神罰を蒙る）の迷信あり、官は屢々採掘を禁じたれども利に敏き島民の一部に在りては密掘が絕へなかつた。以來時勢に伴ひ勢ひ禁じ能はざる狀況に進んだ爲め、官憲は玆に强硬なる態度を執り「石炭を採掘する者は其罪死に當り且つ懲罰子孫に及ぶ」旨を炭田地方各所に揭示した。然れ共尙ほ密掘は絕へなかつた爲め、遂に同治九年（明治三年）基隆附近に七十坑を限つて公許するに至つた。其の後光緒二年（明治九年）基隆附近八斗子に官營の大規模の新式炭坑を開始せしが、光緒十年清佛戰爭に際し自ら破壞した。翌十一年には一次臺灣巡撫に擧げられた劉銘傳が之を復舊したるも、光緒十七年邵友濂が巡撫たるに及び又之を閉鎖し、一時は寂寞を極めたが、同十九年に入り民業炭山稍々發展の緒に就かんとせしも、翌二十年日淸戰爭の起るに及び又衰頽に歸し、全

く炭業として見るべきものが無かつた。

二、帝國領臺當時炭業及帝國の政策

領臺後は從來の鑛業經營者及び區域を限りて採掘許可の方針を示したれど、當時許可を受けたるは僅に四鑛區に過ぎず、其他は尙ほ密掘の跡を絕へなかつた。明治二十九年九月一般臣民に鑛業の許可を爲すべく規則を發布せられてより、漸く密掘は止む事を得た。一面總督府にては鑛物調査を施行し、斯業の保護奬勵に努め幾多の炭層を發見し調査報文等を發刊した。されば爾來採掘許可を出願する者續出したが、明治三十年には十五鑛區百七十八萬坪に過ぎなかつた。同年の產炭も僅かに一萬九千噸に止まり、甚だ貧弱であつたが、炭層の新發見續出し前途の發達は內外共に認むる事となつた。

三、日露戰爭當時の炭業

鑛區及產炭は領臺後逐年穩健なる發達を遂げたるも、未だ重要產業として見るべき時機には到達して居なかつた。然るに日露開戰を炭業第二期として、一大發展の曙光を認むるに至つた。而して三十五年七月現行の鑛業規則竝に同施行細則を發布せられ、炭業者は眞に據る處を得、以來益々發達し、本島重要產業の內に加はる事を得たのである。爾來健實に發達し其の潛勢力は逐日強大なりつゝ大正五年歐洲大戰勃發迄至極平穩に過ごしたり。

四、炭業の大發展を促進せる歐洲戰爭

大戰の勃發以來、一般產業の興隆、船舶の活躍等により、島內は勿論、南支、南洋の石炭需要激增し、且つ對岸に於ける銀相場を逐ふて昂騰し、加ふるに內地炭、撫順炭等の出廻り比較的手薄となつたので、此機を逸せず本島炭は南支、南洋に向つて販路を擴張し新販路を開拓した。其の活躍に伴ひ、島內採炭設備擴張に全力を注ぎ、團體經營の增加、設備の改善等日に次で起り、內外の資本を集中し茲に大發展を見るに至つた。而して本島重要產業となれるは勿論、海外輸出に於ても一、二位を爭

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ重要貿易として、本島經濟界に貢献せしこと甚大にして、輸出は其低止する處を知らざりし盛況にして、一部人士の間には石炭輸出制限論を高唱さるゝ迄に至つた。本島炭田は最北部に能く發達し居り、之を北部煤田と稱し、炭坑は全く北部の獨占の狀況にありしも、此機に至つて炭業勢旺盛となつた爲め、臺北州下は勿論新竹州下蕃地に至る迄鑛區の出願續出し、炭田區域の擴大に伴ひ採掘區域亦漸次擴大し、今や石炭鑛區七百八十、面積二億三十萬坪となり年產二百萬噸に垂んとし、其の三分の二は移輸出並にバンカーに供給しつゝあり。島內消費は、溯つて考ふるに明治四十一年縱貫鐵道全通し、一般產業も著しく發達し、船舶の出入亦日に多きを加へ、或は又製糖工場の勃興等により需要を增して來たのである。されど需要の增加は南部地方を主とするを以て、運賃並に貨車繰の關係上、內地炭、撫順炭の輸移入の比較的有利なりし時代ありしを以て島內にては、四十二年頃より採炭設備改善、狸掘の廢止、機械の新設等に意を用ふるに至つたけれども、大正四年頃迄は主として島內消費量の供給に止まり、輸移出は餘り振はなかつたのであるが、前述歐洲大戰の影響を受け一躍して輸出大發展を示し、年々十萬乃至三十萬噸の增產を見、大正八年には實に百萬を越へ、其の後逐年增產し、今や二百萬噸に及ばんとしつゝあり。而かるに大正九年下半期に入りて、銀相場暴落し輸出不利に遭遇して石炭輸出制限の自然の結果を招來せり。

炭業界は戰時好況時代に舊策、大投資を行へるをもの多く、從つて炭業不況となるや大投資後の事業縮小は頗る苦痛とする處なれば、極めて薄利に安んじ操業は繼續せられつゝありて、產額は年々增加すれ共、昔日の如き利益無く只大量生產によりて經營をなしつゝあり。

五、領臺當時よりの發達の徑路並に現在の狀況

領臺以來の石炭產額を比較し其の發達の跡を見るに

明治三十年	一九、二七五噸	一〇三、〇七八圓

同 卅五年	九六、五八五	三一六、六〇〇
同 四十年	一三四、一八六	四八四、四八二
大正元年	二七六、二四六	九一六、五八四
同 六年	六七三、〇〇八	二、九三〇、二七一
同 十一年	一、三四七、四四九	八、二六三、四〇六
昭和二年	一、八〇〇、四四〇	六、一七六、八三七

即ち昭和二年の産額を明治三十年と比較すれば産炭高九十三倍強、價額百三十倍、日露戰役當時に比すれば産炭十九倍、價額五十三倍強となり、又歐洲戰亂勃發當時の大正五年と比較すれば、産炭一倍四分、價額八倍四分に相當す。然るに昭和二年下半期に入りては對岸支那動亂の爲め需要を減じ、且つ荷揚げに於て大打擊を蒙りしも、輸出船用炭並に內地への移出尠なかりしを以て、前年と略々同量を採炭せり。抑々本島產業は既に農業に於て或程度迄の發達を遂げたるを以て、將來本島は工業的方面の活動を要求するの時代となり、島內消費炭は彌々益々增加すべく豫想されるのである。此の機に當り鐵道沿線の小炭業者も島內供給に主力を盡し、今や炭業界は極めて平靜となり、採炭區域も逐次南部へ移動する傾向あり、又一時炭業旺勢時代の「炭礦ブローカー」其跡を絕たんとするに至つた。本島炭を尙ほ進んで煉炭の製造、コークスの製出に重きを置き、第一問題として島內に對し優良炭の供給に努力せざる可らず、當局に於ても是等の政策に就ては常に考慮を拂ひつゝあるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特報

建功神社鎭座祭

祭神一萬五千三百五十柱、本島開發に貢獻せる英靈を永へに齋き祭る建功神社鎭座祭は七月十四日午前八時から川村總督田中軍司令官はじめ全島官民一千餘名並に遺族三百餘名參列のもとに、臺北市南門町植物園内の新殿で莊嚴に執り行はせられた。この日日本晴の快晴曉霧をついて午前五時百雷三發島都の中空にこだまするや、午前六時早くも準備は整へられ限なく掃き淸められた神域は、自然の風致と相まつて神々しく御靈代の御參著をまつ。

これより先きこの新殿に永へに鎭座する御靈代は、午前六時齋館たる總督府内會議室の假奉安室で奉遷の式を行ひ、石黑土務局長の手によつて廳舍玄關に奉遷さるゝや、待ちもうけた護衛の人々は一齊に最敬禮をなし各々定めの位置について奉遷の行列を作る。

行列は前衞に警部補一人、消防組員八名、青年團員八名、在鄕軍人八名、警部二人、神職一人を先驅にし、次で御靈代は三人の白丁によつて奉持され、幣物石黑土務局長、警部二名、在鄕軍人八名、青年團員八名、消防組員八名これにつゞき後衞となり、午前七時表玄關發總督官邸表門を南へ城南門を左に廻り兒玉町警官派出所前の十字路を西に折れ西進して靜々と建功神社に向ふ、かくて沿道に奉迎する學校各種團體の最敬禮をうけつゝ七時四十分神社正面西入口に著けば遺族總代三神

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

豐之助、傅炎輝兩氏、文官總代幣原帝大總長、武官總代佐藤參謀長、各州廳總代三浦、永山、佐藤、片山、太田、中田、齋藤、增永各州地方長官、田端臺北市尹、高木祭神資格審査員總代恭しくこれを出迎へ、佐藤主任神職の案内で一先づ境内に設けられた假奉安所に入る。

今日合祀の榮譽に追慕の涙を新にした遺族は、早朝係員の案内で自動車を連ねて祭場著、本殿西側の幄舍に入つて靜肅に居並ぶ。一方東側の幄舍には、祭神の功勳を欽慕する來賓續々と參集し、午前七時さしもに廣い聖場も立錐の餘地がない。午前七時十分川村總督は坂口社會課長の案内で來著、參列員の敬禮をうけつゝ定めの席に著き、修祓も滯りなく、莊重の氣社殿の内外に漲る。一先づ假奉安所に奉安された御靈代は、午前八時衣冠の神々しい豐田鎭座祭長を隨へ佐藤主任神職の先導にて盛り砂の參道を進み、一の鳥居神橋を經て參列員並びに遺族の最敬禮裡に木の香新しい本殿内陣に奉安、かくて鎭座の式は順序よく進められ、川村總督、田中軍司令官、三神、傅炎輝兩遺族總代、幣原文官總代、佐藤武官總代、各州廳知事、米、英、蘭三國領事、田端市尹、高木會長の玉串禮拜あり、次いで參列員の拜禮あり、同十時莊嚴裡に諸式滯りなく濟み閉式。

合祀された祭神

建功神社の御祭神は内地に於ける招魂社の例に則り、本島の事情を考慮して其の範圍を擴大し、苟も身命を本島公共の爲めに效せるものは官職の有無、地位の高下を論ぜずすべてこれを合祀することゝし、建功神社合祀者資格審査會の愼重なる審議を經て此處に祭神に列せるものにして、現在に於て其の數一萬五千三百九十二柱に達した。

陸軍軍人軍屬軍夫　八、七四七

海軍軍人軍屬　三七〇

警察官（警視以下巡査補）　二、三一四
警察職員（隘勇、警手官役夫）　二、七一七
文　官　五九四
教育者　二一七
官公署傭員職工役夫　三七三
消防組員　一
保甲役員壯丁團員　一七
殉難者　四一

工費

總督府は大正十五年度豫算に招魂社造營費を計上し、臺北市南門町植物園内に約四千坪の地を相して神社を建設することゝし、同十五年四月三十日を以て其の地鎮祭を執行而して翌昭和二年七月愈々起工をなし、爾來工を急ぎて昭和三年三月上棟式を擧け、同年七月竣成を見るに至つた。其の工費總額約九萬圓である。

臨時例祭

建功神社臨時例祭は、七月十五日午前八時から英靈永へに鎮まり給ふ神殿に於て執り行はせられる。早朝掃き清められた祭場に、來賓五百餘名竝びに遺族三百餘名、東西の幄舍に著席する。午前七時四十分、幣帛供進使豊田長官代理は衣冠裝束も神々しく各隨員を隨へて正門西入口に參著、佐藤主任神職竝に各總代の出迎へをうけて參進して祓所につく。間もなく川村總督來著し、鎮座後最初の祭典が八時十分から始められた。先づ奏樂裡に御扉を開き畢つて佐藤神職祝詞を奏す、祭場粛として聲なく、遺族席にすゝり泣の聲さへもるゝ森厳さである。式は型の如く順序よく進み、川村總督、田中軍司令官、三神、傳兩遺族總代、幣原文官總代、佐藤武官總代、三浦、永山、佐藤、片山、太田、中川、齋藤、增永各州廳民代表、英、米、蘭三國領事、田端市尹、高木審査會員總代の玉串禮拜について、遺族竝に參列員一同神前に額いて偉勳を欽慕して復席、次いで幣物神饌を撤し同十時閉式した。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時　報

臺中不敬事件判決

去る五月十二日臺中市へ御成の陸軍特命檢閲使久邇大將宮殿下に畏多くも短刀を以て危害を加へ奉らんとして及ばなかつた朝鮮出身趙明河は七月十八日死刑の宣告を受けた。

川村新總督著任

川村新總督は七月五日蓬萊丸にて著臺午後二時五十五分著北同三時十分無事官邸に入つた。六日は臺灣神社參拜明石總督の墓參を爲し午前十時初登廳を爲し訓示を爲し軍司令部を正式訪問し午後五時鐵道ホテルに於ける官民合同歡迎會に臨席した、

總務長官更迭

後藤總務長官六月二十六日辭任と同時に河原田稼吉氏を其後任に決した。

後藤前長官挨拶

本日退官の恩命を拜しました臺灣在任約四年間二代の總督に使へて臺灣の統治に盡瘁して來たのでありますが微力不徳にして上司並に官民各位の御期待に添ふ事を得ざりしは實に慚愧の至りであります然るに在任中は官民各位より常に深甚なる御懇情と熱誠なる御後援を受け實に感激に堪へざる所であります茲に任を去るに當り改めて深厚なる謝意を表し併せて各位が將來益々臺灣の向上發展の爲に御努力あらん事を希望する次第であります顧みれば感慨無量なるものあり又臺灣に對する惜別愛著の念堪へ難きものがあります小生又臺灣を去ると雖へども臺灣の爲に生涯微力を捧ぐる決心でありますお別れに臨み島内官民各位が邦家の爲益々御自愛あらん事を祈念し併せて將來不相變御懇情を賜はらん事を御願ひする次第であります。

上半期本島貿易

本年一月以降本島貿易累計は

輸出	一六、二〇五、九六三
輸入	二九、一〇〇、八五五
計	四五、三〇六、八一八
移出	一三八、一二六、三三一

移入	六三、七三四、七四〇
計	二〇一、八六一、〇七一

之を前年同期に比べると、輸出は三百八十九萬三百九十五圓減、輸入七百七十萬六千五十五圓減、移出は、九百二十五萬三千六十一圓増、移入は八百五萬七千三百十三圓増で本年上半期中貿易累計は、内地貿易は、出入共前年より増加合計二億百八十六萬一千七十一圓で、七千四百三十九萬一千五百九十一圓の出超、外國貿易は、合計四千五百三十萬六千八百十八圓で、一千二百八十九萬四千八百九十二圓の入超を示してゐる。即ち本島本年度上半期の貿易狀態は對外貿易に於ては、支那動亂銀高圓安の爲替關係、それに外米輸入制限令實施により之が主なる原因となつて輸出入共激減し、殊に輸入は累計に於て七百七十萬餘圓の減少であるが、内約一千萬圓は輸入米の減退であるから、之は主として外米輸入制限令の影響と見なければならぬ。次に内地貿易は、對外國貿易と反對に、移出入共激増であるが、之は上記事由で對外貿易が阻まれただけ、内地向貿易に轉嫁されたもの(例へば砂糖糖蜜樟腦の如き)が多い。而して一月以降の内外貿易累計は、二億四千七百十六萬七千八百八十九圓に達し、前年同期に比し、五百七十一萬三千九百二十七圓の増加である。又上半期中貿易上の收支關係をみると移出輸出合計は一億五千四百三十三萬二千二百九十四圓で移入輸入合計は九千二百八十三萬九十五圓、この差引は六千百四十九萬六千八百九十九圓の出超にして、之を前年同期に比べると、前年は移輸出合計一億四千八百九十六萬九千六百二十八圓、移輸入九千二百四十八萬四千三百三十三圓で、差引五千六百四十八萬五千二百九十五圓の出超であるから、本年は出超に於て、前年より五百一萬一千六百四圓の増加である。即ち、總額も増加出超額も、増加の點から本年上半期の本島貿易關係は昨年より好調であると云へやう。

上半期全國貿易額

一月以降上半期の全國對外貿易累計は

（單位千圓）

輸出	九四二、七六四
輸入	一、一七七、〇六〇
計	二、一一九、八二四
入超	二三四、二九六

昨年同期に比し六千百六萬七千圓の入超減を示した。之は輸出増加に依るものに非ずして全く輸入總額が六千七百萬圓の激減を示したるもので、其内主要なるものは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

棉花	一三、七〇〇
米及籾	四一、七五〇
油粕	一二、九四〇

輸出も總額に於て六百二十萬八千圓の減少で

生絲	二九、五八〇
綿織絲	一八、〇八〇
綿織物	一六、四四〇

の如き一層著しきものである。本年度の貿易は著き改善を示し、結局入超は一億二、三千萬圓程度ならんと觀られる。

州廳別人口調

昭和二年十二月末日に於ける州廳別現在人口左の如し。

州廳及種族		男女合計	前年末現住者男女合計	前年に比し増△減
臺北州	內地人	八七、四六二	八五、二二二	二、二四〇
	本島人	七五九、〇〇七	七四五、三〇三	一三、七〇四
	外國人	二〇、二四三	一九、四六七	七七五
	計	八六六、七一二	八四九、九九二	一六、七一九
新竹州	內地人	一一、六二四	一一、〇八八	五三六
	本島人	六二二、四三九	六一〇、四二二	一二、〇一七
	外國人	一、四八三	一、四二一	六二
	計	六三五、五四六	六二二、九三一	一二、六一五
臺中州	內地人	二四、九六二	二三、九六八	九九四
	本島人	九〇一、三二〇	八七六、五二一	二四、七九九
	外國人	三、五一二	三、〇九九	四一三
	計	九二九、七九四	九〇三、五七八	二六、二一六
臺南州	內地人	三六、四五一	三五、〇三一	一、四二〇
	本島人	一、〇四七、七六六	一、〇二五、三一五	二二、四五一
	外國人	六、一三四	五、六二八	五〇六
	計	一、〇九〇、三五一	一、〇六五、九七四	二四、三七七
高雄州	內地人	二三、八七六	二二、三三三	一、五四三
	本島人	五二六、六八八	五一七、四五二	九、二三六
	外國人	四、六三二	四、〇一二	六二〇
	計	五五五、一九六	五四三、七九七	一一、三九九
臺東廳	內地人	三、八八五	三、九〇二	△一七
	本島人	四〇、〇〇七	三九、五六九	四三八
	外國人	五九六	五九五	一
	計	四四、四八八	四四、〇六六	四二二
花蓮港廳	內地人	一二、九〇〇	一二、四九一	四〇九
	本島人	五二、四四五	四九、八〇一	二、六四四
	外國人	一、一九七	一、一四四	五三
	計	六六、五四二	六三、四三六	三、一〇六
澎湖廳	內地人	二、八四〇	二、七三四	一〇六
	本島人	五九、五五五	五八、三八九	一、一六六
	外國人	四七	四九	△二
	計	六二、四四二	六一、一七二	一、二七〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

合計 內地人	二〇三、九九〇	一九五、七六九	七、二二一
本島人	四、〇〇九、三二七	三、九二三、七六二	八五、四六五
外國人	三七、九五三	三五、五〇五	二、四四八
計	四、二五〇、一六〇	四、一五五、〇三六	九五、一二四

備考　本表には蕃地に在る生蕃人を含ます

一期米豫想

七月六日總督府發表によれば、本年第一期米作は、挿秧當時は臺南州下に於て用水不足のため作附を減少せしも、臺北州下に於ては之に反し用水潤澤であつたのと、荒廢地の開拓災害地の復舊あり、新竹州下に於ては桃園大圳通水區域の擴張あり、臺中州下に於ては他作物の轉作あつた等の爲め、結局前年當期に比し、作附面積に於て二千百六十九甲四六を増加し、二十六萬八千六百八十三甲〇四の作附面積を得て未曾有の記録を示した。而して六月十五日現在の作況は、一般に天候順調にして良好なる生育を遂げつゝあり、收穫高玄米三百三十四萬七千七百二十二石を豫想するも、本報告後新竹州下に於て稻熱病の發生を見つゝあるから、幾分の影響は免れないであらう。本期豫察高を前年同期の、三百二十五萬四千五百十三石に比するに、九萬三千二百九石(二分八厘六毛)増加、前五箇年平均、二百九十六萬八千二百三十五石に比するに、三十七萬九千四百八十七石一割三分四厘増を示した。尚ほ本期の作附面積及び豫察收穫高を各州廳別に示せば左の通り。

州廳名	本期作附面積	豫察收穫高
臺北	五三、二三五、三六 甲	六五一、〇三八 石
新竹	七四、二〇八、二五	七九三、四一四
臺中	七二、七五八、一二	一、〇五五、一一一
臺南	二七、〇一七、七〇	三三九、五九九
高雄	二九、五六五、五一	三八二、六〇四
臺東	四、九六五、〇五	四九、九一七
花蓮港	六、九三三、〇五	七七、〇三九
計	二六八、六八三、〇四	三、三四七、七二二

島內工場酒精生産高

總督府税務課調査本期島內各工場別酒精生産高を前期實收に比較表示すれば

工場名	本期見込	前期實收
帝糖新竹	八、九九八、六〇〇	八、九〇六、四〇〇
同　臺中	一八、九九六、八二〇	一八、三三〇、〇〇〇
新高新化	一六、四五一、八九〇	一一、六八一、五〇〇
明糖南投	五、九八〇、〇〇〇	五、九三三、二〇〇
同　總爺	六、九八八、八〇〇	三、二一六、一〇八
同　蒜頭	一〇、一七一、二〇〇	一〇、四九一、六一〇
同　南靖	一三、九九〇、〇〇〇	一三、一二六、五〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日糖虎尾	二一、〇一九、五一九	一〇、九九三、五〇〇
臺糖橋仔頭	一五、八四四、八〇〇	一一、五二八、六〇〇
鹽糖高雄	一一、五五六、四〇〇	一〇、〇〇六、四〇〇
南部製油	二、九八六、六〇〇	一、二二九、〇〇〇
臺糖阿緱	三〇、五二八、〇〇〇	二三、四七六、四〇〇
鹽糖	五、一八五、〇〇〇	四、八四一、七〇〇
計	一六七、一〇七、六二九	一三、二四五、一一八

で、各工場共前期に比し孰れも増産で、増産の著しいのは大日本の約一千萬斤増加を筆頭に、阿緱の七百萬斤、彰化の四百六十萬斤、總爺の四百八十萬斤、橋仔頭の四百三十萬斤増加であり、總計の一億六千七百十四萬七千六百二十九斤は本島配精産額の新記錄をなしてゐる。

臺南勸業協會組織

臺南市に於ける競賣會は昨年二、三回之を試みたが、その申合規約に不備な點もあり、自然競賣會は消滅したが臺南市當局の斡旋に依つて臺南勸業協會を組織し、其一事業として競賣を爲す事とし七月六日午後一時から市公會堂に於てその發會式を兼ね、創立總會を開き、會長以下役員幹事の選擧並左記協會規約案を附議決定した。

臺南勸業協會規約案

第一條　本會は臺南勸業協會と稱し事務所を臺南州商品陳列館内に置く

第二條　本會は臺南州商品陳列館と連繫協力して商工業の發展を圖りて併せて會員相互の親睦を敦ふするを以て目的とす

第三條　本會は臺南州下商工業者を以て組織す

第四條　本會事業の大要左の如し

一、博覽會、共進會、展覽會、品評會等に參加し又は之を開催すること

二、會員共同販賣會を開催すること

三、各地商品陳列館其他に見本又は委託販賣品を出品すること

四、製品の廣告、宣傳、紹介、價格の統一並取引方法の改善を圖ること

五、土產品其他各種工產品の試作を奬勵助長し及之が資金の融通を爲すこと

六、商工業に關する意見の陳述及諮問の應答を爲すこと

七、商取引の斡旋及商業調査の依賴に應すること

八、商工業に關する視察調査を爲すこと

九、其他本會の目的を達成するに必要なる事項

第五條　會員を分ちて正會員特別會員及名譽會員とす

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

正會員とは本會維持費として加入の際金五圓を納付する者を謂ふ

特別會員とは本會維持費として毎年金十圓を納付する者を謂ふ名譽會員とは本會の事業を翼賛援助し特に參加したる者を謂ふ

第六條　會員は出品物賣上代金の百分の五を本會維持費として納付するものとす

第七條　本會に左の役員を置く

會長
副會長　二名
評議員　十名
幹事　二名

會長は臺南州商品陳列館長を推戴す

副會長及評議員は總會に於て之を選擧す

幹事は會長之を命免す

第八條　會長は會務を總理し會議の議長となり副長は會長を輔佐し會長事故ある時之を代理す

評議會は重要なる會務を審議す

幹事は會長の指揮を受け會務を處理す

第九條　役員の任期は二年とす

役員は總て無報酬とす

第十條　本會に有給又は無給の書記若干名を置き會長之を命免す

書記は會長及幹事の命を受け會務に從事す

第十一條　本會は毎年一回四月總會を開く但し必要の場合は臨時總會を開くことあるへし

第十二條　總會に附議すへき事項左の如し

一、經費豫算及決算
二、規約の變更
三、其他重要なる事項

第十三條　本會の事業年度は四月一日より翌年三月三十一日までとす

第十四條　本會の經費は第五條及第六條の收入金の外寄附金、補助金、其他の收入を以て充つ。

備　考

加入承諾者相纏りたる上は設立者總會を開き規約及役員等決定する豫定

尚ほ本協會第一回の事業として開始する豫定であるォークション（競賣）の規定を左の通り議定し近く實行の筈であるが其場所時日等も序を以て決定することゝなつて居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、事業の大要

イ、會員及其他の委託を受け各種商品の競賣をなす

ロ、運送業者、倉庫業者其他の委託を受け貨物の競賣をなす

ハ、銀行業者其他の委託を受け擔保品の競賣をなす

一、競賣方法

イ、委託品を一定の場所に陳列して正札（委託者の附したる價格）を以て即賣するもの

ロ、入札に依り即賣するもの

ハ、競賣に依り即賣するもの

A、委託者の定めたる最低價格以上にて即賣するもの

B、成行相場にて即賣するもの

一、時日及場所

其の都度前以て發表す

一、手續

委託者は特に指定せざる限り競賣開始二時間に委託品に目録（協會所定の樣式に依る事）を添へ會場に搬入すへし

但し運搬に要する費用は委託者の負擔とす

一、賣上金及殘品

賣上金は競賣を行ひたる翌日迄に精算を爲し委託者に交付す賣殘品亦同し

一、手數料

手數料は賣上金高の一割とす但し賣殘品に對しては指値又は見積價格の三分を申受く

手數料は賣上金精算の際之を申受く本協會員の委託品に係る手數料は前項半額とす

米穀檢査事務打合會

殖産局では米穀檢査所の各出張所、派出所の主任者十六名を招集し、局から横光米穀檢査所長以下の係員出席の上、六月二十六日午前八時から、米穀檢査事務打合會を開催二日間に亙り、初日殖産局長の訓示、諮問事項の答申、注意事項二日目は協議事項、質問事項、希望事項を協議し午後四時を以て閉會した。

（諮問事項）

一、出張所内に於ける檢査の統一に關し實行しつゝある方法を問ふ

一、米穀檢査指定倉庫中の實狀如何

（協議事項）

一、昨年六月より本年六月に至る檢査の概況を問ふ

一、重量檢査に關する件

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、包裝に關する件
三、種別表示に關する件
四、檢査證印押捺竝に票箋の添附箇所に關する件
五、檢査倉庫の構造に關する件

局長訓示

今回當府に於て米穀檢査官會議を開催するに當り幸多數の參會を得て親しく本局の希望を開陳するとゝもに各位の意見を聽取し以て米穀檢査事業の改善發達に資する機會を得たるは本官の欣幸とする所なり。

殖産の振興に關し施設すべき事項多々ありと雖も米穀檢査の事業は現時内地に於て頻に研究せられつゝある食糧問題に密接なる關係を有するを以て其檢査の方針及方法の研究は最も重要なる事項の一に屬す本來米穀檢査は上米を上米と認め下米を下米と査定して適確なる標準を示し取引の圓滑を期するを以て目的とすれども其結果としては或は品質の向上調製の改良に資し或は保管竝に運送の方法に注意を促すことゝなり帝國の食糧供給上に密接なる關係を有し其の影響する所重大なるものあり米穀檢査が取引の圓滑を期するを以て目的となす以上は其査定の結果は査定の場所之に從事する人を異にすると雖も絶對に同一ならざるべからず然るに動もすれば檢査不統一に流れ檢査の效果を効なからしめ檢査の威信を傷けたることありて甚だ遺憾に堪へざりしを以て從來屢々檢査の統一を强調し來れるなり。

檢査の統一は檢査組織の統制に俟たざる可らず即ち米穀檢査所を以て檢査の單位と爲すを理想とすれば出張所主任は擔當の出張所を單位として其の統一を圖るを念とすべく檢査所長は更に全出張所の檢査を統一するを以て其の任となすべきなり。

本官が檢査に關する大綱として指示する所は檢査に從事する各位が統一ある檢査を爲す事に精勵すべしとの一語に盡くると雖も米穀檢査事業は其の性質上米に關する一般當業者の自覺と協力に依り初めて完全に其の目的を達成し得るものにして而も其の檢査の結果は當業者の利害に直接重大なる影響を及すものなるを以て各位は關係當業者の啓發に就ても充分に意を用ゆると共に各方面に愼重の考慮を拂ひ永遠の公益を旨とし弊害の豫防及矯正に留意して事務の遂行に當られん事を希望する次第なり。

檢査施行の方法に付ては上述の大綱に基き最も時宜に適應する方法を選ばざるべからず。

本日各位の會合を煩したるも實に此の趣旨に出るものな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れば各位は腹臓なき答申又は協議を供述し以て本事業の完備に貢献せられん事を切望して止まざるなり。

七月二十一日殖産局で査定された第一期標準米は左の通り。

一期標準米

蓬萊白米

一等　臺北州新莊郡新莊街産
二等　同
三等　同

蓬萊玄米

一等　臺中州彰化郡大竹庄産
二等　臺北州新莊郡新莊街産
三等　同

長粒粳玄米

一等　高雄州岡山郡楠梓庄産
二等　高雄州屏東郡長興庄産
三等　高雄州潮州郡潮州街産

長粒粳白米

一等　臺中州臺中市産
二等　同
三等　臺北州新莊郡新莊街産

丸粒糯玄米

一等　新竹州苗栗郡苗栗街産
二等　新竹州中壢郡中壢庄産
三等　同

長粒糯玄米

一等　臺中州北斗郡田尾庄産
二等　臺中州彰化郡秀水庄産
三等　臺中州北斗郡田尾庄産

臺南州下米種改良事業

臺南州本年度施行の米種改良事業は、州下産米の品質を向上し收量を增進し、以て優良米の生産増殖を圖らんが爲に、明治四十四年度以降農會が專ら漸進的に此の實行に當つて居たのであるが、大正十二年度以降その主腦部を州に移し時勢の推移に順應し從來の漸進的より一變して積極的に改良增殖に全力を盡すに至つた者である。而して四箇年を一期として一般米農の種子に更新を企畫し來り、第一次を明治四十四年度より大正三年度に亘り、第二次を大正四年度より七年度に、第三次を八年度より十一年度に、第四次を十二年度より十五年度(昭和元年)に亘つて遂行し、今回は第

五次、卽ち昭和二年度より同五年度に至る第五次繼續の改良事業である。州に於ては基本調査として品種の限定、品種別種子量の調査、原種の選擇及び採收、團體選種、地方試作をなし、農事試驗場にては稻の育種、地方試作の成績に基き選拔された純系種又は優良品種の原種增殖をなし、農會にては是等原種の增殖、選種、所要種子量の調査、改良種子の配付普及に努め州下全體に亘つて在來種子の更新を期することゝなつて居る譯で、州にては之れが實施に當り關係各當事者並びに農民を招集して米種改良事業の趣旨及び講話を行ひ、其の徹底に努め、原種の採收法は團體選種、個體選種に依り本島種蓬萊種に對し、夫々周到適切なる方法に依り原種の蕃殖配付を企畫し、殊に今次計畫の主眼とされて居る蓬萊種に對しては特筆すべき努力が拂はれて居る。

尚ほ採種團體の指導監督を十分ならしめ、共同苗代、共同採種、改良種籾の播種、挿秧監督等遺憾なからしめ、且つ各品種の標本を作製して、一般の參考に資し次で產米の成績調査等徹底的に企業されて居る。之れに依つて見るに如何に州下の米種改良に積極的努力が拂はれんとしつゝあるかゞ窺ひ得られる。

元來臺南州の水陸稻は州下各農產物價格中首位にあるが面積の比較的少い臺中州下產米高に比すれば劣位にある狀態であるが、こは一は水利の如何にあるので、今や嘉南大圳の通水も着々實現しつゝある狀態にて、當局としても此の際米種改良諸事業に大馬力をかけるに至つたのも當然と云ふ可きである。

特に蓬萊米の增殖は刻下の急務とされ居るは亦云ふ迄もなきところ、獎勵方針、州當事者の之れに對する諸施設遂行積極化し、嘉南大圳の通水と相俟ち今や州下產米の成績上に一新紀元を劃すべき時と見られて居る。

經濟的な新蔗作法

中部水田地の如く小作料高き土地に甘蔗作を爲すには、經濟的に有利な方法を講ずる必要がある。彼の糊仔甘蔗の如きも其の一方法である。近頃新發見の客壠甘蔗も之と相竝んで漸次各方面に普及されんとする經濟的蔗作法の一種である。新高製糖彰化工場では、右につきその作法を區域內蔗農に周知せしむべく努力して居る。其の作法は

一、第一期米收穫の後卽ち六七月の頃直に鋤起し大壠（大きな畦）を造り一壠（一畦）置きに蕃薯を挿植し八月に至り他の一壠（之には蕃薯を植えない）の兩側に甘蔗の植床を造り植付を爲すのである、一壠兩側の甘蔗植床の間隔卽ち

畦幅は普通四尺二寸宛とする（何故に甘蔗より早く蕃薯を挿植する必要ありやといふに之は蕃薯の生育期間と收穫時期に於ける價格の關係である）

二、此の方法によると普通早植と何等變るところなく極めて安全且つ確實に增收を期し得られる、決して失敗することはない。

三、收支計算豫想　蕃薯を十二月に收穫し甲當收量二萬五千斤、百斤單價一圓五十錢とし甘蔗を多收奬勵金制度により甲當收量二十五萬斤、單價七圓三十錢で賣却するとせば左の如き收入計算となる。

甲當蕃薯收入	三七五圓
同甘蔗收入	一、八二五圓
計	二、二〇〇圓

之に對する支出如何と見るに

小作料　甲當五十五石（一箇年半分）一期蓬萊石七圓三十錢二期在來種石六圓として甲當四七九圓〇五錢

肥料　甘蔗に對し調合三〇叺硫安一〇叺豆粕三〇枚此の價格二三六圓、蕃薯に對し豆粕一〇枚此の價格二二圓

種苗　甘蔗三萬本、一萬本三〇圓替として九〇圓、蕃薯莖四圓

耕作費　甘蔗一五〇圓蕃薯四〇圓

支出合計一、〇二一圓五錢

差利益豫想一、一七八圓九五錢

甘蔗の收量を二十萬斤としても差引六九三圓九五錢の利益がある。

四、蕃薯の生育期間と收穫時期の關係

嘉義農事試驗場の四箇年平均實績を見るに蕃薯の甲當收量は生育日數の長短に殆ど比例してゐる、即ち

生育日數	甲當收穫量
一二〇日間	一七、三四七斤
一三五日間	一八、〇四八
一五〇日間	二四、〇七〇
一六五日間	三〇、〇五九
一八〇日間	三三、五六九
一九五日間	三八、〇〇八
二一〇日間	三九、七四八
二二五日間	三八、一四五

右表によれば蕃薯の生育期間長き程收量が多い（生育日數二二五日間の場合は却つて永過ぎて二一〇日間の場合より劣る）従つて中部では第一期作收穫後蕃薯の植付を一日も早くする必要が認められる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五、蕃薯の月別價格表

蕃薯の平年三箇均月別相場を見ると（員林渡百斤建）

一月	一、四三円	二月	一、二〇円
三月	一、〇〇	四月	〇、八〇
五月	一、二五	六月	一、一五
七月	一、二五	八月	一、三〇
九月	一、〇〇	十月	一、三〇
十一月	一、六〇	十一月	一、五〇

即ち一月に高く二月より漸落四月最も安く（之は南部地方出盛りの關係だらう）五月昂騰八月迄一高一低大體保合九月に安く十月から漸騰十一、十二月は一年中最も高い。以上二表によつてみれば最も多收穫を爲し且つ最高の價格を得んと欲すれば、蕃薯を以前に押植し十二月前後に收穫すること最も有利である。又蕃薯を早く收穫することは甘蔗の增收を一層確實ならしむる所で此の點より觀れば一期作收穫期の早い蓬萊米を植え早く收穫して直ちに大壠（畦）を造り寄壠甘蔗を爲せば農家に取つて一擧兩得であると同時に、製糖會社も之によつて原料を充實し、且つ小作料不廉の影響を受くること少くして、業績發展の一助となり所謂共存共榮の實を擧げ得るわけである。

前年の農產高

總督府當局の調査に依れば昭和二年中の本島農產物生產高は二千七百六十六萬七千百八十六圓にして前年度の二千八百四十萬九千七十八圓に比し七十八萬一千八百九十二圓の減收を示した。これが生產の內譯を記すれば左の通り。

種別	收穫高（斤）	價格
×甘藷	二、一二五、〇七九、二四五	二一、三七二、八一三
大麥	四、一九七（石）	三六、三一六
小麥	二、六八七	四五、一二九
粟	一一、〇一四	一四、三〇一
黍	九、三二一	一〇、八一二
○大豆	四七、九七八	八六五、四八〇
其他豆類	四二、六三三	七〇三、三三六
×落花生	四七〇、一六四	四二、五九七、一五一
○胡麻	一〇、八六九	二六七、五五二
○桑種	八七九	一七、九八〇
鬱金	一八九、九一四	二、七七四
苧麻	一、九二二、一九七	五四八、七九一
黃麻	六、〇八三、一九六	七九三、二六三
○大甲藺	二〇、七〇八	一六、三四一
荳豉	一、一九二、二〇四	一七二、四三三
鳳梨罐詰	二、〇〇七	二、一一二
計	—	二七、六六七、一八六

○印增產　×印價額減少

烏龍茶市況變調

本年の烏龍茶取引が大變調を來し、例年より著しく遲れたのみならず、輸出商は徒らに形勢を觀望し、上茶のみは買付けをなすけれど、下茶に至つては全く見向きもしないといふ狀態にあるので、大稻埕市場には是等の停滯茶山をなし現在の商況が永續するならば、彼の大正九年の世界的財界不況の際の如く島内には多大の黴茶を生ずるに至るやも測られない狀態で、生産者及び再製茶館は其の前途を大に氣遣つてゐる。

斯く不況を現出してゐる原因は不景氣のためでもあるがアメリカに於ける飲料界の傾向が近年大に變り、茶よりも他のものを好むやうになり、之がために、アメリカの製茶消費額は稍々減退しつゝあるところへ、前年末印度、錫蘭爪哇、日本、臺灣、支那などから盛んに輸出されたので、茶の供給は非常の過剩となり、現在アメリカの茶價は、烏龍標準茶一封度十六仙を唱へ、産地が餘程の安値でなければ買つても引合はず、アメリカからは少しも注文が來ぬので、極度の不振に陷つてゐるものであるらしい。

荷役合同問題打切

合同荷役問題は六月十三日交通局總長の當路者召集の際その提起目的につき意見が纒り滿場一致を以て總長の希望條件を容れたので其の席上實行委員を擧げ同委員は前後七回會議を重ねたが、最近に至り大阪商船會社は實行委員會に於て從來の方針に違つた意見を出し船内荷役、艀船荷役、貨車積卸しは業務の範圍から除外すべきものではないとし是れは先般同意の事柄を覆へす樣な問題であるので商船會社の賛否を更に確める必要を生じたと認め、實行委員會は一時中止の狀態となつて居たが、二十一日に至り小原支店長は書面を以て新會社設立の根本方針に明確に反對する意見を提出し爲めに初めの合同の主旨を沒却し荷役改善の目的を達し難いものとなり實行委員會を閉鎖するの止むなき事情に至り此の上は官廳の適當と認める方法で管理經營する外無いと云ふことに歸著し二十三日其旨木下前總長は聲明した。

合同荷役會社新設に關する
大阪商船株式會社意見

今回督府の目的は基隆、高雄の官設倉庫及び埠頭の利用及び海陸連絡機關の統一にあるが巨額の國費を投じたる設備を其の目的を達する爲め民營諸機關を合同し一營利會社の支配下に置く事は所期の目的を達するに不適當と思ふ。

此の目的を達するには先づ新埠頭及び倉庫を中心としたる事業を官廳管理下に置くか又はポート・トラストの如き公共的の機關を作り其の管理の下に置き順次海陸連絡機關の統一に進むを以て至當と思ふ。

昭和三年七月二十一日
大阪商船株式會社
基隆支店長　小原時雄

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

護謨市價暴落と將來の南洋栽培企業

南洋協會新嘉坡商品陳列所主事 増淵佐平

余の南洋協會雜誌三月號に述べたる「護謨園改良の急務」と題する卑見は一讀決して余のドグマにもあらず斯業關係者の等しく斯く信ずる處なるを知るべく之れは正に今回の市價暴落に鑑み益々實行の急なるを認め得べしとなすべし。若し夫れ依然としてこれを行ざるか、或は新たに科學的栽培法に依る林地を造らざるに於ては、將來必らずや好配當を爲し能はざるの窮地に陥るべし。殊に英反當り四百弗以上の投資額にして十二年を閲するも尚ほ充分の配當を見る能はざる如き園にありては、將來改良園と絶對太刀打ちの資格無しと云ふも敢て過言にあらざるべし。

却說現在新嘉坡に於ける護謨市價二十八仙なるに對し多くの栽培家及投資家は擧つて市價の釣上に汲々たるも、元來護謨價は何程を以て足れりとするか、人爲的の市價を可とするか、又果して永續するか又人も良く之れに答ふるものなかるべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

護謨栽培企業の健實なるはかゝりて消費の增大なるにあり、消費の增大は價額の低廉にあるなり。而かも道路補裝に實用化せらるゝに至り、初めて安定的價額を見るに至るならん。輓近栽培業者に傳へらるゝ標準市價一志三片は何を基準とせるか、他の一般農作物に鑑み其の利益果して如何。栽培家として投資家として、利益の多きは元より望む處なるも、栽培家として最も考慮すべきは生產費を出來得る限り低下せしむること及び投資額を小ならしむることの二途あるのみ。

生產費の低下に既に述べたる多產樹栽培及其の他の改良手段に據るを以て其の目的を達し得べしと雖も、投資額を小ならしむることは如何なる方法に依りて以て之れをなし得るや、先づ現在に於ける各護謨園の成績を擧げてこれを基準として述ぶる處あるべし。

試みに一九二七年度の在馬來弗會社七十六園の調書を見るに、投資額の大なるものとしては最高 Sulloh Estate の英反當九百八十弗、第二位 Valleyside Estate の七百三十五弗等を擧げ得べく更に兩會社の內容を轉記すれば、前者は資本百萬弗なる處拂込五十五萬弗にして採收林四百五十六英反、未採收林百五英反、未開墾地百八十七英反、計租借地七百四十八英反なり。生產高は不明なるも政府の查定許可量英反當二百六十八封度なれば實際生產量に夫れ以下なるを想像し得べし。生產費は封度當三十四仙を計上しあり。後者は資本金六十萬弗、內拂込金四十一萬八千弗、借入金八萬一千六百弗にして採收林三百四十二英反、未採收林三百三十八萬英反、未開墾地七十三英反を有し、生產量は英反當三百九封度、拂込資本一弗に對し生產量〇・二封度、生產費封度當二十八仙四五なり。同地は一九二六年に於て七分の配當をなせるが斯の如き大なる投資額なるに於ては好況時と雖も遂に配當を見る能はざりし所にして後者が一九二六年度に依り配當せるは是れ全く僥倖收益なりと稱するを得べし。

次に投資額の最も小なるものを擧げれば Kempas Estate の英反當百五十六弗 Sungei Pamal Estate の二百三十一弗等の如き

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ものにして、前者は資本金七十五萬弗、内拂込五十八萬千六百弗にして、採收林三千二百五十三英反、未採收四百七十二英反、未開墾地十六英反、計三千七百四十一英反を有し、生産高英反當二百五十五封度、生産費封度當三十三仙六一にして、生産量生産費共見るべきものにあらざるも投資額小なるが爲め、一九二三年度一割五分、一九二四年度、一割七分五厘、一九二五年度、三割、一九二六年度五割、一九二七年度、二割五分を配當せり。

後者は資本金五十萬弗内拂込資金三十二萬弗、採收林八百十三英反、未採收林二百英反、計千十三英反を有し、生産高は英反當四百二封度、生産費三十三仙二厘にして、生産高稍多きと、投資額小なるが爲め、一九二三年度一割五分、一九二四年度一割四分、一九二五年度無配當、一九二六年度七割、一九二七年度六割の好配當をなせり。

今又弗會社七十六園の平均英反當投資額を算出せば四百弗六十仙に相當するを知るべく冒頭に於て四百弗を標準とせるは之れが爲めなり。更に封度當り平均生産費を算出せば三十三仙一厘八毛四絲となり現在の市價二十八仙に比すれば五仙強高し。是れ卽ち缺損を意味するものなり。尤も Harrisons Baker & Co. の經營に Sungei Bagan 係る園の如きは一九二七年度には封度當十九仙三厘七毛なる低率なる數字を示し常に好配當を繼續しつゝあり。斯くの如き農園にありては現在の如き不況に逢著するも敢て驚かさるゝことなかるべし。之れに反して A. A. Anthony & Co. の經營になる Ayer Kuning Estate の生産費は封度當實に五十四仙九毛の高率にして、現在市價の約二倍に相當するが如き非採算的のものなり。

以上述べたる數箇の事實を比較研究せば投資額の大小及經營方法の巧拙に依り大なる利損の相違あるを知るに充分なりと信ず。尙ほ進んで個人園に於ける支那人及土人の投資額及び生産費を觀るに、支那人園にありては普通英反當百弗内外と見て誤りなく、パインアツプル、コーヒー、タピオカの類を間作せるものにありては護謨の投資額を見るも少しと云ふ。土人園にありては全然不明にして彼等はこれを問題視し居らざるを普通とす。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那人の生產費に就ては充分信用し得べき統計を有せざるも、經營者は卽ち監督員、會計係、事務員、萬律を兼任し、苦力は家族或は親族を乃至自己種族に請負はしめ、食料品を供給して苦力價を比較的低廉ならしめ、生產費は採收費、手入費、工場費の外殆んど餘分の支出無からしむるを以て一封度當十仙乃至三十五仙となると云ふ。又土人方面卽ちヂャムビー方面の狀況を聞くに、彼等は一斤(濕護謨)蘭貨十八仙(新嘉坡貨十二仙)迄ならば敢て採收を中止することなく繼續すべしと云ふと雖も、今回の市價暴落以來非常に產出量の減じたるより考ふれば本說は他に職業を有せざる所の一地方の說に過ぎざるも、少く共如何に彼等が最低市價に堪え得るかは充分想像するに足るものあると共に彼等を以て栽培會社の最も恐るべき對抗者なりとすべきを知るべし。

蘭領東印度に於ける昨年度の土人護謨產出量は約九萬噸にして之れに馬來半島に於ける土人園及び支那人個人園の產出量を加ふる時は優に世界護謨總消費高の約三割强に相當すべく、栽培會社の恐威とするも亦無理からざるなり。

從來小護謨園は、總ての費用に於て大規模園に比し割高にして利益薄しとの說あれ共こは概括的なる論據にして直ちに信ずるを得ざるなり。場合によりては個人園寧ろ大規模の栽培會社よりも多く市價暴落に堪ゆるの資格を有するものなきにあらず。果して本年十月三十一日限り生產制限令撤發せられんか、忽然として護謨園の優勝劣敗は決せらるべく、大なる會社も小なる個人園もその時に於て初めて其の園の眞價を認めらるゝに至るべし。

眼を轉じて馬來半島スマトラ、爪哇等に在る磅會社の內容を見るに驚くべき優良園あるを發見するなり。卽ち爪哇の Sino Rubber Estate, Kalidjeroek Rubber Estate 及び馬來半島の Kampong Kuantan Rubber Co. の三園之れにしてスマトラの United Serdan Rubber Plantation's Ltd. は前三者に劣ると雖も磅會社中配當率に於てスマトラ第一と稱するを得べし、各社の內容次の如し。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

A. Simo Rubber Estate, Soerakarta, Java.

資本金　三五、〇〇〇磅（三五〇、〇〇〇株二志）

總面積（植付）　四、七四〇英反　一英反當投資額約七磅四

	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年
護謨生產高（封）	二七二、七〇〇	三七六、七七一	四二四、七一六	六二二、〇〇〇	七一二、〇〇〇	七五五、七七六
純益	六、七六〇磅	八、一六八磅	四、三七一磅	一五、一四九磅	六九、二三三磅	三七、八二六磅
配當	一割	一・五割	一・五割	四割	一・五割	一〇割
繰越	八、〇四九磅	四、九六八磅	三、六九〇	四、八三九磅	四、五七三磅	七、三九九磅

株に對するプレミヤム　八、九三八磅

積立勘定　二〇、〇〇〇磅

登録月日　一九〇七年六月四日

B. Kalidjeroek Rubber Co., Ltd. Probolinggo, Java.

資本金　八〇、〇〇〇磅（八〇、〇〇〇株一株一磅）

總面積　三、九二〇英反（英反當投資額二〇・四磅）

植付面積　二、九二四英反

內譯　護謨　一、七七三英反　珈琲　九三四英反　シンコナ　二一七英反

	一九二二—二三年	一九二三—二四年	一九二四—二五年	一九二五—二六年	一九二六—二七年
護謨生産高(封度)	四四九、七六〇	五〇八、四二〇	五七八、三三〇	六三五、七八三	六五三、八八八
同平均價格(封當)	不詳	一志一片六七	一志四片五三	二志二片五七	一志六片三七
珈琲(ピクル)	二、〇九七	四、二五三	三、八〇〇Cwt	六、〇五四Cwt	六、〇八四Cwt
純益	七、二二三磅	一二、九三八磅	二二、三一八磅	五二、一七七磅	四〇、八〇九磅
配當	一割	一・五割	二・五割	五割	四割
繰越	五、八四四磅	五、二五五磅	五、八七六磅	五、〇七四磅	六、三八四磅

登録　一九一〇年四月二日

C. Kampong Kuantan Rubber Co., Ltd. K. Selangor, F. M. S.

資本金　五五、〇〇〇磅(五五〇、〇〇〇株、一株二志)

總面積　三、一二一英反

植付面積　二、五九三同　一英反當投資額二一、二

	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年
護謨生産高(封)	五一〇、〇〇〇	三八八、〇〇〇	三八一、四四九	四九九、六一三	七八八、七一五
護謨平均價格(封當)	八・四三片	一志二・四八片	一志二・五一片	二志三片	一志六・七片
總生産費用	六・九三片	九・三八片	九・一八片	七・七二片	七・四六片
純益	五、〇四六磅	八、一一二磅	一〇、〇五九磅	四〇、七六八磅	三八、六〇七磅

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

積立金	—	三、〇〇〇	二、五〇〇	三、〇〇〇	三、四七六
配當	一割	二割	二割	七割	七・五割
純益	一二、八三一磅	八、九一七磅	七、五七二磅	一二、五一六磅	一二、六二三磅

登錄 一九〇九年一月二十日

D. United Serdany (Sumatra) Rubber Plantations, Ltd.
Serdany E. C. of Sumatra.

資本金 一、〇〇〇、〇〇〇磅（一〇、〇〇〇、〇〇〇株、一株二志）
總面積 三三、八二三英反
植付面積 一六、七八七　（一英反當投資額五九、五磅）

	一九二〇—二一年	一九二一—二二年	一九二二—二三年	一九二三—二四年	一九二四—二五年	一九二五—二六年
護謨生產高(封)	二、八七六、一八八	二、五六二、二二七	二、八四五、八八一	三、四〇三、五一〇	三、五九八、二一八	五、六三九、五五八
同B.O.F價(封當)	一志一・九七片	七・八七片	七・七二片	九片	一〇・七片	一〇・三七片
配當	—	五分	一割	一・二五割	二・五割	四割
純益	一八、〇九七磅	七、一八三磅	一二、五二六磅	三二、九五三磅	三三、五九一磅	六一、四八三磅

登錄 登錄一九〇七年七月十日

（未完）

化學戰

陸軍科學研究所第三部長陸軍少將　岸本綾夫

化學戰といふ言葉は、世界大戰以後に於て起たものであつて、今では世界各國に於て用ひられてゐる。それ迄の戰爭は刀で切るとか、槍で突くとか物理的現象に依つて行はれてゐたのであるが、戰後に於ては、毒殺するとか、燒き殺すとか、化學的な方法に依つて戰爭が行はれることになつたのである。化學的な戰爭といつても、その主なるものは毒瓦斯であるから、化學戰＝毒瓦斯戰といつても差支へない。然らば毒瓦斯は何時頃から用ひられてゐたかといふと、小規模には昔から行はれてゐたが、大規模に行はれたのは世界大戰を以て最初とする。日本でも、日露戰爭の際「如何にして旅順を陷すべきか」といふ時に、毒瓦斯を用ひるといふ說は出たが考へただけで實行はされなかつた。世界大戰に於ても、最初に用ひたのは獨逸であつて、鹽素瓦斯を以て英佛軍に損害を與へた。獨逸は常に聯合側に比して一年位早く之れを行ひ、最初は鹽素瓦斯の壓搾したのを瓶から出した位のものだつたが、それから遠距離に送る爲め大砲の彈に入れて擊つことになつた。一六年には、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鹽素を主體とした化合物、一七年には硫黄を加へたる化合物、一八年には砒素を加へたる化合物と、常に獨逸が一歩進んで猛烈なものを作つてゐた。大戰の終結と共に最早用はなくなり、華府會議に於て五大國は毒瓦斯を使用せぬことになつたが、各國共之れを用ふることと並に防ぐことに就て研究してゐる。國際聯盟に於て、日本は率先して禁止を提唱したが未だ約束は出來ぬ。米國の如きは毒瓦斯は最も人道に合した戰法であると稱してゐる。成程從來の砲銃等に依れば負傷者の二三％の死亡率であつたのが、毒瓦斯では二％位ですむのみならず、從來は不具者が續出したが、毒瓦斯では内科的な怪我であるから癒れば完全になる。又毒ガスを禁止することは戰爭を禁止することゝ同一樣であり、言ふべくして行はれぬといつてゐる。次に化學戰の方法はどうであるかといへば、化學器卽ち毒ガスと稱しても差支ないのであつて、その種類は次の如きものである。

▲窒息性(之れを吸へば肺炎で死ぬ)▲クシヤミ性(クシヤミを起し涙やよだれが出る、之れは窒息性を擊つ前に擊つてマスクを外させる樣にする)▲催涙性(窒息性やクシヤミ性が全身に廻るには相當時間が要るから一瞬に敵の動作や前進を止むるものである)▲靡爛性(衣類までも透して身體が爛れる)等であるが、然らば臺灣邊りでは毒蛇の毒があるではないかといはれるかも知れぬが、毒蛇の毒は非常に强いもので毒ガスより遙かに有效ではあるが、一々注射せねばならぬし、それまでには日光や何ぞで役にたゝなくなつて了ふから戰爭用には役にたゝぬ。

次に之れが防護の方法は如何であるかと云ふに、マスクを用ふるのであつて、之れで大抵なものは防げるが、併し投射は之れを防ぐ事が困難である。靡爛性の毒ガスに對しては、ゴムで出來た着物を着るが、之れは仲々厄介で、全部が着る譯に行かず特別任務に服する者のみが着る。馬はどうするかといふに、馬は口では呼吸せず鼻だけでやるので、上口だけにマスクをかける。靡爛性に對してはゴムで作つた脚絆をはかせる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次に如何にして毒ガスかを檢知するかと云ふに、色で檢知したり燃やして嗅で檢知したりするが、結局一番いゝのは人間の鼻であるが、併し之れも新しい鼻でなくては駄目である。日本に於て毒ガスはどうであつたかといふに、柔道に於ける最後に遠當術として毒ガスのことが示してあるが、之れは祕密が保たれ廣く傳らなかつた。日本で最初に用ひたのは百姓一揆の時に警官が用ひたので、之れが記錄に殘つてゐる最初のものである。仁木彈正、猿飛佐助の忍術といふのも一種の化學戰を以て身を全ふしたものである。化學戰の材料は他の軍需品と同樣に平時に於て原料を貯へて置かねばならぬのであるが如何なる方法に依るか。

（一）治安維持に用ひる事　（二）害蟲驅除　（三）醫療　（四）消毒や殺菌　（五）藥品　（六）染料、斯くの如くして化學戰の際に必要なる原料を平時に於て用意して置くことは學者は勿論各方面の人々に依つて行はねばならぬのであるから、各位に於ても考へて貰ひ度い。

さて化學戰に依つて從來の戰爭は如何に變化して來たか。自分の考を述べて見ると（一）時間の效力擴張（大砲等では一度擊てばこの時ぎりであるが毒ガスは相當長く殘つて效力がある）（二）空間の效力擴張（一定の小部分の場所でなく相當廣くその效力がある）（三）天の時地の利を變ずる（四）勝敗を一時に決する（五）國內の全智全能の利用（之れを行はねば到底化學戰に於て勝利を得ることは出來ない）（六）化學戰は遠く國內に及ぶ、之れがために國內の婦人子供に至る迄毒ガスに對する知識を以てゐる事。之れを要するに毒ガスは恐るゝに足らぬもので、人間的に作つたものであるから必ず防護法も人間的に考へ出さるべきであるが、將來の戰爭に對しては國民擧つて毒ガスに對する知識と理解を持ちこの見地より大に考慮あらんことを切望するものである。‖以上は七月六日鐵道ホテルに於ける講演の要領である。‖

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度の自然と人間（上）

森下薰

印度は世界の謎の國で御座います。其の人間も、其の自然も、而して此の二つを如何なる方面から見ても、極めて興味の深い國であります。私は昨秋「カルカッタ」で開催されました極東熱帶醫學會に出席をさせて頂き、其の序に印度の各地を巡歴致しまして、豫て此の興味ある國の事情に付て見たいと思つて居りましたことを親しく見ることが出來ました。其の一端を申上げて見たいと思ひます。

私は印度で印象致しました事を極めて詩的に敍述する樣な敏感な頭腦の持主ではありませぬ。悉くは、印度に於て或は歸國後、見聞又は調査を致しました材料により、極めて物質的に御話を致すに過ぎないのであります。「ヒマラヤ」山の靈氣、夫れに育まれたる印度人の生活と云ふ樣な話は、生憎私の役どころではありません。併ながら、印度の自然が、其の地理的又は氣象的の關係から、如何に人間生活に影響を及ぼして居るかと云ふ御話を致すと云ふ意味に於て、決して演題に不忠實なる内容ではないと信じて居るのであります。

偖て印度は御承知の通り極めて尨大なる國でありまして「ベンガル」灣と亞剌比亞海との間に狹まれたる三角形の大半島であつて、印度帝國と申しますのは、それに「ベルチスタン」と「ビルマ」を加へた總面積約百八十萬方哩の區域を總稱したのであります。其の面積は我國の約七倍で、歐洲より露西亞本國を除いたものと等しい面積であります。此の地域に住んで居る人間の數は約三億一千萬の多數に上るのであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度の地勢は（一）「ヒマラヤ」山地（二）「インダス」及び「ガンヂス」の流域（三）半島の主要部たる「デカン」高原の三部に分れます。「ヒマラヤ」山脈は二萬九千呎以上の「エベレスト」を始めとし約二萬呎以上の高峯が延々として千五百哩以上の間に走り、北方「チベット」及び「アフガニスタン」との國境を成し四時雪を頂き氷河あり、誠に千古の夢宛然の、壯麗な姿を見るのであります。「ヒマラヤ」は梵語で雪の山と云ふ意味であります。此の山脈の山麓一帶は氣候温暖でありまして夏は涼しく所謂「ヒル・ステーション」となり「ダーヂリン」「シムラ」「ムスリ」等は其の代表的のものであり、何れも世界的に有名な避暑地であります。印度河及び恒河の流域は「ヒンドスタン」平原と稱し、地味が頗る肥沃でありまして植物が澤山あり、大小の都會が到る所にあり、人口最も稠密印度の富の大部分は是から出て居ります。「デカン」の高原は南方半島の大部分を構成し海拔一千乃至三千位の高さに達する廣漠たる高原であります。此の廣大なる地域の大部分は所謂熱帶圏内に這入つて居ります。先程申上げましたやうに地勢は起伏に富み、大山脈あり大平原あり、大高原があり、其の變化が著しく、從つて氣候の變化も一樣でありませぬ。半島の大部分は暑熱が甚だしいのでありますけれども、北方山麓では氣候が甚温暖であることは申すまでもありませぬ。一年中を三期に分けて居ります。三月から六月に至る間は雨量が極めて少なく、空氣が乾燥致して炎熱烈しく、郊外で百五度から百二十五度位に上ることが珍らしくないのであります。其爲めに樹木が枯れて滿目荒涼の狀を呈して居ります。七月から秋の十一月頃までは大陸の内部に低氣壓が生じまして所謂西南季節風があり、多量の濕氣を有つて居る空氣が「ヒマラヤ」山に打つかつて大部分は雨となり、所謂「モンスーン」の時機となります。此の時機には印度の河川が増水して氾濫することは珍らしくないのであります。其の時期が過ぎて十二月から翌年二月頃までは印度の最も氣候の宜い時であります。反對に東北の方面から無雨乾燥の空氣を送つて參りますので清涼なる季節になる。私の參りましたのは昨年の十二月から一月に掛けてでありますが旅行としては最宜い時期であつたのでありま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す。旅行中豫て想像致して居りましたやうな氣候の爲めの苦痛は全然味はなかつたのであります。

以上の如く印度の自然的事情は、地勢から申しましても、亦氣候から申しましても、變化があるから是等は天惠を大ならしめ、從つて生物の種類を豐富ならしめると共に、一方其の豐富が余つて人類生活を打ちさいなんで居ることも亦非常なものであります。私は先づ印度の天惠に充ちた自然界に就て御話を致したいと思ひます。前に申述べました通りに「インダス」「ガンヂス」の大河が洋々として貫流する「ヒンドスタン」平原は殆んど沖積層からなつて、沖積層特有の地味は極めて肥沃で印度の財源の大部分は此の地方から産出するのであります。米は其の産額一億八千萬石で世界第一であります。一年を通じて三回の收穫があります。米は元來印度のやうな多濕多溫の地に産する、野生の植物から誘導せられたものであります。綿は印度の到る所から産出して居ります。殊に「デカン」の高原から多く出まして、北米及び埃及と共に世界三大綿産國の一つであります。産額は年額二十億封度であります。茶は平地地方及び錫蘭の方に栽培せられ年産額は約四億封度であります。其他麻、麥、阿片、煙草、珈琲等の産額も夥しいのであります。

又印度は實に動物の豐富な國であります。其の種類から申しましても數から申しましても甚だ多く、是等の動物は世界中で最も幸福なる動物であります。宗教上の殺生禁斷から如何なる動物も殺さないと云ふのが原則であるので、自然界に於ては動物は極めて安全に愉快に生活が出來るのであります。誠に動物の「パラダイス」であります。尤も書物には蚤や虱でさへも殺さないと書いてありますが私は路傍で女同志が頭虱を取つて殺して居たことを見たのでありますが、原則としては殺生禁斷の所であります。其の幸福なる動物の例として舉げなければならぬのは牛で御座います。牛の夥しいことは實に驚いたのであります。都會と云はず田舍と云はず、牛が無數にゴロ／＼して居ります。「ヒンヅウ」教では牛は寧ろ神聖のものでありまして決して殺さない、神樣の使ひと申して居ります。印度に行つて見ますと一軒の家に死人が現はれると一定の牛

を自然界に放します。これを「ホリーカウ」と申します。「カルカツタ」のやうな大都會の而も繁華な市街にも至る所數十頭が群をなして居りますが決して殺さず、之を養ふことが一般の人の共同の義務と考へて居ります。實に牛が威張つて居ります。牛が群をなしてゾロ〳〵歩いて居りますと交通巡査が手を擧げ、自動車も車も止めて牛が通過するやうなことは到る所で見る光景であります。自動車が通つても牛が呑氣に動かないのであります。それで從つて印度には蠅の多いことは非常なものであります。「デリー」の様な大都會の「シヨウウインド」の前に牛が寢そべつて居ります。それに蠅が雲集して居ても人は平氣であります。所がさう云ふやうな交通の妨害や、不潔のことは一向印度人は意に介せない。又牛が汽車の線路に飛び込む危險が多いので印度の汽車の線路には更に牛除けの柵を針金で設けてあります。私は孟買から「デリー」に參りました際に水牛が汽車に轢殺されたのであります。是は印度らしい出來事であると思ひました。牛は一億以上居ると云ふことでありますが、實際は幾ら居るか判らぬ。恐らく人間の數よりも多いと思ふのであります。所が人間は此の牛に對して極めて親密なる態度であります。親密さも過ぎると莫迦〳〵しいのでありまして、牛の小便大便を混せた食物を食ふ、是は或程度まで宗教上の迷信もありませうが、さう云ふことは極めて平氣であります。尙ほもう一つ印度で奇妙なことは牛の便を燃料に使ふことであります。是は非常に重要な燃料であつて町人は牛の便を極めて貴重に扱ふ。甚しいのは落ち掛けて居る糞を手で受けて煎餅のやうに捏て壁と言はず何處でも塗つて乾燥させます。それが田舍ばかりでなく立派な都會にも多いのであります。牛の便の燃料は火力が强いのであります。牛の便の利用は牛の多い印度として有益のことゝ思ひます。それから牛は食はないが牛乳は飮む。其の牛乳屋が徹底して居ります。牛を引張つて歩きまして希望者があると目の前で搾るのであります。馬も非常に多い、馬車は印度の主要な交通機關の一つである。恰かも臺灣の塔車程に手輕に使用することが出來るのであります。一頭立二頭立とありまして鈴が附いて居ります。都會の「アスハルト」の道を鈴の音を立てゝ歩くのは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

宜い氣持であります。値段も安く臺灣の塔車と同じような相場であります。又猿の多いことも實に驚くのであります。山地は勿論都會でも甚だ多い。「ラクナウ」と云ふ大きな町に猿橋と云ふ橋があります。其の橋に參りますと猿が橋桁の上に止まつて居りますが誰も手を附ける者もなく勿論殺す者もないのであります。猿はキィ〳〵と言つて遊んで居るやうな光景であります。尚ほ更に面白いことは「カサウリ」と云ふ山の頂に「パストール」研究所があります。此處で研究のために猿を使つて居るのでありますが動物屋で高い金を出して買はないでも、裏の山には幾らでも猿が遊んで居りますので必要に應じてそれを捕つて來まして實驗に使つて居ります。ところが元來人間の恐ろしいことを知らないから捕ることが樂である、栗鼠も繁華の町に澤山居ります。是も實驗動物に使つて居りますが、前述の「パストール」研究所邊りでも、何等手數を掛けないで、繁殖して居ります奴を、必要に應じて裏庭から捕るやうな譯であります。猿は中々惡戯をするものでほんりやして居ると月給の袋を取つて木の上で遊んで居ると云ふこともある。實際に猿が惡戯をすることは夥しいのであります。

鳥の種類も甚だ多いのであります。どの位あるかと申しますと約二千種位あるとのことであります。特殊の美しい種類も澤山にあります。「デカン」の高原を汽車で走つて居りますと野生の孔雀が彼處此處に歩いて居ります。停車場の柵などにも止まつて居ります。英國人が這入りましてから獵が盛んになり、從つて狩獵鳥の調査など或程度まで出來上つて居ります。鳥の中に名物の印度の鴉があります。ガヤ〳〵騒々しく人家に參りまして餌を求めます。食物をやりますと澤山飛んで來まして人間が居りましても一向平氣であります。「マドラス」に、日本で申しますと産科婦人科とでも云ふべき官立病院がある、それに參りますと大きな金網張になつて居ります。其網の目が馬鹿に大きなもので防蚊裝置にしては大き過ぎると思つて聞くと皆鴉除けの網であつて、赤坊の眼球を突きに來ると云ふことであります。印度の象は無暗に野生のものを見る樣なことはないが、王樣の邸には儀式用のものが數頭飼つてあつて、私が「マイソール」の宮で拜見致しました時には王樣

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の愛用の象が大小數頭居りました。他に五日程前に獲つたと云ふ極めて荒い象を見たのであります。さう云ふやうな必要があれば獲つて來るに難かしいことではないらしい。其の他虎、豹、犀、鰐などは澤山居ります。

此やうに印度は極めて幸ひされたる天然の條件に加ふるに、殺生禁斷などと云ふ人工が加はつて生物は繁殖するに委せ世界の「パラダイス」を現出して居ります。殊に生物と人間とは極めて親密でありまして、それらの生物は自然の懐に抱かれて渾然として相とけ合つて居りますことは、理窟拔きに非常に平和であります。然し自然は極めて公平であつて人間に無害且つ有用なる生物にのみ幸ひを與へるものでない。有害のものに對しても、同じ生を享けて居るものには同じ惠を垂れて居ります。印度では生物の「パラダイス」を現出して居ります。が從つて人間生活を脅威するものも少なくないのであります。

而かも自然の命令に對しまして極めて從順素直な印度人であるから、是等の事柄に對して何等の不平もなく積極的に豫防又は攻撃の方法を執らないで、生命を天に委して居る樣は寧ろ憐で御座います。私は自然に惠まれた印度が、同時に如何に自然に虐げられて居るかと云ふ御話をしたいと思ひます。

印度のやうな大國の、而かも氣候の變化多い所では、種々樣々の病原體の存在と、それを傳播する昆蟲其の他の諸要件の具備には甚だ適して居ります。加ふるに人間の生活は因循且つ原始的、換言すれば極めて非衞生的のものであります。只ですら生活要件に惠まれて居る病原體が、缺點だらけの人間生活の虛をついてそれを征服して行く事は極めて容易である。何でも豐富な印度に於ては傳染病や寄生蟲病も極めて多いのであります。「コレラ」「ペスト」赤痢、天然痘、癩病「マラリヤ」「カラアザール」再歸熱、十二指腸蟲病「フィラリア」病等何でもあります。如斯きものゝ爲めに印度人がどんなに虐げられて居るか。先づ第一に「コレラ」は歐洲人が印度に渡來した頃から最も恐るべきものゝ一つでありました。而かも英國政府の豫防撲滅の不斷の努力も印度の如き蔓延上根強い根據のある所では燒石に水の感であります。印度は世界の「コレラ」の根源地

で、他に種が絶へると印度から輸入されるものと考へられて居ります。千九百二十四年には二十九萬三千七百人（人口千につき一・二二人）の印度人が「コレラ」の爲めに死んで居ります。千九百二十五年には十一萬五千六百四十五人（人口千につき〇・四八人）死んで居ります。日本では「コレラ」は流行病であるが印度では地方病であります。「マラリヤ」が臺灣に於て地方病であると同じやうに印度の「コレラ」は地方病であつて何時も「コレラ」の病源があります。それに宗教上の習慣で夥しい順禮が全印度を歩きますので病原を持つて廻り何處へでも播がるのであります。尚印度の名物に「ペスト」があります。入用の國は何時でも差上げるさうであります。大體「ペスト」は千八百九十六年に孟買で初めて認められたのでありますがそれから以前にもあつたものゝやうであります。印度は「ペスト」は埃及から輸入されたものと言つて居りまして本家は他にあると云つて居りますが、少くとも兩方とも老舗であるが、今では印度の方が商買が繁昌して居りまして、世界の「ペスト」の九十九％は印度が引受けて居ります。千九百二十五年には「ペスト」の爲めに十一萬七千七百十七名（人口千につき〇・四九人）が死んで居ります。孟買州だけに付いて申上げますと、千九百二十五年に一萬二千六百一名の死亡者があります。殊に孟買の町は有名な「ペスト」の流行地であつて孟買の市街だけで、一千九百二十三年に一千二百四十八名の患者があり其の中の一千三十三名が死んで居ります。それにも拘らず私共が參りましても、一體何處に「ペスト」があるのかと云ふやうな光景であります。私は一日孟買の研究所で鼠の「ペスト」菌を研究して居りますのを見ましたが、有菌鼠の數は五月に於て最も多いさうで、十一月十二月が少ないのであります。尚且つ二十頭や三十頭の有菌鼠があります。而かも其鼠は全孟買の市街から參るのではありません。孟買の一部分から來るに過ぎないのであります。日本では一疋でも出やうものなら大騒ぎであります。臺灣でも「ペスト」の流行が終熄しても尚ほ努めて鼠の檢査をやつて居りますが未だ曾て一疋も認めません。孟買ではかく有菌鼠が發見されても一向平氣であります。大した騒ぎはして居りません。勿論當局者としては夫れ〴〵適

當な處置に苦心して居ります。「普通の人は一向平氣であります。それから赤痢及び一般の下痢性は一千九百二十五年に二十萬八四百十二名（千につき〇・八六人）の死亡者がありました。天然痘は矢張り多いのでありまして、同年には八萬五千九百八十六名の死亡者を出して居ります。狂犬に咬まれて死んだ者は、一千九百二十四年に二千四十四名、翌年に二千三百二十名と云ふ死亡者を出して居ります。各地にある狂犬病の治療所では多數の被咬傷者が豫防注射を受ける爲めに數十里を泊りがけで澤山やつて參つて居ります。癩病患者はどの位あるかと云ふと印度の樣な所では能く分りませんが、少くなくも百萬人は下らないとせられて居ります。從つて癩病患者に對する處置は如何なる方法を用ひても百萬人を收容隔離することは到底不可能であると思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國に於ける繁榮の精神的基礎（下）

原口竹次郎

今でも出てるますが、英吉利に Review of Reviews と云ふ政治雜誌がある。其の以前の主筆の、ウヰリアム・ステッドと云ふ人が、もう二十年も前に、アメリカを旅行して本國に歸つてから「世界の米國化」アメリカニゼーション・オブ・ゼ・ウォールドと云ふ警告と云つて善いか、スローガンと云つてよいか言葉を作つて、駸々乎として進む米國の物質文明を徵象した。私は、前に述べた所（前回の講演）に依て、米國に於ける物質文明の如何に進んでゐるか、米國が如何に富んでゐるかを明かにしたと思ふから、之れから進んで、米國は何故に今日の如き繁榮を來したか、米國が今日の如く繁昌するに就ては吾人が合理的に考へ得る何等か精神的理由があるかの問題を考へて見たい。米國の富は、有史以來見ない所で、誠に驚くべきものであるが、魔法魔術で、今日の富を贏ち得たものではない。米國が富強を致した原因に就ては、吾々が考へて最もだと思ふ合理的根據がなくてはならぬ。精神的基礎がなくてはならぬ。私は今其の精神的基礎を突き止めんとするのである。

紐育と云ふ町は、臺北よりは大きいかどうか、人口の割合には誠に小さい町です。丁度出刄庖丁の樣な恰好をした小さい島で、一方にはハドソン河と云ふ有名な河が流れ、其處には五、六萬噸の巨船が自由に這入つて來て横付することが出來、反對側のイースト・リバー（是れは實は海峽）も潮の流れは早いが、水深が相當にあり、どんな大きな戰艦でも航行することが出來ます。私は千九百十二年に彼地に止まり、下町に近い二十七丁目の醫師の家に下宿してゐたことがある。その

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醫師は「僕の家の建つてゐる此の地所は皆自分のもので、地價はこうやつて眼をつぶつてゐる中にドン／＼昇つてゆく、當時一尺平方五百圓だ」と云つて意張つてゐた。只今は、ペンシルベニア鐵道と紐育セントラル鐵道の終點になつてゐるので、その數倍してゐることゝ思ふ。五月二日の紐育タイムスを見ると、紐育ウォール・ストリート一番地の土地が、一尺平方五百七十六弗（千百五十二圓）の割で賣れたと書いてある。ニウヨーク市のあるマンハッタンと云ふ島は、前述の如く小さな細長い島ではあるが、獨逸人のミヌイットと云ふ者が和蘭政府の爲めに、アメリカの印度人から僅か四十八圓で買取つたのである。それが今では一尺平方が千圓以上に上つてゐる。元のまゝで印度人に持たせて置けば、今日でも矢張全體で二十四弗位の價値しかないかも知れないのであると思ふ。十三州のものが叛旗を飜し、獨立戰爭が濟んで間もない頃ミシシッピー河兩岸に跨つてゐるルイジアーナと云ふ處を三千萬圓、臺灣總督府の一年の豫算の四分の一餘りで佛蘭西から買つた。ルイジアーナは佛蘭西本國の二倍半あり、米國の寶庫である。米國は又アラスカと云ふ廣大なる土地を千四百四十萬圓で、千八百六十七年に露西亞から購入した。日本にも杉山茂丸と云ふ人が、比律賓を、二千萬圓とやらで買ひたいと云つて米國の大統領タフトに手紙を出したところ、返事が仲々來なかつた。やきもきしてゐると半年振りに返事が來た。あけて見ると「何月何日附のお前の手紙を見た」と云ふこと丈が書いてあつたさうです。當時タフトも仲々隅に置けぬと云ふ評判があつたさうです。比律賓を二千萬圓で買へれば、掘出物には違ひないと思ひます。兎に角佛蘭西人がもつて居れば、ルイジアーナは千五百萬弗位の價値しかなかつたかも知れぬが、米國人に渡して彼等に力を加へしむれば大した價値あるものになる。今日では、ルイジアーナの富は佛蘭西全體の富に匹敵すると謂はれてゐるのである。米人が魔力を加へれば、偉大なる價値あるものになり、然らざれば、價値がない。然らば米國人の魔力の根源はどこにあるだらうか。

私は今夫れをお話して見たいと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全體國民性を人に判る樣にお話することは容易の業ではない。然し其特徴を箇條書にして示せば、大體呑込めると思ふ。故に、私は、米國に於ける繁榮の精神的基礎を箇條書きにして述べたいと思ふ。

第一に、米國的精神の特徴として擧げたいのは、米國人の個人主義である。ニウヨークに行き街衢を一瞥すると何人も米國人の個人主義といふものに氣が付くと思ひます。幾十階といふ高い建物があるかと思ふと、其の隣りには七八階位のものがあり、實に不統一極つたもので、ニウヨークの外觀が米國人の個人主義、アメリカの世態をもつともよく特徴つけてゐると思ふ。元來米國人の祖先は宗教上の自由を得んが爲め、政治上の壓迫を免れ自分特殊の天地を拓んが爲めに來たもので、個人の權利、自由と云ふことは彼等に取つて最も大切なものである。米國に留學してゐた時分の例によつてお話すると、私のゐた學校の先生にビアーズレーと云ふ人があつた。この人は八人の子福者で、内七人は男で、女の子は唯一人しかありませんでした。學校から相當な俸給を貰つてゐましたし、田舍には別莊等あつた位ですから暮し向きなどには勿論困らない。私がそこにゐたとき、或年の休みにそこの二番目の息子で、エール大學の學生であつたものが歸つて來た。そして、直ぐ圖書館の掃除人夫に傭はれて、休暇中毎日圖書館に出て働く。朝圖書館に出勤する時は、父教授と睦ましさうに話しをし、手を組んで來る。父は教授室に行き、子は小使部屋に這入り、菜葉服と著替えると云ふ風であつた。無論學費の幾分かは、家から手傳つて貰つてゐるだらうとは思ふが、兎に角四箇月の長い間毎年働いて學資を稼いでゐる。學資は當然親が出すべきものであり、子も貰ひ得るが、親はやらない。四箇月間働いて相當貯蓄して學校に歸る。かうした調子で子供の時から米國人は大體に於て親に便るべきものでない、自分の運命は自ら開拓してゆくと云ふ考へをもつてゐる。さうした考へでもつて立つやうに親が教育するのである。私は在學中、身分不相應の上等の椅子を持つてゐた。これは金滿家の教授チェコブと云ふ人から貰つたものである。私が卒業間際に、圖書館の掃除人夫の例の息子が、その椅子を貰つ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

てくれぬかと云ふ。之を買つて何うするかと云ふと親父が今使つてゐる椅子は餘り貧弱だから、君が買つて呉れたら其の椅子を親父に進呈しやうと思つてゐると云ふから、私はその椅子を同人にやりました所、大に喜んで呉れた。今では昔し程自由がきかぬさうだが、米國の學生は小さいときからかうして種々な方面で働いて自分の運命は自分に開拓せねばならぬと云ふ風に教へてゐる、It is up to him だ。また親もさういふ風に仕向ける。エリス・バーカーの書物にも、米國が産業界に大に發展してゐるのは個人主義の結果であると云つてゐる。總て自分でどうかしなければならぬ。人が仕事をし、發明するのを待つてゐる樣ではいけないといふ精神が、今日米國の強盛を來した、もつとも重なる原因であると云ふてゐるが私も夫れに同感なのである。大正五年中央公論から、アメリカニズムの特徴に就て書いて呉れと頼まれた時にも矢張り個人主義を第一に擧げたのである。米國は個人主義の國であるから親子夫婦の折合が悪い。親子の折合は家族主義の國に於てのみ見られるなど能く聞く所であるけれども米國の個人主義はそんなケチなものではない。個人主義ではあるが、良家の家庭に生れた子は仲々親孝行で、親は又子を可愛がるのである。優はしい親子の關係は、不幸吾人は却つてアメリカに於て多く見るのを遺憾とする。米國の個人主義は、各自が滿身の力を以て働き、餘力を養ひ、其の餘力を以て助け合ふといふ個人主義である。賞めたゝへられてゐる日本の家族主義は、子は成るべく親脛を咬り、親は一日も早く子供を月給取にして、之れに頼らうとするの主義である。私の故郷では、子供を軍人にすると云ふことが流行してゐる。之は私の郷里佐賀縣では父兄達が忠君愛國の精神が旺盛であるが爲めであるかの如くに吹聽してゐるが、是れは親達が子供を兵學校士官學校に入れるのは、國家的觀念が旺盛であるが爲めではなく、中學卒業後官費で勉強が出來、三年すれば月給取になり、子が親に貢ぐからである。親は子に便り、子は親に便る。日本の家族主義は嚙り合ひの家族主義で、助け合ふ家族主義、餘力を以て積極的に畫策する主義ではない。甚しきに至つては、日本では子供が生れたらば之れを賣飛ばし苦界に沈めて獨り樂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しまうといふ不屈な親達がある位である。

個人の思想、生活、人物を尊び、『自分の運命は自分が拓いて行く、雙肩に荷つて行く、それが結局自分の爲めであるといふアメリカ流の個人主義は、吾等日本人の腦裏にも今少し徹底しても差支へないと思ふ。私が嘗て早稲田大學に見習教師をしてゐる頃、早稲田に英語の先生をしてゐたウォルターといふ青年があつた。私は同人と早稲田基督教青年會の寄宿舍に一緒に寄宿してゐた。『僕は一年位日本に滯在し充分に見學してから歐羅巴を見物して歸る。アメリカに落合ふことにして君も來ないか』といふので私は行くことになり其の人の紹介で、前述のやうに學校に這入ることになつたのであるが、此の人は晝は、早稲田大學の豫科、夜は神田青年會の夜學に教へて生活費を得、傍らアメリカの文學雜誌にちよい〳〵寄稿して原稿料を稼いでゐた。自分で働いて滯在費旅費を得てゐた位であるから財産家の坊ちやんなどゝは思つてゐませんでした。然し向ふへ著いてから見ると、意外にも大工の道具を作る工場の持主で、土地の銀行などにも關係ある百萬富豪の一人息子であつた。米國滯在中は、別に身寄りもない所から非常に歡待してくれまして、クリスマスとかサンクスギビングなどいふお祭日には何時も招待を受けたものである。いつか親父さんの部屋にゆくと、希臘語の辭書があつた。それはWといふ私の學友が日本で持つてゐるものと同じものであつたのでそれは君の本ではないかときゝますと『僕の辭書だつたが、日本から歐羅巴を經てアメリカに歸つた時に、文なしになつたから、親父に買つて貰つたのだ』と言つてゐました。前述の如く、親は富豪で、非常にWを可愛がつてゐたのであるから、旅費位はいくらでも呉れたのであるけれども、此のWといふ男は、郷里の中學校を出てから此の方、大學、大學院在學中一文も父の世話になつたことがないとのことである。善良なる米國の家庭では、自分の面倒は成るべく自分一人にさせるといふ氣魄を子供にもたせる。さういふ氣質を建國以來養成して來てゐるのである。米國が今日物質的に繁榮してゐる所以のものは第一にこの個人主義にあると思ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

アメリカニズムの第二の特徴として私が擧げたいのは、米國民の猪突主義である、精力主義である。其のパイオニア氣分である。西洋の諺に、Devil take the hindmost といふのがありまして、それは一番後に殘されたものは惡魔につかまる。先きに行つた方が勝ちだといふ意味だらうと思ひますが、パイオニア時代のアメリカ人は勿論、現代米國人の氣質も之れに依つて能く現はれてゐると思ひます。何でも、目的に向つて猛進する。否或場合には盲進する。まづ先きに猪突する。目的に向つて突進する。カリフォルニアの銀山が發見せられた當時の有樣がそれだ。此の氣分は、今日米國製のフィルムを御覽になつても能くお判りのことであらうと思ひます。それに、總て物の考へ方が積極的である、無論人にもよるから一概に言へないが、例へば日本では金の十萬圓も溜ればモウこれで大分金持になつたと云ふ風に考へる人が多いでせう。兎に角小成に安ずる風がある。米國人は殆んど飽くことを知らぬ慾望を持てゐる。十萬圓二十萬圓三十萬圓と望んで飽くことを知らぬ。それ位で成金などになつたとは思つてゐない。成金風といふものがないのが亞米利加の特徴である。かうして總て米國人が物を積極的に考へるのは彼等の特徴。日本も最近貧富の懸隔が益々甚だしく、富者の貧乏人に對する態度など將來大に注意を必要とすると信じますが、日本では成金風、女の成金風が鼻につく。日本の女は概して成金を吹かしたがるが、米國ではそれがない。アメリカ人と較べて、日本の婦人はどうも得意の境遇に堪へる力が缺けてゐるやうに思ひます。そのかはり、東洋の婦人は消極的に苦痛貧乏に堪へる力が強いと思ひます。生活の程度などいくらでも切下げます。亭主が百圓取れば、それでも暮しを立てる、八十圓位でも暮す、五十圓でも我慢する、段々切詰めてどんな乏しい生活でもするといふのが日本婦人の特徴であると思ひます。アメリカの婦人は貧窮な生活に我慢するといふ特質を缺いてゐる。從て夫が貧乏になつたため、離婚するといふやうな場合は能くある。一利一害ですが、互に富を蓄積して、相手を斃さうといふ今日の國際競爭場裡では、積極的の物の考へ方の方が善くはないかと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

兎に角精力主義である。猛進猪突主義である。盲人滅法何でもやるといふ主義である。目的の爲めには手段を擇ばぬといふ主義である。吾々が古代から守り來つた風俗、習慣等には拘泥せぬ主義である。やりたい放題のことをやる。先日米國觀光團が來たとき、總督官邸に招かれ、茶話會の席上から敷島を播潑つたといふので批難した人があつたが、それ位な無作法は、アメリカ人は朝食前にやります。米國の三代目の大統領トーマス・ゼファースンは、Pell-Mell Rule（亂雜主義）とやら言つて、白堊館に食事に人を呼んでも、席次も定めず、或時シャツ一枚とスリッパーで、ホハイト・ハウスを訪問した英國大使に面會したゝめ英國大使を怒らし、それが第二回英米戰爭の原因になつたとさへ謂はれてゐる。機會に充ち滿ちてゐた國（Land of Opportunities）である。猛進し、猪突すれば、何かにぶつゝかる國である。仕來りとか禮儀とか、過去の習慣とか、人間の自由行動を束縛するものは、總て禁物である。從て、米人は一般に個人的にも國際的にも不作法である、禮儀を重んじないと言はれてゐる。而してこれは例の猛進猪突主義から自然に生れ出るものであると思ふ。

米國人の猪突主義を最も能くシムボライズするものは、米國のフット・ボールであらうと思ふ。ラ式フット・ボールは米國に於ては最も旺んなる競技の一である。併し或意味に於てはこれほど野蠻な試合はないと思ふ。勇壯活潑の度を通り越してゐると思ふ。毎年これによつて大學選手の一人や二人死なぬことはない位である。十數年前規則が改正されて、昔程には死者を出さなくなつたけれども、怪我人は毎年大分出來る。而して此の競技に對して、婦人の見物が多いといふことは注意すべきことであらうと思ふ。最も殘忍な競技であると云はれてゐるボキシングでも、之れに興味を持つ者は男よりは寧ろ女に多いといふのは、米國に於ては注目すべき現象である。

米國的精神の特徴として私が第三に擧げたいのは米國人の合理主義的物の考方であります。例へば富豪の家に生れたとか家柄がよいといふことだけでは、米國人を首肯せしめない。彼等をして偉いと思はしめるためには、其人自身に人格力

畢が備はつてゐて、合理的に考へて見て、成程偉いといふ理由がなくてはならぬ。新規蒔直しに造つた國である。其處に神秘不可思議といふものがない。英吉利の文明批評家ラスキンは幾分米國を嘲笑する意味で、神話のない國、お城のない國と申しました。又アメリカの文學者アーヴィングは、其スケッチブックに於て、始めて歐羅巴に行つた時の感想を述べて、歐羅巴では、一塊の石と雖、謂れ因縁がある。歴史がくつ付いてゐると述べてゐる。アメリカは、建國以來百五十年と經つてゐない國であるから、古めかしいもの、因縁の深いもの、歴史的に貴いものは、他に比較して持てゐないかも知れないけれども、吾々が合理的に考へて偉いと思ふものは澤山に持てゐる。世界に誇るべきものを持てゐる。世界の三割五分に相當する鐵道、五割に相當する石炭、五割五分に相當する電力、六割六分に相當する棉花、七割に相當する石油、同じく七割に相當する電話、八割五分に相當する自動車、倫敦を凌がんとする金融市場、偉大なる海軍を持てゐる。リンコルン、ローズベルト、フーバーといふやうな偉い人物を持てゐる。之等の人は、高貴な家に生れたとか何とかいふのではない。ローズベルトは別とし、其他は寧ろ貧乏な家に生れた人である。然し、彼等は、アメリカ人が合理的に考へて偉いと思ふ、偉いとして祭り上げざるを得ない特質を持てゐるのである。アメリカでは、人間と自然とが理性に依て支配せられてゐる。其故に當りが明るい、人間の心持ちも明るい。うすぼんやりした、氣味の悪い、迷信的な所がない。嘗て、コロムビア大學に留學した日本女學生の一人が、ウヰーク・エンドの休みに、大學で有機化學の講座を受持つてゐた婦人教授と一緒に、田舎のホテルに泊つた。兩人の室は便所の違いところで、西洋で能くやることですが、寢臺の下に瀬戸物の便器が置いてあつた。所が朝起るとき、慌てゝ起きたゝめ、其婦人教授が一杯入つてゐた便器に足を突込んだので、中のものが溢れでた。日本學生がア、きたないといふと、例の教授は、事もなげに Ninety Per Cent Water 九十パーセントは水だと言つて雑巾で足を拭いた。小便、殊に人のした小便だと思へば氣味が悪いには相違ないが、能く考へて見れば成程九割は水だ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總てがこんな調子である。考へ方が合理的である。それでアメリカでは子供がお化の話などに對して殆んど興味をもたぬ。實際に怖はがらぬ。人里離れて山奥をどんな夜中でも平氣で歩く。合理的に考へてお化などいふものはないと親も信じ周圍の人も考へてゐるから自然さういふ風になるだらうと思ふ。向うの學校へ這入つた最初の冬でありましたが、暖房設備の爲め、室の溫度が七十度以上にも上ることがある、すると女の前で遠慮することを名物の一とする男學生が上衣を脫ぎ、スエター又はシャツ一枚になつて講義を聞いてゐる。東洋君子國の吾々から見ると、實に怪しからぬと思はれるのであるが、米國學生に言はせれば、「暑いから着物をとるに何の不思議がある。上着を取れば涼しくなる、氣持良く講義が聞ける。こんな合理的のことはないではないか」といふであらうと思ふ。何事も合理的に見る、過去の習慣に捉はれない。今迄の行方に惡い所があればどしどし訂正して行くといふ遣方は、産業の上に最も能く現はれてゐる。日本にも飜譯され一時評判になつたテイラーの科學的管理法といふ書物など、合理主義を經營の上に現はした前驅者で、例へば、煉瓦家屋を造るに當つて、煉瓦職工が煉瓦を積むに當つて以前にはいくつの運動を必要としたか、其れが科學的に取扱はれた場合には、いくつに減ぜられるか、無理な動きを省くにはどうしたら可いかといふことを研究した結果、五回運動すると一枚の煉瓦が積めることになつてきた。以前には十數回の運動を必要としてゐたのである。而して以前十二枚しかつめなかつたのが、研究の結果三十五枚樂につめるやうになつたといふことである。この科學的管理法は、フォード自動車會社に於てもつともよく利用されてゐるといふことであります。又米國の合理主義を米國の産業全體に適用してゐるのは、今度共和黨の大統領候補に豫選されたフーバーであります。此人の考へに依ると、美術工藝品は別として、必要品は無限に種類を作る必要はない。作る品數は出來るだけ制限するがよい。さうすれば、職工も仕事に慣れ、品質がよくて、安いものができるやうになる。卽ち Standarization and Simplification といふスローガンを以て、米國の工場の製造工程を單純化して大に能率を增加したのであ

る。米國人は個人主義ではあるが、一面英雄崇拜の特色を持てゐる。氣の毒ではあるが、米國に觀光のためやつて來る世界の皇族とか貴族とかいふものは、餘り歡迎せられない。米國人に言はせると家柄が良いとか、身分が高いといふことは、何等人の內在的價値を高めるものではない。米國人に偉いと思はれる爲めには。成程偉いといふ實證を示さねばならぬ。行爲に依て示さねばならぬ。事實えらいといふことを示した人は、人種の異同などいふ觀念を超越して崇拜する。英國の戴冠式の歸りに東鄉元帥が米國に立寄られたことがある。其時など、米國人は狂氣の如くになつて歡迎したのである。最近無くなられた、野口博士に對しても其通りである。貧乏な鍛冶屋の息子であるフーバーも、非常なる人氣を脊負つて大統領候補に立つてゐる。兎に角機械工場で使用してゐた鐵鋼具の數が以前千八百十九種あつたのが彼の差金に依て四十六パーセントに減じた。鑵の數が千三百五十一種あつたが四百九十六種類に減つた。荷造の種類二千七十二種あつたものを法律によつて百三十八種類に限定した。工業用として使用せらるゝ鋼板の數が以前は一千八百十九種あつたものを彼の時代になつてから二百六十三種に減少した。それが爲め、米國の工業能率は何倍になつたか分らないのである。兎に角さうしたやうに實力をもつてゐる人は、米國のやうに個人主義全盛の國でも尊まれる。フーバーが或考へを生み出すと、米國の重なる實業家が彼の下に招集される。而してそれが米國全體に行はれるといふ有樣である。米國が、歐洲大戰爭中七八千噸の船を三四週間の中に竣成したことは御承知のことだらうと思ふ。これは、例のスタンダリゼーションの原則を科學的に行つた結果である。日本でも、商工省當りで、非常に初歩的ではあるがスタンダリゼーションといふことを眞似てゐる。例へば織物工場で、國內で使ふ小巾物と、輸出向の大巾物とを作るために二樣の設備と手間とを必要としたものを、成るべく大巾物のみにしやうとしてゐる。而して大巾物獎勵の意味で、大巾物を三越、松屋等に陳列して賣らしてゐる。最近東京に往つたときに或會社の重役で米國に行つて來た人が、日本の大臣は政治上の掛引は知つてゐるけれども、自分が主管し指導する方面の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

仕事に就ては全然知識がない。フーバーのやうに専門的知識に富める人を日本の大臣に傭つて來たらどうか。日本の役所で仕事をする者は、中以下所で、上の方は、徒らに盲目判を押すに過ぎない。下のものが働かなければならぬのは勿論のことであるが、之を指導する人にも頭が無くてはならぬ、云々と言つてゐました。ナポレオンの言として、千疋の兎馬（アス）が一疋の獅子を指揮して戰するよりは、一疋の獅子が千疋の兎馬を指揮して戰ふ方が能率が擧がると言つたといふことが殘つてゐますが、眞に其通りだと思ひます。

私は、米國的精神につき、尚ほ二つの特徴を擧げてこの話を打切りたいと思ひます。

即ち、一つは、ビジネスの上に於ける亞米利加人の正直といふことであります。これは申上るまでもなく諸君が日常經驗されてゐることであらうと思ひます。こちらでは、店で品物を買ふときに欺されてゐはしないか、僞物を掴されてゐるのではないかと始終心配せねばならぬ。贅澤品であれば其れがどちらにころんでも差支へはないとも言へるが、生活必需品の僞物は誠に困る。例へば、母乳のない赤ん坊とか病人で、牛乳に依てのみ命をつないでゐるものがある。所が日本では其の牛乳がなか／＼當てにならぬ。混物をするらしい。夏分需要の多い時になると冬の數倍の牛乳を供給する。然し考へて見ると、凡そ百匹とか千匹とかいふ乳牛から出る牛乳の分量には定りがある筈だ。夏になつたからと言つて、日頃の數倍も乳を出す筈がない。それで、或人が日本の牛乳は水道の口から出ると言つてひやかした。子供や病人にとつては牛乳ほど大切なものはない。所が夫れに不純のものが多い。ニウヨークの近くに、ボーデンといふ世界に知られたミルク會社がある。紐育市其の他に牛乳とクリームを供給し、別に御存じの鷲印コンデンスミルクを造つてゐる。之は非常に質が良いので弘く一般に用ひられてゐますが、此の頃日本に模造品が出來て居まして、何でも牛乳とスターチと混ぜたやうなものです。罐の外觀は本物と殆んど變りありませぬから、欺されて此の僞物を買はされてゐる人もあるだらうと思ひます。こ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れでは牛乳に依てのみ生活してゐる子供は育たぬと思ひます。自動車其の他機械類は無論のこと、バタ、ミルク、チーズ肉鑵詰、フルーツ等の食料品に至るまで、亞米利加の製品を買つて、欺されたと思ふことは殆んどない。吾々は、吾々が日常經驗する所から歸納して、アメリカの製造家商人は大體に於て、正直といふことをモットーにしてゐると言へると思ひます。フォードが、自分の書物に「正直にして金をつくるのは不正直にして作るよりやさしい」「詐欺などいふことは既に時代後れである」と云つてゐますが、これはフォードの氣焰ではなく、アメリカの大きな實業家は大體に於て彼と同じプリンシプルの上に立つてゐることゝ思ひます。日本では、世の中がつまつてゐて、正直にして永い間に勝利を得るといふことがむづかしくなつてゐますが、それでも國民として大をなさんと欲するならば、終極の勝利を經濟戰に於て得やうと思ふならば、始めから行詰つたやうなやり方では駄目だと思ひます。リンコルンの言葉に「吾々は或二、三の人々を一時だますことが出來るかも知れない。然し、總ての人を總ての時に向つてだますことは出來ない」といふのがありますが、不正直な遣り方は、ビジネス・プリンシプルとしても最も拙劣なものである。

最後にアメリカニズムの特徵として擧げたいと思ふのは、アメリカ人の平均の能力が高いといふことである。偉大なる學術上の發見といふことは、今日までアメリカ人に依てはなされなかつた。併し、生活上差當り必要な發見發明は、今日殆んどアメリカに依てなされてゐると言つても差支へない。此の方面は實にアメリカの獨擅場である。日本は學術の流水を獨逸其の他歐洲諸國に汲んでゐた關係上、日本の學者など、歐洲戰爭前までは、アメリカの學問を笑つてゐたものである。然し、戰後獨逸の學問が衰へ、アメリカの學問の眞價が認識さるゝやうになつてから、人がアメリカを馬鹿にしなくなつた。其れでも尙ほ、學問は獨逸でなければいかぬやうに考へてゐる人がある。一般に日本よりも學術の點に於ては遲れてゐるやうに思つてゐる人が多い。殊に日本の醫者仲間にさうゆうことを言つてゐるのがある。然し、私の考へではそ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れは間違つてゐる。論より證據、アメリカでは毎年、年中行事の如くにして人を歐羅巴に勉强に出さなくとも世界の進運に遲れない程の學問を持てゐる。長岡博士の換金法が發見せられたとき、日本の新聞は、長岡博士が始めて發見したものゝ如くに、えらく吹聽したけれども、水銀から金を採る方法は、獨逸のドクトル・ミーテといふ人が大分前に發表してゐるし、長岡博士と同時に米國のコーネル大學の教授も同一のことを發表してゐる。其れで、長岡博士が亞米利加へ行かれたときなど、向ふの新聞雜誌は其れ程にも騷がなかつた。兎に角日本人が發明發見の能力があるかどうかといふことは別問題とし、アメリカ人が其の方面に偉大なる能力を持てゐることは事實である。無線電話其の他に於ける最近の工夫は殆んど全く米國人に依て爲なされてゐるといふも過言でない。

話は違ふが日本に二、三十年間も滯在して、基督教青年會の幹事長をしてゐたフイッシャーといふ人が、最近米國に歸つて、日本の將來といふことに就て本を書いた。其の中に日本人兒童の能力と西洋人の能力との比較につき、スタンフォード大學の一心理學教授が爲した實驗の結果を報告してゐる。其れに依ると、日本人兒童は、メンタル・テストの結果、獨逸人、スカンディネビア人、英吉利の兒童よりも稍低能であるが、南歐羅巴人の子弟よりは聊か優つてゐるといふことである。日本人は未だ新しい文明に馴れてゐないし、これから先きどれだけ能力を伸すか分らないけれども、亞米利加當りに比べて見て從來の實績は餘り面白くないやうに思ふ。兎に角、學術技藝其の他の方面に於て、吾々は一段の努力が必要であらうと思ひます。

以上は、米國人の精神的特徴の中で、特に產業上直接重大な結果を齎すであらうと思ふ原因に就て述べたものであるが、私は直接何等影響を及ぼさないまでも、間接には相當影響のある事柄として、米國に於ける男女關係の變化に就て一言したいと思ふ。私共が彼地に滯在した十數年前は、米國は、學生は勿論一般に男女關係の正しい國であつた。中々立派な

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家庭が多かつた、今も立派な家庭が勿論多くあることゝ信ずる。然し、色々な人種が、色々な道徳を持込むせいか、或は物質的繁榮の結果が、或は又穿き違つたラショナリズムで、男女關係夫婦關係といふものは、結局は肉慾の滿足である。肉の慾さへ滿さるれば、強ちにむづかしい夫婦關係など結ぶせいはないと考へた結果が、此の頃偕老同穴を目的としない夫婦關係を否定するやうになつて來て、新聞で宣傳せられてゐるやうな Companionate Marriage とか Trial Marriage とかいふ一時的の結婚が青年男女の間に行はれ、少年裁判所の設置で有名になつたリンジーなどいふ人が、之れを辯護するやうになつた。之等一時的結婚の特色とする所は、結婚は元來性慾の滿足の爲めにするものであるから必ずしも永久的である必要がない。永久的に結婚生活を送る場合と雖も、先づ試驗的に之を行つて見る方が合理的だ。試驗的に之を行つて見てうまく行けば之を永續しても差支へない。Trial Marriage といふのは試驗的のものであるから、一方の意志に依て何時でも解除することが出來る。其れであるから、其れまでの費用は、大體に於て半分づゝ持寄る。試驗的結婚中子供が出來、後で結婚を解除することになると子供の處置教育にも困るから、試驗的結婚中は、成るべく產兒を制限するといふにある。近時紐育當りの富豪の結婚なるものが、名は結婚であるが離婚を目的とした結婚が多く、前述の試驗的結婚と、實質に於て何等變りないものである。紐育タイムス紙などは、紐育の金持の結婚は、何人も持替えることを目的としてゐるから、一時に持つてゐる妻は一人であるが、多數持替える爲め、結局多妻主義である。進行性多妻主義（Progressive Paligamy）であると言てゐるのである。此の如きは、明かに家庭生活の破壞であり、後代子孫に對する無責任であり、アメリカに於ける社會の圓滿の發達は之に依て妨げられ、羅馬の二の前を演ずるのではないかとさへ懸念されるのである。併しこんな樣なことは未だ弘く一般的に行はれてゐるのでもなく、アメリカの田舍には、未だなか〳〵しつかりした人が澤山にゐるから、之れから先きどう落ち付くか頗る注目に値ひすることゝ信じます。（終）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺俗百話　蓬萊物語（六）

九　陰官の城隍爺

北港に祀られてある海上守護の女神、天上聖母の媽祖が、臺灣島人から夥しい信仰を捧げられ、その祭祀が旺盛を極めて居るが、これに對抗し得るほど夥しい島民の信仰を受けて、北港の媽祖に劣らぬ盛な祭事が行はるゝものに、臺北は大稻埕の城隍爺である。北港の媽祖は南に、大稻埕の城隍爺は北に、南北相對して盛な祭事が行はるゝものも一寸面白い對照だが、更に面白いのは、北港の媽祖を奉安する媽祖廟或は媽祖宮と呼ばるゝ朝天宮は、その廟宇の建築が壯大華麗で人巧の極致を示し、日光を見ぬ間は結構を云ふなと云はる格言の通り、北港の朝天宮は全島第一の美麗壯觀を極めた廟であるに反し、臺北大稻埕にある城隍爺の廟即ち城隍廟の廟宇は、實に小さな、汚ない、貧弱な建物であつて、大稻埕の市場と俗に云はるゝ永樂町の市役市場の北隣で、不馴な人々には一寸目につかぬ位である。而もこの貧弱な、小さな汚い廟に奉安の本尊たる城隍爺の御利益は恐しいほどで、靈驗顯著で、華麗全島冠たる廟に奉安の媽祖と兩々相對して居るし、一方は女神で一方は男神である。又た媽祖は海上や河上の守護神だが、城隍爺は陸上の神である。恁うして兩方の神を對比すると、なか／＼面白く、好個對照が知られる。而してこの兩方の廟に參詣する所謂善男善女は夥しく、遠き地方からも集まるもので、殊に媽祖では祭時に鐵道が、特派すると云ふ位夥しい人出を見るが、城隍爺に參詣する人も多く祭時に附近の驛からは割引券が賣出される。けれども大體に於てその奉安する廟の所在地方が多く、媽祖廟には中南部の人々が多數を占め、城隍廟には北部地方の人が多い。それでこの兩廟で擧き集る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

例の金銀紙や禮拜紙の量の多いことは、一寸想像も出來ぬ位多數で、何しろその燒いた灰が値にして約六七萬圓を下らないから、その繁昌振に一驚して一寸信ぜられぬやうだが、實際然うであり、年々參詣人は兩方共六七十萬人を下らないから、彼等臺灣人が媽祖や城隍爺を信仰することの厚多なのに驚きもし感心もするのである。

實に驚くほど多數の臺灣島民から、厚い信仰が捧げられてある城隍爺と云ふ男神は、一體如何なる男神であるかと云ふと、陰間の地方官とも云ふべきもので、一地方の安寧秩序を維持し、その地方民の禍福を支配する、神の地方官であると云ふのである。考へると滑稽な感じがあるが、この神を信仰する臺灣島民の心情は、大に迷信の弊を示したもので、恁うした神の存在は、他に見られない、支那人一流の神の一つである。即ち城隍爺と云ふその名が、既に地方と云ふことで、城は城であるが、隍は濠であると解して可い。それで城隍と云へば、城の濠の意にも解せらるゝが、この場に城池と云ふ方がよく而して一地方と解釋した方が可い。この男神は儒の所謂自然現象の崇拜の一つであつて、山川や海濱や等のそれと等しく崇拜するもので、城隍爺は都城の隍水の神なりと云つて居るし、又他の方では人鬼の上に立つ神なりとするのがある。即ち都城と云ふ一地方、府なり縣なりにはその地方の城隍を治め守護する爲めに奉安祭祀されてある。從つてこの城隍爺のの管轄すべき地域たる、城隍はその奉安の廟が所在に從つて、それ〴〵異にして居るから府にある城隍爺は府を、縣にあるのは縣を、それ〴〵管轄するので、その管轄の地域は、人間界で見る政治管轄區域と同等の廣さであるとされて居る。それ故に臺北にあるものは臺北州廳管轄區域を、臺南のは臺南州をと云つた工合で政治上の地方管轄區域と同じであつた。けれども今日の地方管轄區域とは異り舊時代即ち領臺前の清國時代のそれと同じ者であるのは、元來この神もこの他臺灣島民の祖先以來信仰奉安する神は、何れも支那人の信ずる神であるからで、一方祖先が信ずる時代の地域と同一だと云はれて居る。之はこの城隍爺たる神が地方官と同樣に、その地方の陰間陽間雙土の神務を掌るのが、神の任務であるのである。されば清國時代には各地方には必らず一つの城隍廟が建立されて、その地方官民から祭事が行はれたもので城隍廟は土地の狀況に因つて大小それ〴〵建立されて居る。臺北大稻埕の城隍廟は、廟こそ小さな、汚い建物ではあるが、これでも清國時代の臺北の地方政治區域内を管轄區域にされたも

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のである。而かも一方城隍神は地方人の爲めに德を敷いた名官賢卿であつたからで、臺灣には數多い神の中でその趣を異にし、地方官は懲うした神であるが故に、清國時代にはその地方に地方官として赴任する吏は、何れも赴任して來ると、官署に入らずしてまづ第一に城隍廟に詣てゝ城隍爺の神像を拜し、來任を告げて援助指導を請ふ旨を告げてから、聽て官署に入つて就任の慣例とされて居る。今はもう然うしたことはなく、唯だ地方民が信仰でこれを祭祀禮拜するに過ぎない。

城隍爺と云ふ神に就て二つの説がある、いづれが可なるかは暫く措いて兩説を掲げる。第一説には支那の漢高祖であつた沛の劉邦漢中に入り、遂に項羽と覇を爭つた時、戰不利で城は既に項羽軍の包圍する所となり、籠城數十日に及びて糧道斷たれ食盡くること旬日餘、士卒益々困窮した折柄、劉邦が部下に城池を掌つて居る紀信が、其主人一味の危殆に瀕して居るのを憂ひ、如何にしてか此危殆を救はんと萬方策を施したが良策が出來ないので、忠義の念厚く、身を鴻毛の輕きにする紀信は、遂に一策を案じて、身を劉に擬し城の本門高くに登り、敵に面して姿を現はし、大言して曰ふに、我は當城の主劉邦也、武運拙なく今爾等の包圍を受け、糧道絕たれ食せざる十餘日士卒困憊して戰ふを得ない、それ故徒らに此城を敵手に委すも殘念なり、自ら刎げて果つべしと自ら首を刎げて死した。これを望觀した敵勢は、その剛勇に驚嘆して圍を解き某所に集まつたので、劉邦は豫て紀信よりこの策を聽き居たので、この隙に乘じて逃げ落ち、更に精兵を募りて捲土重來忠臣紀信の讎を報ゆる一方敗戰の辱を雪ぐべく、項羽の軍と戰ひ、これを打ち破ることが出來た。それで劉邦は紀信の義に感じその死を惜しみ城隍爺に封してその靈を祭祀したが、これが城隍爺の由來で憾く城隍爺に封したのは、城紀信が城池を管掌して居たからで城池の守護神としたのだが、城池は卽ち城廓の意で、隍は池のことである。第二説は支那上古五帝の時代、三代の治世に堯舜あり、時の政務は八種に別たれ各種に一人の神がこれを掌理し、その地池を掌る神は如何なる盤根錯節にも撓まず、權謀術數を巧に操り裁斷事に適所して、如何なる危難災厄も忽ち處斷して、全力を盡し、城池たる國土を泰山の安きに置いたが、この神が城隍爺であると云ふのである。又た傳説としては、支那手世湯の末季に暴君紂王が權力を擅にせんとした時、進士三百六十人が國家の爲に敎匡せんとして、君公と爭諫して、反つて紂王の怒に觸れ悉

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

く殺されたが、後に周の武王立ちてかの暴君紂王を誅せんとした時、この三百六十人の靈魂が現はれ、紂王軍と力戰中の武王軍に應援し、遂に紂王を誅することが出來たが、武王は之れ忠の爲めに不道は懲すの範を示したものとして嘉賞し、進士の首領を城隍爺と云ふ、これを祭祀したものだと云はるるがこの傳說は臺灣人は多くは理由なく然るかと云つて居るが、學者なぞは信ずべきものでないとし、進士の制は唐の世民が時代で、武王の時代は世民の時代より幾世前で、まだこの頃にはこの制度がなかつたと云つて否認して居る。更に傳說としては、明朝時代に正德帝が蘇州征伐の際、軍を進めて大河に臨み、これを渡らんとした折柄、賊軍忽ち大擧して現はれ、戰ふて帝軍不利を招き、帝は危を脫して舟を戻さんとすると、賊軍は進み帝の舟楫に近き、これを轉覆せんとするに至つたが、この時天の一方に一隊現はれ、隍爺の指揮の下に、帝が座す舟邊に來りこれを護衞し賊勢は散々に打ち破り、帝を無事ならしめ、勢込んで賊軍を衝き逃走させて、帝軍に勝利を與へ、帝をして難なく渡河せしめたと云はれて、この靈驗を稱して居る。

城隍爺の由來と、臺灣人の信仰する神德とは大に異つた方面の如く感ぜられるが、城隍爺の神務は卽ち城廓の守護地方の守護であるから、地方官は陽間の治安靜謐を掌り、城隍爺は陰間の治安を持し、禍福を地方民の爲めに處理するので、且つ陰間陽間双方の神務を掌るから、地方官が、援護を祈願して來任を告げるばかりか、事件審理上に就てこの眞相の獲得し得ない場合は、この難事件のある時は、一夜城隍廟に參籠して神靈に祈願して神告を乞ひ、この得たる後に判斷をすることに慣例されて居る。恁う云ふ工合なので、島民も非常にこの神を信仰してこの靈驗の顯著なのを傳說的に信じて、他人の爲に殺害された人があつた時この加害したる犯人の行在不明な時は、必らず城隍廟に祈願して、神告を受けてこれにて、その犯人を探索することにして居る。されば城隍廟は我等の日常を照覽され善惡倶に了知され、それに依つて、禍福吉凶を授けられるから我等の身はこの神の守護を受けることになると云つて、難有がつて信仰する。一方妙な神で恁うした事にも臺灣人の心情が洞察され考究するも面白味のある神であると云ひ得る。それで支那でも臺灣でも同樣支那民族は、城隍爺なる神に就いては城隍爺を地方の陰官と稱し、各地方官を陽官と云つて居る。而して陽官は現世の賞罰を掌り、地方の行政的事務を掌るが、城隍爺は陰官だけに、幽界の功過を鑑みる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ものとして居る。從つて清國時代には、府縣官の初任時には、城隍廟で告祭する一定の式があり、現世卽ち陽官の行ふ正月の政治始たる開印や、十二月の政治納たる封印等の式儀も、これを城隍爺にも通用し、地方官がこの日親しく廟に參詣して開印封印の式を行ふのを慣例としたものであるなど、面白い神ではあるまいか。殊に領臺後は帝國政府の下に臺灣總督府があつて、この儀式が全く廢絶し城隍祭も地方民の手に行ふに過ぎない狀態になつたが、或年不幸にも宜蘭地方でペスト流行した時、その地方民は城隍廟の開印封印が中止してからだと、それで城隍爺が怒つて祟をしてペストを流行せしめたものと迷信だが云ひ出し、遂に滑稽だが地方民心鎭撫の一方法として、廟內で地方官民合同立會の上、舊曆十二月二十四日恰も封印の日だから、舊時代の儀に從つて封印の式を擧行したと云ふ、愚な話柄が存して居るが、この位信仰が厚いのである。

五月十三日と云つても舊曆である。この日は城隍爺の生誕日で一に城隍爺生と云つて祭祀が盛に行はれるが、臺北大稻埕のが最も盛大で、北港の媽祖祭と對して、臺灣第一の稱があり地方民の誇りの一つにして居る。この日は例の通り銅鑼笛太鼓鉦を亂撹して囃し立て、爆竹を鳴らし金銀紙を山と積んで神前で燒き、廟前は參詣の善男善女で押すな〳〵の雜沓で熱鬧を極むるが、又たこの日は城爺の神像と神輿に奉安して舁ぎ街巷を練り歩くが、神輿の行列は、主神たる城隍爺は神輿に乘り、使神は例の隍爺矮爺の范謝將軍が先に、而して幾萬の信徒は香を捧げてこれに從ふが、その信徒中には病災々厄等に罹り、この神に祈願しては厄を免れたものや、免れんとする者は、男は闘將と稱し三十六天官、七十二地煞の中の何かの神に裝ふため顏に一面油彩を塗り、女は紙製の枷を首に篏めて從ふので、この形裝噴飯に値するが、正に奇妙珍妙であつて、支那人臭が濃厚である。この首枷は女が多いが男もかける。而してこれは前記の意だが、平素の罪障の消えないから不運であるとて、罪滅しに神罰と受けるのだと云つて居る。この行列にはこの他、各街の壯青年團が競爭的に意匠を凝らした作物藝閣や假裝行列が續いて、長い〳〵行列で大賑を呈する。

盛大な祭祀を年々行ひ、全島一と云はるゝ臺北の城隍廟は今から百四五十年前、支那泉州府同安縣附近一帶の海內と稱する地方から、同地方に奉安されてあつた城隍爺の神像を陳金絨なる人が同志と共に携帶渡臺し、當時艋舺の八甲庄に商舖を構へ家業繁昌を祈る爲めに、その側に小なる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

廟宇を建立したのである。この神は霞海城隍と云ふが、内が霞海と何時しか變じたらしい。然し一方には福建の同安地方に龍林と云ふ林がありその奥に霞海と云ふ池があつたと云ふ說から、この神像が其處にあつたと稱へられるが龍林も霞海も今は知る人もなく、共も知る人がないと云はれるから、海内が霞海に轉じたらしい。而して今の大稻埕に移つたのは、咸豐三年今から七八十年前に、艋舺に在邑の晋江縣人と八甲在邑の同安縣人とが、例の分類械鬪で大に爭鬪して創戟を交へて戰つた。その時に八甲庄の同安縣人は破れ、八甲庄の城隍廟は全滅破壞されたが、敗走して大稻埕に至つた同安縣人は逃ぐる時神像を擁して居たので大稻埕に在邑するに決した際、同安縣人の總代陳金絨と周建成及び林礬とが再び奮發して、喜捨し更に寄附を同志に募つて現在の地に建立したのである。

サラワク旅行見聞記

前川昇

今般、南洋旅行中機を得て新嘉坡よりサラワクへ渡航し同地方に在留する多數邦人に付き親しく見聞したる一端を紹介し、幾分なりとも同王國の事情を窺知せらるゝことを得ば望外の幸である――述者。

一

本名Sarawak、嚴格に發音すればスラワ、普通サラワクと呼ぶ國名を心得居る人々は、西洋人否東洋人中にも極めて少數と思はれる。此處にサラワクとは現在白人の統治する一王國にして、英領北ボルネオと共にボルネオ島の北部を占め、東方には一小王國ブルネイを挾みて前記北ボルネオに連なり、北・西は支那海に面し、南方は分水嶺を爲す山系に依て蘭領ボルネオと境せる、面積約五萬平方哩（我が約八千平方里に當る）、人口約六十萬を擁する小國を云ふ。

本領は、地圖を繙けば一見して明瞭なる如く一名「水の國」とも稱せらるゝ程にて、國内到る處蜿蜒長蛇を爲す大小無數の河川網によりて縱横に切斷せられて、内奥地との交通は土人の所有する獨木舟又は小ランチにより何處々々までも連絡せられてゐる。

首都クーチンには、主要官衙、諸病院、學校、裁判所、監獄、市場、其の他公共の設備ありて、一大都市を形成して居る。又廣く一般の閲覽に供せる博物館には、ボルネオ特有且珍奇なる各種の天然物を蒐集して居る。此處と新嘉坡との間には、各週一回定期の航路が開かれて、本店をクーチンに有するサラワク汽船會社が經營をしてゐる。

二

二月十七日爪哇旅行を終へ新嘉坡へ歸著せる余は、旅裝を解く暇も無く翌十八日午前十時には早くも總噸數五百噸

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

汽船「アンピー」の船客と成つて居た。折良く便乘して來られたるが、馬來半島方面に於ける三五公司と同じく、サラワクに於て大規模護謨栽培に從事せる、株式會社日沙商會(元鈴木商店經營)の支配人及び工場長の一行であつた。一行等は數箇月振りにて新嘉坡へ出られたものと見え、各自社用を果されたる後寸暇を利用して種々雑多なる買物を爲された。就中余の最も注意を喚起せるは、内地白米一俵に澤庵漬一桶、それに梅干の買入は斯かる邊陬の地に在留する同胞家族にとりて最も喜び迎へられるものである。何となれば、此の地方では一年否夫れ以上何年に一回と云ふ、割合しか御目に掛らない結果である。此の他農園苦力の娯樂を主眼とせる小型活動寫眞機、最新式電氣マッサージ器、日本語及馬來語のレコード等が買込まれて居た。色々なる不便に堪へ乍らも、遙々内地郷土を離れて、南國熱帶の地に活動を續けて居られる我が同胞の數々を思ひ浮べて心中誠に感慨無量たらざるを得なかつた。

新嘉坡より約四四〇浬の距離に在るクーチンへは正味二晝夜にして到達することが出來る。然るに余等の一行を乘せたるエス・エス・アンピーは船脚遲き上第一日夕方より雲行悪しく剰へ驟雨を齎らし、宛然スコールと成りし爲め、第二日目は左側に一小島を見たるのみにて、上下左右丸で木葉の漂ふ夫れの如くピッチング、ローリング、果てはヨーイングとなり遂に本旅行中三食を缺くてふ好ましからぬ記錄を留めた。船に慣れたる二等運轉士さへ醉ふ有樣にて本航路開始以來の難航海として記錄せられた。併し流石に氣丈夫なるはキャプテンである。始終マドロス・パイプを啣へ乍ら朝夕サルーンに顔を出して常に船客の機嫌を伺つてゐた。

遂に第三日目は來た。午前中は雲煙模糊として遠望きかず、漸く午後と成りてボルネオ西北端が微に顯はれ始めた。恐らく何人たりとも航海中に於て陸を見出す程心强きものは無く、別して此度の如き暴風雨時には尙ほ更然りと思はれ、一行を始めとし船客一同安堵の胸を下したのである。斯くして、汽船アンピーは猶も其の夜サラワク河口に入り乍らも、潮の關係上タンジョンポー沖合に碇泊を續けた。明くるを待ちて入港し、途中又一箇所に暫時投錨、愈々午後三時滿潮時を計りてクーチンに入港することを得た。直にパスポート及手荷物の檢査を受け、日沙商會事務所の人となりたるは午後四時も過ぎて夕暮に近かつたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三

抑々日沙商會とは元々鈴木商店の經營に係り、代表者として今は故人と成れる放依岡省三氏の努力に俟てるものにて、日は日本、沙は沙撈越の兩頭字を採りて命名したるもの、現在租借總面積五、二三六英反、近く第三期植付を以て全部植付濟となる豫定である。現在は組織改りて株式會社日沙商會と稱し、クーチンには毛利氏支店長たり。サマラハン河沿岸に副ふ護謨園にはマネジャーとして林氏、工場長には藏原氏在住し、サラワク在留邦人一百餘名好く家族的に親密なる生活を爲して居る。此處にては曾て勞資爭議の行はれたる例無く、年老ふるを忘れて常に若々しき氣分を持ちて働ける現狀實に羨望に堪へず。是れぞ我等の希望するユートーピヤなる感を深うした事であつた。

二十一日午後到著したる余は同商會樓上に宿泊した。此處には邦人旅館なき爲め、來訪者は萬端同商會の世話と成らざるを得ない。翌朝同商會員の案内にて、程遠からぬ博物館を訪ふた。餘り大規模では無いが、ボルネオ附近の自然物を好く蒐集したる點に於て他の追隨を許さぬものである事は萬人の等しく認むる所である。取り分け、優美なる極樂鳥、オラン・ウタン(猩々)の偉大なる、土王の用ふる棺桶は特に珍らしく尠からず感興を唆らせられた。

正午クーチンを去りて定期モーターを乘用し、同商會現業地サラワクへと向つた。途中新嘉坡より一行にかはれるD氏はモーター屋根上の涼しい箇所を占領し獨り白河夜船を極め込み居たるが、やがて目的地に到著せんとする直前に當り、上屋よりキヤビンに戻る一刹那忽ちモーター傾きて手の握り所を失ひ、アツト云ふ間も無く水中に投げ出され運轉手始め船客數十名の耳目を聳動せしめたるも、幸にして鰐獸の好餌とならず、九死に一生を得たるは不幸中の幸であつた。

後になりて聞及んだ話ではあるが、殊更ら其の附近は鰐多く棲住し、爲めに生命を損つるもの尠く無いと云ふ。薄暮即ち五時半頃漸く上陸し臺車に押されて農園倶樂部に其の夜をば明かした。

森閑たる靜寂は薄氣味惡き程迄に納まり返つて居る、全く虎でも襲擊せん許りである。其の夜は毛布一枚に少さく成つて寢込んで終つた。

翌くれば、又もや快く氣も晴々せん程にすが〳〵しき天

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

氣である。南洋特有の何とも云へぬ好い氣持である。昨夜の恐怖は何處へか影を隱して天晴れ日本男兒を極め込んで居る。午前中工場と農園の一部分とを見せて頂き午前十一時多少早急の嫌あれども、クーチン市に更に數多くの見物すべきものを有する爲め、社員諸氏の極力引留むるをもきかず、我が意を通じ、單身モーターに乘込みて、午後四時過ぎクーチンに到著した。明二十四日は生憎女王の誕辰日に相當する休日とて、早速車を飛ばして主要官衙を歷訪し要件を簡略に濟せて吳る。僅か一日遲延の爲め之れ程迄慌てに番狂はせが來ることを思へば腹立たしくも無念に思はれて成らない。

四

斯くて二十四日は早朝より、支配人夫妻の東道により、クーチン市より二十一哩の地點にあるダイヤ部落を視察する。途中、護謨園、パイナップル園、次いで政府の經營に成る農事試驗場（胡椒、サイザル麻、其他が植付けられて居る）を視察して、不完全なる砂利道を搖られ乍ら、正午部落へ著いた。部落に近づくに連れて物資の交易に往來せるダイヤ人に出遭ふ。婦人は黑色の上衣に短かきサロンを穿いてゐるが、男子に至つては褌一本を纏ふた裸體而かも筋骨龍々たる黑光りを呈してゐる。婦人は概して乳部を露出し、男並にはないけれども、骨格は中々確かりとして居る。併し、體長は一般に矮少である。純黑髮に、眞黑なる瞳み、種々の特長よりして、我が大和民族の祖先と思はれる節が多い。所謂「黑色美」と稱するものは斯ゝる人種に對する言葉かと察知せらるゝ。

ダイヤ人中には我が東鄕元帥、故乃木大將閣下のことを知れる者あり、又好んで日本に關したることをば聞きたがる風ありと云ふ。眞僞の如何は別とするも、斯くの如き一小事とは云へ非常なる好奇心を唆られるものである。現に筆者はサラワクよりの歸途、ダイヤ人にして單身新嘉坡女醫學校に產婆學修業の爲め遊學せんとする氣强き一婦人の乘船せるに邂逅し、デッキを逍遙するに簡單なる和裝を爲せるを見て、曩に聞及べる話と今又實見とによりて、性急なる判斷たるを免れざるも、其の間何等かダイヤ人と大和民族との間に一脈の連鎖が伏在せる如く想像し得られたのである。

又家屋の形狀、構造から一切の生活狀態に至る迄、數年

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

嘗て角板山を視察したる際に見聞せる蕃社と大同小異の感に打たれた。即ち家屋は總て竹を以て作られ、濕氣の關係上床が一間以上もある點のみ相違せるやに思はれた。

ダイヤ族にはシー・ダイヤにランド・ダイヤの二種がある。古くより互に抗爭して消長常ならず、互に鎬を削つて居たものである。今日大部分靜謐を保つて居る狀況である。

部落の入口は巨木天を蔽し、宛然大洞窟を行く如き心地がする。稍行くに從ひて、五穀豐穰を祈願せる種々の供へ物が步道の兩側に竝べられてある。少し行けば高さ三四尺の竹垣あり之れを開けば愈々蕃屋となる。僅か七軒位の一部落にてはあれども、之れに百數十人の大家族が棲んで居ると云はれる。當時正に收穫期とて、若き青年男女は勞役の爲め戶外に出で不在の爲め、部落には僅かに留守居を守れる極めて少數の老爺、女、子供等のみに過ぎなかつた。

蕃社滯在僅々數十分に過ぎざりしも、此處に於て始めて椰子實の汁を吸ひ、果肉を嚙り惠まれたる南洋果實に對する新なる經驗を會得する機會を得た。又ラムブータンと稱する龍眼肉狀の果實を味ひ、蕃婦子供と共に記念撮影したるなど、思ひ出多き數々を小時間の中に果して得たる事は誠に幸運と云はねばならぬ。

猶ほ此の上特記せざる可らざるは、余が當部落を辭するに際して、折よく此の地方を巡視中なる現サラワク王（ラジヤ）に謁見するチヤンスを握りし事である。元氣横溢せるブルーク氏は僅かに一人を從へたる輕快さを以て巡視の任に當り、頗る平民的なること成程と想像せられた。

斯くしてダイヤ部落見學も漸く終り、只管一本道を眞しぐらに急行し、途中大雨に遭ひ、クーチン歸著の頃には美事に霽れ上つたる碧空に虹の姿を表はして居た。

サラワク滯留五日間、期間は少きに失したれども、在留民諸氏の鄭重なる指導案內により、思はざる見聞を擴充し得たることは望外の幸である。

最後に、述者は將來に於けるサラワクの發展を希ふと共に、過去に於て在留本邦人が獲得せる政府に對する信用と期待に反かざる樣益々努力して以て、彼我兩國民の繁榮に資せんことを希望しつゝ本稿を擱筆する。

（昭和三・五・二七）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

バガスパルプ工業の將來

殖産局特産課技師　土井季太郎

目次

一　緒言
二　三亞製紙會社の創立竝に現狀
三　バガス製紙工業成立の可能性
四　我國製紙界の現狀とパルプ工業
五　バガスパルプ工業と資本系統
六　バガスパルプ工業と動力竝鐵道運賃
七　バガスパルプ工業の採算點

八　バガスパルプ工業の發展の餘地
九　結　論

一、緒　言

バガス製紙工業は本島に於ては曾て大正八年臺南製糖株式會社に於て試みたることありしが未だ研究不充分にして技術上にも經濟上にも豫期の成績を收むること能はず、偶々財界不況による會社經營難に災せられて遂に成功を見ずして中止の已むなきに至れり。士林に在る臺灣製紙會社に於ては板紙製造の原料としてバガスの使用を考案し現に多量のバガスを使用し今日にありては板紙製造の重要なる原料となれり。

猶ほ米國に於けるバガスを加工して建築材料を製造する「セロテツクス」業は有利なる事業として一般に認めらる。

以上の如くバガス纖維を利用する工業は今日漸く世人の注目する處となるに至れり。

二、三亞製紙會社の創立竝に其の現狀

曩に製紙事業に失敗したる臺南製糖株式會社々長鈴木氏等は其の後引續きバガス製紙に就き研究を重ねつゝありしが愈々其の有望なるを確信し從來の方法に一大改善を加へ優良の紙を經濟的に製造することを發見せり。其の主なる點は

イ、バガス中の髓質を撰別除去すること

ロ、バガス中の糖分を除去すること

ハ、曹達回收法を應用して藥品の費用を節約すること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

等にして特に（イ）（ロ）は本發明の要點なり。即ち從來はバガス中に夾在せる髓質を除去することなく、其の儘操作したるにより、紙質弱くして抄紙の速度を減殺し、爲めに製紙能率を低減し、一方に於て有害無益の髓質にも藥品を要せるを以て藥品の消費多かりき。又バガス中に含有せる糖分を除去せざりし結果、糖分は操作中に於てカラメル化して紙料に著色し、而かも其の脫色は頗る困難の狀態にありしが、研究の結果バガスを機械的方法により髓質及び糖分を除去し、以て是等の缺陷を排除することを發明し、已に日本政府の特許を得、尙ほ諸外國に對しても特許出願中なり。

（ハ）、の曹達回收法は、木材パルプ等に於て已に應用せられ居るものにして敢て新機軸には非ざれども、バガス製紙に之れを應用し藥品の節約をなさんとするものにして、生產費の低下の方法として極めて重要なるものなり。

以上諸研究に基き、鈴木氏等は多大の期待を以て昨年末三亞製紙株式會社を創立し（資本金百萬圓拂込百分の一）臺南製糖株式會社より製紙工場を讓受け、之に改修を加へ本年二月より製造に著手したるが、今日に於ては比較的優良のハトロン紙（著色したる包裝紙の類）を製造しつゝあり。

今三亞製紙株式會社の操業を實地に就て視るに、其の事業草創の際にてもあり、多年放置せし工場のことゝて、能率低く且つ規模小なるが爲め、未だ經濟的操業に到らずと雖も、バガス製紙工業の將來を達觀するに其の將來は相當瞩目に値するものあり。

三、バガス製紙工業成立の可能性

バガスは製糖工場より生產する原料甘蔗の搾殼にして、其の生產割合は原料甘蔗に對し二割五分乃至三割、即ち生產砂糖の二倍乃至三倍に及ぶ。而してバガスの約五割は纖維にして、其の纖維の百分中三割は髓質にして、殘り七割は製紙

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

原料として貴重なるものなるが、從來は是等バガスは殆んど製糖の燃料として使用せらるゝに過ぎず。

バガスの燃料としての價値は石炭の約三分の一に相當するを以て、從てバガスの現在に於ける經濟的價値は其の工場所在地に於ける石炭代の三分の一に相當すべきものなりとす。故に製糖工場に於ける石炭一噸の値段十五圓の場合にはバガス一噸の燃料價値は五圓なるべし。

今バガスの製紙原料價値を考察せんに、バガスよりパルプを製造する時の步留は約六分の一なるを以て、一噸のパルプに要するバガス代價は燃料價値より計算すれば三十圓に相當すべし。次に木材パルプの原料代に就て之を見るに、一噸の化學的木材パルプを得んには原料木材約二十石を要す。今一石の木材の相場を三圓とする時は、其の原料代は六十圓に當りパルプとしての原料バガスは、原料木材の約半値に相當し、如何にバガス製紙工業の注目すべき事業なるやを知るを得べし。

然らばバガスパルプと木材パルプとの品質如何に就て考究せんに、兩者纖維の形狀に於ては大なる相違なく、唯だ性質に於て、バガスは硬質にして從つて硬質紙を造るに適する差異あるを以て、今遽かに優劣を論じ難く、大體に於て纖維として優良性を有すと稱し得べし。

次にバガスは製糖工場より產出せらるゝものなれば其の量も大體安定し集積して得らるべく、且つ其の形態其の儘直ちに製紙原料として適當せるものなるが故に、木材に比し頗る經濟的なりとす。以上諸種の理由により、バガス製紙工業は現に成立の可能性存するのみならず、製紙原料たる木材の年々減少しつゝある狀態に鑑みる時は、將來大に有望なることを想像するに難からず、特に本島製糖業の副業として頗る注目すべき事業なりとす。

四、我國に於ける製紙界の現狀とパルプ工業

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

紙の需要は一國文明の尺度なりと稱せられ、其の需要の增加は年々著しきものあるに拘らず、製紙原料たるパルプは自給自足に達せず、年々多量のパルプを外國に仰ぎつゝある狀態にして、最近三年間平均輸入年額千餘萬圓に達せり（第一表參照）轉て製紙界の需給狀態を考ふるに、上述の如く紙の需要は年々增加著しきものあるに拘らず、之が生產額は一層顯著なる增加を示し、常に生產超過に陷り製紙業者は操業の短縮を計り、纔かに市價を維持するに努めつゝある狀態なるを以て、三亞製紙の如く島内に販路を有する製紙事業は兎に角、今玆に新に大製紙工業を臺灣に於て企圖し其の製品を内地に販賣せんとせば、同業者の競爭を遁れ難く、寧ろ供給不足なるパルプを製造し、之を製紙原料として供給し、輸入を防遏するに如かざるべく思考せらる（第二表參照）

五、バガスパルプ工業ご資本系統

バガスパルプは勿論バガスを唯一の原料となすを以て、原料の供給は一に製糖會社に俟つものなれば、若しパルプ事業が製糖會社と別個のものなる場合は、パルプ事業の利益の大半は製糖會社に壟斷せらるゝ虞あるのみならず、種々の點に於て不利不便多く、經濟的に之を經營すること難し。故に本事業は製糖會社と系統を同じうするを要す。

次に生產せられたるパルプの販賣に當つては、其の需要者は一に製紙業者なり。製紙業者をして新に新製品たるバガスパルプを使用せしむるには相當努力を要すべく、其の販路に付ては不安なき能はざるべきを以て、製紙業者と相當了解あるを要す。故に本事業は、製糖業者並に製紙業者の共同出資による經營を最も合理的にして有利なりと思考せらる。

六、バガスパルプ工業ご動力竝鐵道運賃

バガスパルプ工業は、製糖工業の如く多くの動力を要す。製糖工業の動力は、高壓蒸氣を使用して發生し、其の際生じたる低壓の廢氣を煎糖に使用し得るものなるが故に、非常に低廉に動力を發生し得るものなり。然るに製紙工業には廢氣を使用すること製糖工業の如く多からざるにより、自家發生蒸汽動力費は勢ひ高價なるにより、一般に經濟的なりと稱せらるゝ「チイゼルエンヂン」に依るか、外部より動力を購入するかによらざるべからず。若し「チイゼルエンヂン」を使用せば其の動力は本工業の規模にありては、一キロ約二錢内外に當るを以て、一キロ二錢内外が外部動力に對する採算點なりとす。然れども將來本島電氣事業勃興し、低廉なる電力の供給を得るに至らば、バガスパルプ工業の如きは一層有望なるに至らん。而して本工業は年中操業をなすものなれば、電力供給者にとりては有利なる消費者なるべし。

次に臺灣に於ける鐵道運賃の高率なることも本事業の經營を困難ならしむるものなり。何となれば、運賃の高率は延いて石炭其の他を高價ならしめ、從つて原料バガス代及蒸汽費を上昇せしむる結果となる。加之原料バガスを他工場より輸送するに當ては、運賃高き爲め採算を不能ならしむる場合を生ずることもあるべければなり。

七、バガスパルプ工業の採算點

バガスパルプの生産費は工場の位置によりて差異あり。之れ主として運賃の關係上石炭代の相違による。故にバガスパルプ工業は概ね北部工場に有利にして、又高雄附近にある工場も、石炭其の他の物資を海送し得るにより之亦有利なりとす。

今假りに、相當有利なる條件を具備せる後壁林工場にパルプ工場を設けたる場合を豫想するに、該工場に相當するパルプ工場は、投資額約百二十萬圓を要し、パルプ生産額千六百萬封度内外、生産費封度當約五錢六厘の見込なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

然るに一方之が販賣價格は如何なるや之を豫想するを得ざるも、競爭品たる木材パルプの値段を調査するに、統計の示す所によれば、輸入木材パルプの一封度の價格は最近三箇年平均七錢七厘なり(第一表參照)而してバガスパプルは新製品にして其性質も木材パルプと異るを以て幾分下値にあるべく豫想せらる。

假りに其の賣値を封度七錢とすれば、封度當の利益一錢四厘にして、年產千六百萬封度につき、一箇年利益金二十二萬四千圓、投資額百二十萬圓に對し利益率一割八分六厘に當る。

今賣値の各場合を採り之が利廻りを示せば次の如し。

バガスパルプ生產費	同市價	一箇年利益(千六百萬封度生產)	投資本百二十萬圓に對する利廻り
五・六錢	五・五錢	損 一六、〇〇〇円	損 一・三三%
五・六	六・〇	利 六四、〇〇〇	利 五・三三
五・六	六・五	利 一四四、〇〇〇	利 一二・〇〇
五・六	七・〇	利 二二四、〇〇〇	利 一八・六七
五・六	七・五	利 三〇四、〇〇〇	利 二五・三三

卽ち、製品の賣價封度當七錢を保つを得ば、相當有利なる事業と稱するを得べし。之を以て本事業の將來は一にバガスパルプ製品の價値が、木材パルプに比して如何なる位置を占むるにありやと云ふに歸著すべく、之れ本事業を決定する重大なる鍵鑰なりとす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八、バガスパルプ工業發展の餘地

パルプ工業には優良なる水質を要し、其の量も多大なるを以て、何れの製糖工場にも附設し得べきものにあらず。從つてパルプ工場を設置し得る工場は、現在製糖工場數の三分の一乃至四分の一に過ぎざるべく、此の內運賃其の他經濟上の點より更に減少せらるべし。然れども爪哇に於て採用せられつゝある搾殼壓縮機を使用する時は、其の容積を約六分の一に縮小し得る爲め、輸送費を著しく低下せしめ、且つ貯藏に便ならしむるを以て、他の工場に輸送し得べく、バガスの利用範圍は一層擴大せらるゝに至らん。

今假りに本島の產糖一千萬擔、其のバガスの四分の一をパルプの原料に使用したりとせんか、パルプ年產約一億四千萬封度にして一封度假りに七錢とせば、年產一千萬圓に達すべく、大體輸入のパルプ數量に匹敵するに至らん乎。

九、結論

バガスは甘蔗糖製造に於ける主要なる燃料なれども、他に代るべき燃料あらば何時にても之に移り得べきものなり。然るに本島は石炭の產地にして、比較的低廉に且つ豐富なる燃料を供給するが故に、本島に於ては諸糖業國に比して特にバガスパルプ工業成立の可能性ある所以にして、而かも本島が暴風圏內に位する關係上、纖維分多き甘蔗栽培せられ、從つて搾殼生產量多きも亦一層本工業を助長せしむる一因たるべし。

而してバガスパルプ工業の將來を通觀するに、石炭の價格は騰貴の傾向なきにしもあらざれども、木材パルプの原料は漸次缺乏を告げつゝあるを以て、更に一層騰貴すべく、之れに代はる原料を要すべきは明かなる事實にして、從つてバガ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

スパルプ工業の將來は瞩目に値するものと云はざるべからず。

今や三亞製紙會社はバガス製紙事業に著手し、其の成績を如實に表はしつゝあり。之が成否如何は世上の大に注目する處なるを以て、工場設備竝に作業の改善に努力し、之が經濟的經營に努めざるべからず。而してバガスパルプ工業成立の如何は、バガスパルプが木材パルプに對して幾何の價値に置かるゝやによりて決定せらるべく、之れ亦三亞製紙會社に於て試驗すべき重大なる點にして、本島工業界將來の爲め吾人の期待して止まざる所なり。

バガスパルプ事業は、原料の供給を製糖業者に俟て製品を製紙業者に供給するものなるを以て、兩有力事業者の中間に介在する事業なるにより、其の事業は兩者協調の上に立脚する事業となすを必要とすべし。製糖及び製紙事業は共に我邦の大工業にして、豐富なる資本を有するを以て、果して眞にバガスパルプ事業が有利なりとし、兩者協調の下に本事業を開發する時は、啻に我糖業をして副業の新生面を拓き一層有利ならしむるのみならず、之が爲め本島の工業發展を促し、傍ら製紙原料の自給を確立して、輸入を防遏するを得、我國經濟の發達に資する所大なるべし。

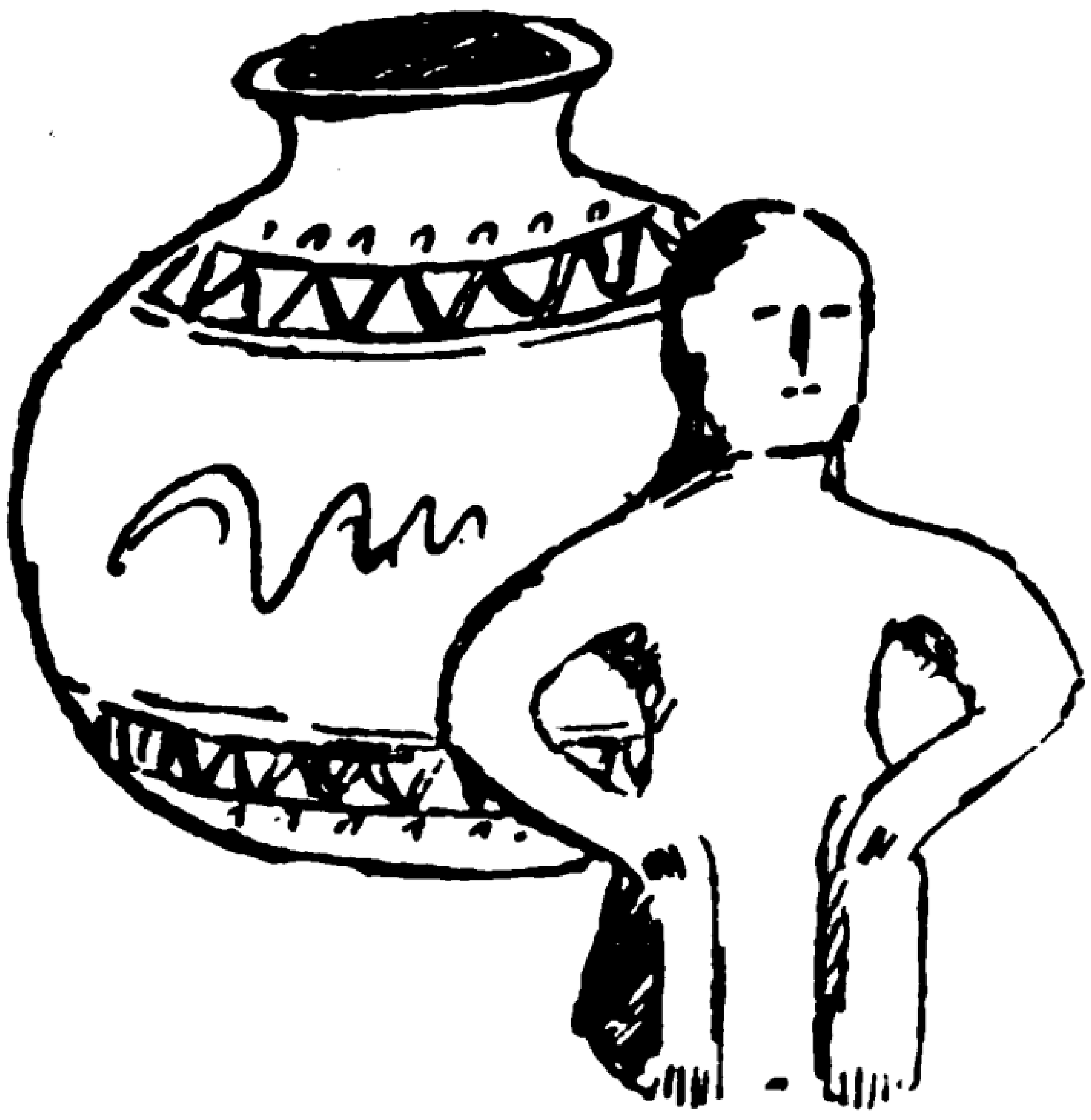
第一表　製紙用パルプ貿易

年次	輸出 數量	輸出 價格	輸出 一封度當り	輸入 數量	輸入 價格	輸入 一封度當り
大正十四年	擔 九	円 一五一	錢 一三・三	擔 一、三一一、〇六三	円 一四、九二五、三〇六	錢 八・二六
同十五年	—	—	—	一、〇六九、一五三	一二、〇一七、八〇二	七・五七
昭和二年	二、八〇三	二七、五八四	七・〇	一、二〇七、一一三	一一、九三〇、一五九	七・二〇
平均	九六四	九、二四五	七・〇	一、一九五、七七九	一三、六二四、四一五	七・七六

第二表

洋紙の需給關係（單位千封度）

年次／區分	抄紙運轉臺數	製造高	販賣高	需要高	前年對需要增加率
大正十二年	九六	七二九、五〇八	七〇九、八四五	七九四、〇二七	一四・〇%
同十三年	九九	八一七、三八三	八〇四、八一〇	八八九、五〇六	一二・〇
同十四年	一一六	九三一、七七二	八九八、六〇二	九五八、一〇三	七・七
同十五年	一二七	一、〇七四、六四七	一、〇三九、四〇八	一、〇六六、二七七	一一・二
昭和二年	一三三	一、一五一、五一五	一、一三一、五六八	一、一五二、五四五	八・一



最近に於ける支那實業の發展

小林一馬

(一) 緒論

中國の實業は從來極めて幼稚なるものなりしが、唯最近に至り全國の人士は、列強の經濟的侵略に處し、實業を振興するにあらざれば、自存するに足らざるを知り、積極的に提唱せしかば、相當の進步を來せり。而かも其の進步程度の如何は之れ又吾人の大いに注目せざるを得ざるところなり。玆に餘暇に材料を蒐集し此の編を彙成せるを以て、國人の參考に資せんとす。其の詳細なる情態は窺ふこと能はずと雖、而かも我が國に於ける實業の進步せる實況は亦一に鳥瞰し得べし。

惟ふに吾が國に於ける實業の進步せる動機は、阿片戰爭を以て嚆矢と爲すべく、亦吾が國に於ける實業史上の一革命時代とも謂ふべきなり。該戰爭の發生せる時西洋人の小銃・大砲・軍艦より受けたる禍は最も烈しきものにして、卽ち廣州は攻擊を受け、廈門は陷れられ、終に香港は割讓し、軍費は賠償するの止む無きに至れり。而して斯くの如き結果を來せるは、軍器の對抗し得ざりし爲めにして、其後洪楊の亂起るや、又外人の力を藉りし所尤も多かりき。米の華爾(譯音)、佛の買感勒(譯音)、英の戈登(譯音)等の如き、均しく西洋式小銃・大砲を善用せるを以て、著しく稱せられ、一時朝野の人士は、誰にても之れを重要視し、頗る前武器軍備の恃むに足らず、機械工業の大いに注目すべきを感じ、均しく其の全力を軍用工業に注ぎたり。故に一時軍械局(軍器局)、造船廠を設け、機械を購入せるもの甚だ多く、同治元年(一八六二年)曾國藩の安慶に軍械所(軍器所)を設け、李鴻章の蘇州上海に製砲局を設け、及び同治四年上海に江南造船廠を創設せる等の如

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

き均しく其の中の最も顯著なるものなり。中國の工業史を談ずるものは、此の時期を軍用工業の時代なりと稱すれども、尙未だ實業革新の企圖あるにあらざるなり。實業工場の初めて創設せられたるは、光緒四年(一八七八年)左宗棠氏の甘肅織呢總局を設けたるを以て嚆矢と爲し、機械の設備は、多く西洋法に屬し、頗る新工業の規模を具備したり。此れより以後數十年間は、時に工場の設立ありしが、尙何等顯著なる成績を示すに至らざりき。我が國に於ける從來の實業上より比較して之れを言はゞ稍や進步ありと謂ふべきも、若し全世界の實業進化の上より、之れを言はゞ、卽ち尙極端に幼稚なるものにして、絕對に發展せりと謂ふこと能はざるなり。實業の進步せる最大の動機は、歐洲大戰を推すべく、歐洲大戰の勃發後、我が國の實業界は發展の機會を與へられたること甚だ多く、卽ち賠償金の支拂停止、歐洲各國商品の中國輸入激減、中國產物品に對する需要の增加等の如き、又五四運動の日貨抵制、或は最近の五州慘案の英・日品抵制は、尤も我が國に於ける實業發展の最大なる機會たり。

此の數年來、一般實業の進步は、歐洲大戰前に比し、極めて顯著なるものあり、其の進步の程度如何は、又論者に數說ありて之れを證明す。

一、機械の輸入說　我が國に於ける實業上必要なる機械は素より外國より其の供給を仰ぐものなり。故に每年外國より輸入する機械の數は、卽ち我が國に於ける實業情態の一部分の盛衰を表示するものと云ふべし。惟ふに民國二年機械の輸入價額は、四百六十五萬兩に過ぎざりしが民國十年には、已に增加して五千五百萬兩に達せり。玆に最近十數年間に輸入せる實業用機械の數を表記すれば、左に示すが如し。(單位海關兩)

年次	農業機械	推進器	製織機	醸酒製糖機械	其他及部分品	合計
民國二年（戰前）	一一一、七〇〇	六四三、二〇九	八三六、八六四	四八、五一八	三、〇〇九、七一〇	四、六五〇、〇〇一
同八年（戰後）	五二一、〇二三	一、五八九、四〇五	三、七四四、〇一一	三、二七一	八、二四二、七三〇	一四、一〇〇、四三九
同九年	一、〇〇四、二七七	二、三四七、六三四	六、九〇三、六一〇	二七、六三四	一一、九八三、一〇一	二二、二六六、二五六
同十年	二、一九二、四〇四	五、一〇九、〇〇七	二六、七三三、〇一一	六三四、九七三	二〇、九六八、三八五	五五、六四七、七八〇
同十一年	六九五、七三三	二、三九五、四九〇	三〇、四八〇、三七六	二六八、八〇九	一五、五八三、〇一六	五〇、四三三、四二三
同十二年	三〇一、七一六	一、四七四、三四九	一三、三一六、四八六	一〇三、一八八	一三、四八二、〇五七	二八、六七七、七九六
同十三年	二七九、一五六	一、九〇六、一五五	五、七〇九、五六九	一、二九一、一五四	一三、七八三、二六九	二三、〇六九、三〇三
同十四年	一六三、三八八	一、九一九、七八四	二、四〇六、八二七	六、一三五	一〇、〇八三、〇五三	一五、五七八、〇八七

上表に記載されたる所を觀れば、民國八年度の機械輸入は、同二年度に比して多きこと三倍以上に上り、同十年度は更らに增加して五千餘萬兩に達したり。此の數は從來に於ける最高數にして、其の最も重要なる原因は、卽ち棉織工業の進步せることなり。製織機の輸入情態を觀るに、民國十年度は同八年度に比して多きこと五倍以上に達せるを以て、又之れを知るべく、其の他の機械も輸入は亦均しく增加せり。民國十一年度の數は稍や減退せりと雖、而かも製織機は、卽ち紡績增加せり、民國十二年以後遂次減退し、而して製織機の最も甚だしきは、夫れ蓋し紡績工場の以前の如き急進を示さざる結果なるべし。故に機械の輸入は、確實に我が國に於ける實業の盛衰を推知し得べく、金融活動し、實業盛に興りなば、卽ち工場の創設甚だ多く、從ひて機械の輸入も亦多く、之れに反すれば、卽ち機械の輸入は亦減退すべし。以上は我が國に於ける情態に過ぎざれども、稍や不周なる點あり。卽ち外國人の境内に在りて工場を設けたるもの甚だ多く、從ひて機

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

械の輸入も亦外國人の購入に係るものあるべきを以て、尚純粹に之れに據り、我が國に於ける實業の情態は斷定すべからざるなり。

二、原料の輸入說　我が國に於ける工業製品の原料は、大部分外國より輸入せられり。故に原料の輸入は、實業發展の確證なりと稱することは能はずと雖、亦製造業進步の一部分を表示するものなりと稱し得べく、例へば燐寸の如き、歐洲大戰後發展せる工業の一にして其の製造材料は、卽ち大部分外國の供給を仰げり。故に年々の輸入は、民國十年は二百二十八萬兩、十一年は二百八十五萬兩、十二年は二百二十七萬兩、十三年は百九十四萬八千餘兩、十四年は百八十三萬八千餘兩にして、材料の輸入增加と共に、其の製品も亦增加せり。惟ふに各種輸入原料中の最も顯著なるものは、化學工業用原料の增加なるべく、光緖二十九年度、化學原料の輸入は、海關兩六十八萬二千二百三十六兩なりしが、同三十一年度は、增加して九十二萬五千百十八兩に上り、民國初年度は、約百二十萬兩に達したり。民國三年度輸入の稍や減少せるは、蓋し歐洲大戰の關係にして、歐洲大戰以後は、卽ち輸入更らに增加し、民國九年度の輸入は、二百二十九萬一千二百三兩となり、同十一年度は三百六萬二千五十七兩に增加し、同十三年度は更らに增加して、一千五百四十萬五千八百二十四兩となり、同十四年度は尙增加して一千六百四十七萬二千七百三十兩に達せり。我が國に於ける近年來各種化學工業の製品の增加の極めて速なることは、卽ち此の一事に依るも知ることを得べし。

三、機製外國品の輸出說　我が國の對外貿易は、年々輸出は原料にして、輸入は外國品なること、幾んど定例なり。故に機製外國品の輸出は、極めて少額と云ふべく、苟しくも此の輸出あれば、卽ち國內製造業の進步せる證據の一部分たるべし。惟ふに民國初年、機製外國品に對し、頗る獎勵を行ひ、正稅を完納する一途を除き、概して厘稅を免除し、卽ち原價の輕減を謀り、大いに實業の大發展に意を用ひたり。今日迄で十餘年間に於ける、其の成績の如何、機製外國品の輸出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の增加せるや否や、之れを換言すれば、即ち國内製造業の進歩せるや否やは、左表に於て之れを求むべし

(單位海關兩)

品種	民國十年	民國十一年	民國十二年	民國十三年	民國十四年
粗布	三一三、二九三	五〇六、八一五	三、六三九、八七七	八、〇四六、四二二	七、七三四、〇三〇
市布	七二、八五三	五〇、五四〇	四七、一一四	一三三、六七三	九四、五一六
土布	二九六、四二四	三〇二、二〇五	三八五、七八七	三、四〇八、九六五	二、九一八、九九二
花土布	四一、〇二九	四八、八九三	二二七、一七〇	三三〇、九七四	八九、四四〇
毯線	一八、九二〇	一九、四六三	四八、一五六	九五、九二九	一〇八、四八二
木棉靴下	―	六一、九八九	一一九、五一五	二三七、九二五	二三一、三五八
手拭	一八六、八九〇	二〇六、七四八	三四三、九八五	四五四、一四五	四四[illegible]、六九一
紡績絲	一、一五〇、五二一	一、六六三、五五五	四、三四五、三四四	七、五一三、一二六	三、七七二、六四三
電燈	一七〇、一二八	一六五、九六〇	一三一、[illegible]二九	一四三、一四〇	四五四、八三四
セメント	七七、七一七	四、七九〇	一七七、七九二	四〇三、六四六	三八五、三八六
燐寸	八一一、九一八	九三七、四六六	一、二八九、一五二	七〇一、[illegible]四一	一六七、一六二
蠟燭	一〇、八七二	一二、四八〇	一六、三三八	三七、五三八	一四一、五〇八
石鹸	一七三、二九五	八九、〇一九	一〇八、八一八	一六九、八八八	九四、〇二五

上表に列記せる機製外國品は、最も重要なるものにして、其の他にも尙多數の種類あり、之れを統計すれば民國十年度の機製外國品輸出は、總額三百二十七萬四千八百餘兩、同十一年度は、五百九萬一千三百餘兩、同十二年度は一千二百十

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

四萬五千六百餘兩、同十三年度は、一千八百八十一萬二千百八十餘兩なり。故に之れを同十一年度に比較すれば、百分の四一・九の増加となり、同十二年度に比較すれば、百分の五四・八の増加なり。尚同十四年度以内に於て、機製外國品の増加の著しきものを、十二年度の價額と比較しなば、其の百分比左の如し。（民國十二年度を百と爲す）

品種	民國十二年	民國十三年	民國十四年
市布	一〇〇	二八三・三	一九八・〇
棉製敷物	一〇〇	一九二・九	二二五・二
棉製靴下	一〇〇	一一五・二	一九三・五
手拭	一〇〇	一一〇・七	一二八・七
紡績絲	一〇〇	一七二・六	八四・二
電燈	一〇〇	一〇四・二	三四七・六
石鹸	一〇〇	一三一・七	八六・四
蠟燭	一〇〇	一六七・〇	八六六・〇
粗布	一〇〇	二二〇・一	二一二・八

此れにより、機製外國品事業の漸次發達し、其の出品の已に海外市場に在りて勢力を擴張せるを知るべし。然れども吾人は尚注意すべきにして、即ち輸出機製外國品中、大多數は外國商の中國内に在りて工場を設け、製造せる商品なるが故なり。故に尚之れに據り、即ち我が國の實業の發展を斷定すること能はざるなり。

四、外國品輸入の減退說　是れは我が國に於ける實業の進歩せる反面の證據なり。蓋し外國品輸入の減退は、即ち一部

分は國內に在りて、此の種商品を已に製造し、之れを補足せることを表示するものなり。茲に最近三年來に於ける重要外國品中、其の需要の未だ何等減退せざる數種に就き、比較すれば左の如し。

品名	民國十二年 海關兩(千兩)	民國十二年 輸入總額百分比	民國十三年 海關兩(千兩)	民國十三年 輸入總額百分比	民國十四年 海關兩(千兩)	民國十四年 輸入總額百分比
棉製品	—	—	一五四、三五五	一五・一六	一五六、九〇三	一六・五五
砂糖	—	—	七六、三八四	七・五〇	八九、八二六	九・四八
五金及小物	—	—	六七、七七〇	六・六六	四三、一六〇	四・五五
麵粉	—	—	三〇、〇九八	二・九六	一五、九七〇	一・六九
紙卷煙草	—	—	二七、六五〇	二・七一	一七、七六八	一・八七
人造藍	—	—	二一、五八五	二・一二	一四、九五〇	一・五八

試みに最近に於て輸入の重要なる位置を占むる布類(木棉類一式)を取り、漂白・染色の棉布の如きに就き、之れを比較すれば、十三年度の輸入は、總計九二、五一九、六一八兩にして、十四年度の輸入は、八六、七〇〇、六八一兩なるを以て、其の減退は五百八十餘萬兩の多額なり。棉毛製品類(棉羽製敷物羅紗等の如き)は、十三年度の一一、二四〇、一〇五兩より十四年度に於て七、八〇八、三二二兩に減退し、其他毛及び毛製品の如きも二百萬兩に減少せり。肉類の罐詰は、亦六十餘萬兩に減退し、玻璃磁器等は、亦三百餘萬兩に減少せり。是等は均しく國內に於ける此の種實業の發達を意味するものなり。

總じて我が國に於ける最近の實業の進步を知らんと欲すれば、上記の四說は、均しく參考すべきなり。茲に新に發生せる實業例へば棉織・毛織・麵粉・セメント・化學工業等に就き、詳細に記述すれば、左の如し。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣 蔬菜園藝講話（六）

臺北帝國大學附屬農林專門部 教授 芹澤 立

第二章 里芋

別名 畑芋・家芋・芋・青芋・露取草・芋仔（臺灣名）

英名 Taro, or Dasheen.

學名 Colocsaia antiquorum, *Schott.*

科名 天南星科

第一節 由來・性狀・用途

由來 里芋の原産地については、未だ明瞭でないが、大體に於て東印度及び馬來半島等の熱帶亞細亞であらうといふ說に、略ゞ一致し、現にそれ等の地方に、之が自生を見らる。

また我が內地に於ける栽培の起源は極めて古くして、大古の時代より、既に存在してゐたといふ。現時その作付反別は頗る多くして、甘藷に亞ぎ。また風土を選ぶこと少なきが爲めに、本邦各地に亘り、極めて廣き範圍に栽培されてゐる。

性狀 里芋は宿根性草本にして、葉は根出葉をなし、その葉面濶大、葉柄は長大多肉で、その長さは二、三尺乃至四、五尺に達し、外皮は暗綠色を普通となすが、品種によつては、暗紫赤色を呈するものも尠なくない。また莖の下部は球莖をなし、親芋を形成し、次その周圍に子芋を生じ、更に孫芋・彦芋を著生する。

芋と葉柄とには、蘞味を有し、爲めに口腔の粘膜を刺戟することが甚だしいので、生食するに堪えぬ。この蘞味は修酸石灰 $Ca(C_2O_4)$ の結晶であつて、之を煮るか又は酢に浸さば、その結晶物は分解されて、蘞味が消失する。

熱帶地方では、葉の中心部より、天南星科特有の茶褐色毛筆狀の花穗を生ずるが、結實することなく、また溫帶地方に於ては、旱魃の年にのみ、稀に現はれるに過ぎぬ。

用途 里芋は蔬菜用として、諸種の調理に適するのみならず、地方によりては、之を常食に供して米穀の代用となし、また周

年之を需用することが出來、市場用、自家用として、重要なる蔬菜である。

芋の外、葉柄も亦、食用に供し得る品種がある。白芋及び紫赤色の葉柄を有する品種が、卽ち是れである。

また里芋の軟化促成品は、高雅なる蔬菜として、世人に賞味せらるゝところのものである。

第二節　品種

里芋は、既述の如く、その分布甚だ廣く、栽培の起源亦古く、而も重要なる蔬菜である丈けに、從て品種の數に富み、之を分類すれば里芋・唐の芋・八つ頭芋・筍芋・水芋・白芋等の六種類となる。

第一款　里芋

別名、青芋・畑芋。

親芋は纎維質にして、風味劣るが、子芋はその著生甚だ多く、而も粘質に富みて、味美なるを以て貴ばれ、主ら子芋用として栽培せらる。

本種はその栽培の範圍極めて廣く、また之に多くの品種が含まれるが、葉柄の色によりて、赤莖と青莖との二種類に分たる。

一、青莖種

1. 土垂芋　一名　鳩ケ谷芋

埼玉縣北足立郡鳩ケ谷町附近特産の早生種であつて、關東地方に最も廣く栽培されてゐる。葉柄は暗黄綠色を呈し、長大にして、その長さ四尺内外に及ぶ。

子芋は著生すること甚だ多く、その形長楕圓にして小さく、外皮黄白色を呈し、肉白く、質緻密・柔軟にして、粘氣に富み、風味良好であるが、親芋は形中位にして、その味劣る。

本種は、性質强健、栽培容易にして、收量に富む。

2. 今福芋

關東地方に多く栽培され、葉柄は細長・綠色で、その長さは四尺内外に及び、よく横繁する。

子芋は數多く、形稍ゝ大にして、長卵形を呈し、その外皮黄褐色、肉白く、粘質を帶びて緊り、品質稍ゝ佳良である。

また親芋も數多く、形稍ゝ大にして、球形を呈する。

3. 豐後芋

東京附近に栽培せらるゝこと多く、葉柄は綠色を呈し、その長さよく四尺以上に伸ぶ。

子芋は長楕棒狀を呈し、形稍ゝ大にして、よく揃ひ、數多く、その外皮黄白色、肉白く、質緻密で、粘氣強く、味良く、また收量も多い。

親芋は小にして、楕圓形を呈し、數多く、その皮肉の色は共に子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

芋に似てゐるが、その味美ならず。

4. 早生芋

東京・千葉の兩府縣下に多くその栽培を見、葉柄綠色・細小にして、三尺を出でぬ。

子芋は大さ中位の倒卵形にして、外皮黃白色を呈し、肉白く粘氣ありて質緊り、その味稍〻劣ると雖も、收量に富み、且つ早生なるが故に、多く栽培さる。

親芋は楕圓形にして小さく、數少なく、その味更に劣る。

5. 多田芋

京都府紀伊郡九條村附近に多く栽培せらるゝ早生種であつて、その葉柄は綠色を呈する。

子芋は大にして、形球く、肉緻密で粘氣あり、その食味佳良である。

親芋は充分に肥大せば食ふに堪へぬが、その未熟の間は、食膳に上せ得らる。

6. 丸子芋

靜岡縣下に多く栽培せられ、その葉柄は綠色である。

子芋は楕圓形にして、その著生最も多く、品質佳良にして、收量に富む。

また親芋は、大さ中位で、楕圓形を呈し、その味稍〻劣る。

7. 生蕃芋

本島蕃地產にして、之に青莖・赤莖の二種あり、共に親芋は形小であるが、稍〻多くの子芋を著生する。

青莖種の子芋は、圓錐形を呈し、形稍〻大であり、また親芋・子芋共にその品質稍〻良好であるが、赤莖種の子芋は、長棍棒をなし、大さ中位にして、親芋・子芋共にその品質劣る。

右の外、一年芋・團子芋・六月芋・愛知早生芋及びその他多くの品種が、この類に入る。

二、赤莖種

1. 赤芽芋

靜岡縣下及びその他各地に、汎く分布せる著名な品種であつて、葉柄は綠紫色を呈し、長大にして五尺内外に及び、之に蘞味を含まず、且つその芽赤きを特徴とする。

子芋は大さ中位、その外皮淡赤褐色、短圓錐形であり、親芋は大にして、略〻球形を呈する。また子芋・親芋共に、收量甚だ多くして、農業部に於ける品種比較試驗の成績に據れば、收量第一位を占め、反當收量優に五百貫匁の上に出てゐる。またその質粉狀にして緊り、而も極めて柔軟で、甘味に富み、品質優良なるを以て、經濟的品種とせられ、子芋・親芋・葉柄の三者を、對象として栽培さる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

2. 九條芋

その葉柄は濃紫色を呈して美しく、子芋は著生すること少ないが、親芋はよく發達して數多く、肉白色にし、て稍ゝ紅味を帶び、その質粗糙、粉質で、甘味あり、味佳良、收量中位である。主ら親芋を需要し、また葉柄をも利用さる。

右の外、熊野芋・紫芋・海老芋・女芋等も亦、この類に屬する。

第二款 唐の芋

我が內地至る處に、その栽培を見る著名な品種であつて、一名を紫芋とも稱し、一般に親芋を目的として栽培さる。

その葉柄は赤紫色を呈し、丈稍ゝ長くして、三尺內外に達する。

子芋は形細長にして小さく、またその生產も多くないが、併し親芋はよく發達肥大し、略ゝ球形を呈し、肉緻密で、粘氣あり、而も粉質にして柔かく、風味極めて佳良である。

その葉柄は「殺り取」の別名が附せられてゐる位に、柔軟にして食用に適する。

また本島產の麵芋は、その性狀よく本種に類似し、親芋大形にして、その味佳良である。がその芋を橫斷すれば、赤紫色の多くの小斑點が散在せるを見る。

第三款 八つ頭芋

別名、九面芋・車載芋・赤芋。

八つ頭芋は、特徵ある品種として、一般にその名を知られ、廣く各地に栽培されてゐる。

葉柄は暗赤色を帶び、最も矮性にして細く、その長さ二尺五寸位に過ぎず、且つ分蘖性に富む。從てその葉數最も多くして、橫繁性である。また食用にも供せらる。

子芋は小にして、その數甚だ少なく、長形を呈し、而もさして品質良好といふを得ず、爲めに主ら繁殖用に供せらるゝに過ぎぬ。

親芋は稍ゝ扁平にして、上面に多くの芽を有し、その形頗る大である。されば「八つ頭芋」なる名稱は、その形狀にふさはしい。また肉は緻密にして緊り、粘氣少なく、質最も粉狀で、その品質優良なること、里芋類中隨一に推され、「芋田樂」には主ら本種が用ひられる。

また本島種「狗蹄芋」は、その性狀よく本種に酷似し、親芋は形大にして、品質優良であるから、主ら之を、栽培の對象とせらる。

第四款 簑芋

別名、花芋・縞芋。

親芋には橫縞あり、また開花し易き特性がある。これ花芋・縞芋なる別名を得た所以である。

本種は子芋の形狀によりて、長形種 棍棒狀 と、丸形種

—楕圓形」との二種に分たれるが、共に多くの親芋・子芋を生じ、その葉柄は共に暗綠色を呈し、また芋・葉柄共に蘞味辛烈である。從て子芋と雖も、直に煮て食するを得ず、併し之を翌年迄貯ふれば、蘞味を減じて美味となる。

親芋は蘞味一層强烈であるが、之を軟化促成せしものは、毫も蘞味なく、風味甚だ高尙にして、よく世人に賞味さる。

本種はその性强健にして、陰濕地にも、また旱魃にもよく堪え、且つさして年によりての豐凶の差を認めぬ。

第五款　水芋

本島には檳榔心芋なる一種あり、主ら溝渠・水田に栽培され、また內地の田芋は主に葉柄用として栽培せらる。

1. 檳榔心芋（臺）

葉柄は淡紫綠色にして長く、子芋は數少なく、形細小であるが、その親芋は形頗る巨大となり、數百匁乃至一貫匁內外に及び、短紡錘形を呈する。またその肉には淡紫赤色の小斑點あり、その質粉狀にして粘氣少なく、甘味に富み、品質優秀で、主ら親芋用として栽培さる。

普通に生蕃芋の名で、市井に賣がるゝは多くは本種である。

2. 田芋　一名、水芋・都芋。

內地の水芋は、葉柄淡綠色にして、且つ稍〻紫色を帶び、形長大となりて四尺五寸內外に及び、また蘞味を含まずして食用によろし。

子芋は形小にして、その味佳良であるが、その數少なきを以て、主ら翌年の繁殖用に供せられ、また親芋は、球形にして大であるが、その味劣る。されば主ら葉柄を目的として栽培され、生長するに從て、その外部より搔取りて食膳に上す。

また本種は、肥沃に過ぎる土地にても、日陰地にても、相當の收穫を見らる。

第六款　白芋

別名、蓮芋・露芋。

學名、Colocasia indica, Kanth

本種は一般の芋類とはその種（スペシース）を異にし、草丈高くして四、五尺內外に達し、また葉・葉柄共に淡綠色にして白粉を帶び、その葉柄には蘞味を有せず、味佳良にして齒切れ宜しく、生食も煮食にも好適である。

親芋・子芋は、共に形甚だ小さく、且つその數少なく、味不良にして到底食するに耐えぬ。

本種は陰地・濕地を好み、斯かる土地に於て、よく生育繁茂するを見る。

右の內、本島內にて、之が栽培を奬勵し度きは、土垂芋・丸子

芋・赤芽芋・唐の芋・八つ頭芋・檳榔心芋・白芋等である。

第三節　氣候・土質

氣候　里芋類は、何れも溫暖・濕潤なる氣候を好むものである。されば雨年には、莖葉よく繁茂して、甚だ豐産である。反之、旱魃に逢はしむれば、その生育極めて不良となり、莖葉萎凋し、遂には枯死することすらあるのである。

土質　土質はあまり之を選ばぬが、排水可良にして、而も水分に富み、且つ肥沃にして輕き壤土・砂質壤土乃至は粘質土に好適する。

また山間の新墾地にても、敷草をなして旱魃の害を防がば、收量多くして、品質良好なるものを得らる。

里芋類は浸水に遇ふとも、その害を被むること極めて少なきものであるから、河邊り等の浸水地に、栽培するに好適である。

また特別なる品種を除くの外、里芋は一般に、保水力の強大なる土壤で、常に水の停滯するが如き冷濕地は、之が忌むところであつて、芋の品質劣る。

（未完）

島情

臺灣貿易統計（昭和三年五月）

臺灣總督府税關

◈貿易額比較

（其ノ一）

外國貿易	三年六月	二年六月	三年累計	二年累計	増減（●）
輸出	二、七六四、三三八円	四、五七三、九四七円	一六、二〇五、九六三円	二〇、〇九六、三五八円	●三、八九〇、三九五円
輸入	四、五四六、〇一五	四、二八四、三〇四	二九、一〇〇、八五五	三六、八〇六、九〇六	●七、七〇六、〇五一
計	七、三一〇、三五三	八、八五八、二五一	四五、三〇六、八一八	五六、九〇三、二六四	●一一、五九六、四四六
輸出（入）超過	（入）一、七八一、六七七	（入）二八九、六四三	（入）一二、八九四、八九二	（入）一六、七一〇、五四八	—

（其ノ二）

內地貿易	三年六月	二年六月	三年累計	二年累計	増減（●）
移出	八、九九一、二一三円	八、八三五、八六七円	一三八、一二六、三三一円	一二八、八七三、二七〇円	九、二五三、〇六一円
移入	一〇、八六二、四五四	九、六一五、八七二	六三、七三四、七四〇	五五、六七七、四二七	八、〇五七、三一三
計	一九、八五三、六六七	一八、四五一、七三九	二〇一、八六一、〇七一	一八四、五五〇、六九七	一七、三一〇、三七四
移出（入）超過	一、八七一、二四一	七八〇、〇〇五	七四、三九一、五九一	七三、一九五、八四三	—

◆輸　出

品目	単位	六月 数量	六月 価額	三年累計 数量	三年累計 価額	二年累計 数量	二年累計 価額	増減(•) 数量	増減(•) 価額
包種茶	斤	一、二六六、五〇八	九四四、三五五円	三、七一三、六三三	二、七九〇、四八三円	三、五三五、四一〇	二、六三〇、九四二円	一七八、二二三	一五九、五四一円
石炭	噸	五六、一六一	五八〇、八六五	二二二、五二一	二、三七四、七六七	三二一、八七九	三、五八五、三五九	•九九、三五八	•一、二一〇、五九二
烏龍茶	斤	四八〇、三五四	二七七、四三四	四八一、一二四	二七八、一三二	九四〇、九九二	五六〇、七三六	•四五九、八六八	•二八二、六〇四
鹹魚及乾魚	同	二〇四、〇五七	六二、六六一	二、八九八、〇七三	五四七、五三三	一六、四九〇、〇六五	一、七八七、一〇七	•一三、五九一、九九二	•一、二三九、五七四
綿織物	碼	二四二、三一七	五七、一六五	七、八八六、六八九	一、七九一、一四三	六、八六〇、六九一	一、四〇四、七五五	一、〇二五、九九八	三八六、三八八
砂糖	斤	一五三、四五〇	一七、一五九	二、九〇〇、〇〇一	一、一一一、九八〇	一四、四〇三、一九八	一、九五一、五八四	•一一、五〇三、一九七	•八三九、六〇四
鹽	同	三五、〇五五	一五、二〇〇	六八七、三六八	二八二、九三三	二、〇〇六、七〇七	八一〇、六〇三	•一、三一九、三三九	•五二七、六七〇
樟脳	同	一二四、〇〇〇	一二三、三八一	一、四八五、二〇七	一、四七七、七九二	六〇八、八〇〇	七九八、八六七	八七六、四〇七	六七八、九二五
酒精	升	三四四、〇五〇	九〇、三七〇	三、九二五、二五五	一、〇五〇、八九〇	三、三〇九、八四七	一、〇五二、〇五五	六一五、四〇八	•一、一六五
セメント	斤	一、七一七、三七六	三二、一八〇	二〇、〇六六、二二五	三七八、〇〇〇	三二、九九一、〇七〇	六四六、一一七	•一二、九二四、八四五	•二六八、一一七
絹及絹綿織物	碼	一二一、八八六	七九、三四一	六一五、〇五二	四三五、九五六	七五三、七七〇	四五六、八四六	•一三八、七一八	•二〇、八九〇
貝柱	斤	三二、四九八	三七、五二八	一一五、五九九	二三二、七一八	二一五、〇三〇	三六七、五二七	•九九、四三一	•一三四、八〇九
苧麻	同	一二四、三三三	四二、二九九	五三四、六二七	一八五、九七〇	七七〇、八一一	二七六、九二三	•二三六、一八四	•九〇、九五三
燐寸	哥	五〇、五二五	三二、九六一	二〇七、五七一	二〇〇、九一五	三三三、八七一	二一六、四〇八	•一二六、三〇〇	•一五、四九三
糖蜜	斤	七四四、一八七	八、四五三	一二、九六四、八七七	一四九、八一七	一六、五八五、三八五	二三五、六八〇	•三、六二〇、五〇八	•八五、八六三
其他諸品		—	三六三、〇八六	—	三、〇一六、九九四	—	三、四一四、八九九	—	•三九七、九〇五
計		—	二、七六四、三三八	—	一六、二〇五、九六三	—	二〇、〇九六、三五八	—	•三、八九〇、三九五

◆輸　入

品目		六月 數量	六月 價額	三年累計 數量	三年累計 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
			円		円		円		円
米	斤	五、三〇〇、五九五	三四三、〇一九	一三、六四八、〇六六	一、三三二、六九四	二三、九八二、八一四	二、三八二、六〇二	•一〇、三三四、七四八	•一、〇四九、九〇八
大豆油糟	同	三二、九四一、六七〇	一、五四六、三三六	一六七、〇七三、二四五	七、三六八、七四五	一四八、〇六〇、六六三	六、三三九、六八八	一九、〇一二、五八二	一、〇二九、〇五七
硫酸アンモニウム	同	七、八〇三、四五六	六〇八、八八五	五一、一九五、八七七	三、九七七、四四九	三三、二四六、一一六	二、六六九、五一〇	一七、九四九、七六一	一、三〇七、九三九
砂糖	同	—	—	一二、六〇〇、五〇四	一、二五一、七四九	二九、九九九、四九七	二、七九四、二一〇	•一七、三九八、九九三	•一、五四二、四六一
木材	立方尺	一六四、六一〇	一三六、三九二	二二一、七四三	一、四四六、九六九	二〇九、七七四	一、四二一、〇六八	一九、六七五	二五、九〇一
大豆	斤	六、〇五五、一五七	三七三、一八六	三〇、一〇一、六七一	一、八二一、五六六	二一、七九七、四七六	一、二七七、〇四六	八、三〇四、一九五	五四四、五二〇
ガンニー嚢	箇	四八、〇〇〇	三三、三六〇	二、三三六、九〇三	一、一九一、五〇四	一、九八六、〇八九	九六九、九一一	三五〇、八一四	二二一、五九三
燈油	ガロン	二四五、九四三	九八、八四七	一、三三五、八一〇	五九三、八三七	一、五三七、七六九	六八四、七五七	•二〇一、九五九	•九一、九二〇
麩	斤	一、六九九、八三〇	六六、五一二	一、六〇四、一二四	五一三、四四九	一、六八〇、四五八	六四三、三九八	七八九、三二四	•四九、九四九
小麥	同	二、〇〇五、四七五	一三八、二〇〇	八、七九七、八九一	五九三、九六三	一〇、〇二三、八八四	六八六、〇八六	•一、二二五、九九三	•九二、一二三
葉煙草	同	二九、九八七	一九、四三六	四三八、八二二	二七八、三二四	一、六四三、〇五八	六二一、六七五	•一、二〇四、二三六	•三四三、三五一
阿片	同	—	—	一、八一四	二四〇、三〇〇	一、二五〇	二二七、〇〇〇	五六四	一三、三〇〇
鐵	同	七八六、二五九	六六、三六八	四、六九一、二五四	四〇三、二八一	三、五五四、四三五	三三六、六三〇	一、一三六、八一九	六六、六五一
包蓆	枚	七八、〇〇〇	七、三〇一	二、八〇九、〇五〇	二五五、五四八	二、三〇〇、七四〇	二八〇、七六八	五〇八、三一〇	•二五、二二〇
原油及重油	ガロン	二四九、五三三	四〇、八一二	三、七二〇、九八四	四九四、八五〇	八三四、三二四	一六七、八三四	二、八八六、六六〇	三二七、〇一六
石炭	噸	一二、六四二	一八五、七七二	一九、三五二	三二一、二九二	一〇、一四九	一八四、六四一	九、二〇三	一三六、六五一
禮拜紙	斤	六一二、二七一	一五、七八七	六九五、六三二	一七〇、三一〇	九七五、七二六	二二六、三三九	•二八〇、〇九四	•五六、〇一九
繰綿	同	七、一四〇	四、三一七	一一三、〇六四	五〇、八一七	二四五、八五八	一〇一、三〇三	•一三二、七九四	•五〇、四八六
綿織物	方碼	一五、九五六	一〇、三三一	四二五、七八八	二四三、六八九	三四六、三四一	二三一、四一三	七九、四四七	一二、二七六
毛織物	同	四、三〇一	五、〇九八	六三、〇八六	七四、四一〇	一三七、〇六七	一六〇、七一九	•七三、九八一	•八六、三〇九
鍋	斤	一四、七一一	二一、八六四	九八、一〇一	一四八、六一六	七七、一九五	一三七、八四五	二〇、九〇六	一〇、七七一
揮發油	ガロン	三〇、〇八三	二五、七六二	一五二、八七九	一三三、八八八	九五、八五二	八六、八五六	五七、〇二七	四七、〇三二
苧麻布	方碼	九九、〇九七	二九、五四〇	八四〇、四一二	二〇一、六七三	七八〇、四五八	一七八、二三〇	五九、九五四	二三、四四三

品目	單位	六月 數量	六月 價額（円）	三年累計 數量	三年累計 價額（円）	二年累計 數量	二年累計 價額（円）	增減(•) 數量	增減(•) 價額（円）
綠豆	斤	三七五、一三三	二八、一七三	一、八五四、六四五	一三一、四七三	一、七〇七、四六四	一〇九、六一〇	一四七、一八一	二一、八六三
陶磁器		—	一〇、二九八	—	一三八、六三〇	—	一二一、一八〇	—	一七、四五〇
唐紙	斤	二一一、〇四三	八、一八七	九六七、二四七	八〇、九七〇	九四四、七〇〇	七九、五三三	二二、五四七	一、四四八
胡麻干	同	二〇七、五七八	四、一二六	八一六、五六〇	一一八、三九七	三六七、七五一	六四、五三三	四四八、八〇九	五三、八六四
豆菜麵	同	三一、九二二	九一九	一一八、七七八	三三、二一八	二八一、四四七	七七、三九六	•一六二、六六九	•四四、一七八
黃麻	同	二七七、六九四	三九、三七三	二、二〇二、六八七	三一三、二一〇	七四、一三九	八、七五四	二、一二八、五四八	三〇四、四五六
鹹魚	同	一九、〇五〇	二、一九一	三、四七九、三七四	二三四、二八五	一、二七五、七三七	九三、九五五	二、二〇三、六三七	一四〇、三三〇
其他諸品		—	六九六、八二四	—	三、九二六、三八一	—	三、二一二、六五〇	—	七一三、七三一
計		—	四、五四六、〇一五	—	二九、一〇〇、八五五	—	三六、八〇六、九〇六	—	•七、七〇六、〇五一

◆移出

品目	單位	六月 數量	六月 價額（円）	三年累計 數量	三年累計 價額（円）	二年累計 數量	二年累計 價額（円）	增減(•) 數量	增減(•) 價額（円）
砂糖	斤	二七、九六五、六七〇	三、三〇四、三六五	八三〇、七八五、四六〇	一〇四、五三一、四一六	六三五、四七二、二二一	八八、五七七、九七二	一九五、三一三、二三九	一五、九五三、四四四
米	同	一九、〇七三、〇二〇	一、七六七、九七四	一四八、七七六、七五〇	一五、一四三、四三三	二〇五、二九九、九九七	二一、〇六一、三一四	•五六、五二三、二四七	•五、九一七、八八一
芭蕉實	同	二七、一九二、二六〇	一、五一三、六〇九	八六、七六三、七六〇	五、一五九、七一七	八四、八九八、四一九	五、〇九七、四一一	一、八六五、三四一	六二、三〇六
酒精	升	五五七、八二〇	二五〇、六五九	三、六八四、三七〇	一、八〇一、六四〇	三、六三五、八六〇	一、九一二、〇六九	四八、五一〇	•一一〇、四二九
鳳梨罐詰	打	七三、〇七一	二三〇、四七四	二〇一、五五三	六三〇、四七一	三四六、四八六	一、三五三、六六六	•一四四、九三三	•七二三、一九五
木材	立方尺	一五五、〇八八	二六四、六九二	四八四、四七二	一、〇九八、五二三	六四三、二七六	一、四三三、三八八	•一五八、八〇四	•三三四、八六五
切乾薯	斤	二、九八七、一五〇	一〇四、五五一	一六、四九三、八三〇	五七七、六八六	二〇、二五六、一五〇	八六八、九四三	•三、七六二、三二〇	•二九一、二五七
樟腦油	同	六一三、三五四	一六五、四〇一	二、八九五、六九六	八五六、九九六	二、五七六、九五九	九七八、三三〇	三一八、七三七	•一二一、三九四
鰹節	同	五四〇、八七三	二七九、三三四	八四六、一〇〇	五〇七、二二一	四二三、一六四	三七一、五六八	四二二、九三六	一三五、六五三
鑛	同	七、三九一、二九五	一二三、二四六	五三、七〇六、五九〇	八、八一二、三九八	五〇、四〇〇、八八四	七、二三二、二九三	三、三〇五、七〇六	一、五八〇、一〇五
石炭	噸	一三、八九五	二一〇、〇四二	四九、六五七	六〇一、六二七	六七、四四九	七一六、八二七	•一七、七九二	•一一五、二〇〇

鮮魚介	斤	—	—	二,九二七,一五五	九〇二,七〇七	二,七三四,〇四五	八一〇,〇五〇	一九三,一一〇	九二,六五七
模造パナマ帽子	箇	二七六,八〇〇	一六九,五六一	一,五〇一,八三〇	七一七,三六一	一,一一二,二三〇	五〇一,二九〇	三八九,六〇〇	二一六,〇七一
樺腦	斤	九八,一二八	一三五,六五三	六三三,六九四	七六三,〇六五	三三七,八四二	五一四,六〇二	二九五,八五二	二四八,四六三
食鹽	同	三,三二〇	一四〇	三七,〇二一,八七〇	三五〇,九九八	三九,九三三,〇七〇	三七〇,五五五	·二,九一一,二〇〇	·一九,五五七
其他諸品		—	四七四,五三三	—	三,五八〇,四九二	—	三,六二〇,八〇三	—	·四〇,三一一
計		—	八九九,一二三	—	一三,八一二,三三一	—	一二,八八七,二七〇	—	九二五,〇六一

◎移入

品目		六月 數量	六月 價額	三年累計 數量	三年累計 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	增減(·) 數量	增減(·) 價額
綿及絹織物		—	円 一,一五六,七七七	—	円 七,四〇九,八九〇	—	円 六,八〇四,五二八	—	円 六〇五,三六二
鐵	斤	七,〇六四,九九八	七八八,〇六三	四七,九七三,二二〇	四,六五二,三六四	三八,八三七,七五九	三,八七八,二四三	九,一三五,四六一	七七四,一二一
鹹乾魚	同	一,五六四,〇〇六	二七〇,一九一	一五,八四三,三四四	二,二七四,五八四	二七,四四四,七九五	三,一八二,七九五	·一一,六〇一,四五一	·九〇八,二一一
肥料	同	五,三三九,三六五	二三〇,一七六	五四,九二八,四〇六	二,二七〇,二五八	三八,五〇七,一四八	一,七七八,三七〇	一六,四二一,二五八	四九一,八八八
木材	立方尺	二七〇,七一〇	三九九,二一一	二,〇九八,〇九〇	二,二四〇,三五六	一,五二九,〇五三	一,七七三,三二四	五六九,〇三七	四六七,〇三二
鐵製品		—	三一八,八四二	—	一,六六九,九〇三	—	一,五三九,三二一	—	一三〇,五八二
紙		—	二八七,二五三	—	一,六四五,五四六	—	一,四五九,九八〇	—	一八五,五六六
小麥粉	斤	二,八七四,〇九八	三〇九,二〇〇	一五,五二〇,五三二	一,七二一,九三五	一三,四一九,三二三	一,五五〇,三九五	二,一〇一,二〇九	一七一,五四〇
麥酒	打	九八,一八八	四八六,八四五	四一七,五〇〇	二,〇八四,九四六	三二〇,一八六	一,六三一,八七三	九七,三一四	四五三,〇七三
紙巻煙草	千箇	六二,八六〇	一四五,九〇五	四七〇,四六〇	一,〇九四,五七八	三九〇,〇六〇	九〇二,五六八	八〇,四〇〇	一九二,〇一〇
鍋	斤	二七一,六二〇	一三八,四九一	一,九〇七,四八七	八三八,一三〇	二,一四七,一八九	八八四,五五九	·二三九,七〇二	·四六,四二九
各種ノ罐詰		—	一八九,一〇二	—	九二五,〇六四	—	一,〇一七,四四七	—	·九二,三八三
メリヤス肌衣		—	一二,六〇九	—	二二〇,四一八	—	二六四,七九六	—	·五四,三七八
絲類		—	一三七,八四二	—	八二二,八八八	—	八一〇,一九四	—	一二,六九四

清酒	打	七、七七〇	七三、七一九	七八、一六三	七四八、四〇三	七〇、八六九	六四八、一九〇	七、二九四	一〇〇、二一三
自轉車同部分品及附屬品		—	一八〇、八七四	—	一、〇三七、七七七	—	七〇七、二九四	—	三三〇、四八三
マンニー麥酒	箇	二〇三、〇五〇	九九、一六一	一、三三六、一二〇	四六三、四六三	一、一五九、六五〇	四七八、八〇一	七六、四七〇	一五、三三八
燐寸	哥	一七六、六三六	一三六、七一六	一、一三〇、三二〇	八一九、四九一	七八八、五七五	五七二、四七六	二四一、六四五	二四七、〇一五
參	石	一一、二六九	二〇四、九七二	一六、三三八	二九七、五七四	一四、九三三	二九七、六八五	•一、四〇五	•一一
毛織物		—	一八、九八四	—	四三三、三三三	—	二八九、〇九九	—	一四四、一一三
コンデンスドミルク	打	一六、〇四四	四七、五七〇	一三五、五六〇	六四六、二一三	九二、三九七	五〇九、一五三	四三、一六三	一三七、〇六〇
陶磁器		—	一三九、〇一七	—	六四二、二九八	—	四五九、二七〇	—	一八三、〇二八
菓子類		—	七七、四〇四	—	五〇九、四三五	—	四五五、四一五	—	五四、〇二〇
自動車同部分品及附屬品		—	一六八、七四二	—	六七四、二三〇	—	三九四、五三九	—	二七九、七〇一
砂糖	斤	三六〇、六七四	六四、三八二	二、〇〇五、九三三	三五八、一〇八	一、一四一、二八七	二七三、〇七五	八六四、六三五	八五、〇三三
石鹸		—	八五、八六九	—	五八七、一一四	—	三八九、一八一	—	一九七、九三三
醬油	石	一、一四三	六八、六八六	六六、五六一	三九四、〇三八	五、九八三	三五一、八一八	五七八	四三、二二〇
セメント	斤	二、七七八、九四八	五五、五七九	二八、〇二三、〇八五	五〇八、〇八〇	一八、五四九、〇一五	三六五、六四五	九、四六三、〇七〇	一四二、四三五
燈油及輕油	ガロン	六三、六三〇	三一、三三三	六五六、四六三	三二六、〇二五	七三五、三四五	三五四、九二三	•七八、八八二	•二八、八八七
米	石	六九〇	二四、七七〇	一九、一四九	三五六、一七〇	一〇、三三九	三四五、二一九	八、九二〇	一〇、九五一
其他諸品		—	四、五五五、一六九	—	二五、〇八二、二三九	—	二一、三〇七、四七二	—	三、七七四、七六七
計		—	一〇、八六二、四五四	—	六三、七三四、七四〇	—	五五、六七七、四二七	—	八、〇五七、三一三

◆港別貿易額（其ノ一）

港別	輸出	輸入	計	三年累計	二年累計	増減（•）
基隆	一、二三四、五四〇円	二、四〇三、七九七円	三、六三八、三三七円	三三、〇一八、二〇七円	三五、六六三、一七七円	•二、六四三、八六〇円

臺北	一,三三三,四七七	八四,五四一	一,四一八,〇一八	四,六〇一,五八九	四,四九二,六六七	一〇八,九二二
淡水	七〇,一八〇	二五二,三七〇	三二二,五五〇	二,〇二三,九四九	一,八八八,二八四	一三五,六六五
安平	八〇一	三三,八九三	三四,六九四	六九〇,〇九三	九四三,五四五	•二五三,四五二
高雄	一四〇,四六一	一,七二二,九九二	一,八六三,四五三	一,六二三,五一〇	一,五二一,六九八	一〇一,八一二
其他諸港	七三,九四八	五八,四三三	一三二,三八一	六五六,四七〇	七〇一,八九三	•四五,四二三
計	二,七六四,三三八	四,五四六,〇二五	七,三一〇,三六三	四五,三〇六,八一八	五六,九〇三,二六四	•一一,五九六,四四六

(其ノ二)

港別	移出	移入	計	三年累計	二年累計	増減(•)
基隆	三,九九六,〇九三円	七,五一八,一七八円	一一,五一四,二七一円	八五,三八二,九四九円	八一,八五〇,〇六三円	三,五三二,八八六円
臺北	—	—	—	—	—	—
淡水	—	—	—	二五,三五四	三,〇〇〇	二二,三五四
安平	—	九〇一,四四〇	九〇一,四四〇	五,四五六,五二〇	五,五三六,〇三四	•七九,五一四
高雄	四,九一八,九七〇	二,三三七,七八七	七,二五六,七五七	一一〇,三七二,二七九	九六,三〇五,〇八七	一四,〇六七,一九二
其他諸港	七六,一六〇	一〇五,〇四九	一八一,二〇九	六二三,九六九	八五六,五一三	•二三二,五四四
計	八,九九一,二二三	一〇,八六二,四五四	一九,八五三,六七七	二〇一,八六一,〇七一	一八四,五五〇,六九七	一七,三一〇,三七四

◈收入額

收入額	輸入税	製茶税	織物消費税	砂糖消費税	噸税	其他諸收入	計
六月	二六五,五七一円	四二,五七一円	四,一三八円	一〇,四四五円	五,八五二円	四,三三二円	三三二,六九八円
三年累計	二,一六二,七九二	一〇二,九七四	三四,九四八	二八三,三三三	三三,〇八九	二六,四四五	二,六四三,五八一
二年累計	二,二九四,七四五	一一〇,〇一八	四三,一六七	三二八,一五八	三七,五七〇	二三,二四〇	二,八三六,八九八
増減(•)	•一三一,九五三	•七,〇四四	•八,二一九	•四四,八二五	•四,四八一	三,二〇五	•一九三,三一七

金融統計

◆島内各銀行内外爲替取組高表（昭和三年三月中）（單位圓）

（其ノ一）

摘要	收入 島内 口數	收入 島内 金額	收入 内地 口數	收入 内地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額
送金爲替	二九、九二三	三四、六三二、二〇七	四、四九〇	一一、六七四、九一七	五九八	二八三、〇〇一
割引手形	七、三五六	三、六七一、八五九	一一、二七四	一、八七六、二二三	二	五、一〇四
荷付爲替手形	八三八	八二三、七〇八	一、三六九	一、七〇七、三〇四	六四	四〇五、八四二
買入外國爲替	—	—	—	—	八三	八七二、六二九
利付爲替手形	—	—	—	—	一	三、八五三
代金取立	一三、六五五	四、七六二、〇五三	二、七二五	四、六八五、九五二	三一	七一、九五〇
計	五一、七七二	四三、八六八、八二七	一九、八五八	一九、九四四、四四六	七七九	一、六四二、三七八
前月	四七、六〇七	四一、一〇二、八六二	一九、〇七一	一七、一八五、四四四	八六七	一、五三四、六〇三
前年同月	五〇、二五六	四三、六一三、八一六	一五、四六〇	一六、〇二一、四七六	六六八	一、一三四、六一四
本年本月迄累計	二五三、七四三	二一一、三〇三、六二七	九一、二六七	九六、七二五、八九二	四、二一八	一〇、四一四、三六三
前年同	二四〇、六四六	二〇〇、五〇九、八四五	八〇、六六三	九九、三三四、七八七	三、六〇七	七、七四七、九八三

（其ノ二）

摘要	島内 口數	島内 金額	内地 口數	内地 金額	外國 口數	外國 金額	收出(△)超過 島内	收出(△)超過 内地	收出(△)超過 外國
送金爲替	三〇、〇〇一	三三、四三六、三二七	一、六六四	二、五三五、八一七	五二七	一、〇二七、八九三	二、一九五、九八〇	一三九、一〇〇	七三四、八九三
割引手形	七、三五九	三、七六一、二七三	五三	九〇五、六八五	—	—	△八九、四一三	九七〇、五八八	五、一〇四
荷付爲替手形	八〇一	八四四、五六二	五三四	四、九三九、二四一	—	—	△三、八五四	△三、三二一、九三七	四〇五、八四二
買入外國爲替	—	—	—	—	六〇	五四八、一九四	—	—	三四四、四三五
利付爲替手形	—	—	—	—	一五	三八、一一三	—	—	△三四、二六一
代金取立	二、六一三	四、一五〇、五〇七	二七三	四一〇、三〇四	二八	三六、八六四	六二一、五四六	四、二七五、六四八	三五、〇八六
計	五〇、八〇〇	四一、一八三、五六八	三、五三三	一七、七八一、〇四七	六三〇	一、六四一、〇六四	二、六八六、二五九	二、一六三、三九九	一、三二四
前月	四六、七〇九	四〇、八六八、一七三	二、五三三	一九、九一八、九七七	四九八	七七七、九九三	二三四、六九〇	△二、七三三、五三三	七四六、六二一
前年同月	四六、二七三	四〇、五〇九、六〇三	一、九六七	一二、四一八、一四一	五一三	一、六九六、二四五	二一、〇四二、二一四	四五九、一六五	△五七一、六二一
本年本月迄累計	二四一、〇九六	二〇五、二三七、九〇八	一三、七三七	九二、九〇七、五〇五	二、七六六	五、一七一、〇〇一	六、〇七五、七一九	三、八一八、一六八	五、二四三、二六三
前年同	二三〇、五三五	一九四、五七六、四八五	一五、二七〇	一〇四、六七一、三五六	三、一七八	六、四九二、五三一	五、九三三、三六〇	△五、三三六、五六九	一、一三五、四五一

◈市街地信用組合事業一覽表（昭和三年四月末日現在）

（其ノ一）

州廳別＼種別	組合數	組合員數	出資口數	資産 未拂込出資金	資産 貸付金	資産 土地建物什器	資産 有價證券	資産 預ケ金	資産 假拂金	資産 手形割引	資産 其他	資産 現金	資産 計
臺北	九	六、五三〇	四六、五六五	六三、八〇二円	五、六七五、二〇二円	一四四、九五九円	八六九、九一三円	一、四一九、二七八円	三、六八一円	一五五、三三八円	二四、八二七円	三〇、三三三円	八、四八五、四六七円
新竹	二	一、二七九	一〇、二九三	三四、五二一	一、〇〇三、五〇六	三〇、三三〇・	五〇	四〇七、七〇九	五三二	—	一三〇	八、四五八	一、四五三、一四九
臺中	二	一、二〇七	四、八四四	二三、一三三	八二一、二六六	二一、一〇一	二六、三二六	三一〇、四〇〇	八四八	—	—	二一、一三三	一、一九四、一九七
臺南	六	三、五七三	二六、九七〇	一二六、二五〇	二、五七〇、三七一	七四、五四三	一四四、六六七	八九二、七五〇	五、一四三	五〇九、一四五	六、八〇二	二四、四九二	四、三四四、一六七

高雄	一	三九七	二,四六八	七三五	三四六,四一八	二八,〇三三	一四,五六一	七八,五〇一	—	—	—	四四四	四六八,六九三
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九四	四,〇八四	—	二八〇,一六三	四,一六一	二,四一五	一六,七八三	一,四四九	三三,八〇九	—	三,五六四	三四三,三四四
合計	二	一三,一九〇	九五,三二四	一九五,三九二	一〇,六九五,九二七	三〇三,一一七	一,〇五七,九三三	三,一三五,四二二	二〇,六五六	六九八,一九四	一三一,七七九	六九,六二五	一六,二八八,〇三〇
前月末合計	二	一三,〇五八	九五,一九一	一九九,三七九	一〇,四九一,八八二	三〇一,七三一	一,〇八二,三八七	三,〇八〇,三七一	二二,五七二	七一六,二三九	一三一,九九〇	九〇,〇四二	一六,〇九六,五八七
△は減	—	一三二	一三三	△三,九八六	二〇四,〇四五	一,三八六	△二四,四五四	五五,〇五一	△一,九一五	△一八,〇四五	△二一〇	△二〇,四一七	一九一,四四三

（其ノ二）

州廳別＼種別	出資金（負債）	貯金（負債）	準備金（負債）	各種積立金（負債）	未拂配當金（負債）	借入金（債）	假受入金（債）	其他（債）	剰餘金（債）	計
臺北	一,五〇一,九五〇円	五,八六五,五三二円	六一五,二七九円	一九六,九三四円	九,三九一円	二五,三七三円	一〇,六四〇円	四六,九七三円	三三四,〇三二円	八,四八五,四六七円
新竹	二〇六,八二〇	九九三,三九六	一三三,〇一四	八九,四六一	一,四八七	五,〇〇〇	二,九六九	—	二一,九九九	一,四五三,一四九
臺中	二四三,二〇〇	六八〇,八五七	一三三,五六八	七三,六四五	二,〇三一	—	一〇,七三一	一三,八五四	三七,三三九	一,一九四,一九七
臺南	八九一,九八〇	二,九一三,〇〇〇	二七八,一三三	六四,八七七	五,三九二	二三,四〇一	四,八九〇	二六,五五八	一三四,九三三	四,三四四,一六七
高雄	六一,七〇〇	四〇四,四六一	三三四	—	—	—	—	—	二,三九六	四六八,六九三
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	八一,六八〇	一七一,一三一	五三,三三〇	一九,六四一	—	一〇,〇〇〇	一,九五三	五二九	四,一八六	三四三,三四四
合計	二,九八六,三三〇	一一,〇二七,六八〇	一,三二一,四一九	四四四,五五〇	一九,三〇三	六三,七七三	三一,一八四	九九,九一七	四〇四,一六一	一六,二八八,〇三〇
前月末合計	二,九八四,〇五五	一〇,八三〇,四七六	一,三二一,八〇八	四四五,六三四	二一,一九六	七九,六四四	二八,七七三	一一二,九二七	三八三,〇六九	一六,〇九六,五八七
△は減	二,二七五	一九六,九〇四	△六八九	△一,〇八四	△一,八九三	△一五,八七一	二,四一一	△一三,〇一〇	二一,〇九一	一九一,四四三

（其ノ三）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

州廳別	貯金内譯 組合員貯金	貯金内譯 第一條第三項貯金	貯金内譯 第一條第四項貯金	貯金内譯 計	貸付金利率 最高	貸付金利率 普通	貸付金利率 最低	貯金利率 最高	貯金利率 普通	貯金利率 最低	借入金利率 最高	借入金利率 普通	借入金利率 最低	預ケ金利率 最高	預ケ金利率 普通	預ケ金利率 最低	手形割引步合 最高	手形割引步合 普通	手形割引步合 最低
	円	円	円	円	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘	厘
臺北	一、九二〇、〇五八	二、一〇七、四九六	一、八三七、九七七	五、八六五、五三一	二七	二五	二五	一八	一五	六	二六	二三	一八	二〇	一三	五	二四	二四	二三
新竹	三七一、三五四	四一九、六八一	一六二、一七九	九九三、三九六	二九	二三	一九	二〇	一五	八	一六	一六	一六	一六	一三	六	—	—	—
臺中	一四九、〇五九	四六五、八三五	六五、九六三	六八〇、八五七	三五	二〇	一八	一二	一三	七	—	—	—	一八	一三	六	—	—	—
臺南	一、三七二、六七一	一、一三四、二九一	四〇五、〇三七	二、九一二、〇〇〇	四三	二五	一八	二五	一六	一〇	一三	一三	一三	一九	一三	六	二四	二三	二〇
高雄	二五五、三九七	九九、一六七	四九、八七七	四〇四、四六一	四二	四二	二〇	二一	一六	一六	—	—	—	一六	一三	六	—	—	—
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	七〇、八六四	五七、九四一	四二、三三四	一七一、一三一	三六	三六	三三	二一	一六	一六	二四	二四	二三	一五	一二	三	二六	二六	二六
合計	四、一三九、五八七	四、三三四、四三二	二、五六三、三八〇	一一、〇二七、三八〇	四三	二五	二五	二〇	一六	六	二六	二三	一六	二〇	一三	五	二六	二四	二〇
前月末合計	四、一四六、〇四三	四、一五八、二三一	二、五二六、二〇一	一〇、八三〇、四七六	四三	二五	二五	二〇	一六	六	二六	二三	一八	二〇	一三	五	二六	二四	二〇
△は減	△六、四五五	一六六、一八一	三七、一七八	一九六、九〇四	—	—	—	—	—	—	—	—	△二	—	—	—	—	—	—

◆臺北物價指數表（昭和三年五月中）

品目	本月	前月	前年同月
白米	二〇五・〇九	二〇五・〇九	二四九・八七
玄米	(一)一五九・六四	一六〇・五三	一七三・六八
清酒	二三一・四三	二三一・四三	二三一・四三
麥酒	一七二・〇〇	一七二・〇〇	一七二・〇〇
紅酒	二三三・三三	二三三・三三	二三三・三三
澤庵漬	二二二・二二	二二二・二二	二二二・二二
小麥粉	(一)一五三・二二	一五八・八七	一六一・一四
砂糖	(一)一三四・〇四	一三五・五一	一四三・六四
綿布	一二一・二九	一二一・二九	一二六・〇八
洋紙	(一)一五六・五六	一六〇・八八	一六九・五六
日本紙	二五三・五九	二五三・五九	二五八・六八
杉板	一六六・六六	一六六・六六	一六六・六六
杉材	一六二・五〇	一六二・五〇	一七五・〇〇
洋鐵	一五〇・一一	一五〇・一一	一七一・九三
鉛	(一)一〇九・三七	一一二・五〇	一三七・五〇
銅	(十)一三一・四四	一一八・三六	一二八・五七

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鰹節	(一)	一九八・三二	二〇五・六一	二一六・一八
味噌	(十)	一三三・〇七	一一八・四六	一四一・五三
醬油		一五四・九一	一五四・九一	一七六・三八
鴨卵		一七七・二四	一七七・二四	二〇〇・〇〇
落花生油	(十)	一四九・七四	一四六・一五	一三五・八九
鹽		一四〇・九一	一四〇・九一	一四〇・九一
煙草		一八〇・〇〇	一八〇・〇〇	一八〇・〇〇
烏龍茶	(十)	一三三・八三	一六六・六二	一一三・八四
包種茶	(一)	一四三・一三	一五一・五三	一四一・二七
白木綿	(十)	一三四・九二	一三〇・九五	一四二・〇六
煉瓦		二一三・八二	二一三・八二	二一〇・二一
內地瓦		一〇六・二五	一〇六・二五	一〇〇・〇〇
板硝子		一〇六・二五	一〇六・二五	一一三・五〇
セメント	(十)	一八二・三五	一七七・九四	一七六・四七
燐寸		二二二・二四	二二二・二四	二二二・二四
石油		一五二・〇四	一五二・〇四	一五〇・〇〇
石炭	(一)	二一〇・七八	二一六・〇八	二一二・四二
木炭		二三二・三三	二三二・三三	二五二・六六
薪		二四一・二八	二四一・二八	二五七・一四
平均	(一)	一七三・九九	一七四・二七	一八二・〇八

備考　本表は大正三年七月戰前の物價を一〇〇として算出せり(十)印は騰貴(一)印は低落を示す

◈臺北物價平均指數五箇年對照表

月次	昭和三年	二年	昭和元年 大正十五年	十四年	十三年
一月	一七六・三四	一八三・〇八	一九〇・七九	二〇三・二三	一九一・八一
二月	一七五・四一	一八三・三五	一九〇・九五	二〇三・三〇	一九一・九四
三月	一七四・八九	一八二・六八	一八八・三一	二〇〇・六〇	一九一・三三
四月	一七四・二九	一八一・二八	一八八・二五	二〇〇・三二	一九一・三九
五月	一七四・二七	一八一・四八	一八六・〇三	一九二・三〇	一九四・一六
六月	一七三・九九	一八二・〇八	一八五・三〇	一九二・八七	一九二・七六
七月	—	一八一・三八	一八五・二一	一八五・一〇	一九一・六一
八月	—	一七九・七七	一八四・六六	一九五・二七	一九二・九二
九月	—	一八〇・三六	一八三・三五	一九五・六三	一九八・三〇
十月	—	一八〇・〇〇	一八二・五四	一九二・三八	二〇二・四一
十一月	—	一七八・三五	一八一・五七	一九三・一六	二〇五・〇三
十二月	—	一七七・〇八	一八〇・〇七	一八九・七四	二〇三・三三

◈各年月ヲ一〇〇トシタル本月平均指數

基準年月	三年五月	二年六月	大正十五年六月	十四年六月	十三年六月
本月平均	九九・八三	九五・五五	九三・九四	九〇・二一	九〇・二六

漢詩

敬呈亞洲川村總督併請粲正

小松天籟

廿載重來此履新。昌言娓々誘循々。
民三百萬蕃子草。齊仰天朝雨露仁。
楓宸拜命出清班。滿腹經綸欲濟艱。
萬仭玉山如有待。相迎雲表露孱顏。
猶留天惠滿蓬萊。閩寄肩任費剪裁。
況有南洋橫咫尺。富源久待拓開來。
三臺文物逐年調。載道謳歌頌聖朝。
猶有民間疾隱在。下情莫厭問芻蕘。
御下惟期正且公。恩威寬猛執其衷。
偶閒調馬垌郊出。操縱自如方寸中。

送岳陽仙史應徵之西京

鷹取岳陽

應徵去向洛東天。咫尺紫宸開講筵。
曠古今秋登極典。待君鳴盛出雄篇。

送岳陽仙史之西京

猪口鳳庵

回首廿年何所爲。倚樓空唱竝州詩。
翠深門外相思樹。莫向河梁綰柳枝。

同題遊洛人

尾崎古邨

皐水尤宜滌劫塵。文詩格調合加新。
此行何用唱三疊。滿袖涼颸遊洛人。

同題

王雲滄

臨岐殊覺友情濃。眄斷雲山隔幾重。
他日相期嵐峽上。花前一笑與君逢。

同題

李學樵

浮海南遊二十春。老來歸國感懷新。
洛陽山下秋風宅。應有黃花笑殺人。

同題

高肇藩

三仙樓上一尊傾。楊柳依々唱渭城。
曲譜陽關愁別緒。布帆風送到西京。

同題

伊藤壺溪

三仙樓外月如眉。春盡瀛南怕別離。
未及曉鐘須更醉。故人明日各天涯。

同題

賴子仙遊棕叟泯。烟霞寂々幾經春。
展他三十六眉黛。來攝終南舊主人。

歌帝力

鯤化爲鵬窮髮北。圖南重見垂天翼。
神人自古上無功。好聽逍遙歌帝力。

留別

俳句

孕江選

身に合はぬ浴衣に興ず山の宿　球川
白鷺の飛びゆくあたり雲の峰　同
染物の乾上りゐたり雲の峰　雨竹
落人の牛車捨てあり雲の峰　同
慈姑舁の燈臺白し雲の峰　兆川
布袋草杭にかゝりて咲きたまり　同
戎克船の帆柱高し雲の峰　香波
日盛や牛車の軋る磧路　同
雲の峰水筒口に見上げゝり　一枝
日盛りや道に干しある支那豆腐　同
焼砂に晝顔咲ける砂丘かな　塘翠
潮浴の濡着の儘にボート漕ぐ　同
涼風や自轉車も乗せ夕渡舟　潮人
炎天やむく／＼と吐く船煙　同
蓮霧皿に薄桃色や冷ビール　一雨
一ぱいに芭蕉畫きし團扇かな　同
近く過ぐる汽艇の浪に泳ぎけり　美津留

夏休み學級札の落ちてあり　同
がわ／＼と糊のきゝたる浴衣かな　一紫
汐浴みの人歸りゆく夕渚　同
風鈴の下に一鉢夏の菊　晴耕
夏菊を生落壺に活けありぬ　紫朗
汐浴や渚に消ゆる白き泡　同
とり／＼の帽子の色や海水浴　零空
夏羽織かけし朱塗の衣紋竹　零子
夏木立深きに館ありにけり　同
ベランダに夜更かし人や夏の月　修一
絲瓜棚映れる水に水馬　曉村
電扇に背むけすゝむ夏羽織　白川
泳ぎ場の警戒旗や雲の峰　同
さわ／＼と椰子の葉ずれや夏の月　ひさし
夕映の山一としきり蟬の聲　同
山陰の居場の朝や蟬涼し　六合庵
船の銅鑼雲の峰より湧くごとし　孕江
炎天や花サイカチの散るばかり　同
くらがりの椰子の葉風に涼みけり　同

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

自六月二十五日
至七月二十四日

六　月

▼二十五日
・新竹林業組合第一回總會開催
▼二十六日
・總務長官河原田稼吉氏に決定
・米穀檢査事務打合會開催二十七日終了
▼二十七日
・嘉南大圳總會開催
・臺灣製鹽會社株主總會開催無配に決す
▼二十九日
・臺南市協議會開催
・嘉南大圳豫算會議開催
▼三十日
・兵庫縣教育視察團來臺
・臺灣正米市場六月出來高二萬二千三百餘袋と發表さる
・臺北城隍爺祭本祭

七　月

▼一　日
・全島庭球大會に臺北團優勝
・植松製材罷工圓滿解決
・本島酒にメートル法實施さる
・澎湖廳開廳三週年記念日
▼二　日
・烏山嶺開通祝祭會開催
▼三　日
・豪雨により鐵路故障起る
▼五　日
・川村新總督着任
・臺南勸業協會創立總會開催
▼六　日
・全島官民合同主催川村總督歡迎會開催
▼七　日
・臺中不詳事件公判開始さる
・川村總督主催披露晩餐會開催
・臺北水產打合會開催
▼八　日
・出草蕃人幇手を馘首す
▼九　日
・基隆郡產業會議開催
▼十　日
・花蓮港廳獻穀田拔穗祭の儀執行
・銀行土曜半休實施
▼十一日
・川村總督初巡視開始
▼十二日
・全島各學校暑中休暇に入る
・新竹弘法寺御堂燒く
▼十四日
・建功神社鎭座祭典執行
・建功神社競技開始十六日迄
▼十五日
・建功神社臨時例祭典執行
▼十六日
・臺中不敬事件責任者處罰決定
・入試問題第一回打合會開催
▼十七日
・全島中等學校野球大會に臺北工業優勝
・中等學校野球大會に於ける體協幹部の態度漸く問題となる
▼十八日
・趙明河死刑に決す
・東部開發打合會殖產局に開催
▼十九日
・全島粉摺同業組合代表役員協議會開催
・在臺北和蘭領事逝去
▼二十日
・標準米査定會開催
・專賣酒煙草賣捌人更新發表さる

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼二十一日
・臺灣正米市場役場立會實行
・臺灣總督府人事異動發表さる
▼二十三日
・街役合同問題打切聲明
・全島女子體育講習會發會
▼二十四日
・全島武道講習會終了

人事消息

鎌田正威氏　六月二十五日來臺
竹屋子爵　六月二十五日來臺
根井北二師校長　六月二十九日歸臺
上瀧檢察官　同　右
竹屋子爵　七月四日歸京
山本帝大敎授　六月三十日來臺
馬公要港部慰問使住山侍從武官　七月二日來臺
佐々木圓太郎氏　七月六日上京
伊藤政喜氏　七月六日內地へ
川村新總督　七月五日着任
島田臺銀頭取　七月五日歸臺
河村臺日社長　同　右
永山知事　同　右
木越事務官　同　右
林熊徵氏　同　右
辜顯榮氏　同　右
大竹稅關長　七月九日歸臺
能澤地方課長　同　右
久藤大學敎授　七月四日內地へ
松本大學敎授　同　右
早坂大學敎授　同　右
市村大學敎授　同　右
新里高商敎授　七月四日內地へ
高木友枝氏　七月五日歸臺
石川欽一郎氏　七月五日歸臺
後藤帝大敎授　七月八日歸臺
土井技師　同　右
中田金融課長　七月十一日歸省
成毛拓殖局長　七月十六日來臺
森脇前技師　七月二十日離臺
杉本　良氏　七月十九日歸臺
後藤法院長　七月二十日內地へ
岩松檢察官長　同　右
石橋檢察官長　同　右

任命

府報　自第四百十三號 至第四百二十五號

○昭和三年六月二十三日
臺灣總督府技師　森脇　虎壽
兼任臺灣總督府中央研究所技師
（各通）　臺灣總督府技手　東　熙市
西脇　眞澄
任臺灣總督府技師
臺北帝國大學附屬農林專門部敎授　山本　亮
任臺北帝國大學敎授
臺灣公立實業學校敎諭　馬場　高照
任臺灣公立實業學校敎諭
以上（內閣）
○昭和三年六月二十三日
臺灣總督府技師　東　熙市
（各通）　同　西脇　眞澄
臺北帝國大學敎授　山本　亮
警務局衛生課勤務ヲ命ス
理農學部勤務ヲ命ス
農藝化學講座擔任ヲ命ス
臺灣公立實業學校敎諭　馬場　高照
補臺北商業學校敎諭
○昭和三年六月二十五日
臺灣總督府技師兼臺灣總督府中央研究所技師　森脇　虎壽
依願免本官並兼官（內閣）
○昭和三年六月二十一日

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府醫院醫官　進　昇藏
臺東醫院長事務取扱ヲ命ス

○昭和三年六月二十六日

社會局部長　河原田稼吉
任臺灣總督府總務長官

臺灣總督府總務長官　後藤　文夫
依願免本官

璧島　美明
任臺灣總督府醫院醫長

臺灣總督府技手　中野　八郎
任臺灣總督府技師

○昭和三年六月二十日

臺灣總督秘書官　平島　敏夫
赴任ノ途次東京、靜岡、三重、京都ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

○昭和三年六月二十三日

臺灣總督府技師　東　熙市
支那廈門へ出張ヲ命ス

臺灣總督府技師　西脇　眞澄
支那廣東へ出張ヲ命ス

○昭和三年六月二十五日

臺灣總督府技師　土井季太郎
大阪、福岡ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

○昭和三年六月二十六日

臺灣總督府內務局長　豐田　勝藏
總務長官河原田稼吉不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府醫院醫長　璧島　美明
臺東醫院長ヲ命ス

臺灣總督府技師　中野　八郎
營林所造林課勤務ヲ命ス

臺灣總督府視學官　森谷　一
東京、茨城、岩手ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府技師　小島　鼎三
東京、京都、新潟ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官　青木　健一
東京、大阪、千葉、愛知、岡山ノ二府三縣下及北海道廳下へ出張ヲ命ス

臺北帝國大學教授　平坂　恭介
東京、京都、神奈川、和歌山、宮城、青森ノ二府四縣下へ出張ヲ命ス

(各通)　臺北帝國大學教授　早坂　一郎
同　市村　毅
東京、京都、德島、高知ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス

臺北帝國大學教授　工藤　祐舜
東京府下及北海道廳下へ出張ヲ命ス

臺北帝國大學事務官　近藤　壽治
東京、京都、和歌山、福岡ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス

臺北高等商業學校教授　田中　截吉
東京、京都、大阪、奈良、愛知、三重、長野、滋賀、島根、山口ノ三府七縣下へ出張ヲ命ス

臺北高等商業學校教授　遠藤　壽三
東京、京都、大阪、沖繩、大分、兵庫、三重、愛知、長野、滋賀ノ三府七縣下へ出張ヲ命ス

○昭和三年六月二十七日

矢田貝　寛
任臺灣總督府技師

臺灣總督府技師　中野　八郎
依願免本官(以上內閣)

○昭和三年六月二十七日

臺灣總督府技師　矢田貝　寛
營林所造林課勤務ヲ命ス

臺灣總督府事務官　水越　幸一
上京ノ序ヲ以テ京都、山梨ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官　廣谷　致員
東京、大阪、福島ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府臺南高等商業學校長　加藤　正生
北海道廳下並東京、京都、福島ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

臺灣總督府臺南高等商業學校教授　高野　貢
東京、京都、神奈川、茨城ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス

○昭和三年六月二十六日

臺灣總督府醫院醫官　進　昇藏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺東醫院長壁島美明不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府醫院醫官　進　昇藏
臺東醫院長事務取扱ヲ免ス

○昭和三年六月二十八日
臺灣總督秘書官　平島　敏夫
總督官房秘書課長ヲ命ス
臺灣總督秘書官　一戶　二郎
總督官房秘書課長ヲ免ス
臺灣總督府事務官　大澤　清高
總督官房秘書課長平島敏夫不在中代理ヲ命ス

○昭和三年六月二十九日
臺灣公立中學校教諭　本山　鐵雄
新竹州技手　齋藤　忠雄
任臺灣總督府技師
臺灣總督府技手　太田半五郎
任臺灣總督府交通局技師
山本　政雄
臺灣土木技師ニ任ス
（以上內閣）

○昭和三年六月二十九日
臺灣總督府技師　齋藤　忠雄
殖産局山林課勤務ヲ命ス
臺灣總督府交通局技師　太田半五郎
臺灣土木技師　山本　政雄
臺北市土木技師ニ補ス

臺北帝國大學附屬農林專門部教授　竹內　叔雄
東京、京都ノ二府下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年三月三十日
臺灣總督府中央研究所技師兼臺灣總督府技師　石田　昌人
依願免本官竝兼官
臺灣公立中學校教諭　本山　鐵雄
臺灣總督府交通局技師　太田半五郎
臺灣總督府技師　齋藤　忠雄
（各通）
依願免本官
臺灣土木技師　山本　政雄
願ニ依リ本職ヲ免ス

○昭和三年六月二十六日
臺灣總督府總務長官　河原田稼吉
市區計劃委員長ヲ命ス

○昭和三年六月二十六日
臺灣總督府總務長官　河原田稼吉
官設埤圳補償審查委員會委員ヲ命ス

○昭和三年六月三十日
臺灣總督府技師　松岡　冬樹
歸府ヲ命ス

○昭和三年七月一日
臺灣總督府秘書官　一戶　二郎
東京ヨリ神奈川縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府地方警視　熊井　才吉
上京ノ序ヲ以テ長野、石川ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年七月六日
臺灣總督府事務官兼臺灣總督府秘書官　生駒　高常
上京ノ序ヲ以テ山形、秋田ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府技師　伊澤　貞吉
北海道廳下及東京府下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　遠藤　所六
北海道廳下竝東京、福井ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府地方技師　青木　茂次
東京、千葉、埼玉、山梨、長野、靜岡、愛知、岐阜、三重ノ各府縣下及朝鮮ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府臺北高等商業學校教授　室田　有
臺灣總督府在外研究員ヲ命ス
一箇年間英、佛、米ノ三箇國ニ在留スヘシ

○昭和三年七月五日
臺灣總督府臺北高等學校教授　世良　壽男
任臺北帝國大學教授
專賣局參事　池田　藏六
兼任臺灣總督府專賣局參事
臺灣總督府專賣局參事　川村　直岡
兼任臺灣總督府事務官

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

專賣局參事兼臺灣總督府專賣局參事　酒井直次郎

免兼官（以上內閣）

○昭和三年七月五日

臺北帝國大學教授　世良　壽男

文政學部勤務ヲ命ス

東洋倫理學、西洋倫理學講座分擔ヲ命ス

臺灣總督府事務官　川村　直岡

殖產局特產課勤務ヲ命ス

○昭和三年七月九日

農林技師　與儀　喜宣

任臺灣總督府技師

稻田　千秋

臺灣產業主事ニ任ス

（以上內閣）

○昭和三年七月九日

臺灣總督府技師　與儀　喜宣

殖產局農務課勤務ヲ命ス

臺灣產業主事　稻田　千秋

新竹州產業主事ニ補ス

臺灣總督府臺北高等商業學校教授　內田　佳雄

京都、靜岡、石川ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立實業學校教諭　大塚頼之助

東京府下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年七月十日

臺北帝國大學附屬農林專門部教授　佐藤　正一

東京、神奈川ノ一府一縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府臺北高等商業學校教授　新里　榮造

東京、京都ノ二府下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府臺北高等學校教授　伊藤　愼吾

京都、大阪、奈良、兵庫、廣島、福岡、長崎ノ二府五縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府臺北高等學校教授　齋藤　齋

兵庫、長野、新潟、富山ノ四縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府事務官　佐藤　矢

歸府ヲ命ス

○昭和三年七月十日

臺北帝國大學附屬農林專門部教授　白鳥　勝義

任臺北帝國大學助教授兼臺北帝國大學附屬農林專門部教授

○昭和三年七月十日

臺北帝國大學助教授　白鳥　勝義

理農學部勤務ヲ命ス

氣象學講座擔任ヲ命ス

○昭和三年七月十一日

臺北帝國大學附屬農林專門部教授　佐藤　正一

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

二箇年間獨、墺、英、米ノ四箇國ニ在留スヘシ

臺灣總督府警視　猪俣　一郎

蕃地調查委員會幹事ヲ命ス

○昭和三年七月三日

臺北帝國大學附屬農林專門部教授　白鳥　勝義

歸朝ノ途次兵庫縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年七月五日

臺北帝國大學教授　世良　壽男

赴任ノ途次三重縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年七月十日

臺北帝國大學助教授　白鳥　勝義

赴任ノ途次兵庫縣下ヘ出張ヲ命ス

臺北帝國大學教授　藤田　豐八

東京、京都ノ二府下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年七月十一日

臺灣公立實業學校教授　新井英次郎

東京、大阪、兵庫、宮城、愛知、奈良、廣島ノ二府五縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立高等女學校教授　羽深　義芳

東京、大阪、岡山ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立高等女學校教諭　山田　友記

東京、京都、山口、島根、埼玉ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立中學校教諭　德永　一

支那厦門、汕頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年七月十六日
臺灣總督府專賣局參事　杉本　良
歸朝ノ途次東京、大阪、兵庫ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府法院判官　後藤和佐二
東京大阪愛知ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府法院檢察官　岩松　玄十
東京、千葉ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府法院判官　大里武八郎
東京、廣島、秋田ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府法院檢察官　石橋　省吾
東京、大阪、千葉、宮城ノ二府二縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年七月十六日
臺灣總督府中央研究所技師　平間惣三郎
支那廣東省及英領香港ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年七月十九日
朝鮮總督府水原高等農林學校教授　市島吉太郎
任臺北帝國大學助教授

○昭和三年七月十二日
臺灣總督府醫院醫官　勝田　功夫
屏東醫院長飯塚實不在中代理ヲ命ス

○昭和三年七月十八日
（各通）臺灣總督府技師　石井信太郎
同　川口　庄松
歸府ヲ命ス

○昭和三年七月十九日
臺灣總督府師範學校教諭　三本英太郎
上京ヲ命ス
臺灣公立中學校教諭　吉本　泰喜
東京、高知ヲ各府縣下ヘ出張ヲ命ス
臺北帝國大學助教授　市島吉太郎
理農學部勤務ヲ命ス

○昭和三年七月二十日
臺灣總督府結核療養所醫官　梅本英太郎
松山療養所長ヲ免ス
臺灣總督府技師　松岡　冬樹
松山療養所長事務取扱ヲ命ス

○昭和三年七月二十一日
臺灣總督府殖產局長　常吉　德壽
臺灣總督府殖產局長　高橋　親吉
任臺北州知事
臺灣總督府事務官兼臺灣總督府秘書官　生駒　高常
任臺中州知事
臺灣總督府專賣局參事　內田　隆
任臺灣總督府殖產局長

警視廳書記　大久保留次郎
任臺灣總督府警務局長
臺灣總督府交通局總長　木下　信
（各通）臺灣總督府專賣局長　宇賀　四郎
臺北州知事　三浦　碌郎
臺灣總督府警務局長　本山　文平
臺中州知事　佐藤　續
依願免本官
臺灣總督府事務官兼臺灣總督府交通局理事　水越　幸一
免兼官（以上內閣）

昭和三年七月二十一日
臺灣總督府總務長官　河原田稼吉
交通局總長事務取扱ヲ命ス
臺灣總督府事務官　和田　一次
總督官房文書課長兼總督官房調查課長總督官房審議室勤務ヲ命ス

○昭和三年七月二十日
臺灣總督府秘書官　平島　敏夫
兼任臺灣總督府事務官
臺灣總督府事務官兼臺灣總督府秘書官　一戶　二郎
免兼官
臺灣總督府事務官　平島　敏夫
總督官房審議室勤務ヲ命ス
臺灣總督府技師　小林　義雄

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一時歸府ヲ命ス

臺北帝國大學事務官　近藤　壽治

和歌山縣下ヨリ宮城、青森ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立中學校敎諭　今村　新

熊本縣下ヨリ大阪市ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立實業學校敎諭　長東　有鄰

東京、長崎、千葉、神奈川、新潟、三重、滋賀ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立高等女學校敎諭　赤澤竹治郎

京都市ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立高等女學校敎諭　堀野　竹松

上京ヲ命ス

○昭和三年七月二十一日

臺灣總督府法院判官　宇野　庄吉

臺灣總督府法院判官　堀田　眞猿

同　有水常次郎

解兼高等法院上告部判官

○昭和三年七月二十日

臺灣總督府總務長官　河原田稼吉

赴任ノ途次京都、三重ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府事務官
兼臺灣總督秘書官　生駒　高常

歸任ノ途次京都、三重ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年七月二十三日

吉田午三留

任臺灣總督府法院檢察官

○昭和三年七月二十一日

臺灣總督府事務官　水越　幸一

總督官房法務課長兼務ヲ命ス

臺灣總督府事務官　角田　廣次

警務局長大久保留次郎不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府專賣局參事　中島　覺之

專賣局長常吉德壽不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府警務局長　大久保留次郎

臺灣總督府警察官及司獄官練習所長ヲ命ス

○昭和三年七月二十三日

臺灣總督府法院檢察官　吉田午三留

補臺北地方法院檢察官

○昭和三年七月二十四日

臺灣總督府法院判官　姉齒　松平

法院判官豫備懲戒委員ヲ命ス

臺灣總督府法院判官　緒方　清繼

法院判官豫備懲戒委員ヲ免ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

北平(北京)の戸口總數……一
芳澤公使の廢除商約問題に對する正論……二
張作霖氏死去の公表と張學良氏……二
蔣氏の下野慰留と奉天交渉等……三
北平政治分會の成立……三
泰安政府(元山東省政府)の內部……四
青島附近の劉顧軍掃蕩……五
湖南政府成立式と魯主席の宣言……六
福州情報……七
廣東各界對日の情況……七
修正廣東省政府組織法……八
廣東情報……一一
漢冶萍の過去及將來……一三

香港

一九二七年末現在香港入口……一八

比律賓

ダヴィス氏の觀た比律賓群島(二)……一九
注目すべき比律賓新總督の施設支那人排斥の勵行……二三
比律賓雜報……二六

暹羅

暹羅に於ける英佛……三一
二四六七年國有鐵道概況……三三

英領馬來

一九二八年度英領馬來護謨標準生產高……三四
一九二七年度の移民勞働者概況……三四

蘭領東印度

サラワク王國の資源と其貿易(上)……三七
椰子油(パームオイル)に就て……四三
爪哇の行政區轄改正—東部及西部爪哇省設定……四七
入國許可證の有効期間問題……五一
蘭印に於ける邦人企業家の奮鬪……五三
蘭印雜報……五五

I19 H16 I66 I37D E115 I66D F90 I19

情報

支那

□北平(北京)の戸口總數

最近北平公安局の調査による全城市戸口人數は左の如し。(六月末調査)

關係警察署の數	四百十八段派出所
全城市街巷の數	四千八百七十一條
住戸總數	二十六萬一千四百五十一家
內正戸	十二萬四千八百二十五家
附戸	十三萬六千六百二十六家
人口總數	百二十九萬七千七百十八人
內男丁數	七十七萬九千七百零四人
女口數	五十一萬八千零十四人
更に男子壯丁の數	三十七萬九千五百九十五名
學童	十二萬三千一百零九人
外に出て服務し別に住所あるもの　男丁	三萬四千八百十四人
女口	五千九百零五人
又外洋へ僑居のもの　男	一萬一千八十六人
女	八百零八人
此の外工廠	六十四家
公署	七百五十六處
廟宇	一千六百九十二處
公所	三百二十一處
駐軍兵營	一百七十二處
教堂	六十八處
會館	三百五十六處
大中小等學校	五百二十六處
私立小學	一百十九處
醫院	七十處

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

監獄	六處
榮戶大小	三百九十八處
全市住戶	二十二萬三千零二十九戶
舖戶	三萬三千九百七十六處

總計人數、五月分よりは男丁に於て四百十六名を加へ、女口は九十一名減少した割合である。(六月末北平公安局戶籍科調査)

□芳澤公使の廢除商約問題に對する正論

芳澤公使は國民政府から中日通商條約廢除を通告したのに對し、七月二十一日記者團の會見席上重要な談話を發表されたが　其の大要は左の如くである。

諸君の知られる通り南京政府は十九日に中日通商條約廢除の通告を南京駐在の岡本領事に手渡し、同領事より私の手に送り越されたのである。尤も右の內容の詳細は遠からずして南京政府から公布するか、又は日本側から發表するかも知れないが、目下の處は尙ほ發表することが出來ない。しかし其の要點は現行中日通商條約改訂の商議期間は昨二十日滿期となつたから、新條約訂立の爲めには商議を希望する。但し新條約訂立未成以前に在つては前日國民政府が發表した、臨時辦法を實行するといふに在る。岡本領事は上述通告を受けて後事體の重大なので曾て私に向ひ受理轉遞すべきや否やを伺ひ來つた事も諸君は既に上海電報で承知された事であらう。私は岡本領事の電報に接し受理轉送すべきを返電した。其の理由は南京政府の通告は必ず發表の日あるべければ、其の時日本に在つても亦南京政府の處置の誤謬を發表するの必要があるから、是非とも回答を與へねばならぬ。蓋し日本の態度の正當なることゝ南京政府處置の錯誤とは日本の回答內に詳細に論述して、一には南京政府の反省を求め、又一には何時なりとも天下に公布し世界の判斷に訴へねばならないからである云々。(七月二十二日—順天時報)

□張作霖氏死去の公表と張學良氏

張氏の死去は六月二十一日愈々正式に公表されることゝなつたと前後し同十九日午前十一時奉天督辦公署に於て張學良が奉天督辦に就任し、同時に其の式が行はれた。(七月十九日・二十一日—奉天電)

新にな天督辦となつた張學良氏は將來絕對に南方と干戈を交へることなく、極力東三省の治安維持に努力し、同時に諸外國とも親善の關係を結び、經濟的・文化的に滿洲を開發して、之を一大富强の地とするを理想とすべしと傳へらる。(六月十八日—前教育總長劉哲氏談)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

學良氏の保安總司令就任　東三省々議聯合會代表は、張學良氏を推戴して保安總司令に就任せしめんとし全國へ通電を發して曰く、當聯合會は嘗に張作相氏を保安總司令に推戴したが、同氏の固辭已み難くて當會は辭意を承認した。しかし目下時局多端で總司令の職を缺くことが出來ないから、七月二日の會議で改めて張學良氏を總司令に推戴した。依つて其の就任を一日も早からしめんとして居る云々と。（七月三日—奉天電）

□蔣氏の下野慰留と奉天交涉等

張作霖氏の奉天撤退で北京も南方の手に歸したので、總司令蔣介石氏は革命的軍事方面の事業は、これで一と先づ完成したといふので、辭職下野を通電せんとし國民政府に辭職を請うたのは賢明な方法を取つたものである。然るに國民政府は六月十四日附で正式命令を以て、大要下の如き意を以て辭職を許さないことゝなつた。

蔣總司令が兵を弭め身を休めんとする誠意と功勞に誇らない事は革命軍人の模範である。が今現に北京天津を收め得たとはいふものゝ軍事善後及び其の他のすべては迚も一時に終熄すべきでない。此上とも從來の如く糧餉の事に當り大局を定めるべく盡力されたい云々。（六月十五日上海電）

かくて蔣氏は已むを得ず辭意を翻して、一切の善後事宜に盡すべく親しく上京して馮玉祥・閻錫山等と會商し特に奉天との善後解決の任に當ることゝなつた。（六月十八日—北京情報）

三巨頭主催の北伐完成奉告祭　七月六日午前八時から北平・西山碧雲寺の故孫文氏の靈前で蔣・馮・閻三氏主催の北伐完成奉告祭が莊嚴の禮を以て行はれた。參列者は三巨頭以外、吳稚暉・邵力子の二中央執行委員・鹿鍾麟・白崇禧・朱培德・方振武・陳調元、（軍長・總指揮）及び河北省政府・北平市政府國民黨市黨部指導委員・總商會・學生總會等の各團體多數に達し、蔣氏は先づ北伐完成の報告文を朗讀し、順次孫氏の靈前に跪拜して後十時散會した。（七月六日—北京電）

□北平政治分會の成立

北平卽ち北京の政治分會はもと七月五日に成立の筈であつたが、委員の人數不足の爲め自然延期されて居た。然るに鹿鍾麟・馮玉祥の二氏も前後に來北し、北平現在の委員は既に過半數に達したので遂に六日臨時に右成立大會を同晝間に開くことを決定し、集靈囿內[illegible]樹德の室に式場を設け、（卽ち前國務院の會議廳）同午前十一時半該政治分會秘書長席家驥先づ至り、分會代理主席閻錫山は商震と偕に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

來場、午後一時頃、中央黨部代表吳敬恒・中央軍委會主席蔣中正・北平分會委員劉守中・白崇禧・鹿鍾麟・蔣作賓・馬福祥の來著あり。又來賓として朱培德・何成濬・張羣・邵力子・陳立夫・羅家倫・周震麟・朱綬光等の出席あり。商震も來賓側に屬するものと知らる。開會の順序は先づ孫九錄の接待と潘宗瑞の賛禮に始まり次に蔣氏開會を告げ、中央黨部代表吳委員・中央政治會議蔣主席・北平政治分會主席及び各委員各來賓入場し、次に音樂ありて各人皆國旗黨旗及び總理遺像に向つて三鞠躬禮を行ひ、尋で主席は起ちて總理の遺囑を恭讀し、靜肅默禱すること五分間、畢りて主席及び各委員の宣誓あり。次に吳代表は訓詞を述べて曰く、政治分會は中央政治會議によつて生じたので、此の種の會務は全く孫總理の建國方略に據り、軍民分治を謀るに在る。辛亥の革命以來政教凌夷したれば、總理は先知先覺者の旨に本づき國民革命の謀の爲め務めて今日に至る。所謂國民革命の軍事方面は始めて完成を告げ、現に訓政着手の時期に屬する様になつた。隨つて政治分會が黨及び國の建設上に負うて居る使命は至つて重要となつた。本黨中心の信仰は三民主義である。此の外建國方略・建國大綱も皆政治上に切實に推行すべし。尙は貴會の努力奮鬪し總理在天の靈に負くことなからんことを望むと。蔣中正氏も亦訓詞を述べて云ふ、北平は昔の都で、風俗習慣として官僚帝王思想なるものを多分に持つて居る。故に何人でも一たび北平に來れば之に感染されない譯には行かない。總理は之が爲め都を南京に遷すことを決定され、北平の一日も早く平民化されんことを求められた。然るに北平は歷史上・外交上及び國防上から見ると重要の地たるは勿論である。總理の遺靈は尙は西山に儼在して居る。貴會は既に成立した。願はくは努力して本黨の主義を施行し、前の官僚帝制の積弊を一掃して總理の期望に副はれんことを云々と。是に於て代理分會主席閻錫山氏は答詞を述べて曰く、今日北平の政治分會成立式に當り、吳・蔣二公の訓詞を賜はるあり。錫山職に在ること一日なれば一日だけ自ら總理の三民主義及び吳・蔣二公の訓示された各項を努力擧行すべし。北平舊日の習慣は時潮と合はず。我等は常に總理の遺訓を承けて改革の國是を己か任と爲し、一致團結の精神を以て默化潛移の效を收むべく怠らざるべし云々と。かくて一同撮影の上散會した。（七月七日—順天時報）

□泰安政府（元山東省政府）の内部

國民政府は泰安に六月一日から省政府を設けたが、今其の主なる役所及び官長を列記すれば左の如し。

一、省政府委員　主席孫良誠・代理主席石敬亭・委員丁惟汾・蔣作賓・宋哲元・冷橘・魏宗晉・何思源・孔繁蔚・陳雪南・干恩波・閻容德

二、財政所々長魏宗晉・民政所々長冷橘敎・育所々長何思源・建設所々長孔繁蔚

三、山東省黨部主席は于恩波・陳雪南
四、第十軍司令部　譚公館に設け、軍長楊勝治の指揮に屬す。
五、公安局　局長は周京にて役所は商會内に設けらる。
六、泰安縣　縣知事は周先veneer、役所は通天街に在り。
七、河務局　局長は范慶熙、役所は二稚街に在り。
八、高等法院　院長は易恩侯、役所は考棚街に在り。
九、貨捐局　泰安停車場内に設く。

右の内省政府には馮系の力強く、省黨部には蔣介石系の人物多し、而して兩派の軋轢漸く劇しからんとして居る。現に省政府委員中南京派は于恩波等三名あるのみで、馮系の勢力漸次增大するにつれ不平少からず。殊に純山東出身の南京派には山東が全然馮玉祥の手に歸することに對して頗る不滿で、南京國民政府の元老株にして山東省政府委員たる丁惟汾の如きは之が爲め辭表を提出した程であるが、蔣介石等は極力之を慰留して居る。尚同じく省黨部指導委員會委員長たる于恩麐も南京派で、自派勢力擴張を圖るものに便を與ふるに努めて居る。官公吏は革命思想を有する人材中より採用する事とし、武官は粗布の軍服を着、苦力用の草帽を用ひ、文官は殆ど藍色の粗布で作つた中山服で執務して居る。軍隊の紀律は比較的よく、市上の物價は公定相場により、軍人の吸烟・飲酒・博賭を禁じて居る。（七月十五日—支那事情）

□青島附近の劉顧軍掃蕩

南軍劉志陸・顧震軍等は膠濟鐵路沿線を橫斷し、且つ我が皇軍安達第三師團長が去る五月二十五日布告した宣言に違背して、我が警備地域二十支里以内の地點にある周陽集城に數千の兵員を集結駐屯せしむる等の態度に出でたるを以て、手島旅團長は斷然たる決意を爲し、七月二十一日午前三時五十分軍令を下し、同八時高密縣西南方面に向つて進軍を開始した。顧震軍はもと、張宗昌系に屬せしも目下南化中のものなるが、若し該軍にして我が平和的退避命令に應せばよいとするも、若し應せざる場合は武裝解除の目的で、高密駐屯の我が春見大隊を出動せしめしたるに拘はらず、該軍は不法にも抵抗亂射を止めざるを以て、斷乎攻擊を開始し、終に周陽集及び高密附近の村落に散在せる敵四千の内二千の武裝を解除し、餘は屍體八百を遺棄して暫くの間に掃蕩し盡され、附近一帶は春見大隊の援護の下に治安の維持が行はれ、遂に一般平穩に歸した。我が軍の損害は死者六・重傷六　輕傷一八であつた。

又同二十日朝芝蘭莊の西南十四支里の地點に於て、去る十七日鐵道を破壞した南軍劉志陸軍約一千八百名あるを發見したので、坊子駐屯の我が軍約四百名はこれが武裝解除の爲め赴いたが、劉軍は頑強に抵抗し、且つ同地の城壁は堅固なるが爲め、一且後退することゝなつ

たに乘じ、劉軍が追撃を加へたので、已むを得ず之に應戰し、敵を斃すこと二百餘名に及んだ。我が軍の死傷は約三十餘名。

（七月二十・二十一日　青島情報）

□湖南政府成立式と魯主席の宣言

魯滌平の治湘意見　六月一日午前十時、湖南省政府の成立式が擧げられたが、主席魯滌平は民政廳長陳嘉任・財政廳長李隆建・敎育廳長張定・建設廳長劉召圃及び廳長を兼ねない委員陳嘉佑・何鍵・劉嶽峙と共に式に列し、現在省外に在るの劉興・周爛・曾繼梧の三人は缺席、此の外中央黨部特派監誓員王鳳喈・國民政府特派監誓員陳長簇・武漢政治分會特派監誓員、張烱も皆來會した。席上主席魯氏は各委員と同時に宣誓を行ひ、誓詞に親筆署名捺印し、次に中央特派監誓員王鳳喈・陳長簇・武漢政治分會監誓員張烱より新政府が貪官汚吏土豪劣紳を剷除し、中央の命令に服從し、黨を以て國を治むるの精神に本づき廉潔なる政府を建設し、湖南をして黨化的革命の新湖南たらしむを希望するとの訓詞を述べ、次に羅介夫・謝眞・蕭降蔚の希望の辭あり。最後に魯主席は全體委員を代表して答辭を述べて曰く、今中央黨部・國民政府・武漢政治分會監誓委員の訓示を承る上に、省黨部委員の指導・各來賓の致禮詞を辱うす。滌平當に省政府同人と共に自己の能力を盡し誠懇に御受けを致します目前申明すべき第一點は同人が此の任を受くるは仕官の氣分に在らず、只黨員奮鬪の精神を出し湖南の爲めに事を爲すのであるが、本省の政治建設に基づき國民黨々化の湖南を造り出し決して第二の黨派の湖南境內に來りて活動するの餘地なからしめるに在る。又其の第二點は湖南政府が本黨統治下の政府なれば、即ち湖南人民の政府である、故に我々同人は當に民衆の需要に依り本黨々綱を本とし建設に努力せん。もし違背するところあらば、只黨が我々同人を處罰すべきのみでなく、即ち人民も亦之に處罰を加ふべきである所謂用人・財政公開・收支適合・裁兵問題・教育經費の如き、我々同人は誓つて必ず實行せん。今回省政府委員中軍服を著けたるあり、長掛を著けたるあり、又學生の服裝を爲すものあり。或は軍閥と見え官僚と見え共産黨と見えるものあるも、外觀の如何に拘はらず、只我等には革命的精神と勇氣とあるのみ。若し此の如き勇氣精神がなかつたならば、革命軍は廣東を出てゝ長江に至り、長江から進んで黄河以北に發展することは出來ない。軍服でも長掛でも學生服でも何の厭ふ所があらうか。又次に第三點は現在の時期は仍ほ武裝懸命の時期で訓政時代ではない。故に我等の責任は離を提れないで先づ清鄕を完成し一切の建設をして容易に著手せしめるに在る。我等同人は頻りに相談を爲し、決定して三箇月內に清鄕の成績を擧げることとした。此の外仍ほ責任外の責任がある。即ち

前線武裝同志の懸命なる奮鬪を念とし必ず之を補助することである。又一方北伐の準備を爲すに在る。我等の政府は人民の政府であり。武力は即ち人民の武力である。政府は全く黨の指揮を受け、人は又政府を指揮すべきである。茲に成立せる八項の宣言あり。即ち(一)行政の公開。(二)黨治實行。(三)共產匪の剷除。(四)國防の整理。(五)財政の整理。(六)貪汚を嚴禁し廉潔を崇尚す(七)自治の籌備。(八)考試の實行是れである。我等若し此の宣言に依りて進まなかつたならば、黨部政府の處罰を受けるばかりではなく、同時に民衆一般の處罰をも受くべきである云々と述べて後寫眞を取り茶話を交換して解散した。(六月八日—申報)

□福州情報

新改組の省政府委員の顔振　新に改組さるべき有力なる福建省政府委員連の顔振は左の如しといふ。

主席　楊樹莊（舊）
委員　方聲濤（舊）
同　鄭寶菁（舊）
同　陳培琨（舊）
同　盧興邦（舊）
同　張貞（舊）
同　徐（名不明）（新）

かくて從來の十數名は右の七名となり、丁超五は中央の政務に沒頭すべければ、福建兼顧の可能性なく、黄展雲は已に本兼職を免ぜられ、黄琬の再出は望絶えたるも、郭政榮の公安局長は楊樹莊の支持に依り安全ならん歟。

林壽昌一味の逮捕行惱　林壽昌一味五名の逮捕令執行方に就き、去る七月二十一日附省政府著電の内容は、中央黨部は丁超五の請求により、是非執行すべしと爲し居るも、事實上省政府當局は依然形勢觀望中にて、積極的に遂行の意思なきものゝ如し。

何公敢歸福は注目に値す　秘書長兼鹽運使何公敢の歸福は注目に値すべし。七月二十五日晩迄の情報を綜合すれば今明日中に著福の筈なりといふ。何公敢は方聲濤の腹心と云はれて居るが、盧興邦の爲め大に味噌を附けて居る。盧何の現狀は犬猿も啻ならざれば、變化の一日は必ず之あるべき歟。(七月二十六日—福州情報)

□廣東各界對日の情況

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時局上廣東では日本の商品に對して、所謂對日經濟絶交執行委員會の下に種々計畫する所あつたが、去る七月十二日市黨部樓上で、商會代表者劉維文を主席とし鄒任天を書記とし、其他の出席者四十名集まりて協議した結果下の如し。

對日經濟絶交宣傳標語

一、日本貨物の運搬を嚴重に防ぐ。
二、日本貨物に對して組織的に嚴密に抑止す。
三、對日經濟絶交を實行せん。
四、日本貨物の入市を許さず。
五、各商人團體は自發的に日本貨物の檢査に應ずべし。
六、中國人は中國製の貨物を用ゆること。
七、國貨を使用して帝國主義的經濟侵略を防ぐ。
八、國恥的に國貨の振興を期す。

（七月十九日ー廣東各界對日經濟絶交執行委員會發）

尙ほ其實行方法としては從來取れる糾察隊を組織して、日本貨物を抑ゆるは徒らに日本との紛擾を釀すを恐るゝ故に、今回は自覺せる民衆と商人との自發行爲としたが、左記二條の對日經濟絶交檢査辦法を設けた。卽ち

第一條　日本貨物檢査員若干名を設く。而して本會調査の主任各商幹部員之に當りて、日本貨物の檢査と登記事項を處理す。

第二條　日本貨物の檢査には若干名の督察員を設く。而して督察員は學界と勞働團體の新部員之に當り日本貨物の調査と其處置に任ず。

更に其細目に至りては（一）現在の日本貨物を登記せしむ。（二）現在の日本貨物運搬の際は證明を出す。（三）今後日本貨物は如何なる方法によりても絶對禁止す。（四）登記證なき日本貨物は私貨として沒收す。（五）日本銀行劵を拒絶す。（六）日本銀行と借款を停止す。（七）日本側との爲替を組まず。但し本規約は來る七月三十一日に至りて一切の效力を發生す云々。（七月二十ー七十二行商報・共和報）

□修正廣東省政府組織法

第一條　省に省政府を設く。省政府は中國と民黨の主義及中央の法令に依りて、全省の政務を總理す。

第二條　省政府は中央の法令に抵觸せざる範圍内に在りて、省の行政事項に關し省令を發布するを得。

第三條　省政府の各廳、各主管に關する事務は、別に中央の法令に於て之を規定す。又省政府委員會にて議決せるものを除くの外は、廳令を以て之を行ふを得。

第四條　省政府は所屬各機關の命令或は處分に對し、認めて法令に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

違犯し、或は越權及時に當らすと爲すものあらば、之を停止或は改廢するを得。

第五條　省政府は國民政府の任命せる九名乃至十三名の委員を以て省政府委員會を組織し、其職權を行使せしむ。省政府委員は代理人を派遣し出席せしむるを得す。

省政府委員は他省の行政職務を兼任するを得す。

省政府委員は勅任官と爲す。

第六條　省政府の下に左の各廳處を設く。

秘書處・民政廳・財政廳・建設廳。

大學區制を試行するの省區を除くの外、省政府の下に應に教育廳を設くべし。省政府の認めて必要と爲す時、農鑛廳・工商廳を増設するを得。

第七條　大學區制を試行するの省區に在りて、凡そ本法第十二條に定むる所の教育廳事務は、各該區の大學より、大學區組織條例に根據して之を掌理し、未だ農鑛廳及工商廳を設けざるの省區に在りては、凡そ本法第十四條及第十五條に定むる所の各該廳事務は、建設廳より之を掌理す。

第八條　秘書處管理の事務は左の如し。

(一)　一切の機密重要に關する事件及省政府委員會々議に關する事項。

(二)　文書の起草保管收發に關する事項。

(三)　省政府委員會の會計に關する事項。

(四)　統計及報告を製作するに關する事項。

(五)　省政府各處職員の進退記錄に關する事項。

(六)　印信の保管に關する事項。

(七)　其他各廳に屬せざるの事項。

第九條　民政廳管する所の事務は左の如し。

(一)　市行政官吏の任免及監督に關する事項。

(二)　地方自治に關する事項。

(三)　地方行政區劃の確定及變更に關する事項。

(四)　警政及公共衞生に關する事項。

(五)　保衞團に關する事項。

(六)　建設に關する事項。

(七)　賑災及其他社會救濟に關する事項。

(八)　儀式宗教に關する事項。

(九)　禁烟に關する事項。

(十)　各種土地の登記收用及其他土地行政に關する事項。

第十條　財政廳管する所の事務は左の如し。

(一)　省稅及省の公債に關する事項。

(二)　省政府の豫算決算に關する事項。

(三)　省庫の收支に關する事項。

(四)　官有財產に關する事項。

(五)　其他省の財政に關する事項。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第十一條　建設廳管する所の事務は左の如し。

（一）公路及鐵路の工事に關する事項。

（二）河工及其他水利工事に關する事項。

（三）新市新村の建築に關する事項。

（四）各種の土地測量及其他の土地建築に關する事項。

第十二條　敎育廳管する所の事務は左の如し。

（一）各級學校に關する事項。

（二）敎育及學術團體に關する事項。

（三）圖書館及博物館に關する事項。

（四）其他の敎育行政に關する事項。

第十三條　農鑛廳管する所の事務規定は左の如し。

（一）農業・漁業・牧畜　森林の一般保護・監督及奬勵に關する事項。

（二）農業・漁業各團體の組織及指導に關する事項。

（三）農村の改良に關する事項。

（四）佃戶地主間の爭議に關する事項。

（五）礦業の保護及監督に關する事項。

（六）礦務警察及礦工の待遇に關する事項。

第十四條　工商廳の管する所の事務規定は左の如し。

（一）工商業の保護監督及奬勵に關する事項。

（二）工廠に關する事項。

（三）商準に關する事項。

（四）商品の陳列及檢査に關する事項。

（五）度量衡の檢査及普及に關する事項。

（六）勞工の團體に關する事項。

（七）商會及其他の商人團體に關する事項。

（八）勞資の爭議に關する事項。

第十五條　省政府各廳長の任免は須く各主管の部　院及委　員會より國民政府に呈請し批准の後之を行ふ。

第十六條　省政府各廳處間に在りて、職權上に於て爭議を發生したる時は須く省政府より國民政府に之を裁決せんことを呈請すべし。

第十七條　省政府には主席一名を置き、國民政府により省政府委員中より之を指定す。

第十八條　省政府主席の職權は左の如し。

（一）省政府委員會の議決案を執行す。

（二）省政府日常の事務を處理す。

（三）省政府委員會常會を召集するを得。

委員三名以上の提議或は主席の認めて必要と爲すあるの時は、主席より特別會を召集するを得。

第十九條　省政府主席故に因りて職務を執行する能はざる時は、省政府委員會中より一名を互選し臨時主席の職權を代理せしむ。　前項の代理は國民政府が命令を用ひて特別許可せる者を除くの外、其の任期は一箇月と爲す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第二十條　省政府秘書處に秘書長一名を置き、國民政府より之を任命す。　秘書長は省政府主席の命を承けて本處の事務を處理す。　秘書長は簡任官と爲す。

第二十一條　省政府各廳に廳長一名を置く。廳長は各該廳の事務を總理し、並に所屬の職員及所轄の官署を監督するを得。　廳長は簡任官と爲す。

第二十二條　省政府各廳處に各秘書一名乃至三名を置き、該長官の命を承けて秘書の事務を處理せしむ。　省政府各廳處は事務情形を酌量して科處を設け事務を處理するを得。

各科に科長一名及科員若干名を置き、各該長官の命を承けて各該當事務を掌理せしむ。

省政府各廳秘書及科長は薦任官或は委任官と爲す。科員は委任官と爲す。

省政府各廳は職務の必要に因り技正技士及視察員を置くを得。其人員は須く各該廳々長より省政府委員會に付議して後始めて決定を行ふ。

第二十三條　省政府各廳處は文件の繕寫、及其他の事務を管理するが爲め起見し、隨時に雇員を採用するを得。

第二十四條　省政府各廳處執務の細則は省政府委員會より之を議定す。　前項の細則は須く國民政府に報告すべし。

第二十五條　本法は公布の日より之を施行す。（五月二十六日―廣東省政府主席李済琛公布）

□廣東情報

北江礦務計劃　李済琛主席は實業建設に熱中し、殊に北江の地が礦務に便なるが爲め並に簡英甫氏を擧げて北江地利礦務公司を設けたるが、時局の影響を受け一時停辦中なりしを、今回新株を募集し、嚴直方・勞敦修・陳煥之諸氏と聯合し、中國礦務公司と改名し、續いて開採することゝした。　尋で政治分會第百十七回會議に申請し許可を得、先づ韶坪特別公款を以て該礦場から韶州までの輕便鐵路を敷設することを指令決定し、　同時に該公司に專用粵漢鐵路レールを設けることを許して運輸の便に資することゝした。　然るに復た最近済南問題發生した爲め、廣東使用の石炭に影響を生じたので、改めて三大鐵路・兵工廠・海軍々艦及び各公用機器廠に通令し、一律に該公司の產出せる國炭を購用させることになつた。　簡氏はこれが爲め特に榮勞二氏及び朱官臣氏等に打電して來廣の上共同從業せんことを請うたので、該三氏は來廣の上東山の簡園に寓して居る。　李主席は親しく拜訪し六月二十五日總司令部大堂に於て正式に榮・勞・陳諸人を饗宴し、馮祝萬・趙俊・簡英甫・嚴直方・鄧殿邦・陳策の六人を陪席させたが、　席上榮氏は廣東の實業に對し貢献する所多く、同時に政府が實業保護政策を

實行すれば願はくは鉅資を投じて地利炭礦を恢復する外、更に廣東に偉大なる紗廠・麪粉廠を建設して民生の福利を謀るべしとの意を明にした。（六月三十日—廣州共和報）

陳銘樞海南島發展の大計畫　瓊崖は廣東の南方なる、一大海島で濶さ二十餘支里中に十三縣あり、其の蘊藏せる富と土地の膏腴なると農礦魚鹽の多きとは内地各省の上に位して居る。陳銘樞軍長は此の島が西方佛領安南を望み、南には和蘭陀屬の爪哇等の諸港を控え東の方は米國屬地比律賓と相接し居れば將來必ず能く海外交通の樞軸となるであらう。若し速に建設を圖らなかつたならば惜しいことであると思ひ、特に南區善後公署を瓊山縣城に設立し、公署の側に調査設計委員會を設置して瓊崖海島開拓事務を取扱ひ、陳氏自ら委員長を兼ね、更に劉先華を聘して副委員長とし、李光第・王維徹・曾璧・吳仰之・黃國梁・王丙南・孫組蔭・章叔暢・戴時熙を委員に任じ、分れて島中各縣に赴いて調査させ、劉棠猷を聘して秘書として同會内一切の事務を主持せしめることゝし、既に政治分會に申請し分會から四十萬元の補助を爲して海に港の航道を濬浚し同港の堰堤を築成する許可を受け、同時に工程師を派遣し崖縣楡林港に赴いて踏査の上軍港用の準備として建設修築せしめることゝした。公路の部分に至つては現に調査中のもの共に二千九百四十支里に及び、既に調査濟の分は一千六百九十九支里で、修築に着手しながら未だ成らざるもの九百四十四支里なるが、次第に工事に取掛り、又全島十三縣に貫通せる幹路は七月一日から請負商を募り縣界汽車路を建築する筈である。かくて縣境を區分し適中の地點に縣を設けて之を治め、同時に全島各縣に命令し、速に電話設備を爲し消息を靈通せしめることゝし、現に手を分けて進行中で忙がしいので、陳軍長は省政府主席の任には就かないのである。（七月六日—瓊崖通信）

兩廣民用航空事業　當局は近頃民用航空事業を提倡しつゝあるので各地共航空救國同志會の設立を見るに至つた。今航空界の消息に據るに本省民辦航空事業は廣東廣西の交通を以て急務とするのであるが、廣西省の航空救國會は既に成立し、航空處長張惠長を廣東廣西二省の航空交通の爲め、特に廣西省建設廳長伍廷颺に電請するに委員を派遣し航空機停留場に適處を實地調査せしめる事を以てした。聞く所によると梧州・貴縣・南寧が適中の地點であるから、將來は同處に地を擇み飛行機場を建すべく現に積極進行中で、先づ資金の籌集を行ひ飛行機二臺を購入し、一臺を總理記念號、一臺を五三記念號とする計畫で、資金徵收の方法は同會職員は先づ一律に半月分の月俸を義捐し、更に各會から特別寄附金を集めて飛行機二臺購入の資金に充てるといふ。（六月十六日—廣州共和報）

［一］漢冶萍の過去及將來

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、萍炭冶鐵の原起

前漢地理志には、豫章郡産出の石は薪の如く燃燒すと記載せられ、是れ吾が中國に於いて石炭を用ひたる始めなり。歐洲人は十五世紀中英京倫敦にて始めて石炭を用ひ燃料と爲したれば、吾が中國の事實に比較しなば、實に一千數百年の後なり。

民生の需用する物にして、一處に用ひられなば、處々に又用ひらるべく、萍炭の炭脈は數十支里に亘り地面に露出せるものなれば、其人の需用に供せられたるは、當に前漢に始まれる事疑ひ無し。

大冶は唐の永興年間既に工場を設けて鐵を冶し、宋代之れを繼ぎ今山中に礦滓の堆積せるは、其遺迹なること照かにして、名を得たるは實に是れに由るなり。

二、張之洞と漢陽鐵廠

道咸以降當國諸公は、西洋人の船堅く大砲激しきと機械の巧妙なるとに驚き、船を購入し機械を購買し、福建船政局及津滬製造局を設け、竝びに機械を購入して工場を設け、左に示すが如く宗棠の甘肅呢廠、劉坤一の紗廠等續出せり。張之洞は機械の皆鐵製なるに鑒み、廣東督軍なる時、英國より熔鐵爐二座を購入して預め製鐵に備へ、光緒十六年庚寅張は兩湖の總督となり、一日漢陽に赴き、即ち龜山下に一鐵廠を開くべく指示し、前に廣東に在りたる時購入契約を結びたる熔鐵爐を此處に置きたり。

營業開始後、資金の消費數百萬兩に及び、頗る困難なる狀況と爲り、是れを繼續する方法無かりき。時に盛宣懷は津海關道より內事に任じ、御史參劾となり、張之洞の查辦に交り、張調の爲め盛湖北に至りしを以て、其漢廠招商接辦を囑したり。盛曰く大擧して鐵道を辦じ、漢廠より軌道を製造し、路廠を一手の經理に歸せしめなば、即ち漢廠の事業は能く辦じ得べしと。張は遂に全國鐵路總公司の設置を奏し、盛は五路督辦となり、盛は遂に光緒二十二年四月十一日漢陽鐵廠を接辦し、而して日に生鐵一百噸を錬製する熔鐵爐兩座も亦此月より製錬を開始せり。

三、盛宣懷と大冶鐵鑛

盛宣懷は光緒二年丙子、銀九百兩を以て大冶の獅子山・得大灣等の鐵山を購入し、張之洞は漢陽鐵廠を開き、鐵鑛を需用せしかば、盛は冶鑛を奉献し、大いに張の喜びを得たり。

光緒十七年辛卯大港より江岸石灰窰に至る鐵道を敷設し、竝びに下陸機器廠を建築し、大擧して冶鑛を開きたり。

四、萍鄉炭鑛の開辦

光緒十八年壬辰、張之洞は萍鄉に委員を派遣して局を設け、石炭を購入せしめ、漢廠に是れを運送し、熔鐵爐の用に供せり。是れ萍鄉を經營せる始めと爲す。其後漢廠附帶經營の江夏馬鞍山炭礦は、其製造せる骸炭、硫黃多くして熔鐵用に適せず、張盛は光緒二十二三年間、人を長江の上下に派遣して鑽求せしめし結果、萍鄉炭より製造せる骸炭の熔鐵用に適するを探定し、且つ礦脈連綿として連り、産炭量甚だ豐

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

富なるを知り、始めて光緒二十四年戊戌機械を購入し、萍鄕に赴きて大舉開採せり。

五、漢鐵萍炭基礎の確定

張之洞は石炭鐵鑛の未だ開けざるに先ちて鐵廠を設立し、卽ち工場の設立後、盛宣懷によりて適々鐵山を發見せられしが、石炭は卽ち馬鞍山を開きたるも效無く、後長江の上下を搜索して卽ち萍鄕炭を得たるなり。光緒十六年庚寅漢廠を創設し、同十七年辛卯冶鑛を開き、二十四年戊戌に至り、大舉して萍炭を開きしものなれば、其間前後九年に及び始めて炭鐵の聯絡を得、漢冶萍事業の基礎を確定するを得たるなり。故に戊戌の歲は、實に吾が中國近代鋼鐵事業肇造の紀元なり。

六、戊戌より戊申に至る十年間の漢冶萍

戊戌より戊申に至る十年間の漢冶萍は、礦廠の進行と日本人の插足との兩頭に分ちて記述すべく、而して戊申年漢冶萍煤鐵廠礦有限公司の成立は、漢冶萍煤鐵事業の一段落を告げたるものなり。

十年間礦廠進行の誌すべきものは、萍煤大槽の開通と熔鐵用骸炭量の遞減との兩事なり。

萍鑛炭槽は、長短の兩路あり、長路は東北西南の延長にして約二十支里、而して西北に向ひて傾斜す。短路は約長さ二支里、長路と約丁字形を成し、長路の西北に位し、而して西南に向ひて傾斜す。盛宣懷の戊申大槽開通せりと上申せるは、卽ち長路を指すものにして、蓋し大槽の開通は、卽ち萍鑛の規模鞏固なるを意味す。李維格は漢廠を主持し、歷年法を設けて熔鐵用の骸炭を節省し、光緒二十八年壬寅、毎錬鐵一噸に付き、骸炭一噸五分七厘を要せしが、光緒三十四年戊申に至り、只一噸一分五厘を要するのみとなり、次年には一噸一分二厘に減少せしめ得たり。

此十年中、光緒三十三年丁未、日に三十噸を出す熔鐵爐二座を始めて使用せり。[illegible]熔鐵は卽ち僅かに日に百噸を出す爐二座ありしが、而かも冶鑛鐵砂は毎年最も多く、三十萬噸を出すに至れり。

光緒二十六年庚子、伊藤博文は北京に遊び、淸の西太后に謁見し、每年大冶鐵砂五萬噸を購入すべく要求し、次年辛丑七月、日本は餉浦丸を大冶に派遣して鐵砂一千六百噸を積載運送せり。是れ鐵砂の日本に輸出せられたる始めと爲す。

光緒二十九年癸卯盛宣懷は、日本興業銀行と日本金三百萬圓の借款契約を締結し、大冶鐵鑛を擴張充實し、毎年日本の購入する鐵砂の價額を以て、元利を償還することゝ爲し、鐵砂の價格は毎噸三元と定め、十年内は其價格を改めずと爲せり。是れ漢冶萍の日本債を借りたる始めなり。同三十四年戊申に至り、二回目の日本正金銀行より日本金二百萬元を借入れしかば、日本人は遂に漢冶萍に足を插入するを得たり。

光緒三十四年戊申盛宣懷は上申して曰く、三十三年八月に至り、鐵廠は既に資金一千二百萬餘兩を費し、炭礦の採掘に既に資金七百四十餘萬兩を費したれば、合計約二千萬兩に上りたり。而して外債による

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

缺損多く、利息重く且つ期日切迫せるを以て、速かに株式を募集し、借款の償還に充て、而して工程を擴充するには尙數百萬兩を要するを以て、將來漢冶萍をして一大會社たらしむるには、新舊株式は共に銀二千萬元を募集しなば足るべく、一面內外借款を償還し、一面鍊鐵を擴充せん。後旨を奉じて議に依れり。是に於いて漢冶萍煤鐵廠鑛有限公司は卽ち誕生せり。

七、戊申より戊午に至る十年間の漢冶萍

戊申より戊午に至る十年間民國の成立と世界大戰との兩方は、漢冶萍の當局者をして、多量の心血を消耗せしめ、此中の運用は、大いに留意し或は其微を窺ひ、眼光の鋭きものにあらざれば、共に視知すること能はざるべし。張之洞曰く、盛宣懷は才猷宏達なりしを以て、綜括的に精詳せりと、盛は久しく招商電報の兩局を掌握し、復た全國鐵路と漢冶萍煤鐵事業を督辦し、光宣の際新起事業界中に於いて一時獨步せり。而して辛亥適々郵傳部尙書に任ぜられしが、革命激成し、民國成立するや、盛は國人の棄つる所と爲り、日本に逃亡せり。

漢冶萍一千七百餘萬の株式は、盛氏自ら十分の三四を所有し、其餘は亦大半其故舊と僚屬との所有に歸せり。盛は自衞及其故舊僚屬の爲め、民國元年日本との合辦を謀り、既に草約に調印し、一つに株主會の通過を俟ち、卽ち實行に便せり。蓋し先の草約締結は藉りて社會の動靜を覘ひ、若し國人の反對にして甚だしからざれば、卽ち正約に調印し、然らざれば、草約は須らく株主會の通過を俟つの一語あるを以て、正に轉旋の餘地あらしめたるなり。殊に草約一度出づるや、全國沸騰し、而して湖南湖北江西三省人の反對最も激烈なりき。元年三月十二日臨時株主總會に於いて、合辦案は遂に全體の否決に遭ひたり。

民國二年、盛は擴充するを口實と爲し、日金一千五百萬元を借り、六百萬元を以て漢廠及冶萍兩鑛を擴充し、九百萬元を以て別に新工場を大冶の袁家湖に建設すと稱し、日本正金銀行・八幡製鐵所と公司との三方にて契約を締結せり。其要點は四十年內に日本に八百萬噸の生鐵と一千五百萬噸の鐵砂とを供給し、生鐵の價は每噸日本金二十六圓、鐵砂の價は每噸日本金三圓と爲せり。是れを簡言すれば、卽ち冶鑛合計の鐵砂を盡すも尙應ずるに足らざる量にして、且つ定價低廉なれば、公司の債務をして年々增加せしむるも減ぜしむるが如きこと無からしむべし。是れより以後、公司と日本との關係は、誠に日本人の言ふ所の如く、特殊と爲り、密切と爲り、而して公司は日本人の保障を得。亦自から合辦の榮因と異なる所無きこと、なれり。

北京政府農商部は、曾て凡そ外人の投資は資本の百分の五十を過ぐるを得ずとの法令を公布せり。漢冶萍公司の日本債權は其資本を超過せるにより、民國三年十一月十二日、大總統の命令を以て發布し、將に漢冶萍公司を國有に收めんと擬し、農商部も亦委員を派遣して一切を調査せしめたり。而して歐戰既に此年に開始せられ、當時國有に歸するの議成りしが、是れ歐戰千載一遇の機會に乘じたるものに

して、吾が中國鋼鐵史上、當に特筆大書すべきものなり。

民國四年一月十八日、日本は二十一條を提出し、其第三部要求内に曰く、日本と中國とは、漢冶萍公司により、密切の關係あり、須らく該公司を改めて中日合辦と爲すべし。中國は公司事件に對し、日本人と商議せざれば、專辦すること能はず、又中國政府は漢冶萍所屬附近の各礦は公司の出意にあらざれば、別人に與へて開採すること能はざることを承認すべし等の言あり。然れども北京政府は此條件を承認せざりき。四月二十六日に至り、日本政府は又此條を改めて中日間は漢冶萍公司により、密切の關係あり、必ず須らく合作すべし、中國政府は必らず須く其通りに許し、竝びに日本資本家の投資を承諾し、公司は國有と爲すを得ず、亦沒收するを得ず、更らに別國に向ひて借款して日本債を償還するを得ず等の語あり。中國政府は二十四時内に於いて圓滿に答覆せり。此頃の條件は、日本の駐華公使日置氏より、五月七日北京政府に承認を迫りたるなり。歐戰時中、漢冶萍の日本に貢献せるものは、計日本金二億數十萬圓に上れり。其結果日本は公司の債權人たるを以て、公司をして中國政府の收めて國有に歸すること能はざらしめ、或は沒收すること能はざらしめたるのみなり。

歐戰時中、公司の日本に賣却せる生鐵は、約計三十萬噸にして、當時生鐵の市價は、高き時は每噸華銀二百五十元に及び、高低平均は最少にても當に每噸華銀百六十元を以て計算せられたり。然るに日本人は締結せる原案に照して價一倍有餘を加へ、原價每噸日金二十六圓なるを以て、新に加へたる價は每噸日金六十圓と爲せり。當時の金價に照し、日金六十圓は華銀三十元に合せるを以て、每噸の平均市價に比較しなば、其差は百三十元と爲り、三十萬噸にて合計差額華銀三千九百萬元なり。

歐戰時中、公司の日本に賣却せる鐵砂は約一百萬噸にして、此鐵鑛より生鐵六十萬噸を製錬し得べく、生鐵の元價は最高華銀三十元として計算しなば、每噸より華銀百三十元の利益を得べく、六十萬噸よりは、合計華銀七千八百萬元の利を得べし。故に公司の收入たる日本金三百萬圓卽ち華銀百五十萬元を除去するも、尙純益は七千六百五十萬元に達するなり。

鐵砂生鐵の兩項は、合計華銀一億一千五百五十萬元にして、卽ち日本金に換算すれば、合計二億三千百萬圓に當れり。是れ漢冶萍公司の歐戰時中、日本に貢献せる所なり。

漢冶萍の日本債は、歐洲戰發生以前迄でに既に合計約日本金三千餘萬圓規元二百五十萬兩となり、歐戰中に於ける日本金一圓は華銀五角に値せしかば、日本債の解決は甚だ易く、卽ち公司は安價にて巨額の生鐵鐵砂を日本に供給せりと雖、而かも全部の營業は卽ち利益を收めたるものなれども、而かも此利益は日本債の償還に用ひざりしなり。故に一部分の株主の組織せる漢冶萍株主聯合會は、是れに據りて該公司の經理人(支配人)を攻擊せり。該聯合會の電文に據れば、永

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

和換額を購入して華銀六百七十萬元を消費し、尙窯業炭礦等に支出し、其合計は華銀一千萬元以上に達せりと云ふ。

此十年間、鐵廠の進行に、宣統二年庚戌にして、漢廠は二百五十噸の熔鐵爐一座を開き、民國四年又同式のもの一座を開き、從前日々百噸を出すもの二座なりしが、生鐵の產出量は毎日七百噸となれり。宣統元年己酉、日々の錬銅三十噸なる爐兩座を開き、二年庚戌及三年辛亥には各同式の爐一座を設け、民國六年丁巳に又一爐を開きたるを以て、前記二爐と合し、計七爐より毎日鋼二百十噸を產せり。原料の鐵砂產出高は、毎年多き時は五十數萬噸に及び、又民國四、五年間は、毎日平均產炭三千噸以上に達せしが、是れ採掘以來、產炭量の最も旺盛なりし時代なり。

八、戊午以後の漢冶萍

民國七年戊午、世界大戰終を告げ、漢冶萍の黃金時代も又是れに隨ひて盡き、其後は連年缺損を來し、其額數十萬より數百萬元に達したり。

民國十三年末、日本金八百五十萬圓を借入れしかば、同年末迄でに合計日本債は日本金三千八百二十五萬餘圓、規元二百五十萬兩となり、之れに十五年借款の日本金二百萬圓並びに十四年より十六年に至る三箇年の利息を加算すれば、日本債の總額は現在約日本金五千萬圓と爲れり。

漢廠の日々百噸を出す兩熔鐵爐は、民國八年未だ停煉せざれども、而かも折毀し、日々二百五十噸を出す熔鐵爐二、民國十一年壬戌亦停煉せり。

大冶新鐵廠は、民國十二年癸亥、建築完竣し、四月熔鐵爐一座を設け、日々生鐵四百噸を出せしが、十三年末に停煉せり。其他同式の一座を十四年五月設けしが、之れ亦十月停煉せり。

十四年冶鑛は、漢萍の兩廠停煉せるを以て、骸炭を需用せず、隨て大工を停止し、十五年革命運動興り、冶鑛も亦停工せり。

十六年春漢冶萍鑛廠工人は、鑛廠の停工によりて失業せるを以て、漢口國民政府に向ひて請願せしかば、政治會議にては議決し、交通部に交付して辦理せしめ、交通部長孫科は卽ち人を派して漢冶萍公司整理委員會を組織することゝなり、三月十七日に成立を見たり。

九、戊辰以後の漢冶萍

本年一月十日、國民政府委員會第三十一次會議々決案の一に曰く、交通部長王伯羣は、漢冶萍鐵鑛廠を整理すべく、目前の著手方法を具申し、其指示を請ひしかば、原案通に許可することを議決し、交通部より責任を負ひて適當に處理することゝなり、其翌十一日國府第三六號を以て交通部に通知せりと云ふ。倘附屬の案件も盡く原案通り許可すべく通知せり。從ひて此方法は現に定り、責任を負ふ人あるを以て、我が中國人は目を拭ひて其後の成行きを觀察し、且つ袁世凱時代の成績と比較すべきなり。

該方法の要點は繼承管理（Receivership）にして、既に國有に歸

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せしむるにあらざれば、亦公にあつる能はず、又他國より借款せざれば、即二十一條の日本人の要求する所とも亦衝突無し。此時日本人は我が國民政府に對し、豈に再び二十一條に比し更らに嚴酷なる條件を提出するを得べき。

各株主の所有產業は、然に支配管理者に歸し、今改めて國民政府の管理に歸せるものなれば、其の所有權は損益を來さゞるなり、各株主にして別に成算あるにあらざれば、其產業の整理に於いて、其成功を望まざる理由無し。

國家は三十八年前庚寅に創始せる唯一の鐵鋼事業の基礎を現在繼承管理せるも、戊辰以後の漢冶萍は、我が國人の共に是れを注視せられんことを願ふなり。（上海總商會商業月報二月號）

香港

□一九二七年末現在香港人口

一九二七年末現在香港推定人口左の如し。

支那人以外の人口（陸海軍關係を除く）	一六、五〇〇人
支那人	九六一、四〇〇人
合計總人口	九七七、九〇〇人
支那人々口內譯	
ヴイクトリア市部（ピーク區を含む）	五〇〇、〇〇〇人
香港島內各村落	三九、九〇〇人
九龍及新九龍	二四〇、〇〇〇人
新租借地（ニューテリトリー）（陸上）	八七、五〇〇人
水上居住者	九四、〇〇〇人

一九一六年以來衞生局管轄區域內人口の增加は一〇〇%を超過した。非支那人々口は一九一七年に於ける一三、五〇〇人より一六、五〇〇人に增加した。

一九二七年中香港對近隣支那各地との移出入民は、移入民五五四、四四七人、移出民六〇〇、二八三人で移出民の方が五五、七八六人の超過であつた。（香港デーリ・プレス七月十二日所載）

比律賓

□ダヴィス氏の觀た比律賓群島（二）

進步の分量

一九〇七年に於ける比島議會の創立は、主要なる當初の業績を有效に成就せしめたりと認められたるを以つて、前後の發達を實證した基礎の年として此の年を選ぶのを適當とする。決定的な正確なる統計のみによる時、過去二十年間に秩序整然たる政府がかち得たる物質的發展の或る綸盡は次表に現るゝであらうと信ずる。

	一九〇七年	一九二七年
比島中央政府の總收入金額	一一、一四九、六一九・二五弗	三九、二〇六、六八一・七六弗△
比島内流通貨幣	一九、二九三、四九八・三七	六五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇△
比島へ輸入品總價額	二八、八〇〇、〇〇〇・〇〇	一一八、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
比島より輸出品總價額	三三、七〇〇、〇〇〇・〇〇	一五三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
米國より輸入品總價額	五、一五五、四七八・〇〇	七〇、九九三、一三四・〇〇
米國へ輸出品總價額	一〇、〇八二、三六四・〇〇	一一三、八〇四、二七一・〇〇
比島より輸出砂糖總價額	四、一九五、〇〇〇・〇〇	三三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇△
輸入米メートル噸數	一一九、〇〇〇	七〇、四八四
一等級道路總哩數	三〇三	三、六三一
鐵道線路總哩數	一二三	七九二
堀拔井戸總數	二〇	一、八三三
市設供水設備總數	一	一四五

（但し△印あるものは一九二六年の分）

右の數字は印象的であるが發達の全豹を畫き出して居らない。例へば、一九〇七年以後七百萬餘弗が灌漑工事に、一千萬餘弗が築港に消費され、猶又、一九二六年に輸出された價額三千二百二十萬弗の砂糖の中重量約七億四千八百萬ポンド、その價額二千九百萬弗は比島内の最近式製糖機械にて精製のセントリフイガル砂糖なりし如きである。右の機械は一九〇七年には無かりしが現在運轉中のもの十四は每年各々二萬乃至五萬五千メートル噸を製產して居る。

下記の比島より輸出したる生產品の比較表は何かを物語つて居る

	會計年度一九〇七年	同 一九二七年
コーナーザ及トゥイン（繩類）	三七、九一七弗	一、四〇五、四五八弗
帽子類	二〇五、九六〇	一、五六一、〇〇〇
椰子油	五〇、六六二	二四、五四一、[illegible]

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

煙草類	一、一七一、七〇六	四、九〇〇、〇〇〇
刺繍		五、九九二、〇〇〇
乾燥コナッツ		二、七五七、〇〇〇

當群島は過去、現在、又將來も農業地として繼續して行くであらう。 他方面の開發は今日迄刺戟を受けたるが今後もさうなるであらう。然し農業は將來も富源の冠絶せる地位を占めて行くであらう。最近の比島國勢調査に依れば、農場總數百九十五萬五千二百七十六、その所有主總數百五十二萬二千二十六名、是等の農場中百九十四萬六千五百八十は比島國民の耕作地に屬し、右所有主總數の中百五十一萬六千百六十八名は比島國民であり、農場の大部分は極めて狹少なれども比島國民の所有權數は大小兩方にわたり優越なる數字を示して居る。

比島內の各種の農業は比島人のものであると堂々と云ひ得るであらう。過去二十箇年を通じて勃興したる製糖工業の發展が是れを說明して居る。斯業の性質の點から、且つ又就中一般の市場向きの砂糖を製造する砂糖黍をミリングする大型最新式は、他の總てのものよりも多く會社が經營して來たのである。 熱帶地に於ては概して其の持主及經營者が事業地に駐在して居らない結果になつて居る。 所が比島に於ける斯る例は殆んど無いといつてよい。しかも比律賓國民のみによる此の工業が好成績を收めて居るのである。

若しも現在に比較して少數の地主が廣大なる面積地を委ねられて居つたならば、比島の農業は非常な發展を遂げたであらう事は疑念な差し挾む餘地がない。 近代式の農業頭腦を持つ多人數の小地主を得るに至るは全く困難であつたのである。 然し乍ら學校敎育を通じて相當の成果を得たのである。收穫の統計表と生產物の增加は、農業地が全般に及んで實際に漸進的に開拓せる實證を物語つて居る。米は未だに輸入して居るが、島內の購買能力が增加するにも拘らずその分量が著しく減少しつゝある。 是れ實に地方製產高の益々增大せる爲らざる證據である。

銀行業及商業界に比島國民は前進して來て居る。 比島占領當時是等の領域は諸外國人の優秀權に歸して居つた。而して現今は米國人、歐羅巴人及支那人がコントロールし優越な地步を占め續けて居る。

進步の概略＝約言すると比島の進步は、公有地の利用法を防げてその開拓に掣肘を加へ、或ひは國內に必要なる勞働者の移入に制限を加へ、其結果外資の流入を閉塞したる議會の統治下に於て釀成されたものである。

前述のステートメントは不滿足なる發展の辯解として引用したるならんと雖も、その程度たるや不自然に遲々として居ると云ふ意味ではない。世界の諸國に比較しては好成績を示して居る事を認むるのである。 その發展たるや實質上比島國民に對して特に好都合な働をなしたので、此の埒內に於て米國々會が提唱せる目的を達成したと云はるゝのである。

比島に迄手を延した或る種の直接に財政上及貿易上有利なる點が

此の開發を興隆したのを知る。然し乍ら、國民の希望せざる利己的不正行為を阻止するために設けた制止物に、物質的弛緩を與へたと信じられて居る。米國議會が比島議會に、比島自身の公有土地及移民法を、大統領の認可を經て制定する權能を賦與したる意旨は此處に存するのである。今や時機が到來した。比島議會は國民の安寧保護を計るは勿論、衛生及教育の機關を完全にするに必要なる比島の收入を增す主義を念頭におき、前述の諸件に關して法律を作成すべきである。各地方の增收は開拓に待つべく、それを缺く時は衛生及教育施設の增備、比島に紹介されたる將來ある優れたる政策を有效に實現し能はざるであらう。

比島の發達を論ずるに當り深く心に銘すべきは決して將來を抵當に入れなかつた事である。觀方によつて最新式政府として稀に見る比島政府は、進行の旅費をその時の收入中より支辨して來たのである。

比島政府の現狀

比島政府の財政は頗る優秀である。一九二六年十二月三十一日現在の政府貨幣流通高は、國庫發行紙幣四二、三九四、一二六弗と銀貨及補助貨幣一〇、七六二、一八七・三〇弗より成り立つて居る。此の流通を得、又金と平行價格を保持するため二種の積立金の準備がある。卽ち二、五七九、三八八・二九弗と一二、〇〇〇、〇〇〇弗にて法定の最低限度額を超過して居る。

比島政府の公債務金額は七九、六四八、五〇〇弗にして、それに對して國庫には四、八八四、五〇〇弗の州及市公債證書、メトロポリタン・ウォーター・ディストリクトの公債證書三百萬弗のもの、其の他一九二六年十二月三十一日現在迄に一六、八三九、一五九・八八弗に達した債務返濟準備積立金とを保管せるを以て、差引政府の負債金額は五四、九六〇、八四〇・一二弗となる。

過去二箇年間に積立たる比島政府債務支辨準備積立金は、比島政府の證券を除いて同政府の一般資金に繰入れ現金と交換されたる故、有準備積立金の保證は問題にならざる事は記憶すべきである。

節言すれば差引債務金額五千五百萬弗を負ふ比島政府は、流通貨幣制度に要する金額以外に手持現金三千七百五十萬弗を所有し、營利事業に六千六百萬弗を貸與して居る。此の投資は政府に執りて非常な損失であるだらうとは一般の話である。然し乍ら充分なる經營方針を以つて是等の諸事業に臨むならば政府の利潤は大なるものであらう。灌漑工事及財產評價のために消費した一千萬弗を除き、政府は四千四百萬弗を有益なる公共事業に投資したけれ共その大部分は徐々に支辨さるべき性質のものである。借入の權能は有效に行使されて居る。好都合なる條件の元に課稅除外證券附の公債を募集して政府は利益を得た。然し斯る方法に出でたるは政府の收入より當時の經費を支出するを避けんがためでもなく、不必要なるにも拘らず、債務を作つたといふ譯でもないのである。これに依つてこれを觀るに、比島政府はその收入により斯の如く運行して居るといふ證據を示して居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

比島政府の實狀は特殊であると信ずる。而して實際に財務に管掌せる諸官吏は政府の財政狀態に淺い信用を置いて居る。

半官、營利の兩事業に注入したる比島政府の投資を評價する場合、比島が獲得した比島の現狀と貿易關係は、評價の主要なる部分を形成せるを窺ひ知るのである。而して此の狀態に如何なる變化が襲來するとも、現在最も確實性を有する投資に本質的の打擊を被らせ、他方に徹底的の破壞を及ぼすであらう。無缺にして完璧なる施政方策を連續して行ふ事が最も肝要である。營利事業に莫大なる政府の資金を投ずる事を益々困難に陷らしむるのである。

（ダヴァオ日本人會誌より轉載）

□注目すべき比律賓新總督の施設―支那人排斥の勵行

南洋に旅行する者は、支那人が所謂華僑として各地に於て商業の大半を倚手中に收め、殊に小賣商としては市場を獨占せることは何人も認めざるを得ざる所であるが、支那が手を伸してゐるのは獨り商取引の方面に於てのみではない。護謨、椰子、茶、ペッパー其他の栽培業の方面に於ても彼等は侮り難い勢力を持つてゐる。只例外をなせるのは比律賓である。華僑は比律賓に於ても非常なる勢力を有し、大小の商業を一手に收めてゐるかの如き觀あるが、農業の方面に於ては到底日本人に及ばない。

他の南洋の部分に於ては、日本人が兎角支那人に對抗出來ないのに何故比律賓に於てのみ優越な地位を占めてゐるかといふに、其れは一九〇二年米國聯邦議會を通過した支那人排斥法が比律賓にも適用せらるゝことになつてゐて、支那人の入國が自由でないからである。

然るに、比律賓は地理的に支那に近く、且つ既に多數の支那人が同地方に在住するが爲め支那の密輸入旺んに（年に六、七千人の支那人が比律賓に密輸入をされつゝあるといふ計算なり）排斥法の主旨が少しも徹底しない。

其れが爲め比律賓土人は非常なる經濟的苦境に陷つてゐる。玆に於て新總督スティムスン氏は支那人排斥の實を擧げ、土人の經濟的位置を高むるといふ主意で鋭意研究中であつたが、別添の紐育タイムスの特電を見ると、愈々是れを實行する覺悟でゐるやうである。之は邦人の同方面に於ける發展の上から見て最も歡迎すべきことで、ダバオに於ける邦人の隆盛は、支那人に自由入國を許しては到底期待出來ないことである。

紐育タイムス特派員ヘンリー・エフ・ミッセルウォツ

四月十五日馬尼剌發電四月十六日同紙掲載電文譯

比律賓に入國する支那人の數を倩めることは到底不可能である。然

し一年數千人宛同國に這入つて來てゐることは確實で、島勢に通ぜる人々の意見に依れば、此事實は日本人の入國よりも比律賓に取つては遙に大なる脅威なのである。

此等人々の說く所に依れば、日本が兵力を以て、或は一見平和的な經濟的進入政策を以て比律賓人を征服し、比島をばいつかは日本帝國の領土にしてしまふだらうといふことは當らない想像で、日本としては到底出來ない相談である。 政府に接近せる或者のいふ所に依れば「支那人こそ大に警戒すべきで、彼等支那人の入國は年々增加の傾向がある。加之、彼等の入國を禁遏すべき何等の方法がない。吾々は現今どれ位の支那人が比島に居住するかについて正確に知るよすがを持つてゐない。 又年々何人の支那人が新に入國しつゝあるかを知らない。 吾々の知る所は概數に過ぎない。 然し今日比島に在住する純系支那人の數は少くとも十萬に上ることは確である。

其れに、比律賓には支那人を父とし、土人女を母とする、所謂支那人雜種（チヤイニース・メステイゾーといふ）といふのがあつて、其等の數は遙かに右の數字を超過してゐる。 支那人は數百年以前比律賓に渡來後、極めて自由に比律賓土人と結婚しつゝあり、之れに依つて生ぜる雜種は群島到る處に散在し、其數は二、三十萬を超ゆるであらう。 此外に雜種と言はれない迄も、支那人の血液を持つてゐる比律賓人（例へば下院の有力者オスメニアの如き）が無慮數萬人ある」云々。

比律賓に在住する支那人及び其雜種は、同島に於ける商人階級で到る處に大小の店舖を有し、 同島の商業を獨占してゐる。それで所謂比律賓の愛國者連中が時々蹶起して土人の商店で物を買ふ樣人民に宣傳勸誘するけれども、 元來支那人は比島人よりは商人として秀でてゐるので、 土人はどうしても支那人に敵はない。

比島在住支那人は、尙は未だ大仕掛の農業を營んでゐない。 然し支那人が比島で農業を始めたならば、 土人は其方面に全然チヤンスを失ふことにならう。 彼等は小賣商人として先づ土人の首を締め始めてゐる。 次に農業を始むることになれば、 扨て其後はどうならうかといふのが目下總ての人の心配してゐる點である。 今日比島に住する支那人の多くは、記者の聞知せる所では南支那殊に福建省から來たものである。

以上の如くであるから、總督ステイムスン氏は本年三月一日現職に就くと間もなく、 總督法律顧問ヴラントン・ヴヰンシップ大佐（Col. Vlanton Winship）に命じ、比律賓に於ける支那人入國の件を調査することを命じた。（四月四日附を以て任命組織せられた關稅事務委員會 Customs surrey Board は、ウヰンシップ大佐の勸告に基いて總督が作つたものである。 該委員會は、關稅事務委員會といふも、實は稅關事務の一たる支那人入國の取締に關する事務を審議立案するものである。 組織職能等に就ては左の註を見よ……譯者）

註。

イ、 關稅事務委員會の組織

Miguel Unson (Secretary of Finance)

Paciano Dizon (Deputy Auditor)

H. C. Anderson(Office of the Governor-General)

Sabino Padilla (Bureau of Justice)

Col. Charles E. Livingston (Philippine Constabulary)

ロ、委員會の職能

一、從來立法上の問題となれる不法輸入、關税收入規則違脊、外國移民規則を調査すること。

二、特に移民局を設置することに依て生ずる經費、政府のエフィシエンシー其他を調査し、設立の可否を決定すること。

三、沿岸巡邏船を置き移民取締規則、關税法を勵行する方法を研究すること。

四、輸出入品の檢査評價に關する現行法の不備を除去し、適當なる法令を設くること。

ヴ大佐及び關税事務委員會が調査の結果、支那人が多數不法に入國してゐること、支那人の入國が比律賓人の經濟を脅威してゐることが明かなるに至らば、スティムスン總督は此の状況を停止するに必要なる手段を直ちに取るに至るべしといふことである。前議會開會の當時、支那人の入國を阻止制限することを目的とする議案が提出された。一議案に代へるに、總て支那人は入國と同時に外人名簿に登録されなければならぬ。而して正當の旅券を有する者のみ登録を爲し得る。旅券を所持しない支那人は全部追放さるゝといふのであつた。併し、此議案は馬尼拉駐在支那總領事 Lingoh Wang の院外に於ける採消運動が奏効した結果葬られてしまつたのである。スティムスン總督の最近の行動より推察するときは、同總督は前議會に於けると同樣の法案を議會に提出することは明かである。但し、其れは六月の選擧が濟んでからのことである。

現行法の規定に依て見るも、支那は移植民を比律賓に送ることは出來ないのである。一九〇二年、米國聯邦議會は、支那移民禁止法を制定した。該法は、支那人及び支那系種族(臺灣に於ける漢人系の本島人も含む―譯者)の北米合衆國、布哇、アラスカの如き Territories 及び北米合衆國の管轄下にある地方に居住することを禁じてゐる。而して、特に北米合衆國の管轄下云々の文字を加へたのは、其れが比律賓にも適用さるゝものであることを明示せんとするのである。一九〇二年には亦、當時比律賓を統治してゐた比律賓統治委員も、比律賓に入國在住する支那人は總て登録せねばならぬといふ規定を設けた。其れで、支那人の自由入國は、法律上禁ぜられてゐるのである。然し支那は地理的に比律賓に非常に近いから、現在の如き缺陥多き手段では、到底彼等の密入國、密航を防止することは出來ない。前記支那總領事も、年々多數の支那人が比律賓に密輸入されつゝあること、此密輸入にはモ・・ー種族(比律賓の南部に住し、海上生活を爲し居る者)の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

手に依て英領北ボルネオのサンダカン港から比律賓のホロー、サムボアンガ南港に向つて行はるゝものであることを自白してゐる。

支那人密輸入事業は、比律賓に於ては相當利益ある仕事になつてゐる。今其方法に就て、消息通の語る所に從へば、比律賓で俗にコムパ (Company の略語―譯者) と稱する組合のやうなものがあつて、其れが密輸をやる。此コムパは、支那人の密輸入の外何にもやらない。此のコムパは、分身が支那に設けてある。南洋に行きたい支那人があつて其れが此コムパの者の耳に這入ると、コムパのエセントは、彼を或報酬の下に比律賓に連行することを約束する。該エゼントは、支那人が追放處分を受けざることを保證する。斯くて契約が出來、密輸依賴者は密輸入せられる。密輸入の事實が發覺し、追放せらるゝことになれば、コムパは之れに依て生ずる罰金、旅費等を全部負擔し、再び密輸入を行ふ。かくて大抵目的を達するのであるが、密輸入の事實が發見せらるゝ例は非常に少ない。比律賓總督府稅關長 Vincente Aldanes は、兼て在留支那人目錄を作成することを主張してゐる人であるが、此人が、ウキンシツプ大佐に報告せる所に依れば、政府が現在用ひつゝある比律賓の沿岸警備は支那人の不當入國を防遏するには到底不適當であるとの事である。

余(紐育タイムス特派員)が駐在日本帝國領事より直接確めたる所に依れば、群島に在住する日本人の總數は九千から一萬だといふことである。余が其他の方面に就て探聞した所に依るも數字は同じ事である。最も或人は在留日本人の總數は一萬五千にも達すと主張してゐる(支那系比律賓人は在留日本人の總數、及び其事業をいつも誇大に吹聽してゐる―譯者)日本人は、比島に於ては主として農業に從事してゐる。日本人が主として植民してゐるのは比律賓南方の島ミンダナオのダバオであつて、此處には約七千の彼等の同胞が生活してゐる。彼等は馬尼刺麻其他比律賓特有の產物を生產してゐる。

日本官憲の言ふ所に依れば、日本政府は自發的に比律賓に入國し得る日本人の數に制限を加へてゐる。日本政府の此政策は、米國人比律賓人双方に歡迎され、双方の贊同を得てゐる。信憑すべき筋の擧げた數字に每月入國する日本人の數は平均百五十人とある。

在比日本總領事の言に依れば、此等日本の移住することを許可せらるゝ前に地方官憲の調査を受ける。卽ち彼は善良なる國民であり、比律賓に移住してから出先の者に迷惑を掛けず、細々ながら自力で仕事をなして行けるだけの資力があるか否かを日本の地方官憲に依て調査され、其後に於て旅券の交付を受ける。而して此等の移民は比律賓に對して責任を持得る移民取扱人の手をくよつて渡航せねばならぬ。余の探聞せる所に依れば比律賓政府は正當なる手續を經、責任ある移民取扱人の手を通して送らるゝ日本移民の渡航に對しては反對しては居らぬ。然し余の考へでは漸增して行く此等日本の農業移民は、狡猾で比律賓に歡迎せられない支那移民よりも將來大きな問題になると思ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

兎に角、比律賓總督は目下支那移民問題を調査しつゝあるから、此夏中には本問題に就て或決定を見ることゝ信ずる。

□比律賓雜報

護謨問題

米國は其領土内に於て一片の護謨さへも產出し得ない。恒に英國に牽制され、又和蘭に威嚇され、護謨消費率全世界の六十%を誇る同國も其の生產の方面だけには、何等の容喙をも、又統御をも有して居らぬ。

現今蘭領東印度に於ける土人護謨採液開始と共に、護謨は一般に過剩生產のため護謨値段は非常な低落を見て居るとは言へ、國家永遠の策のため及將來增加すべき需要充足のため、米國は適當な護謨栽培地探查に浮身を扮して居る。例へば東部阿弗利加リベリヤに於ける大面積の租借の如き、又比島への アフイヤーストーンの 注目の如き、いちいち首肯せられるのである。

一、南洋協會新嘉坡商品陳列館報大正十四年七月三日第一二〇號參照

特に比律賓に於ては南方ミンダナオの廣亘なる沃地は、實にファヤーストーンのみならず、米國數多の護謨製造會社の注目する所であるが、土地法上に重大なる制限あるため－即ち一會社租借面積は千二十四ヘクタールに限られて居る－何れも事業開始迄には至らぬ。この土地租借制限は、米資の流入を喜ばざる比人の意志表示とも見るべく、一方米人側は之の障壁除去のために努力して居るのである。

二、比島經濟調查大統領特派使節トムソン大佐の報告第二項に「比律賓立法會をして現在の土地法を改正せしむる事」といふ條項がある。

先年一月リベリヤの護謨栽培狀況視察を終へて歸著せるジユニアー・フアイヤストン（ハーベー・ファイヤストンの長男）は、比律賓に於て護謨栽培を行はざる理由に就て次の如く語つて居る。（比律賓ヘラルド（一九二七・一・一四）比島政府が相當なる保證を與ふれば、何時にても資本を投下すべく、又（比律賓ヘラルド同・一・一九）大なる米國資本を以て創始せんためには二〇〇、〇〇〇ヘクタールを租借し得る樣現行土地法を改訂しなければ、到底他國との競爭に打勝つことは出來ぬ。

事情斯の如くであるが、六月十四日華府來電として、馬尼剌ブレテイン紙に揭載されある所を見ると、愈々米國政府は比律賓に於ける護謨栽培可能性を決定すべく、調查計劃を農務省に於て完成したといふ。即ち來年度財政年度に於て使用し得べき資金を以て本調查は行はれるのであり、米國農務省植物利用部に於ける護謨調查の局に當り

居れるO. F. クック（O. F. Cook）氏は七月一日比島に向け離米する豫定であると。同部長W. テーラー（W. Taylor）博士指導の下に本調査は行はれるのであつて、調査費は前議會に於て護謨生産樹に關する開發調査及原野試驗費として振當てられた、一〇五、〇〇〇弗から支出されるのであると云ふ。

若し本調査に於て比島が護謨生産地として適して居ることが決定せらるゝ曉に於ては、比人の意志に反して土地法の改正は勿論多額の米國資本の流入あるべく、比島の政界及農業界に及ぼす影響又深甚なるべしと思ふのである。

比島選擧へ選擧人豫選制度（Primary System）の採用主張さる

（六・一六　馬尼剌プレテイン）

比島内に二大政黨を對立せしめ、同時に政黨政治を行はしめんとする二つの案が、官廳方面に於て多大の支持を受けて居る事を昨日窺得たのである。

内務部では既に地方局に命じて、米國での所謂プライマリー・システムを比島に採用し、及第一黨の人々をして任命せらるべき政府の官職を充さしめる事の可否を研究せしめたのであるが、之は所謂政黨政治確立計畫の一部であると信じられて居る。

然し之の計畫を遂行するためには選擧法の變更が必要となるのである。此に就てロサリオ地方局長はベントラ内務部長官の諮問を受け總督に提出せらるべき勧告の提議に就て充分なる究研をする事になつたのである。

ケソン氏の歸比期

（六・一六　馬尼剌プレテイン）

駐米委員ゲバラ氏よりの通電によると、氏とケソン氏は六月十五日ロス・アンゼルスに向け出發し、カンサス氏に於ける公共黨國民大會へ出席する豫定であると。ケソン氏は大會後歸比するが、ゲバラ氏は六月二十六日ハウストンに於て開催せらるゝ民主黨大會へ出席する。

猶共和黨が其政綱中に比島問題を削除せるに就ては深甚の興味が拂はれて居る。

（六・二〇　馬尼剌プレテイン）

ケソン氏は其家族と共にプレデイテント・グラントに來船し、六月二十二日桑港發七月十九日馬尼剌着の豫定である。

（六・二一　馬尼剌プレテイン）

ケソン氏は其の歸比以前の計畫を一部變更し、二十日米護謨界の偉人ファイヤーストーン氏とモンロピヤに於て會食する事になつて居る。之は一面ファイヤーストーン氏が其の比島に於ける護謨栽培希望を捨て得ざるもので、比島領袖連へ渡りを附けるためであるとされて居る。

（七・五　馬尼剌プレテイン）

ケソン氏の歸比は凡そ前述の如く七月一日離米の豫定であつたが、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ハウストンに於ける民主黨政綱決定大會に於て激動したため、又々身體を休靜する必要を生じ其の出發は無期延期となつた。（七・九　馬尼剌ブレテイン）

ケソン氏は歸比前に民主黨及共和黨の領袖連と重大なる會議をなする豫定であつて、七月二十日サンフランシスコ發、八月十六日馬尼剌着の計畫であると。

比島商人ボンド案を非難する

麻に對する賣上税を輕減して輸出税を增加しやうとする、ボンド案は比律賓商業會議所議員により贊成された。其の理由とする所は次の如く特點あるがためである。

一、現在の賣上税及比島商業に及ぼす障碍を除去する。

二、遠隔地に在住せる生産者及消費者は、輸出入中心地に在住する者より、より多くの税金を拂ふ必要がない。

三、税金徴集費用を大いに輕減する事が出來る。

四、自由市場が比島に設立され、株式市場の活動が可能となる。

五、實業家及生産者は其帳簿を絶えず檢閲するの煩を除かれ、單に特稀税金徴集のために整理せざるべからざりし、帳簿保存の必要より救濟さる。

然し一方麻貿易業者は輸出麻の數量を減少せしむるものだとして大いに反對してゐる。（馬尼剌ブレテイン　六・二三及六・二六）

キーエス砂糖輸出制限案に反對す

（六・二五　馬尼剌ブレテイン）

島嶼事情委員會議長キーエス氏は、比島の對米砂糖輸出を五〇〇、〇〇〇噸に制限せんとするテイムバーレーク案に不贊成なる旨聲明した。

キーエス氏は比島關係事項に關しては重大なる勢力を有して居りテイムバーレーク案に對する其反對は同案の敗退を語るものでなければならぬ。

キーエス氏の反對に加ふるに、案は又米國議會多數議員によつて反對せらるゝ所である。（華府來電　六・二三）

ローハス氏の下院議長就任は凡ど確實

（六・二五　七・一四　馬尼剌ブレテイン）

マニホル・ローハス氏の再選を妨げやうとする暗中飛躍的な努力があるに拘らず精細なる政界觀察者は昨日、來月の議會開會と共に氏の再選が凡ど確實なる事を言明したのである。ローハス氏の再選を妨げやうとする組織的な反對のある事は否まれぬが、選擧の開始と共に絶對多數の投票をかち得るであらう。

下院八十五名の選擧議員中五十五名は正規なる國民黨に屬して居り、勿論ローハス氏に投票するであらう。ローハス氏の再選をより以上確實ならしむるものは上院議長ケソン氏及上院議員オスメニヤ氏の支持である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

スムロン氏漂然として比島を去る

（六・二五　馬尼刺ブレテイン）

民主黨々首であるスムロン氏は六月二十四日午後プレヂデント・ヂャックソンにて漂流の旅へ出た。之は豫告なしの出來事であるので、議會開會も間近に迫つて居る折柄政府及政界に一波紋を與へた。氏の息も同伴したとの事である。

氏の昵懇者は其の原因が健康の爲めと稱して居るが、種々復雜した事情があるらしい。氏の不在中はテオドロ・サンディコ（Teodoro Sandiko）氏が議會に於ける代理黨首となり、又黨內關係ではエシリアノ・テイロナ氏がスムロン氏の代理を勤める。歸比期は議會終了直前であると豫期せられる。

比島經濟政策の改變

比人間に於ても區々意見の有る所であるが、適當なる制限の下に外資を輸入し以て比島の經濟的開發に資せんとする政策は、次期立法議會に於て從來に增して强調せらるべしとの事である。

例年の通り本年ステイムソン總督が立法議會に與ふる、メッセージに於て總督は彼の著任挨拶に於て述べしより以上に此の點を力說するであらう。又政界領袖連も一般の疑惑及注意を惹起しない程度ではあるが、總督の計畫に多少好意を持つに至つたことゝ豫期される。

議會領袖連によるステイムスン總督との協調政策及最近上院議長ケソン氏と上院議員オスメニャ氏の米國に於ける、大資本家及實業家との會合の事實を見れば、或る程度迄米資輸入に對する彼等の反對は緩和するに至れるものと信じられる。

重要視すべき會食

本週ハーベエ・ファイヤーストーン氏の爲めにケソン氏の催せる午餐會は、一般には之がケソン氏の滯米中の社交上の返禮と考へられて居るらしいが、又比島議會政策を反映するものであると信じて居る人も少くない。

既に議員內では彼等の所謂「比島の米資による侵略歡迎」及「大實業に對する屈服」なるものに反對する聲があるが、又一方或る條件下の漸進的經濟的開發に好意を有して居るものもある。

ケソン氏は本問題を具體化すると豫期されてゐるが、本問題に對する彼の立場は漸次彼の政治的名聲を失墜せしむるのである。開會期迫れる議會のため既に馬尼刺に參集せる議員達の立場は土地法或は會社法の變更に絕對反對說を懷いて居る者多く、若し新政策の爲めに彼等が戰はざるを得なくなる時はケソン氏に對する信任を撤去するに躊躇しないであらう。

輿論ケソン氏に赴かん

本問題に對してケソン氏が決定的に如何なる立場を保持してゐるかといふ事は何知する事を得ないが、精細なる政界觀察者は昨日次の如きステートメントを發したのである。「ケソン氏は若し比島立法府

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の經濟政策上の缺點に憤然として戰ふに至る時、彼は輿論多數有力なる議員及實業家の後援を得るに至るであらう。

又「比島に於ける自然資源の開發及致富要素は社會教育及政治的發達より遲るゝ事至大であつて、人々は變化を欲して居るのである」

豫期せらるゝ新經濟政府への第一撃の反駁は、六月二十二日夜前駐米委員であつたカバルドン氏によつて擧げられたのである。

「今比島は果して外資を招來しなければならないように天然資源の發達が遲れて居るか？」「余は果して、外資招來の必要是非を議題として提出したいのである。余の立論としては充分なる發展ありと云ひたいのであつて、退嬰的な經濟狀態に關する總べての不安は、本島を開發せんとする。米人によつて創造されたのである。余は現況に於ても充分滿足し、自己慰安を感ずる。

「ケソン氏の離米後經濟的發展に關して、氏が如何なる手段を講ずるかといふ事に余は深甚なる興味を感ずる。若し其手段に變化なきものとすれば、氏は依然として總督歸任の挨拶にあつた如く米比產業合同なるスティムスン氏の說を支持するものなりと考へらる。

「之は協調元義の自然的、論理的歸納である」又カバルドン氏は次いで「余は確かに比島領袖連の承認を得て總督が總べての官有會社を拂下るであらう事を知つて居る。之は總督が公開の席上で屢々公言したといふため斯く云ふのでなく、領袖連と一種の了解がある爲である。「余は選擧に破れたりと雖も、全然政界から手を引いた譯でない。」と氏は敗戰を語り、「余は大衆民意の赴く主義の下に戰ひ續けるであらう」と宣揚して居り、「余の仕事は完成した譯でなく自由なる比島大理想に向つて戰ふのである」と云つて居る。（六・二三　馬尼剌ブレテイン）

任命議員

（六・二六　馬尼剌ブレテイン）

上、下院任命議院中、上院二名　及下院五名の再選は殆ど確實である。

政府改造問題

（六・二八　馬尼剌ブレテイン）

スティムスン總督は所謂半政黨組織に比島政府を改造しやうとする問題に就て、政府官吏に於ても、斯の如き傾向ある事を聽取した。と傳へられる。

本事實はスティムスン總督の著任以來十箇月に亘り、及ギルモア代理總督の時代に於てゝ政界及政府筋に於ける討論の議題となつてゐたのであるが、何等最近迄公式的色採を帶びてゐなかつたのである。之はオスメニヤ氏の所謂「政黨政府」への改造問題であつて、總督も贊意を表して居るさうである。

比島葉卷需要回復

（七・三　馬尼剌ブレテイン）

昨日比島政府紐育駐在商務官マニエル・エス・ラスティア氏より、商工局長レイエス氏宛の通知によると、殆ど四、五年に亘る不況の後漸く比島の葉卷の賣行きに芽が出たといふ事である。

此の報告は商工局當局及本島の葉卷業者へ空谷の跫音として響いた米國に於ける比島煙草の宣傳は約五〇、〇〇〇比の豫算で開始されたが、斯くも直ちに效果が表はれるとは何人と雖も豫期せざる所であつた。米國からの更に大きな注文の發せられるのは本年の秋頃であると豫期される。然し今度の注文に就いては電文單にして何等數字的根據を記してゐない。

比律賓立法議會の開會

比律賓立法議會は愈々七月十六日日曜日から開會される事になつた。

暹羅

□暹羅に於ける英佛

何と云ふても、暹羅の外交政治界に於て、最も興味があり、最も重要部分を占め、且又他山の石として尠からず吾人の參考となるものは、同國に對する英佛二國の外交振りである。近時アメリカ及獨逸の同國に對する活躍も相當見るべきものがあるが、之を前二者に比較すれば、未だ〳〵非常な距離があると云はねばならぬ。然らば英佛兩國の暹羅に對するこの密接なる外交關係の由つて來たる主なる原因は第一に地理的理由である。見らるゝ如く、暹羅は西部に於て英領緬甸と、南部に於て英領馬來半島と陸接し、其交通往來の自由なるは恰も我滿鮮國境の觀がある。佛國も亦然りで、暹羅の東國境は直接又はメコン河を挾んで佛領印度支那に隣接して居る。而して英佛孰れも暹羅國都との鐵路の連絡既に完成し、新嘉坡より盤谷を經て暹羅國境迄は鐵路一貫し暹羅國境より西貢迄は完全なる自動車道路がある。暹羅を中央とし兩國が密接なる利害關係を有する又故なりである、第二は歷史的理由である。史學の範圍に屬する古き關係は姑く之を別とするも、暹羅が最初に通商條約を締結した相手國は英國で、佛國が之に次いだ。之は孰れも一八五五・一八五六年代の事であつて、當時支那及日本等で怪腕を振つた例の英使パークスは、暹羅に於ても同一事を試みたのである。斯る因縁を有つて居るのであるから其今日の結果あるは當然のことである。

吾人の觀察にして過がなければ、從來英佛二國の對暹外交は、表り

な領土の獲得と、暹羅政府部内に於ける政治上の發言權を得べく努めたることであつた。而して長い期間中には色々の政治、外交問題にも逢着した。前者の代表的のものとしては一九〇七年の佛暹條約に由る暹羅東部ブラタボン、シヤムラープ、シソーホン三州の割讓、一九〇九年の英暹條約に由る暹羅南部馬來半島ケダー、ケランタン、トレンガヌ三州の割讓がある。何れも兩國が暹羅に於て從來享有し來りたる治外法權撤回に對する代償的意味を以つて、巧妙なる外交手段により前述の土地を獲得したのである。次に暹羅政府部内に於ける政治上の發言權を得るが爲めには、各方面に自國人顧問又は傭を入れ、彼等を通じて勢力扶植に努め來つたのであつた。英人の財政、司法、農務、教育、鐵道部面に於ける、佛人の裁判、法典編纂、土木方面に於ける即ち是れである。暹羅政府内に於ける各國外國顧問の狀態は、其人數の多數なる點に於て、國籍の雜多なる點に於て、仕事の複雜なる點に於て、第三者が視て以て一の偉觀なりとし得るのである。而して最も異とすべきは、此等顧問連に實力實權を與ふることを厭はないことである。之が即ち、各國が虎視眈々として顧問の位置の開拓に努め、將亦一度得たる席は容易に空虛とせざる樣全力を致す所以である。然るに第一の領土獲得は歐洲大戰を一期として過去のことゝなつた。何人も今更十九世紀式外交を暹羅で振り廻すことの出來ないことは心得て居る。玆に於て英佛二國は第二策の保持に努力するのである。而して所謂外交の經濟化が高唱さるゝと共に、此の顧問を通じて經濟的勢力及利益の增進に資せんとするのである。暹羅政府の外債が常に倫敦市場に於て募集せらるゝことや、暹羅政府各種官業材料の供給國が概して右二國なることや、鐵道、灌漑土木等の大工事が英佛系會社の請負ふところ屢々なる事は其の適例である。

以上は吾人の眼に映じたる英佛の外交振りの一端であるが、然らば兩國は對暹羅外交に如何なる手段を採つて居るかと言ふと、暹羅は現今君主獨裁政治で、元首の權力は絕大である。從つて元首を我味方にすると否とは、效果に多大の影響を與へるのである。先づ第一此の點に付き兩國共常に周到なる用意が施されて居る。暹羅前皇帝ラーマ第六世が皇太子時代に長年月に亘り英國に滯在されたと云ふ關係から、自然英國主義の方として同治政時代に英國外交が著しく發展躍進したのも效ありである。或は英國政府は、暹羅皇帝に英國名譽陸軍大將の稱號を奉り、暹羅又英國皇帝に同種の名譽を贈つて英暹關係の親善を彰したことなども著名の事實である。一九二五年先帝崩御の數箇月前には、皇帝は新嘉坡に行幸英國官民より未曾有の歡迎を受けられたこと等もある。是等に對し佛蘭西又決して無爲では居ない。先年はジョフル元帥を此國に遣し來つたり、又一昨年夏には新印度支那の總督ヴアレン氏軍艦を率ひて來暹、幷て佛國に留學されたことがある新帝に敬意を捧げ、大いに佛暹親善振りの發揮に努むる處があつた。斯の如く英佛何れも所謂官廷外交に一方ならず力を致して居る。次に例の文化的施設に於ても亦兩國は常に相競うて新機軸を出

すに過なき様である。大衆宣傳を目的とする病院、學校、文化的研究を主とする暹英、暹佛協會等の經營は云ふ迄もない。佛蘭西は毎年暹羅青年の秀才數名を選拔して、佛蘭西政府の費用で佛本國に留學せしめ自由に學問研究をさせて居る。英國は英國で歐洲大戰々友同士會英國留學同窓會などを設け、兩國人士會合の機を作つて接近を謀つて居る。翻つて英佛二國が當地に簡派する外交當局者と此機關を視ると、兩國が對暹外交を如何に重要視し居るかが窺はれるのである。英國は常に新進有爲の人を全權公使として任命し、之を輔くるに暹羅に在勤すること二十年三十年、暹羅のことに就ては活字引の書記官や領事數名を配して居る。從來の例に視ると暹羅公使は同國外務省登龍門の一であつて、茲で公使を完全に務めたものは、多くは歐米の大使又は大使館參事官に任ぜられて居る。佛國は又別箇の見地に基き、公使は常に東洋諸國の在勤に長年の履歴を有する人を任命する風である。つひ先々月（四月）盤谷の任地で永眠せられたレオ公使の如きは、嘗ては暹羅留學生として三十五年程前當地に來り、暹羅語暹羅事情を研究し、其後引續き東洋各地殊に支那方面に駐在したる老練家であつた。此の人の如きはフランスの對暹外交に詢に一身を捧げたと云ふべしである。館員に數人の活字引を有するは英國と變りはない。斯て兩國は各々多數の内外館員を有し、堂々たる門戸を構へ、政治、通商、社會、凡そ暹羅の事なれば何でも來れの態度を以て中外に曾視して居る。兩國外交が他國のそれに比し一頭地を拔んでる又宜なりである。

暹羅に於ける英佛外交の如何は、現下直接我國に採り關係は極々薄いであらうが、然し近時我國と暹羅との關係が政治的に、經濟的に逐次深厚となりつゝある際、前記兩國外交の伸張は少なくとも南洋方面に關係を有する我國人士の注意を要する一事項とする價値はある。況んや對海峽植民地並に馬來聯邦州又佛領印度支那と我國との公私的關係は既に相當深いものなるに於ておやである。（七月十一日——南洋協會報）

□二四六九年國有鐵道概況

一九二七年三月末日現在の開通線延長は二、七三八粁、建設中のもの三四〇粁である。右開通線の資本勘定は一六六、九一八、三一五銖で、其總收入は一六、八五七、〇四〇銖（前年に比し四・五九%の增加）純收入は一〇、四一九、三一五銖（六・三一%の增加）、可成良好なる成績を示してゐる。尙總收入の中、貨物收入は七、九八五、五八〇銖、客車收入七、七七四、八二八銖、家畜收入七一七、二七一銖である。

乘客數の增加步合は前年より多少低下した。兩年の發行乘車券數は夫々六、〇九五、三二七（二四六九年）及び六、〇〇六、六七二（二四六

八年 其増加は即ち一・四八%である。一、二等客は増加の傾向を示し、一等は三、五九二、二等は一四、〇八〇の増大を見た。暹羅馬來間の國際乘客運送は引續き有望にて、其發行乘車券數は一等二、六七九、二等は六、〇一一、三等は一三、三八五である。殆んど年中當國に渡來する觀光團の益々增加することも注目すべきである。暹羅鐵道代理店たる Messrs. Thos. Cook and Son は四五七枚の聯絡乘車證 Messrs. The American Express Co. は一三七の聯絡乘車證を發行した。ベトリウよりアランヤプラデサに至る東方線延長は同年中に開通し、道路に依りて柬埔塞及び交趾支那と連絡するので、アンコール・ワット及びアンコール・トムへの旅行が容易となり觀光者は自然之に引付けられて將來博く利用されるものと屬目される。

貨物の輸送の總量は一、一一三、二七六噸にて、前年の一、一五五、八九三噸に比し四二、六一七噸即ち三・六九%の減少を示してゐるが、之より得たる利益は、七、七六八、八七一銖より七、九八五、五八〇銖に即ち二・七九%の增加であつた。然し貨物運賃率の引上げは全くなく、却つて少數商品の運賃を低下した位であるから、右の無盾は貨物曳運の長距離なりしを示すものである。

家畜類の運送は三二四、八四九頭より三二五、八六二頭、即ち一、〇一三頭の增加で、其收入は四二、二六七銖(六・二六%)を增加した。

(六月二十六日 盤谷タイムズ)

□一九二八年度英領馬來護謨標準生産高

英領馬來

五月廿九日附馬來聯邦州官報及六月八日附海峽植民地官報に依れば、一九二八年度英領馬來制限區域よりの護謨標準生産高左の如し。

馬來聯邦州	一七三、三〇〇噸
海峽植民地	三四、八〇〇噸
ジョホール	六八、五七五噸
ケダー	二六、七〇〇噸
ケランタン	八、二〇〇噸
トウレンガヌ	三、〇〇〇噸
合計	三一四、五七五噸

□一九二七年度の移民勞働者概況

馬來半島に於ける勞働者の大部分は支那人と南方印度人とである。後者は主として農業及土木的作業に從事し、前者は農業及各種の手工業に從事してゐるが、熟練勞働は殆んど全部支那人の手に占められてゐる。此の外に蘭領東印度より移民せる爪哇人が若干ゐる。

海峽植民地に於ける勞働狀態は法律第一九七號勞働法の規定及び一九〇八年の蘭領印度勞働者保護法の支配を受け、馬來聯邦州に於けるものは一九二三年の勞働法及一九二七年の蘭領印度勞働者保護法の支配を受けてゐる。

勞働者の標準賃率は海峽植民地に於ては勞働法第一三一條により、プロビンス・ウエルズリーの南方印度人勞働者一日男子五〇仙、女子四〇仙と規定され、一九二七年七月一日より實施された。植民地の他の部に於ける賃率は南方印度人勞働者男子四五仙より六〇仙、女子三五仙より五〇仙迄である。此等賃率は大都會になる程一般に高率となつてゐる。爪哇人及馬來人は一日五〇乃至六〇仙を所得し、契約勞働（例へば個數拂賃銀によるもの）に從事してゐる支那人は此等より可成り多くの賃銀を得てゐる。

馬來聯邦州に於ける標準賃銀は勞働法第一四一條によりパハン州下のラウブ、リピス、ベントン及トウメロー地方に於ける南方印度人一日當り男子五八仙、女子四六仙と規定され、他の部では印度人勞働者男子四五乃至六〇仙、女子三五乃至五〇仙である。爪哇人及馬來人は五〇乃至六〇仙で、主として契約勞働に從事してゐる支那人は仕事の性質により一日八〇仙から二弗十仙位迄の收入がある。

支那人移民　支那よりの移民は制限が無い。一九二七年支那より植民地に到着せる移入民總數は三五九、二六二人であつて新レコードを作り、一九二六年に比すれば三・〇六％の增加で、戰前の最高記錄年であつた一九一一年を超過すること八九・四〇八人卽三三・一％の增加である。此の內大人男子七〇・二％、大人女子一六・三％であつた。

同年支那に歸還せる移民は一五五、一九八人にして、差引移入民の方二〇四、〇六四人（五六・八％）多くあつた。

移入民の增加する主要原因は、馬來產業の大多數が比較的景氣の好い事、熟練及未熟練勞働に對する需要、旅費の低廉となりしこと及南支那に於ける不安なる事局等によるものである。

女子及少年の移入民は一〇六、七五八人を算し此も記錄を新にしてゐる。

次は過去五箇年間に於ける移入民數を示すものである。

一九二三年	一五九、〇二九人	一九二四年	一八一、四三〇人
一九二五年	二一四、六九二人	一九二六年	三四八、五九三人
一九二七年	三五九、二六二人		

南方印度人移民　南方印度よりの勞働者の移入は總督により任命されたる印度人移民委員會（馬來勞働監督官は職務上當然その委員長となる）の取締を受けてゐる。

一九二七年中南方印度より彼南に到着せる移入民（デッキ・パッセ

ンツヤア）總數は補助移民及其他移民を合し一五六、一三二人で前年の一七四、七九五人に比し一八、六六三人の減少である。

最近四箇年間の移入民總數は次の通りである。

	補助移民	其他移民	合計
一九二四年	四三、一四七人	一八、九〇五人	六二、〇五二人
一九二五年	七〇、一九八人	二〇、五一〇人	九〇、七〇八人
一九二六年	一四九、四一四人	二五、三八一人	一七四、七九五人
一九二七年	一三三、八二六人	二二、三〇六人	一五六、一三二人

補助移民とはエステート、鑛山又は其他に就役する爲に、勞働者が被傭地に至る迄の費用、卽、印度に於ける鐵道運賃、船舶運賃及雜費等を印度移民基金より支拂はれて渡來せる自由勞働者であつて、其他移民とは自己の費用によつて渡來せる商人一勞働者等のデツキ・パツセンヂヤアを云ふものである。

補助移民中一〇四、三八二人は大人（中七六、九三七人は男子、二七、四四五人は女子）で一九、四四四人は十二歲未滿の少年であつた。其の他移民中にも三、一二七人の少年あり、少年移民は合計二二、五七一人で昨年に比し一、三四二人の減少である。　其他移民中二一、三四九人卽六六％は勞働階級であり、殘部の一〇、九五七人は商人其他であつた。　補助移民中其の約五分の一は植民地に留まるが殘りは馬來の他處に行つて勞働に從事するもので、馬來聯邦州に入國せるものは補助移民七七、八六三人、其他移民一〇、八〇〇人（見積）合計八八、六六三人で一九二六年の一〇八、一二〇人に比すれば減少してゐる。

同年海峽植民地を去つた印度人は八八、七一八人（大人八二、二六五人、少年六、四五三人）　內六二、〇〇〇人は馬來聯邦州より來るもので、前年の六五、七八六人（大人六二、〇九二人、少年三、六九四人）に比すれば增加してゐる。此の數字は總てのデツキ・パツセンヂヤアを包括するもので內七九％は勞働者であつた。

歸國者中大人七四、四七九人、少年四、六三二人は自費に依り、老衰及貧窮の爲當局を經て歸還せしめたものが大人七、七八六人、少年一、八二一人であつた。

一九二一年の國調によれば印度人合計は海峽植民地一〇四、六二八人（中九六、八三五人はタミル、テルグ及マレイヤリ人）、馬來聯邦州三〇五、二一九人（中二八一、五三九人はタミル、テルグ及マレイヤリ人）であつたが一九二七年末海峽植民地は約一〇四、〇〇〇人、馬來聯邦州四〇〇、〇〇〇人とされてゐる。

印度移民基金　該基金の收入は全馬來を通じ年四期に分ち、各期間中此等勞働者の勞働日數に應じ、南方印度勞働者の各雇傭主より取立てらるるものであるが、女子勞働移民數を增加する目的により女子と男子の勞働者間に差別的な率を課してゐる。　一九二七年に於ける率は每期七十二日の勞働をなすものとして第一期、第二期は男子五弗、女子四弗、第三期、第四期は男子四弗、女子三弗であつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□サラワク王國の資源と其の貿易（上）

本原稿は、イー・バーヌル氏がサラワク王國に文官として在任中同王國の資源並に貿易に關する事情を弘く江湖に紹介する目的を以て書かれたものである。從て一般的ではないが同王國の狀況を知る一端として敢て譯述を試みる事とした。統計其他記事の舊き點に就きては惡しからず諒とせられたい—譯者。

地理

サラワク王國に關する事情は一般に未知なるが故に、今其貿易と資源に就きて叙述するに際し、同王國の簡單なる地理と歷史の概略を示すことは決して徒事に非ずと信ずる。

面積約五萬平方哩、人口約六十萬より成るサラワクはボルネオの北西海岸に在り、凡そ四百哩の海岸線が支那海によりて洗はれて居る。內地には外國貿易に就航する大型汽船を出入せしむるに足るレヂヤン及サラワクの兩大河がある。

前者レヂヤン河は海岸より六十哩なるシボー迄千五百噸の汽船、又海岸より百五十哩のカピト迄小汽船を以て迴航することが出來る。兩地點共に政府の駐在所、殊にシボーには同區（ディストリクトと呼ぶ）を支配する政治の中心がある。河口より二十哩以內に干潮時水底十五呎の砂洲を有し、干滿の差九乃至十三呎にて僅に一港を形成するに足る箇所がある。

次にサラワク河は河口より二十三哩の距離に在るサラワク王國首都クチン迄千五百噸、長さ二五〇呎の汽船を迴航せしむる事が出來る。併し、其の手前河口より十一哩に在るプンディンは更に大型汽船を碇泊せしむるに利便である。同地河底は水深三尋の砂洲にして、干滿の差三乃至九呎を有する。

其の他、主要なる河川には、バタン・ルパー、ハラム、ゾントウォー、サドン河が列擧せらるゝ。バタン・ルパー河を除ける三河は共に吃水八呎ある小型汽船を迴航せしめ、レジヤン河及サラワク河の如くに、サドン河にはシマンジヤンに至る河口十八哩の處迄大型汽船を航行せしめるが、滿潮時には海嘯を作ふが故に好く注意せねばならぬ。猶ムーー、オーヤ、カラカー、バリンアン及タタオ河も亦吃水六呎の汽船を迴航し、特に前二者はサゴ事業の中心地として重要である。

是等の河港以外に石油會社の積出港たるミリ投錨所があるが、荒天の際特に北東モンスーンの時季に於て危險最も甚だしい。此處には鐵管によりて三哩港外に導く石油タンクがある。

貿易上より見たるサラワクの距離的關係は次の通りである。

サラワクより

新嘉坡へ	四五〇哩
馬尼拉へ	一、〇五〇哩

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

西貢へ	六三〇浬
香港へ	一、三八〇浬
盤谷へ	一、〇〇〇浬
閩貢へ	一、五四〇浬

歴史

本稿は、サラワクの歴史を詳細に究めむとするもので無い。何となれば歴史のみでさへ正しく一のレクチュアを形成する故にである。併し乍ら、簡單にブルーク・ラジヤの統治下に屬するサラワクの發達を少しく檢索して見たい。

ラジヤ第一世サー・ジエームズ・ブルークは一八三九年ボルネオに到着した。彼は一八四〇年ダトゥ岬よりサラワク河に及ぶ當時のサラワク國を提與され、一八四二年にはブルネイに於てラジヤを宣言した。彼の治世中、一八四六年サドンよりオーヤに至る海岸地方、一八五六年上レジヤン河流域、一八五七年ムカー河迄に一八六一年ビントゥルーに至る海岸地方に對する讓與を得た。斯くて、サラワク王國は面積約三千平方哩、海岸線六十哩の地域より面積三千五百平方哩、海岸線二百五十哩の領域に膨脹したのである。

サー・ジエームズ・ブルークは彼の甥たる、サー・チヤールズ・ブルークに位を讓り、一八八三年彼はビントゥルーよりバラムに至る海岸、一八八五年トゥルサン河、一九〇五年ラワスに對する讓渡を受け、其リムバンは一八九〇年合併せられた。斯の如くにして、彼はダトゥ岬よりラブアン島の東方に位せるラワスに至る北西ボルネオ全帶（但し面積約四十平方哩のブルネイ王領を除く）に及ぶ統治者と成つた。

一八八八年サラワクは外交問題に關しては英の保護國と成れるも、英國政府は決して同領内務行政に就き干渉を行はなかつたのである。然る中、英領北ボルネオ會社が一八八三年大不烈顛より勅許狀を受け、面積三萬平方哩内外なるボルネオの北部を占領した。斯くてブルネイ王は現在同首都を圍繞する地域なげ、同國の遺物として所有して居る。ブルネイ王國は、一八三七年公刊されたる「Mores India Archipelago」中にボルネオ・プロパーと呼ぶ亞細亞中最も著名なる王國の一として記錄せられて居る。

ラジヤ統治下に於ける貿易

先づ最初ラジヤ統治下に於ける貿易總額を示し、後章に於て資源の開發竝に一般貿易に與へられたる獎勵等に就いて考究せんとする。從て、初期時代に關する統計表を努めて蒐集し、後年は毎十年數量及價額を列擧した。

一八四二—一九二〇年サラワク外國輸出入貿易表

年次	輸入 數量	輸入 價額	年次	輸出 數量	輸出 價額

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一八四二	不詳			六〇、〇〇〇
一八五四	一〇、四七六	三一九、六三九	二、五一三	三三二、一九六
一八六四	二一、七二〇	一、一五五、二〇一	二三、一三三	一、三三二、四四三
一八七〇	九、五六〇	一、四九四、二四一	八、七二八	一、三三八、九六三
一八八〇	一四、六五三	一、〇九一、三〇〇	一五、五六五	一、一九三、一九五
一八九〇	三四、七五一	一、四七七、八九三	三六、八六一	一、七〇〇、一四二
一九〇〇	二三、〇六三	三、八四八、六七九	一三、二〇五	五、二一七、〇三六
一九一〇	五九、七六六	七五二、五三三	六一、六七四	八、一五二、二九三
一九二〇	一三七、七七三	一四、六八〇、五二〇	一三六、四五三	一八、〇六七、一三二

前掲表を仔細に檢するに、一八九〇年以後ラジャは王國を建設し、加ふるに同領資源の開發助長に力を盡したる結果、數量及價額は著しく增加せる事を着目せらるゝであらう。

斯の如く、貿易額の著增を見る時、單に政府が無秩序なる狀態を恢復し鞏固なる政府を建設したるのみならず、直接特殊產業の獎勵に注意を喚起せるを窺知することが出來る。

右は、初期時代の中官公刊物たるサラワク・ガゼットより、直接政府の獎勵方法に關する詳細を入手したるものである。

一、ボルネオ會社に對し全額に亘る鑛物資源採掘の權利を與ふ。一九〇〇年石炭の輸出高は一萬一千噸の減少を示したが併し、貿易登記官の報告は輸入の激減に對して何等說明をして居ない。

金の輸出額は一八九〇年一六、五九九弗に對して八四三、七〇九弗、ジェロトン輸出額一九〇〇年一、二六〇弗に對し三、〇〇〇、〇〇〇弗、石油輸出額一九一〇年皆に對し六、六九〇、〇〇〇弗。

二、一會社に對して甘蔗栽培を獎勵す。

三、胡椒並に阿仙藥栽培業者に對し直接獎勵を爲す。

四、政府經營によるサドン炭坑の作業。

五、茶、珈琲並に煙草の試驗的栽培。

六、レジヤン河地方に米作を行ふ爲め支那人を輸入せる事。

七、護謨の栽培に土地を特許する事。

八、ジェロトン採掘作業に對する權利。

九、石油採掘權。

十、食料米恐慌の際土人に援助を與ふる事。

以上述べたる獎勵研究は大體に於て失敗に歸した。殊に茶、珈琲、煙草並に米栽培の爲めに支那人を輸入することは無益と成り、又砂糖栽培は貧弱なる土地を選定したると、經營惡しき爲め遂に不結果に終つたのである。

農業

農業を第一に講述する理由は、單に農產物が貿易の最大步合を占むる許りでは無く、在留民が主として此の方面に其エネルギーを傾注する爲めである。

貿易表中より農林產物の輸出價額を年度別に示せば次の通り。

年次	價額

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一八七六年	六三四、〇〇〇弗
一八八六年	九二二、〇〇〇弗
一八九六年	一、九三七、〇〇〇弗
一九〇六年	五、一三三、五〇〇弗
一九一六年	七、二八八、五〇〇弗

阿仙藥及胡椒輸出表

年次	阿仙藥 數量	阿仙藥 價額	胡椒 數量	胡椒 價額
一八七七	(噸)六	(弗)六九六	(噸)二	(弗)三五八
一八八三	一、四九一	九七、九五二	二	三、八五〇
一八八五	一、三八一	三一、三六七	二九五	三一、九九七
一八九〇	一、一七〇	一三三、三三五	一、〇〇九	三三七、四七六
一八九三	一、三三三	二一〇、四三三	九三三	二四〇、二四八
一九〇〇	二、一九七	二〇〇、六〇九	二、三九七	一、二五四、四三三
一九〇三	一、二〇三	一五五、〇一五	四、四七四	二、六三八、四一四
一九一〇	三九一	一三四、一四九	三、六八四	一、五三一、二四六
一九一五	六三三	九三、九五五	二、七五四	一、三九〇、一八八
一九二〇	九七	一三、九五四	一、〇八二	七二三、一二三

政府は、過去に於て直接胡椒竝に阿仙藥栽培業者に奬勵を與へて居た。玆には一八七六年公布に係る告示を掲げて奬勵方法の顚末を考察せんとする。

該布告中最も重要なる條項は次の通りである。

一、九十九年間に亘る土地の讓與を爲し自由栽培に委す。
二、新嘉坡より渡航する栽培業者及苦力を自由移民せしむ。
三、或る程度の支配權を與へたる支那人監督を任命すること。
四、栽判所に登記せらるゝ栽培業者竝に苦力間に於ける一切の協定を爲す。
五、前貸し制度の下に勞働しつゝある苦力によりて物産の引渡しを爲さゞる際之れに代る刑罰を課す。
六、胡椒又は阿仙藥に對し四箇年間輸出税を課せざること。
七、苦力に對する食料品には六箇年間輸入税を課せざること。

一八〇〇年阿仙藥及胡椒栽培の調査を行へる結果、當時園數二二九、總面積九、五四八英反、使用苦力一、八四〇人、阿仙藥一、四九一噸を産出し、胡椒蔓五三九、七九〇本を栽植せる統計がある。

是等の産業中特に重要なるは胡椒の栽培で、同事業の盛衰に就いて今少しく研究を進める事とする。

次掲の數字を參照するに、胡椒の栽培業が一九〇五―六年年輸出額五、四二八噸に達したる即ちブーム年に於て如何に盛大となり、其後急激に衰微せる模樣を明瞭に示して居る。

胡椒輸出額比較表

年次	數量	價額
一九〇一年	二、三二一噸	一、四七七、四九九弗
一九〇二年	二、八四五	二、二〇五、七六二

一九〇三年	三、三六一	二七三三、三〇一
一九〇四年	三、八一七	二、六二一、四七八
一九〇五年	四、四七四	二、六三八、四一四
一九〇六年	五、四三八	二、三九四、三七八
一九一〇年	三、六八四	一、五三一、三四六
一九二〇年	一、〇八三	七一三、一一三
一九二一年	一、九五四	八二七、五〇八

一九〇六年不況の傳へらるゝや、多數栽培者は倒産し、其の爲め胡椒園は放棄せられ、該病は栽培園を通じて蔓延をした。輸出の急落せる主要原因は「ブラック・ペリーズ」の發生で、是れは不治の病害蟲と目されたけれども、馬來聯邦州政府細菌學者を農園に招聘して檢査を行ひ、相當の價格を以て病害蟲を驅除し得と云ふ報告を得た。此の結果、彼の推言に對して著々計劃を實現せんとして居る。

一端護謨ブームの襲來せる時、殆んど總ての既存園は胡椒樹の代りに盛んに護謨が植付けられ、其結果護謨樹は好成績なる生育を見たのである。斯くて今日政府に依て巨額の費用とオーバ・スペキユレーションとを以て築かれたる盛大なる事業を見ること〻成つた。

政府は如何に其衰退防止に努力したるか。先に物故されたるラジヤ（サー・チヤールズ・ブルーク）は既存の栽培地に於ける護謨栽培に關して頻りに國民に警告を發したのである。

然るに、一方世界に於ける實業家が護謨に關して盲信を懐ける折、人民が眞にラジヤの勸告を受けざるは敢て珍とするに當らない。土人にとりて護謨栽培が單にスペキユレーションとのみ解せらるゝ時、無秩序なる栽培を防止するに效果ありとの希望を以て讓渡したる圖の價額に對して十パセントの租税徴收が開始せられた。されど、病害蟲の蔓延を阻止する爲めには何等の手段も講ぜられなかつた。從て益々猛烈に蔓延し、科學的研究に僅々二百弗を投じたるのみにて適切なる驅除方法は少しも發見されなかつた。又病樹より吸芽の栽培を豫防する規則が制定せられ居るならば、新規農園は現狀の如く斯くも悲慘なる狀態には陷らなかつたであらうと想像せらるゝ。

阿仙藥栽培者は、胡椒栽培家の納め得たる成功を持ち得ず、其の栽培は大々的に行はれたるも全く疲弊をした。其衰微の原因はカッチを製造するに生産費廉價にして、阿仙藥園に於ける作業は頗る勞働過重に屬した。苦力は阿仙藥園を離れて比較的勞働安樂なる護謨園に移り變る關係上、今日阿仙藥園に苦力を採用することは頗る困難である。

染料の立場より阿仙藥はカッチに優れども普通の用途に對しては後者が弘く一般に使用せられて居る。カッチに比肩する價格を以て阿仙藥を生産し得る場合には、他方勞働者難が栽培業者の意氣を消沈せしむる現狀である。兎もあれ、將來阿仙藥葉を調理すべき機械案出の日に於て同産業は再び隆々乎として復舊するであらうと思はれる。

サゴ採集の作業行程を研究すれば、面白き事實を發見せらるゝであ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

らう。此栽培と製造業は次第に増加して、今日其輸出はサラワク輸出貿易の樞軸を爲して居る。一八七〇年に於ける輸出額は二、二九七、〇五八弗、一九二一年數量一八、〇九六噸に減じて、價額は一、四五五、五〇三弗に減退をした。輸出の最大レコードは一九一九年の數量二三、二九八噸、價額四、二四九、七七〇弗である。

一九〇九年政府はサラワク領内に於てジユロトン製造に對する特殊の權利を與ふることゝなりたる結果、延いて土人等は斯かる叢林産物の價値を知り著目するに至つた。一九〇八年輸出數量二、三一〇噸、價額二〇三、三四六噸のものが、翌一九〇九年には六、七六六噸、一、〇二五、四〇〇弗に增額した。同年中會社は原料ジユロトンを精製する爲め樹脂を含める不純物を除去し、輸出向のものに對しては水分を除外せる爲め、次の如き輸出表を見るに至つた。

原料及精製ジユロトン輸出表

年次	原料ジユロトン 數量	原料ジユロトン 價額	精製ジユロトン 數量	精製ジユロトン 價額
一九一〇	六、四一三（噸）	一、〇八九、二七四（弗）	二五四（噸、）	一、八九五、七七三（弗）
一九一一	三、三九九	四七七、八四一	四四五	一、六五三、三三七
一九一二	三、二三四	二二三、一四六	—	—
一九一三	三、八一四	二四三、七一三	四	一三、六三七
一九一九	四、五六八	一、〇〇九、〇九五	三、〇〇七	一、一三〇、五一八
一九二〇	四、五二三	一、一七九、一二六	九三九	八九、一〇八

本コンセッションを得たる聯合馬來護謨會社が最初に組織せる如く事業を繼續し居たるなれば、必ずや成功を博し得たるものならん。同社の倒潰せる原因はスペキユレーションを伴へる資本膨脹の爲めであつた。然り乍ら、ジユロトン事業に關する復活運動は依然繼續し、精製作業は目下支那商人によりて營まれて居る。

農産物に關する貿易の增大を概略するに、四十年間に輸出は十倍以上を增加し、胡椒三七、〇〇〇、〇〇〇弗、阿仙藥六、〇〇〇、〇〇〇弗の貿易總額を出すを得たるは、是れ皆政府指導に係る直接奬勵の結果である。（未完）

蘭領東印度

□椰子油パームオイルに就て

今日市場に椰子油として現はれて居るものは、油椰子樹の果實より搾取精製せらるゝ物にして、此果實は椰子樹の葉軸に房狀をなして生じ、種子、表皮及果肉の三部より成る事は普通一般の果實と異なる處なく、其の種子は核を包含せる殼より成り、椰子油は此の果實の果

肉より搾取精製せらるゝものなれ共、尚且種子の核よりも高價なる椰子核油（パーム・カネル油）を得らる。

此の椰子油の原產地は赤道直下の阿弗利加にして、古き昔より土人の營養として最も肝要なるものとせられ、且又輸出品中の主要なるものとしての歷史を有す。　從來此の生產物は土人の手にてのみ製造され居たるものなれ共、十九世紀の始に至り、阿弗利加の西部海岸に僅かの工場が建設され、盛に土人より其の果實を購入し高級にして脂肪に富む油として輸出さるゝに至れるものなり。

一九二五年阿弗利加より輸出されたる椰子油は拾八萬六千噸、椰子種子及び核の輸出量五拾六萬噸（内七〇%の種子及び五〇%の核はニゲリヤよりの產出に係る）に及び、古々椰子油の大部分及び油椰子の核は歐洲に向け輸出さるゝものにして、就中英國及獨逸は其の主なる消費國たり。

比較的多量に遊離脂肪酸を含有せる椰子油は、主として石鹼蠟燭等の製造原料及鐵葉工業用として使用され、他方遊離脂肪酸の含有量少きもの即ち三%乃至四%を含有するものは、食用脂肪として使用さるゝに最も適はしきものとせらる。

蘭領東印度に於ける油椰子工業は一九一一年より大規模に開始せられ、第一に「ソシエテフアイナンシエール、デ、カチユク」が着手し、四箇年目には二千三百ヘクター（一ヘクターは二、四七英加）の植付面積を有するに至れり。　前記會社は一九一八年頃他の競爭者に打ち勝ち且つ又幾多なる障害を驅逐し、始めて相當の利益を上ぐるに至り、益々一大工業として其の價値を認めらるゝに至れり。其の結果として土地開墾事業頓に發展し、益々堅實味を加ふる至り、小資本にても充分償ひ得る工業なればとて新會社續出し、或る者は大資本を投じ徹底的に土地を開拓し、以て其の繁殖の向上を圖り、一方宏壯なる工場を建設し、運輸の便を計らんが爲めに狹軌鐵道を敷設する等出づるに至る。要するに之れが目的は、運送費を減ずる一方油椰子の果實より遊離脂肪酸の含有量少なき優良油を多量に得んとするものに外ならず。（註—即ち果實採取後は種々なる原因に由り時を經るに從ひて遊離脂肪酸の含有量を增加して行くものなるを以て一要素となすもの なれはなり。）

併し此の工業は尚充分の研究の餘地あるものとして、農學工業の當事者は多額の資本を投じて改善に大に努力しつゝある所なり。

南アチエ及スマトラの東海岸を除きたる蘭領東印度に於ける油椰子の栽培は餘り有望なりとは云ふを得ず、即ちイースト・モーンスーンス（乾燥期の東風）を受くる是等の地方は收穫時季が或る期間に制限さるゝの止むを得ざる關係にあるが爲め、此の栽培には餘り適はしからざるものとせらる。

土壤、氣候及運輸の便等の關係よりして、スマトラの東海岸地方を以て油椰子栽培に最適の地なりとせられ、南スマトラに於ても此工業の發展は滿更不適當に非らざると云へ共、主として東海岸に限らる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

栽培

油椰子園のクリアリングには種々の方法行はる。

アラン草の繁茂せる中に栽培する場合には、一箇年を經過せる油椰子樹を輪狀又は行狀にアラン草を刈り取りたる内に移植し、殘部のアラン草は短く刈り取らるゝものなるが、此のクリアランスの方法は確實に好結果を見る事不可能なるが如し。依つて全部アラン草にて蔽はれたる園にても、今日にては悉く之れを除去耕作し綠肥を施すことゝせり。此方法に依り、一箇年椰子樹は九米突×九米突の正三角形狀×に移植され、其の各樹の周圍の輪狀環内の土地は特に清淨に除草さる。森林地に於ける栽培の方法は、先づ樹木の全部を切り倒したる後之れを燒き盡し、施肥の爲めに直ちに地均しさるゝものなるが、其樹根は除去せず其儘に殘存せしめらる。

一年樹は、移植後第二年目の終りに至り其の果實の最初の房を生ず。斯くて三年乃至五年間は年々其收穫の増加を見る。

收穫

收穫は生熟したる果實の下部にある葉を切り去り、然る後其果實の房を採取するものとす。斯くて殘りたる葉は適宜切り落され、來るべき次期收穫の増加を圖るの資とす。されど、此の切り落し作業は樹勢に應じて施さるゝものにして、必ずしも必要と云ふにあらず。其の採集に從事する者は四日乃至六日の期間を定めて之れを採取し、最寄の運搬の便に從ひて精製工場に運び込むものとす。此の輸送の迅速を要する事は栽培園に於ける最も重要なる工程の一なる事前述の如し。

栽培園より精製工場に輸送さるゝ果實の量は毎ヘクターに付き年に凡そ十三噸にして、之れより凡そ二噸の油を得らる。

前にも述べたるが如く、凡ての大栽培園には狹軌の鐵道敷設され、各軌道は各一粁を離り、各軌道は收穫主の爲め最長距離五百米の制限あり。或る栽培園に於ては、鐵道敷設をなさず、第二運輸道路に依り此運搬距離を短縮する組織あるものをも見る。

設備

從來、産出され居たる油は多量の遊離脂肪酸を含有するものにして、之れが工場設備たるや極めて小規模にして至つて簡單なる機械を備へたるものゝみなりしが、近年に至り追々完備せる規模の工場が建設さるゝに至り、二乃至三%の遊離脂肪酸を含有する果實より極少量の遊離脂肪酸を含める椰子油一八%を得るに至れり。

是等の工場に於ける製造工程を簡單に述ぶれば左の如し。多量の椰子の果實が工場に搬入さるゝや先づ大なるドラムに入れ、低壓の蒸氣にて殺菌され、然る後機械的に脫穀さるゝものとす。此處にて充分成熟せる固き果實は全部適當に脫穀さるゝも、未成熟のもの及脫穀せられざる物は取除けらる。

次に大氣七五壓力を加へつゝ其のビーンス、即ち粒を攪拌しつゝ加熱する時は、油の大部分は搾取さるゝものにして、(普通獨逸のクルップ會社製遠心壓力機使用さる)其後果肉室に送られ其處にて果肉と種

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

子と分離さるゝものとす。然る後其の果肉は、大氣壓力四五〇の第二壓搾を施す爲めに持運ばれ、其處にて椰子油の極少量が得らる。然らざれば其れがエキス製造機に送られ、其の内にてベンシン氣の溶解液に依りエキスに製せらるゝものとす。次に其の油は輸出さるゝ前にタンクに聚集され清淨さるゝ要あり。種子は果肉室より乾燥室に送り、後粉碎機に掛け（セントリフユーガル或はローヤルクラツシヤー）種子の表皮と核とを分離す。斯くて絶えざる製造に伴ひて得たる經驗に依りて其の精製方法も確實に日々進步するものと見るを得べし。

輸送

包裝及び發送の問題は今日尙完全に解決されたるものとは稱し難く、內容物の如何に依り研究の結果種々の方法あり。卽ち六〇〇立及び一八〇立の容量を有する木樽或はドラム或る場合には腐蝕し易きの理由を以て石油函を之れに代用する事あり。是等の容器の內一八〇立の樽が經濟上最も完全なるものと稱され居れども、蓋し其の製造原價は最も高く（各一立の大さに付き七八仙を要する）、又屢々夥しき漏泄すら生ずることあり。一千九百二十五年以來引き續き運送には石油船に依る油の輸送實驗行はれたり。之れは恐らく運送上の難事たる經濟上の問題を解決するものとせらる。

千九百二十七年以來スマトラに於ける大部分の生產者を網羅したる經濟會に依り、ベラワン港に於て五百噸のタンクが使用され來れる事は最も注目に値するものと謂ふ可し。

是等のタンクを以て一時間に六〇噸乃至七〇噸の割合にて汽船に其油を積込む事を得。「デリ・レールウエー」に位置せる栽培園より供給せらるる油は、タンク貨物車にて運搬されベラワン港に到着して指定のタンク中にポンプにて注入さるゝものとす。

栽培面積及生產物

千九百十八年の終にはスマトラの東海岸及南アチエ州のガイル・パーム栽培園は僅かに四千三百八十五ヘクタールに過ぎざりしが、千九百二十五年の終りに至り三萬ヘクタール（七萬四千英加）を遙かに超ゆるに至れり。左に掲げたる表は中央統計局の調査による數字を示すものにして、蘭領東印度に於ける此の工業の如何に長足の進步をなせるかを示すに足らん。

年次	報告し得る栽培園番號	植付面積（單位ヘクタール） 爪哇	爪哇以外の蘭領東印度	總計	實收面積
一九二二	六二	四〇三	一六、二九四	一六、六九六	三、八一〇
一九二三	五八	五六九	一八、四六三	一九、〇三二	四、五七三
一九二四	五九	五五〇	二三、六三一	二四、一八一	四、九七二
一九二五	六二	六五五	三〇、九七四	三一、六二九	九、七一三
一九二六	五三	六八〇	二八、八七三	二九、五五三	一〇、九六七

右の表中千九百二十六年の統計は完結し居らざるは事實にして、アムステルダム、トレード、アツソシエーションの莫大なる樹園が包括され居らず。是れは千九百二十六年の全栽培面積を少なからしめ居

ることを說明するものなり。

右に揭げたる數字に依れば、千九百二十六年に於ける蘭領東印度のオイルパーム栽培の總面積は二萬九千五百二十三ヘクタールと算せられ、其內爪哇には僅か六百五十八ヘクタールのみにして、殘りの千七百五十六ヘクタールはラムポン地方及びパレンバン地方に在り、尙南アチエ州を含むスマトラの東海岸に有する二萬六千八百八十六ヘクタールの油椰子栽培は、今日迄に於ける蘭領印度に於ける唯一の土地にして其の工業は最も進步的に行はれ居れり。

生產力に於て長足の進步せるは、左の數字に照らし見れば歷然たるものあらん（千瓩を噸としたるものにして且つ又 Handels Vereeniging Amsterdam の生產を含まざるもの）

年	油	果肉	果實
一九二二年	三、八〇二	五二三	—
一九二三年	三、八七四	七二七	二、四六六
一九二四年	四、九二四	一、一三二	四、二二四
一九二五年	八、七三九	一、七四五	—
一九二六年	九、五〇七	一、六二七	—

培の生產能率

油椰子栽培地の生產能率は種々の外部の事情に大いに起因するものにて、良き土地を能く手入をなせる栽培地にては四、五年の後には充分一ヘクタールより一噸の油を得られ、七、八年後には充分二噸を得らる。此の事實より見るも、此の油椰子の製造工業は餘程よき報酬を以て報ひらるゝものと云ふを得べし。併し斯く有利なる事情が到る所の園に必ずしも惠まれ居らざるは、千九百二十五年以前迄は僅かに油の生產量一、二二一噸なりしを見るも明かなり。併し此の統計表中には若き油椰子樹が含まれ居るが故に、事實其等を取り除かざる可からず。

近年に於て此の椰子油工業は、其他の工業に冠たる豫期を證明し得る程堅實に此の平均生產量の增大を示しつゝあり。而して近き將來に於て、蘭領東印度に於て歐洲人の工業中最も價値ある位置を占むるに至るは想像に難からず。

輸出高

千九百十九年には僅かに五百七十六噸の輸出量なりしに、千九百二十七年に至り二萬千四百十八噸の可驚輸出量を見るに至れり。

仕向地	一九二四年	一九二五年	一九二六年	一九二七年
北米合衆國	一、七五四	二、三八四	五、四八四	九、〇七二
和蘭	一、二七八	一、五九六	三、九一八	七、三八八
英吉利	二、八六五	一、二八六	三、〇九五	四、〇〇五
獨逸	六〇五	一、三五五	九九九	二二四
日本	一二三	二七一	四三	七八
其他の諸國	九八	一八四	二〇四	六五一
總計	五、二〇二	七、〇七六	一三、七四三	二一、四一八

上記の統計の示す如く、亞米利加合衆國に輸出さるゝ額は過去三箇年間に著しく増大し、其他の物産中にありて主位を占むるに至れり。此如生産の増大せるは、前述の價値ある位置云々の言と一致するものたると謂ふを得可し。之れに反し、獨逸國への輸出は大いに減少し居れり。現在の數字は今後數年間に於ける輸出量の尚ほ著しき増大することの豫想を有效たらしむる好證たるを失はず、從つて千九百三十一年に於て世界の物産中主要なる位置を占むることを示すに足り、三萬噸より四萬噸の輸出量を豫測するに難からざるものと謂ふを得可し。

（スラバヤ日本商品陳列所報告）

□爪哇の行政區轄改正……東部及西部爪哇省設定

曩に西部爪哇省を設定した蘭印政府は、今回又東部爪哇省及中部爪哇省を設定するに至つた。其の行政區分及行政官の配置狀態は左の如くである。

一、東部爪哇

スラバヤ、マヂウン、ケヂリ、パスルアン、ベスキ及マヅラの各州理事官、副理事官、地方廳官房、一級コントローラー、コントゥーラー、見習コントローラー及内務行政官吏並にクラクサーン、ルマジャン及ジエンバルのパチ及官衙に於ける總ての官職及其の地方に於けるレヘントスハップ事務所の官職は政府の決定を以つて廢止され、地方分權令（官報一九二五年第六一二號）が東部爪哇にも適用さるゝこととなつた。

猶現在の行政區轄に左の改正が行はれた。

a. プロボリンゴレヘントスハップを左のレヘントスハップに分轄すること。

一、プロボリンゴ、トンガス、ドリンゲ及テンゲルの各デストリクトを含むプロボリンゴレヘントスハップ。

二、クラクサアン、パイタン、ゲンデイン及カテンの各デストリクメを含むクラクサアンレヘントスハップ。

三、ルマジャン、ラヌラモンガン、テムペー及カンダンガンの各デスメリクトを含むルマジャンレヘントスハップ。

b. ボンドウオソレヘントスハップは、左の樣に分裂さるゝに至つた。

一、ボンドウオソ、タマナン、ウオノサ及リプラヂエカンの各デストリクトを含むボンドウオソレヘントスハップ。

二、ジエンバル、カリサト、マジャン、ラムピプヂ、タングル、ブーゲル及ウールハンの各デストリクトを含むジエンバルレヘントスハップ。

ベルベツクレヘントスハップの名稱は、ンガンジョクと改稱された

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其他は現在のレヘントスハップ、郡、分郡は、一九二八年七月一日現在のものを其儘とし東部爪哇は左の理事州區に分割されることゝなつた。

一、スラバヤ州（區）。スラバヤ及シドアルジヨの兩レヘントスハップを含む。理事官駐在地スラバヤ

二、モジヨケルト州（區）。モジヨケルト、ジヨムバンの兩ヘレントフハップを含む。理事官駐在地モジヨケルト

三、グリセー州（區）。グリセー及ラモンガンの兩レヘントスハップを含む。理事官駐在地グリセー

四、ボジヨネゴロ州（區）。ボジヨネゴロ及トウバンの兩ヘントスハップを含む。理事官駐在地ボジヨネゴロ

五、マジウン州（區）。マジウン、マゲタン及ンガワイの三レヘントスハップを含む。理事官駐在地マジウン

六、ボノロゴ州（區）。ボノロゴ及パチタンの兩レヘントスハップを含む。理事官駐在地ボノロゴ

七、ケヂリ州（區）。ケヂリ及ンガンジヨクの兩レヘントスハップを含む。理事官駐在地ケヂリ

八、ブリタル州（區）。ブリタル、トウルンガゴン及ハレンガレクの三レヘントスハップを含む。理事官駐在地ブリタル

九、パスルアン州（區）。パスルアン及バンギルの兩レヘントスハップを含む。理事官駐在地パスルアン

一〇、マラン州（區）。マランレヘントスハップを含む。理事官駐在地マラン

一一、プロボリンゴ州（區）。プロボリンゴ、クラクサアン及ルマジヤンの三レヘントスハップを含む。理事官駐在地プロボリンゴ

一二、ボンドウオソ州（區）。ボンドウオソ及パナルカンの兩レヘントスハップを含む。理事官駐在地ボンドウオソ

一三、ジエムバル州（區）。ジエムバル及バンジヨワンキの兩レヘントスハップを含む。理事官駐在地ジエムバル

一四、西部マヅラ州（區）。バンカラン及サムパンの兩レヘントスハップを含む。理事官駐在地バンカラン

一五、東部マヅラ州（區）。パメカサン及スメネツプの兩レヘントスハップを含む。理事官駐在地パメカサン

東部爪哇省の新職員數は左の如くである。

a. 知事一名。

d. 理事官十七名。内各一名は第五條所掲理事州に配置され、他の二名は地方行政官の必要と認むる職務に服する爲地方長官に隷屬する。

c. 副理事官五十五名。内二名は地方行政官の必要と認むる州の職務に服せしむるべく知事に隷屬し、他の五十三名は、次の規定に依り關係州に配屬される。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

スラパヤ州。四名、内二名はスラパヤに、他の二名はジヨムパンに駐在す。

グリセー州。一名、ラモンガンに駐在す。

ボジヨネゴロ州、三名、内一名はボジヨネゴロ及他の二名はトツバンに駐在す。

マヂウン州。四名、内二名はマヂウンに、一名はマゲタン及一名はンガウイに駐在す。

ポノロゴ州。二名、駐在地はポノロゴ及パチタン

ケヂリ州。五名、内二名はケヂリ、二名はンガンジヨク及一名はパレーに駐在す。

ブリタル州。四名、内二名はブリタル、一名はトウルーンガゴン及一名はトレンガレクに駐在す。

パスルアン州。三名、内一名はパスルアン、一名はバンギル及一名はラワンに駐在す。

マラン州。三名、内二名はマランに及一名はトウレンに駐在す。

プロボリンゴ州。六名、内二名はプロボリンゴ、二名はクラクサアン及二名はルマジヤンに駐在す。

ボンドウオワ州。四名、内二名はボンドウオワ及二名はシトアルジヨに駐在す。

ジエムバル州。五名、内二名はジエムバル、一名はラムビプヂ及二名はバンジヨワンギに駐在す。

西部マヅラ州。二名、内一名はバンカラン及一名はサムパンに駐在す。

東部マヅラ州。三名、内一名はパメカサン、一名はスメネツプ及一名はアルジヤサ(カンゲアン)に駐在す。

d. レヘント三名。クラクサアン、ルマジヤン及ジエムバルのレヘントスハツプに一名づゝ配置す。

e. パチ三名。クラクサアン、ルマジヤン及ジエムバルの各レヘントスハツプに一名づゝ配置す。

f. 地方秘書官一名。東部爪哇省が組織さるゝまでの期間

二、中部爪哇

ペカロンガン、スマラン、バンジヨマス及ケヅーの各州の理事官、副理事官、地方總官房、一級コントローラー、コントローラー、見習コントローラー及内務行政官吏並にサラチガ區、ブルノ郡及ウオノサリレヘントスハツプの各パチ及該官衙に於ける總ての官職及該地方のレヘントスハツプ事務所の官職は、政府の決定を以つて廢止され、同時に地方分權令を中部爪哇に適用することゝなつた。

猶現在の行政區轄は次の如く改正さるゝことゝなつた。

a. ムランゲン郡を、スマランレヘントスハツプより分離し、デマクレヘントスハツプに併合す。

b. マンガル及シンゲンキドウル郡をデマクレヘントスハツプより分離し、グロボカンレヘントスハツプに併合す。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

c. スコレジヨ(ケンダルレヘントスハップのセロカトン郡、スコレジヨ分郡)村のカリプールー及パバンダンの二部落をケンダルレヘントスハップより分離し、中部爪哇省知事をして前記部落を合併して村(デザ)を構成せしめるか、若しくは他のデザに合併すると共にテマングーンレヘントスハップに併合せしむ。

d. ブルノ郡を廃止す。

e. 廃止されたブルノ郡のブルノ分郡は、ケピラン、デムペル、カランガンジヤル及パンガレンガン村を却除さると同時に、廃止されたブルノ郡のケピル分郡に屬するテガルサリ、プリムピン、ンケムパクの各デザを附加され、ウオノソボレヘントスハップより分離されクドアルジヨレヘントスハップのケミリ郡に併合さる。

f. 廃止されたブルノ郡のケピル分郡は、同廃止郡ブルノ分郡のペンガレンガンデザを添増さると同時に、カリテンケク及ンガグリクテガルサリ及プリムピンの各デサを除去され、ウオノソボレヘントスハップのサプラン郡に併合す。

g. 廃止されたブルノ郡ブルノ分郡のチピラン、デムペル及カランガンジヤルの各デザは、ウオノソボレヘントスハップ・サプラン郡サプラン分郡に併合す。

h. ウオノソボレヘントスハップのケピル分郡のカリテンケイ及ンガグリクの両デザは分離され、プールウオレジヨレヘントスハップのロアナ郡ゲルバン分郡に併合す。

中部爪哇は左の理事州(區)に分轄されることゝなつた。

一、ペカロンガン理事州(區)。ペカロンガン、バタン及ペマランの各レヘントスハップを含む。理事官駐在地ペカロンガン。

二、テガル理事州(區)。テガル及ブレベスの両レヘントスハップを含む。理事官駐在地テガル。

三、スマラン理事州(區)。スマラン、ケンダルの両レヘントスハップを含む。理事官駐在地スマラン。

四、ケヅー理事州(區)。ケヅー、デマク及ジヤパラの各レヘントスハップを含む。理事官駐在地ケヅー。

五、レムバン理事州(區)。レムバン及パチの両レヘントスハップを含む。理事官駐在地レムバン。

六、ブロラ理事州(區)。ブロラ及グロボガンの両レヘントスハップを含む。理事官駐在地ブロラ。

七、北バンジヨマス理事州(區)。バンジヨマス、プールウオレジヨ及プロボリンゴの各レヘントスハップを含む。理事官駐在地バンジヨマス。

八、南バンジヨマス理事州(區)。チラチヤツプ及ヤランガンジヤ。の両レヘルントスハップを含む。理事官駐在地チラチヤツプ

九、ウオノソボ理事州(區)。ウオノソボ及バンジヤルネガラの両レヘントスハップを含む。理事官駐在地ウオノソボ。

一〇、ケヅー理事州（區）。マゲラン及テマングーンの兩レヘントスハツプを含む。理事官駐在地マゲラン。

一一、パゲレン理事州（區）。プールウオレジヨ、クトアルジヨ及ケブメンの各レヘントスハツプを含む。理事官駐在地プールウオレジヨ。

東部爪哇省の新職員の數は左の如くである。

a. 知事一名

b. 理事官十二名、内各一名づゝ第四條所揭の理事州（區）に配置され、一名は該地方行政官の命ずる職務に就く爲地方行政長官に隷屬する。

c. 副理事官三十七名、内一名は前記地方行政官の必要と認むる州に勤務せしむる爲知事に隷屬し、三十五名は、次の規定に據り各州に配置される。

ペカロンガン州。四名、内バタン一名及メマランに二名駐在す。

テガル州。四名、内テガルに一名、プロチヨツトに一名、プレペスに一名プミアジヨに一名駐在す。

スマラン州。五名、内スマランに一名サラチガに、一名アムバラワに一名及ケンダルに二名駐在す。

クヅース州。三名、クヅース、デマク及ジヤパラに駐在す。

レムバン州、三名、内レムバンに一名、パチに二名駐在す。

プロラ州。三名、各々プロラ、チエプー及プールウオダヂに駐在す。

北バンジヨマス州。三名、各々バンジヨマス、プールウオケルト及プールボリンゴに駐在す。

南バンジヨマス州。三名、チラチヤツプに二名、カランガンジヤルに一名駐在す。

ウオノソボ州。一名、バンジヤルネガラに駐在す。

ケヅー州。三名、内マゲランに二名、テマングーンに一名駐在す。

パゲラン州。三名、各プールウオレジヨ、クトアルジヨ及ケブメンに駐在す。

d. 地方秘書官一名、中部爪哇省が組織さるゝまでの期間

(Soerabajasch handelsblad May 26, '28)

□入國許可證の有效期間問題

ースヲバヤ貿易組合の質問に對する司法部の囘答ー

和蘭人及其他の歐洲外國人の入國許可證の總有效期間か、以前の四箇年より十箇年に延長されたのは一寸前のことであつて・該期間が經

過(九箇年間經過せる)するに於て、初めて居住許可證の下附を受け得ることになつて居る。

そこで、スラバヤ貿易組合は、善良にして且つ著名の商館の社員たる和蘭人及他の歐洲人は短期間滯在したる後、直に居住許可證の下附を申請し得る樣爲したき希望を披攊せるところがあつたが、今同其の說明方を司法部に申請するに至つた。貿易組合の聞及ぶ所に依れば、入國許可證は一年未滿の外國滯在に依り其效力を喪失すべく、歸還したる場合新に入國許可證を求めねばならないと云ふ話であるから、一層痛切に感ぜられるのである。若し事實それがそうであつたとしたならば、個人は實質的に永遠に居住許可證を穫ることが出來ない譯である。卽ち引續き十年間滯在すると云ふ規定に拘束されて居るからである」と組合は判斷して居る。

本質問に對し司法部は次の如く應答して居る。

「入國許可令は、勅令一九二七年四月二十三日付第一一號(同年官報第二五五號)を以つて、合計有效期間を以前の四箇年より十箇年に改正され、本勅令の結果、入國許可證は、出發の旨を上陸官(上陸港の)又は區長官に通告し、且つ入國許可證上に前記官吏の添書を受け猶海外滯留が一年以上ならざるものに非ざる限り蘭領印度を立去るに連れて其の效力を喪失する。許可證所有者が外國へ行く場合、入國許可證の有效期間が所定期間に拘束されることは前述の如くである。

居住許可證でさへも、所有者が十八箇月以上蘭領印度に不在の場合には其の效力を喪失する。若し入國許可證に何等期間が設定されなかつたとするならば、六年間延期された入國許可證の所有者は、該文書が其の效力を喪失することなく引續き何年でも外國に滯在することが出來ると云ふ不合理が生ずるであらう。

有效期間、該期間の延長方法及外國への出發に際し添書を受ける義務に關する一般規定に、例外を設くることの不可能なるは明らかである。

入國許可證にして、所定の方法に準じ蘭領印度を出發する旨の添書を受けたるものは、所有者が一年以上外國に滯在せざる限り猶效力を存續する。

貴下の意味するが如き、概して一年以內の期間の旅行者は、期日以前に所定の方法に依つて期間を延長し且つ出發に際し其の旨の添書を貰ひ受けさへすれば入國許可證は其の效力を存續する。

之に據り貴組合當局は、旅行者は歸還に當り初めて再び其の時より十年目に居住許可證を得んが爲に新入國許可證を求めねばならないと云ふ樣なことはないと云ふことを會得されるであらう。

又居住許可の附與に關しては次の如く承知されたい。

昨年十月一日以來、入國許可證の有效期間中九箇年を經過せる後初めて許可を與へることが一般的原則となつて居る。又事情が特定人に對して短期間滯在後居住許可證を所有することを要望し若しくは之れを必要とする場合に就いては、前記一般的原則の文面に考慮を置

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

くことになつて居る。

若し、住民權を所有し居らざるも居住許可證を所有せざる者も事が例へば彼等の職業を(例へば、辯護士の如き)を執行し又コンセッショ又は永租借地の拂下を申請する上に障碍となる者に對しては、本規定の適用を忌避することが出來る。

又非住民外國人たる商人が告訴人たる場合、相手方の要求に從つて擔保を設定する場合が起り且つ其の擔保が多額の金額に達する時にも當該人は同一の取扱を受ける。

以上の如く、若し居住許可證の所有を必要とし若しくは所有することが要望されたる場合には、現行規定は所定期間經過以前に居住許可證を下附することを絕對に拒否するものではないと云ふことを會得されるであらう。

(Soerabaiasche handelsblad July 4. '38)

□蘭印に於ける邦人企業家の奮闘

本文は現在ハルマヘーラ島に在つて邦家の爲奮闘の日を送つて居らるゝ某氏より調査課への來翰の一部である。

「昨日即ち四月二十九日は諒闇明けて始めての天長節、最近渡來せる沖繩漁民團の一同も委く弊屋に集より遙賀、 陛下の聖壽萬々歲を奉祝候。

漁民團の居住地は弊園より海路十二哩餘一昨日モーターボートを以て一團を迎へたるに澤山の生魚を携へ來り又偶々爪哇に來れる、旅商團の一友より祖國の食料罐詰類一函の惠投せるもの此船にて來たるあり、內外山海の珍味山の如く集まり久しぶりにて孤島の淋しき森の家も藹々の氣滿ちて笑聲堂に溢れ申候。

轟けや我等が歡呼三千里

此の一團に告ぐるに宜しく先驅者の氣を負ふて奮起すべきを說き、よし仕事は土を這ふみゝずでも思ひを將來にかけて進むべきを懇諭致し候。

小生御鴻恩を受くるや日既に久しきも、不肖にして悉く御期待に反せるは常に深く慚愧に堪へ申さゞる所に候が、只孤居して今日に至れるため續く邦人に對し多少にても便宜を與へ、互に相勵ましを得たるを思へは、今日積恩の萬々分の一を酬ゐ得たるが如き心地せられ非常に愉快を覺えられ申候。 偶々御手紙を頂戴して感慨一入深かりし儘今夜家人寢沈まるを待つて感興の醒めざる內と思ひ急ぎ御手紙を認めたる次第に御座候。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

次に其後の經營狀態は未だ積極に出づるの程度までは進まざるも、毎月確實に純益を見るを得、極力積億の整理に努め居り候。

又サゴ椰子の方は、澱粉機械は數回改善を行ひ漸く能率を發揮するに至れるも、鐵の素質惡しきが故に全能率を擧ぐれば三日目に目立を行はざる可らざるため閉口致し居り候へば、其内更らに改造を行ひ生産增加を計る考に御座候。

目下例の澱粉製造による利益は、兎も角にも多少ながら頽勢の挽回を見るに至れるを以て、更らに種々なる食料品の製造加工に努め居り候。既に屢々申上たるが如く、米の問題は結局澱粉の問題にして、其れが生産增加に對し全生命を傾け居る事は、よし現在の狀態は僅日なものであるとしても私としては常に限りなき愉快を覺え居る次第に候。今後に於ける大體の方針は、先づ萬障を排して澱粉機の改造を完成したる後更に飴の製造に移り度き希望に候。精製澱粉の輸出は、當地の如き僻陬にては運賃の關係にて餘程大量生産であらざる限り稍困難なれば、更らに濡澱粉の儘原料として飴を製造する事は、第一乾燥の手數を省き、容積に於て二分の一となり、價格に於て三倍となるを以て有利此上もなきことなれば、今日まで幾度か日本製麥芽を酵素として試みたるも、熱帶にては麥芽の發芽力及酵素の力著しく劣り全敗に畢りたれば、矢張り純化學的なる強酸を使用する歐式澱粉糖製造によらざる可らざるも之には相當の準備と技術を要することなれば、暫く時日を俟たざる可らざることに有之候。此澱粉糖事業はサゴより製造することにより恐らく蔗糖と競爭するを得るにあらずやと存ぜられ申候。最も澱粉糖の糖力は蔗糖の三分の二に過ぎず且つ性質上の差異などあり、全く競爭の立場に置くものにはあらざるも、現在澱粉糖の價格高價なるため其使途が甚だしく蔗糖に犯され居るを以て、之れが豐富低廉なる給源により當然需要の劇增を見るや明かにして、且つ其生産費が蔗糖の其れよりも低廉たらしむる場合に於て、却つて蔗糖の領域を犯かし得るに至らざるか實に興味ある問題に有之候。

次に農園の計畫としては、今の所やむなく椰子の植付けなどを進め居るに過ぎざるも、事業を澱粉糖製造まで進めたる上に於て飽くまでも水田計畫を實行仕り度き考へに御座候。濕潤の氣象と水量豐富なるトコシ河の澗流を控へたる沖積平野に於ては如何なる作物よりも水稻に適するや明かに有之候。殊に蘭印人のためにニューギニア開拓をさへ叫ばれ居る今日、中規模なる機械耕作による水田事業が實現せられなば、種々なる點に於て蘭印のためにも貢獻せられ、眞實なる共存共榮を見らるゝことゝ存ぜられ候。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

□蘭印雜報

○一九二七年に於ける大農業植付面積及生產—中央統計局の作成せる統計に據れば、護謨、茶、規那及珈琲の一九二七年度に於ける植付面積及生產高は左の如くである。

地方別	總植付面積（ヘクタール）	生產植付面積（ヘクタール）	生產高
○護謨			護謨
爪哇・マヅラ	二一〇、六四二	一四五、〇七八	五四、九五一 （十）買上 一三五 噸
外領	二七四、八三一	一九四、二四一	七五、八一九 噸
蘭印合計	四八五、四七三	三三九、三一九	一三〇、七七〇 （十）買上 一三五 噸
○茶			乾燥茶
爪哇・マヅラ	九一、四三五	七八、一七八	四三、四六七 （十）買上 一三、二四三 噸
外領	一八、〇六六	一二、三二八	八、三六八 噸
蘭印合計	一〇九、五〇一	九〇、五〇六	五一、八三五 （十）買上 一三、二四三 噸
○規那			乾燥規那皮
爪哇・マヅラ	一七、二七〇	一三、九九七	一二、二九八 噸
外領	二、二八六	一、五九七	一、三九四 噸
蘭印合計	一九、五五六	一四、五九四	一三、六九二 噸
○珈琲			
爪哇・マヅラ	九九、〇四二	七五、七二四	五五二、一一五（キンタル） 三九三、九六八擔
外領	二三、四〇三	一三、九〇一	八〇、八〇六（キンタル） 一三〇、八三六擔
蘭印合計	一二二、四四五	八九、六二五	六三二、九二一（キンタル） 一、〇二四、八〇六擔

（Korte berichten No.23, June 8. '29）

○中央商業會議所の設立—本日バタビヤ貿易組合會館に於て農務部長官座長の下に、バタビヤ輸入商組合、バタビヤ商業會議所、バタビヤ仲買人組合及仲介者組合、爪哇銀行、バタビヤ輸出業者組合、銀行組合、株式商組合の各代表者並に財務部監査部長及輸出入及消費稅監督官長等會合し、スラバヤ、スマラン、マカッサル、パダンの各商業會議所を廢止すると共に、バタビヤに蘭領印度中央商業會議所設置の件に關し商議された。而して本中央商業會議所は仲介並に支那人貿易をも含む廣義の意味に於ける商業の利益を圖るを目的として居る。本問題の決定權を有する本會議に於ては、全員の意見の一致を見、現在に於ては單に其他の地に設立されて居る貿易機關の意見を聽取するのみの運びとなつて居る。

（Het Niews van den Dag Juni 14. '28）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Geldigheidsduur toelatingskaarten (S. Hb. July 4)

Nieuw poging (S. Hb. July 5)

Bevolkings Suikerriet (H. N. v. d. D. July 6)

De Javaansche visch-Stand (H. N. v. d. D. July 6)

Zondeling ordonnantie-effect (H. N. v. d. D. July 7)

De Wijziging der indische staatsregeling(H. N. v. d. D. July 7)

Aard-olie in Ned-Indië (H. N. v. d. D. July 7)

Officieele feestdagen in 1929 (L. N. e. H. No. 28, July 13)

De handel van Palembang gedurende 1927 L. N. e. H. No. 28, July 13)

其　　　他

Australia's Growing Population (H. D. P. July 10)

Borneo Timber Company. Reducing Capital at Psychological Moment (C. E. J. Vol. LXX, No. 3377, May 10, P. 346)

◆歐　羅　巴◆

General

De Vereenigde staten van Europa door Dr. Annie Besant (S. Hb. June 25, 26)

佛　蘭　西

Les Colonies, Grenier de la France (M. C. No. 58, June P. 132)

Improving the Port: The Wharf Extension Schemes (S. F. P. July 10)

Naval and Air Bases: Future taking over by Colony (S. F. P. July 11)

Harbour Improvements: Plans for Coaling Facilities (S. F. P. July 11)

Malayan Trade Figures: The May Statistics (S. F. P. July 14)

英 領 印 度

Imports of Industrial Machinery into India (Com. R. No. 25, June 18 P. 746)

De buitenlandsche handel van Britsch-Indië gedurende 1927 en het verkeer met Ned-Indië (L. N. e. H. No. 25, June 22)

Bescherming der Britsch-Indisch Nijverheid (L. N. e. H. No. 26, June 29)

Rangoon-China By Car (S. F. P. June 30)

蘭 領 東 印 度

Miangas-The Disputed Isle (I. O. Vol. IX, No. 4 Apr. P. 195)

Eighteenth-Century Batavia: A series of drawings (I. O. Vol. IX, No. 4, Apr. P. 209)

Rubber in the Netherlands Indies (I. O. Vol. IX, No. 4, Apr. P. 224)

De rubbercultuur na de opheffing van de restrictie (S. H. b. June 9)

Indrukken van zuid-en Middencelebes (III) (S. H. b. June 9)

Economische toestand en economische politiek (S. H. b. June 11, 15)

De invoering der bestuurshervorming (S. H. b. June 12)

De financieele politiek der regeering (S. H. b. June 13, 14)

De poenale Sanctie (H. N. v. d. D. June 13)

De oprichting van een centrale kamer van koophandel (H. N. v. d. D. June 14)

De verponding (H. N. v. d. D. June 14)

Boycott van Japansche goederen (S. Hb. June 14)

Rubbersituatie (L. N. e. H. No. 24, June 15)

De Suikersituatie (L. N. e. H. No. 24, June 15)

Rubber en Suiker (L. N. e. H. No. 24, June 15)

De verponding (S. H. b. June 18)

Sumatra Westkust als cultuurgebied (S. Hb. June 20)

Nederland en Indië in de wereld-Constellatie (H. N. v. d. D. June 21)

Het petroleum bedrijf in Oost-Borneo (S. H. b. June 21, 22)

Een praatje over de Padi-cultuur (H. N. v. d. D. June 22)

De Poenale Sanctie in de Practijk (H. N. v. d. D. June 26)

De economische toestand van Ned-Indië (S. H. b. June 26)

Het Vierde congres van den Douanebond (S. Hb. June 30)

Regeeringsantwoord in de Volksraad (S. Hb. Junee 30, 2, 3)

Het algemeen Delisch Emigratie kantoor H. N. v. d. D. July 2)

De Suikerpositie (S. Hb. July 2)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Chronique des Mines (E. F. I. No. 573 June 10, P. 14)

Essais d'acclimatation de l' Arbre à Quinquina en Indochine (E. E. I. No. 573, June 10, P. 6)

La Culture du tabac en Indochine (F. I. June 13, P. 1)

La production Indochinoise et le Marché Métropolitain (le C. H. June 15, P. 1)

Pour la formation Commerciale des Annamites (le C. H. June 15, P. 1)

Concessions Domaniales (A. T. June 16 P. 1)

Un Code du Travail Colonial (E. E. I. No. 574, June 17, P. 4)

L'éducation de l' annamite par l' annamite (le C. H. June 19, P. 1)

Les importations étrangères en Indochine (F. I. June 21, P. 2)

Kina in Indo-China (L. N. e. H. No. 25, June 22)

L'automobile en Indochine (F. I. June 23, P. 3)

L'avenir du sucre Indochinois (F. I. June 24, P. 1)

Chronique des Mines (E. E. I. No. 575, June 24, P. 14)

Le Mouvement de Migration Française et étrangère en Cochinchine (E. E. I. No. 575, June 24, P. 5)

Causeries sur l' histoire d' Annam (E. E. I. No. 575, June 24, P. 2)

Le régime douanier de l' Indochine et le Japon (le C. S. June 27, P. 3)

Comment la propagande bolcheviste s'est étendue aux Indes et en Indochine (le C. S. June 30, P. 1)

暹　　羅

The Romance of a River (I. O. Vol. IX, No. 4, Apr. P. 221)

The Siamese Baht-From the China Express and Telegraph (B. T. June 19)

Siam Chamber of Mines (B. T. June 20)

The Gendarmerie (B. T. June 22)

The State Railways—the Thirtieth Report (B. T. June 26, '27, 29)

Post and Telegraph Department-Features of its Work (B. T. July 7)

英　領　馬　來

Malaya in 1927: A Retrospect (F. E. R. Vol. XXIV, No. 6, June P. 280)

Singapore Floating Dock (E. E. Vol. XIX, No. 6, June 14, P. 150)

Matters Indian: Labour Immigration in 1927 (S. F. P. June 20)

Rubber Restriction Statistics: 6 th Restriction Year (S. F. P. June 20)

Serious Tin Situation: Malayan Mines Closingdown (S. F. P. June 22)

The Tin Industry: Mr. Howeson's Fears for the Future (S. F. P. June 22)

The State of Brunei (S. F. P. June. 28)

Britsh Malaya Rubber: June Statistics (S. F. P. July 4)

Malayan Fisheries (S. F. P. July 4)

Malayan Education: Dr. Winstedt on some problems (S. F. P. July 5)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Dr. Jenks Sees China as Powerful Nation. By Carl Randau (C. W. R. Vol. XLV, No. 7, July 14)

Who's Who in China. Gen. Li Chai-sum (李濟深) Mr. Cheng Hung-nien (鄭洪年字韶覺) (C. W. R. Vol. XLV, No. 7, July 14)

Highway Transportation in Szechwan. By Julean Arnold, U. S. Commercial Attache (C. W. R. Vol. XLV, No. 8, July 21)

How "Dangerous Thoughts" are Suppressed in Korea. By J. A. J. (C. W. R. Vol. XLV, No. 8, July 21)

Is the Revolution Bolshevistic or National-istic? By Ken-Shen Weigh, Ph. D. (C. W. R. Vol. XLV, No. 8, July 21)

China Tea Trade with Russia Assuming Vast Proportion. By Edward Hunter (C. W. R. Vol. XLV, No. 8, July 21)

Who's Who in China. Tang Tsio Yee (鄧植儀) Mr. Chow Sin-tang (周星棠) (C. W. R. Vol. XLV, No. 8, July 21)

Shanghai Trade during 1927 (N. C. D. N. July 23, 24)

Child Labour in the Colony (H. D. P. June. 28)

The Colony's Finances: Report for the year 1927 (H. D. P. June 28)

Kowloon-Canton Railway (H. D. P. June. 28)

Augmenting the Colony's Water Supply (H. D. P. June 28)

Reteable Value of the Colony (H. D. P. June 28)

Hongkong G. P. O. in 1927 (H. D. P. June. 28)

Hong kong Shipping: Increased Tonnage in 1927 (S. F. P. June 29)

Population of Hongkong (H. D. P. July 12)

The Police: Strength, Conduct, etc (H. D. P. July 13)

Crime in Hongkong (H. D. P. July 13)

De bewerking van Yunnan tin in Hongkong (L. N. e. H. No. 28, July 13)

比 律 賓

Igorot Interludes (I. O. Vol. IX, No. 4, Apr. P. 205)

Burial Caves of the Philippines (I. O. Vol. IX, No. 4, Apr. P. 217)

Market for Hardware in the Philippine Islaads (Com. R. No. 24, June 11, P. 675)

佛 領 印 度 支 那

La politique Indigène au pays d' Annam (I. No. 7, Apr. 5-20, P. 1)

La Collaboration Franco-Annamite (I. No. 8, May 5, P. 1)

Le Théatre en Indochine (A. T. June 2, P. 1)

Le nouveau gouverneur général de l' Indochine (le C. H. June 3, P. 1)

Les routes du Laos (E. E. I. No. 572, June 3, P. 2)

Les Chinois en Indochine (E. E. I. No. 572, June 3, P. 5)

L'utilisation de la Main-d'oevre indigène (le C. S. June 5, P. 3)

Causeries sur l' histoire d' Annam (E. E. I. No. 573, June 10, P. 5)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Political Significance of the Capital Location Question. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLV, No. 5, June 30)

Reforming the Salt Administration. By Y. F. Tseng (C. W. R. Vol. XLV, No. 5, June 30)

The Change in China (C. W. R. Vol. XLV, No. 5, June 30)

Who's Who in China. Mr. Wong Po-ching (王伯羣) General Keng Po-chao (耿伯釗) (C. W. R. Vol. XLV, No. 5, June 30)

Some Modern Chinese Scholars and Religion. By Hunter Yen (嚴奇清) (C. R. Vol. LIX, No. 7, July)

Western Money and the Chinese Church. By A Debate (C. R. Vol. LIX, No. 7, July)

A Christian Contribution to China. By Nettie Mabelle Senger (C. R. Vol, LIX, No. 7, July)

Indigenous Country Evangelism. By A. Sydenstricker (C. R. Vol. LIX, No. 7, July)

Shanghai Labour Situation During June (N. C. D. N. July 4)

China's Railways (C. E. T. Vol. LXX, No. 3385, July 5, P. 477)

The Canton-Kowloon Railway: The Annual Report for 1927 (N. C. D. N. July 6)

Foochow Lacquer (C. E. B. Vol. XIII, No. 1, July 7)

Foreigners and the Future Status of Tsingtao! (C. W. R. Vol. XLV, No. 6, July 7)

The Chinese Soldier, His Equipment and Activities. By Henry F. Misselwitz (C. W. R. Vol. XLV, No. 6, July 7)

The Chinese Administratration in Sinkiang (C. W. R. Vol. XLV, No. 6, July 7)

The Crisis in the Revolution. By Harry Paxton Howard (C. W. R. Vol. XLV, No. 6, July 7)

Canton Currency (H. D. P. July 7)

North China and Japan. By Tsao Lien-en (C. W. R. Vol. XLV, No. 6, July 7)

American Policy Toward Manchuria. By Ken Shen Weigh, Ph. D (C. W. R. Vol. XLV, No. 6, July 7)

America's Position in China's Steel Trade. By Geo. W. Missemer (C. W. R. Vo. XLV, No. 6, July 7)

Who's Who in China. Gen. Teng Yen-chuan (鄧演存字競生) Mr. Chang Chih-pen (張知本字懷九) (C. W. R. Vol. XLV, No. 6, July 7)

Customs Revenue in China (N. C. D. N. July 14)

China's Serious Railway Problem (C. W. R. Vol. XLV, No. 7, July 14)

The American Campaign for a Ten Million Dollar China Famine Fund (C. W. R. Vol. XLV, No. 7, July 14)

Chinese and Western Civilizations. By Dr. Sao-ke Alfred Sze (C. W. R. Vol. XLV, No. 7, July 14)

The Abolition of Likin. By P. T. Chen. (C. W. R. Vol. XLV, No. 7, July 14)

Will the Nationalists Protect Chinese Shipping? By J. A. J. (C. W. R. Vol. XLV, No. 7, July 14)

Dr. C. T. Wang and the Unequal Treaties. By L. T. Tsok (C. W. R. Vol. XLV, No. 7, July 14)

The Move from Peking to Nanking. By Lawrence Impey (C. W. R. Vol. XLV, No. 7, July 14)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Wereldproductie van thee (L. N. e. H. No. 26, June 29)

Economische Wereldpolitiek (L. N. e. H. No. 28, July 13)

亞 細 亞

General

Far Eastern Foreign Frade in Fresh Fruits (Com. R. No. 23, June 4, P. 595)

日 本

Le Bureau de Tourisme du Japon (E. E. I. No. 573, Jan. 10, P. 5)

支 那 及 香 港

China's Coal Reserve and Production: Revised Estimate of Resources (E. E. Vol. XIX, No. 3, Mar. 22, P. 63)

The Machinery Market in China: Growth of Industrial Plant (E. E. Vol. XIX, No. 3, Mar. 22, P. 63)

China's Iron and Steel: An Industry with Great Potentialities (E. E. Vol. XIX, No. 3, Mar. 22, P. 70)

Rival Claims in Manchuria (C. E. T. Vol. LXX, No. 3377, May 10, P. 344)

Shanghai To-day: A Return to Sanity (C. E. T. Vol. LXX, No. 3377, May 10, P. 340)

Nanking Nationalist Plans. Chinese Minister at Foreign Office (C. E. T. Vol. LXX, No. 3378, May 17, P. 360)

Rival Claims in Manchuria, The Japanese Effort (C. E. T. Vol. LXX, No. 3379, May 24, P. 277)

Chinese Appeal to United States (C. E. T. Vol. LXX, No. 3379, May 24, P. 378)

Chinese Colonization in Manchuria (F. E. R. Vol. XXIV, No. 6, June P. 241)

New Waterworks and Electricity Plant in Chapei (F. E. R. Vol. XXIV, No. 6, June P. 264)

A "United" China (C. E. T. Vol. LXX, No. 3382, June 14 P. 423)

De bewering van been en ivoor in Shaghai (L. N. e. H. No. 24, June 15)

Nanking, Rivalry with Peking (C. E. T Vol. LXX, No. 3383, June 21, P. 445)

Summary of Strikes in Shanghai During the Month of May, 1928 (C. E. B. Vol. XII, No. 25, June. 23)

Money Sent to China by Oversea Chinese (for 1924 & 1925) (C. E. B. Vol. XII, No. 25, June 23)

Motor Roads in Fukien (C. E. B. Vol. XII, No. 25, June 23)

Japanese Demands over the Tsinan Incident (C. W. R Vol. XVV, No. 4, June 23)

America's Position in Regard to Manchuria. By Charles James Fox (C. W. R. Vol. XLV, No. 4, June 23)

Why British Lose Trade in China (C. W. R. Vol. XLV, No. 4, June 23)

The Recognition of the Nationalist Government. By C. Y. W. Meng (C. W. R. Vol. XLV, No. 4, June 23)

Who's Who in China. Mr. Wu Ching-heng (吳敬恒字稚暉) General Hu Tsung-tu (胡宗鐸) (C. W. R. Vol. XLV. No. 4, June 23)

American Opinion on the Far East (C. W. R. Vol. XLV, No. 4, 5, June 23, 30)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那南洋其他海外
重要記事索引

臺灣總督官房調査課

◆ 新聞雜誌略號一覽表 ◆

A. T.	L'avenir du Tonkin (June 1-30, '28)
B. T.	Bangkong Times (June 10-July 17, '28)
C. E. B.	Chinese Economic Bulletin (Vol. XII, No. 25, June 23-Vol. XIII, No. 3, July 21, '28)
C. E. T.	China Express and Telegraph (No. 3377, May 10-No. 3385, July 5, '28)
C. R.	Chinese Recorder (Vol. LIX, No. 7, July, '28)
Com. R.	Commerce Reports (No. 23, June 4-No. 25, June 18, '28)
C. W. R.	China Weekly Review (Vol. XLV, No. 4, June 23-No. 8, July 21, '28)
E. E.	Eastern Engineering (Vol. XIX, No. 3, Mar. 22-No. 6, June 14, '28)
E. E. I.	L'eveil economique de l'Indochine (June 3-24, '28)
F. E. R.	Far Eastern Review (Vol. XXIV, No. 6, June, '28)
F. I.	France-Indochine (June 1-30, '28)
H. D. P.	Hongkong Daily Press (June 28-July 13, '28)
H. N. v. d. D.	Het Nieuws van den Dag (June 5-July 7, '28)
I.	L'Indochine (Apr. 5-May 5, '28)
I. O.	Inter Ocean (Vol. IX, No. 4, Apr., '28)
le C. H.	Le Courrier d'Haiphong (June 30, '28)
le C. S.	Le Courrier Saigonnais (June 1-30, 28)
L. N. e. H.	Landbouw, Nijverheid en Handel (No. 24, June 15-July 13, '28)
le T.	Le Temps (June 1-30, '28)
M. C.	Le Monde Colonial (June, '28)
N. C. D. N.	North China Daily News (June 28-July 24, '28)
S. F. P.	Singapore Free Press (June 20-July 14, '28)
S. Hb.	Soerabajasch Handelsblad (June 9-July 5, '28)

* * *

◆ 世　　界 ◆
General

The International Cartel Movement (Com. R. No. 24, June. 11, P. 643)

Falling Price of Tin (B. T. June. 20)

International Trade in 1927. (Com. R. No. 24, June. 11, P. 645)